

青森県埋蔵文化財調査報告書 第577集

# 川原平（1）遺跡Ⅴ

—津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

東捨場地区・北東捨場地区

2017年3月

青森県教育委員会





巻頭写真1 調査区全景（北から）



巻頭写真2 調査区全景（合成）



後期後葉の土器（北東拾場地区）



晩期前葉の土器（北東拾場地区）



晩期中葉の土器（北東捨場地区）



晩期中葉の土器（東捨場地区）



晩期中葉の土器（東捨場延長地区）



獣面・人面付き土器（東捨場地区・北東捨場地区）



土製品（東捨場地区・東捨場延長地区）



土製品（北東捨場地区・北東捨場延長地区）



## 序

青森県埋蔵文化財調査センターでは、平成15年度から平成27年度にかけて津軽ダム建設事業予定地内に所在する遺跡の発掘調査を実施しました。そのうち、川原平(1)遺跡では、平成15・23・25～27年度に発掘調査を実施しました。

調査の結果、縄文時代中期から晩期にかけての建物跡・土坑・土器埋設遺構・配石遺構・焼土遺構・盛土遺構・捨場等が確認され、縄文時代の集落が営まれていたことがわかりました。遺物は土器・土製品、石器・石製品、漆製品、木製品、骨角器、動植物遺存体等が出土しました。特に縄文時代後期後葉～晩期にかけての遺物は、この地域では稀少な出土例として注目され、晩期の亀ヶ岡文化を考える上で貴重な発見となりました。

本報告書は、平成25～27年度に実施した川原平(1)遺跡発掘調査事業のうち、東捨場地区と北東捨場地区の調査成果をまとめたものです。この成果が、埋蔵文化財の保護に広く活用され、また、地域の歴史を理解する一助となることを期待します。

最後に、日頃から埋蔵文化財の保護と活用に対してご理解をいただいている国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所に厚くお礼申し上げますとともに、発掘調査の実施と調査報告書の作成にあたり、ご指導、ご協力をいただきました関係各位に対し、心より感謝いたします。

平成29年3月

青森県埋蔵文化財調査センター

所長 田村博美

## 例言・凡例

1 本書は、国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所による津軽ダム建設事業に伴い、青森県埋蔵文化財調査センターが平成15・23・25～27年度に発掘調査を実施した西目屋村川原平(1)遺跡のうち、平成25～27年度に行った東捨場地区と北東捨場地区の発掘調査報告書である。なお、平成26年度(2014年)に川原平(4)遺跡として発掘調査した東捨場延長地区・北東捨場延長地区の遺物報告も含む(図①・②参照)。

2 川原平(1)遺跡の所在地は中津軽郡西目屋村大字川原平字福岡地内、青森県遺跡番号は343009である。

3 川原平(1)遺跡の発掘調査報告書は、既に以下3冊が刊行されている。

- ・『川原平(1)・(4)遺跡・大川添(2)遺跡・水上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第409集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第564集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第565集

また、本書と同時期に、以下の4冊の刊行も予定されている。

- ・『川原平(1)遺跡Ⅳ(平場地区・クラック地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第576集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅵ(北捨場地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第578集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅶ(西捨場地区)』青森県埋蔵文化財調査報告書第579集
- ・『川原平(1)遺跡Ⅷ(自然科学分析・補遺・総括)』青森県埋蔵文化財調査報告書第580集

4 発掘調査と整理・報告書作成の経費は、発掘調査を委託した国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所が負担した。

5 発掘調査から整理・報告書作成までの期間は、以下のとおりである。

発掘調査期間	平成25年5月7日～平成25年11月14日
	平成26年5月1日～平成26年11月14日
	平成27年4月20日～平成27年8月28日
整理・報告書作成期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
	平成28年4月1日～平成29年3月31日

6 本書は、青森県埋蔵文化財調査センターが編集し、青森県教育委員会が作成した。執筆と編集は、報告書抄録記載の編著者が担当し、執筆者名は文末に記した。なお、発掘調査成果の一部は、現地見学会、発掘調査報告会等において公表しているが、これらと本書の内容が異なる場合においては本書が優先する。

7 発掘調査から整理・報告書作成にあたり、以下の業務については委託により実施した。なお、自然科学分析の委託者については、『川原平(1)遺跡Ⅷ』にまとめて掲載した。

基準点・水準点測量	株式会社キタコン
空中写真撮影	株式会社シン技術コンサル
土器・小型土器の図化作業の一部	株式会社アルカ、株式会社ラング
	株式会社シン技術コンサル
石器の図化作業の一部	株式会社アルカ、株式会社ラング









土器の復元の一部	株式会社文化財ユニオン、株式会社吉田生物研究所
漆製品の保存処理	株式会社吉田生物研究所
遺物の写真撮影	シルバーフォト、フォトショップいなみ、有限会社無限
洗浄・注記作業の一部	ナカシャクリエイテブ株式会社、第一合成株式会社
	株式会社イビソク
写真の切り抜き作業の一部	ワタナベサービス株式会社

- 8 石器の石質鑑定は調査員の柴正敏氏・島口天氏に依頼した。
- 9 地形図（遺跡位置図等）は、国土地理院発行の地図を合成・加工して使用した。
- 10 測量原点の座標値は、世界測地系に基づく平面直角座標第X系による。挿図中の方位は、すべて世界測地系の座標北を示している。
- 11 遺構については、その種類を示すアルファベットの略号と算用数字を組合せた番号を付した。基本的な略号は、以下のとおりである。  
 S Q－配石遺構    S R－土器埋設遺構    S N－焼土遺構    Pit－柱穴
- 12 遺物については、取り上げ順に種別ごとの略号と番号を付した。略号は、以下のとおりである。  
 P－土器    S－石器    C－炭化材    特－漆製品など特殊なもの
- 13 土層の色調表記には、『新版標準土色帖2005年度版』（小山正忠・竹原秀雄）を用い、遺跡の基本土層にはローマ数字、遺構内堆積土層には算用数字を使用した。土層断面図には、水準点を基にした海拔標高を付した。
- 14 図版中で使用した網掛けの説明は以下の通りであるが、一部は図に記したものもある。

焼土範囲 

- 15 遺物実測図で使用したスクリーントーンは以下の通りであるが、一部については図に記したものもある。

土器・土製品

漆容器などの 漆塗膜 	土器アスファルト ・黒色付着物 	土器附着炭化物 	
石器アスファルト ・黒色付着物 	石器磨面 	石器光沢 	敲打痕 
赤色顔料・赤彩 			

16 遺構実測図および遺物実測図の各図版にはスケールを付している。

17 実測図の掲載を省き、写真のみで報告した遺物もあるため、土器及び石器・石製品の実測図には遺物写真の個別番号、土製品・小型土器の実測図には遺物写真の通し番号を付した。また、写真の掲載を省き、実測図のみで報告した遺物については、実測図に個別番号を付した。なお、本文中で遺物実測図あるいは遺物写真を引用する場合は、以下のように記した。

例1) 写真19の1の場合 → 写19-1

例2) 『川原平(1)遺跡Ⅲ』の図11の1の場合 → 報告書Ⅲ-図11-1

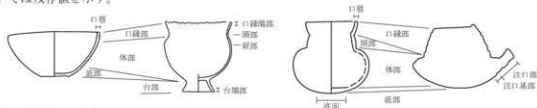
18 遺物の実測図及び写真の縮尺は、原則として土器は1/4、土製品は1/2あるいは1/3、剥片石器・石製品は1/2、礫石器は1/3である。この原則からはずれるものについては、個別に縮尺を示した。なお、遺物写真の縮尺は目安であるため、実物との間には多少の誤差がある。

19 調査経過等について

今回の報告範囲における調査に至る経緯、調査体制（調査体制及び整理・報告書作成体制）、作業経過（発掘作業の経過及び整理・報告書作成作業の経過）については、今回報告範囲以外の地区のものとなわせ、『川原平(1)遺跡Ⅳ』(576集)に掲載した。

20 土器の整理・分類について

口縁から底部まで接合した土器は原則として図化した。写真掲載のみとしたものもある。区分・分類基準などについては、『川原平(1)遺跡Ⅵ』(578集)の土器の整理・分類を準用した。また、口径あるいは器高が10cm以下の容器については小型土器・ミニチュア土器として扱った（詳細については『川原平(1)遺跡Ⅶ』(580集)参照）。土器観察表における（ ）内計測値は、口径・底径については推定値（残存1/2未満）、器高については残存値を示す。



21 石器の整理・分類について

石器の整理・分類については、『川原平(1)遺跡Ⅲ』(青埋報565集: pp. 9-10)を準用した。なお、石製円盤については、集合写真を併用し、「円1（円盤集合写真1）」、「円2（円盤集合写真2）」…と名称を付した（『川原平(1)遺跡Ⅳ』例言参照）。右の写真の順に円盤集合写真観察表に出土地点等を記載している。



## 22 時期区分

本報告書で触れる遺構・遺物の時期は、『川原平(1)遺跡Ⅱ』(564集)を準用した(表①参照)。

表① 本書の時期区分

				本報告	青森県史 (開設2013)	型式等	備考	
後期		後葉	彌付土器	7-3期	7期3段階	十懸内V群	本文中で7-3期以前を彌付土器前葉とした	
		7-4期		7期4段階	(十懸内V群に欠落する時期)			
		末葉		8期	8期	(十懸内VI群)	彌付土器第Ⅲ段階 (小林2008)	
晩期	前半	初葉	亀ヶ岡式土器	1期	1a期	1a期	大洞B	大洞B1
		1b期			1b期	大洞B2		
		前葉		2期	2期	大洞BC		
	後半	中葉		3期	3期	大洞C1		
		後葉		4期	4期	大洞C2		
		末葉		5期	5期	大洞A		
		6期	6期	大洞A'				

## 23 古代以降の遺物について

今回の報告範囲において、古代以降の土器・陶磁器等が僅かに出土しているが、今回報告以外の地区で得たものとあわせて、『川原平(1)遺跡Ⅵ』(580集)に掲載する。

## 24 自然科学分析

今回の報告範囲出土遺物等について、放射性炭素年代測定や樹種同定、漆製品・土器の塗膜分析などの自然科学分析を外部委託しているが、これらの成果については今回報告以外の地区で得たものとあわせて、『川原平(1)遺跡Ⅵ』(580集)に掲載する。ただし、本報告における遺構・遺物の記載にあたり、それらの結果を部分的に引用した箇所がある。分析に使用した資料は、観察表の備考欄に下記のように資料番号を記載した。

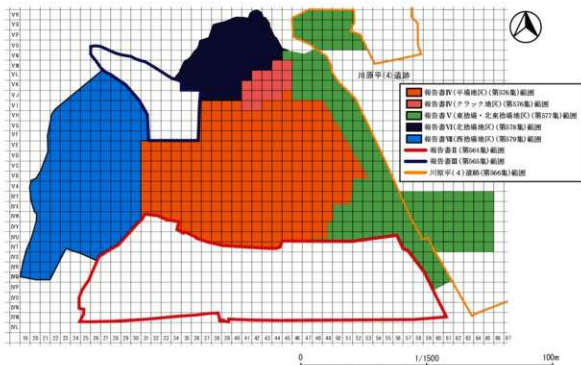
- Ⅵ第1編第5章第1～7節 放射性炭素年代測定→「年代測定KAWA(1)一●」
- Ⅵ第1編第6章第5節 漆関連遺物の塗膜分析→「塗膜分析No.●」
- Ⅵ第1編第7章第5節 炭素・窒素安定同位体比分析→「安定同位体比分析資料●」
- Ⅵ第1編第8章第2節 胎土分析→「胎土分析●」

25 引用文献については巻末(p.211)に掲載したが、参考文献については『川原平(1)遺跡Ⅵ』(580集)に掲載した。

26 発掘調査及び整理・報告書作成における出土品・実測図・写真等は現在、青森県埋蔵文化財調査センターが保管している。



図① 川原平(1)遺跡の地形



図② 本書の報告範囲

# 目次

巻頭写真	
序	
例言・凡例	
目次	
図版目次	
表目次	
写真図版目次	

## 第1編 東捨場地区

第1章 調査方法	2
第1節 調査方法	2
1 発掘作業の方法	2
2 整理・報告書作成作業の方法	2
第2節 基本層序	7
第2章 東捨場地区の検出遺構と出土遺物	10
第1節 遺構	10
1 配石遺構	10
2 土器埋設遺構	15
3 焼土遺構	25
4 ビット	28
第2節 東捨場	33
1 概要	33
2 土器集中範囲（ブロック）	36
3 土器	44
4 土製品	57
5 石器	65
6 石製品	66
7 その他の遺物	68
第3章 まとめ	83

## 第2編 北東捨場地区

第1章 調査方法	88
第1節 発掘作業の方法	88
第2節 整理・報告書作成作業の方法	90
第2章 北東捨場地区の概要	92
第3章 検出遺構と出土遺物	95
1 配石遺構	95
2 焼土遺構	95

第4章 北東捨場	97
第1節 調査の方法	97
第2節 捨場堆積層（遺物包含層）	101
第3節 土器集中域（ブロック）	107
第4節 出土遺物	142
1 土器	142
2 土製品	159
3 石器	163
4 石製品	165
5 その他の遺物	166
第5章 まとめ	182

### 第3編 東捨場延長地区・北東捨場延長地区

第1章 調査方法	188
第1節 調査方法	188
1 東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲	188
2 発掘作業の方法	188
3 整理・報告書作成作業の方法	189
第2章 東捨場延長地区	190
第1節 東捨場延長地区の堆積層について	190
1 東捨場延長の調査方法	190
2 堆積層について	190
第2節 出土遺物	193
1 土器	193
2 土製品	194
3 石器・石製品	195
第3章 北東捨場延長地区	202
第1節 北東捨場延長地区の堆積層について	202
1 北東捨場延長の調査方法	202
2 堆積層について	202
第2節 出土遺物	205
1 土器	205
2 土製品	205
3 石器・石製品	207
第4章 まとめ	210

引用文献	211
遺構計測表	212
遺物観察表	213
写真図版	287
報告書抄録	485



# 図版目次

図1 東捨場地区全体図並びにセクション配置図	3	図52 北東捨場地区の位置と周辺の地形	89
図2 東捨場地区 遺構配置図	4	図53 北東捨場地区・北東捨場延長地区・クラック地区等の位置関係	93
図3 東捨場地区 セクション図(1)	5	図54 北東捨場地区 遺構配置図・遺物等分布状況図	94
図4 東捨場地区 セクション図(2)	8	図55 北東捨場地区 配石遺構・焼土遺構	96
図5 東捨場地区 セクション図(3)	9	図56 北東捨場地区 グリッド・トレンチ・ベルトの位置	99
図6 東捨場地区 配石遺構(1)	12	図57 北東捨場地区 トレンチ1～3土層断面図と土層番号・各土層の形成時期	103
図7 東捨場地区 配石遺構(2)	13	図58 北東捨場地区 トレンチ1土層断面図	104
図8 東捨場地区 土器埋設遺構(1)	20	図59 北東捨場地区 トレンチ2土層断面図	105
図9 東捨場地区 土器埋設遺構(2)	21	図60 北東捨場地区 トレンチ3・トレンチ5土層断面図	106
図10 東捨場地区 土器埋設遺構(3)	22	図61-1 北東捨場地区 土器集中城(ブロック)配置図	109
図11 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(1)	23	図61-2 北東捨場地区 土器集中城(ブロック)の変遷図	110
図12 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(2)	24	図62 北東捨場地区 ブロック4007・4008・4016(TR1-a層～TR1-b層・TR1-1層)	121
図13 東捨場地区 焼土遺構(1)	29	図63 北東捨場地区 ブロック16・4002・4023・4038(TR1-2層・TR1-C層)	122
図14 東捨場地区 焼土遺構(2)	30	図64 北東捨場地区 ブロック4037(TR1-d層)・4019(TR1-4層)	123
図15 東捨場地区 焼土遺構(3)	31	図65 北東捨場地区 ブロック15(TR1-4層)	124
図16 東捨場地区 焼土遺構出土遺物	32	図66 北東捨場地区 ブロック4020・4024(TR1-4層)	125
図17 東捨場地区 土器の重量分布	35	図67 北東捨場地区 ブロック4030・4032(TR1-4層)	126
図18 東捨場地区 ブロック(1)	41	図68 北東捨場地区 ブロック4039・4052(TR1-4層)	127
図19 東捨場地区 ブロック(2)	42	図69 北東捨場地区 ブロック4009・4034・4036・4045・4071・4080(TR1-4層～TR1-5層)	128
図20 東捨場地区 土器の出土位置	43	図70 北東捨場地区 ブロック4062・4066(TR1-4層)	129
図21 東捨場地区 土器(1) ブロック1・2・3・4・5	47	図71 北東捨場地区 ブロック4013・4014・4031(TR1-5層)	130
図22 東捨場地区 土器(2) ブロック6・10	48	図72 北東捨場地区 ブロック4053(TR1-5層)	131
図23 東捨場地区 土器(3) ブロック17・18	49	図73 北東捨場地区 ブロック4054・4070・4072(TR1-5層)	132
図24 東捨場地区 土器(4) ブロック19・20・21・22	50	図74 北東捨場地区 ブロック4022・4029・4042・4069・4073・4075(TR1-6層～TR1-7層)	133
図25 東捨場地区 土器(5) ブロック22・23・24・1層	51	図75 北東捨場地区 ブロック4021・4028(TR2-1層)・4003・4004・4015・4046(TR2-a層・TR2-c層)	134
図26 東捨場地区 土器(6) KⅢ1層(1)	52	図76 北東捨場地区 ブロック4001・4006・4057・4058・4059・4061・4063・4065・4067・4074・4076・4078(TR2-2層・TR2-2層)	135
図27 東捨場地区 土器(7) KⅢ1層(2)	53	図77 北東捨場地区 ブロック4005・4010・4043・4050(TR2-b層)・4018・4026(TR2-y層・TR3-c層)	136
図28 東捨場地区 土器(8) KⅢ1層(3)	54	図78 北東捨場地区 ブロック4017・4025(TR3-a層・TR3-a～TR3-e層)・4049・4055・4064・4077(TR3-d層～TR3-e層)	137
図29 東捨場地区 土器(9) KⅢ1d層・KⅢ1炭い層・KⅢ1下層・KⅢ2層	55	図79 北東捨場地区 ブロック4011・4012・4027・4040・4044(TR3-b層～TR3-c層)	138
図30 東捨場地区 土器(10) KⅢ2上層・KⅢ2下層・KⅢ3層	56	図80 北東捨場地区 ブロック4051・4056・4068・4079・4081・4082・4083・4084(TR3-e層～TR3-f層)	139
図31 東捨場地区 土製品(1)	58	図81 北東捨場地区 ブロック4041・4047・4060(TR5-2層)・4033(TR6-2層～TR6-3層)	140
図32 東捨場地区 土製品(2)	59	図82 北東捨場地区 ブロック4035(確認面)	141
図33 東捨場地区 土製品(3)	60	図83 北東捨場地区 土器の重量分布	145
図34 東捨場地区 土製品(4)	61	図84 北東捨場地区 土器(1) ブロック15・16・4001・4003・4004	146
図35 東捨場地区 土製品(5)	62		
図36 東捨場地区 土製品(6)	63		
図37 東捨場地区 土製品(7)	64		
図38 東捨場地区 石器・石製品(1)	69		
図39 東捨場地区 石器・石製品(2)	70		
図40 東捨場地区 石器・石製品(3)	71		
図41 東捨場地区 石器・石製品(4)	72		
図42 東捨場地区 石器・石製品(5)	73		
図43 東捨場地区 石器・石製品(6)	74		
図44 東捨場地区 石器・石製品(7)	75		
図45 東捨場地区 石器・石製品(8)	76		
図46 東捨場地区 石器・石製品(9)	77		
図47 東捨場地区 石器・石製品(10)	78		
図48 東捨場地区 石器・石製品(11)	79		
図49 東捨場地区 石器・石製品(12)	80		
図50 東捨場地区 石器・石製品(13)	81		
図51 東捨場地区 石器・石製品(14)	82		



写真21	東捨場地区	土器埋設遺構出土遺物	307
写真22	東捨場地区	焼土遺構出土遺物	308
写真23	東捨場地区	土器 (1) ブロック 2・3・4・5	309
写真24	東捨場地区	土器 (2) ブロック 6	310
写真25	東捨場地区	土器 (3) ブロック 10・17	311
写真26	東捨場地区	土器 (4) ブロック 18・19・20	312
写真27	東捨場地区	土器 (5) ブロック 21・22	313
写真28	東捨場地区	土器 (6) ブロック 23・24・1層	314
写真29	東捨場地区	土器 (7) KⅢ1層	315
写真30	東捨場地区	土器 (8) KⅢ1層	316
写真31	東捨場地区	土器 (9) KⅢ1層	317
写真32	東捨場地区	土器 (10) KⅢ1層	318
写真33	東捨場地区	土器 (11) KⅢ1層	319
写真34	東捨場地区	土器 (12) KⅢ1層	320
写真35	東捨場地区	土器 (13) KⅢ1層	321
写真36	東捨場地区	土器 (14) KⅢ1層・KⅢ1d層・KⅢ1段イ層	322
写真37	東捨場地区	土器 (15) KⅢ1下層・KⅢ2層	323
写真38	東捨場地区	土器 (16) KⅢ2上層	324
写真39	東捨場地区	土器 (17) KⅢ上層・KⅢ下層	325
写真40	東捨場地区	土器 (18) KⅢ層	326
写真41	東捨場地区	土製品 (1)	327
写真42	東捨場地区	土製品 (2)	328
写真43	東捨場地区	土製品 (3)	329
写真44	東捨場地区	土製品 (4)	330
写真45	東捨場地区	石器・石製品 (1)	331
写真46	東捨場地区	石器・石製品 (2)	332
写真47	東捨場地区	石器・石製品 (3)	333
写真48	東捨場地区	石器・石製品 (4)	334
写真49	東捨場地区	石器・石製品 (5)	335
写真50	東捨場地区	石器・石製品 (6)	336
写真51	東捨場地区	石器・石製品 (7)	337
写真52	東捨場地区	石器・石製品 (8)	338
写真53	東捨場地区	石器・石製品 (9)	339
写真54	東捨場地区	石器・石製品 (10)	340
写真55	東捨場地区	石器・石製品 (11)	341
写真56	東捨場地区	石器・石製品 (12)	342
写真57	東捨場地区	石器・石製品 (13)	343
写真58	東捨場地区	石器・石製品 (14)	344
写真59	東捨場地区	石器・石製品 (15)	345
写真60	東捨場地区	石器・石製品 (16)	346
写真61	東捨場地区	石器・石製品 (17)	347
写真62	東捨場地区	石器・石製品 (18)	348
写真63	東捨場地区	石器・石製品 (19)	349
写真64	東捨場地区	石器・石製品 (20)	350
写真65	東捨場地区	石器・石製品 (21)	351
写真66	東捨場地区	石器・石製品 (22)	352
写真67	東捨場地区	石器・石製品 (23)	353
写真68	東捨場地区	石器・石製品 (24)	354
写真69	東捨場地区	石器・石製品 (25)	355
写真70	東捨場地区	石器・石製品 (26)・アスファルト	356
写真71	北東捨場地区	航空写真	357
写真72	北東捨場地区	調査区全景・調査風景	358
写真73	北東捨場地区	北東部斜面捨場	359
写真74	北東捨場地区	トレンチ 1 (1)	360
写真75	北東捨場地区	トレンチ 1 (2)	361
写真76	北東捨場地区	トレンチ 1 (3)	362
写真77	北東捨場地区	トレンチ 2 (1)	363

写真78	北東捨場地区	トレンチ 2 (2)	364
写真79	北東捨場地区	トレンチ 2 (3)	365
写真80	北東捨場地区	トレンチ 3 (1)	366
写真81	北東捨場地区	トレンチ 3 (2)	367
写真82	北東捨場地区	トレンチ 3・トレンチ 5	368
写真83	北東捨場地区	配石遺構	369
写真84	北東捨場地区	ブロック (1)	370
写真85	北東捨場地区	ブロック (2)	371
写真86	北東捨場地区	ブロック (3)	372
写真87	北東捨場地区	ブロック (4)	373
写真88	北東捨場地区	ブロック (5)	374
写真89	北東捨場地区	ブロック (6)	375
写真90	北東捨場地区	ブロック (7)	376
写真91	北東捨場地区	ブロック (8)	377
写真92	北東捨場地区	ブロック (9)	378
写真93	北東捨場地区	ブロック (10)	379
写真94	北東捨場地区	ブロック (11)	380
写真95	北東捨場地区	ブロック (12)	381
写真96	北東捨場地区	ブロック (13)	382
写真97	北東捨場地区	遺物出土状況 (1)	383
写真98	北東捨場地区	遺物出土状況 (2)	384
写真99	北東捨場地区	遺物出土状況 (3)	385
写真100	北東捨場地区	遺物出土状況 (4)	386
写真101	北東捨場地区	遺物出土状況 (5)	387
写真102	北東捨場地区	完掘 (1)	388
写真103	北東捨場地区	完掘 (2)	389
写真104	北東捨場地区	配石遺構出土遺物・土器 (1) ブロック 15・16・4001	390
写真105	北東捨場地区	土器 (2) ブロック 4002・4003・4004・4005	391
写真106	北東捨場地区	土器 (3) ブロック 4007・4010・4011・4013	392
写真107	北東捨場地区	土器 (4) ブロック 4018・4019・4020	393
写真108	北東捨場地区	土器 (5) ブロック 4022・4023・4024-1・4024-2	394
写真109	北東捨場地区	土器 (6) ブロック 4024-2・4025	395
写真110	北東捨場地区	土器 (7) ブロック 4026・4029・4030	396
写真111	北東捨場地区	土器 (8) ブロック 4031-1・4031-2・4032-1	397
写真112	北東捨場地区	土器 (9) ブロック 4032-2・4032-3・4032-5・4032-6	398
写真113	北東捨場地区	土器 (10) ブロック 4033・4034・4036・4037	399
写真114	北東捨場地区	土器 (11) ブロック 4038・4039・4040・4041・4042・4047	400
写真115	北東捨場地区	土器 (12) ブロック 4043上層A・4043下層B	401
写真116	北東捨場地区	土器 (13) ブロック 4044・4045・4049・4051	402
写真117	北東捨場地区	土器 (14) ブロック 4052-1	403
写真118	北東捨場地区	土器 (15) ブロック 4052-1・4052-2	404
写真119	北東捨場地区	土器 (16) ブロック 4052-4・4053-1	405
写真120	北東捨場地区	土器 (17) ブロック 4053-2	406
写真121	北東捨場地区	土器 (18) ブロック 4053-2・4054-1・4054-2	407

写真122	北東捨場地区	土器 (19) ブロック4055・4056・4057	408
写真123	北東捨場地区	土器 (20) ブロック4058・4060・4061	409
写真124	北東捨場地区	土器 (21) ブロック4062-1・4062-2	410
写真125	北東捨場地区	土器 (22) ブロック4062-2・4063	411
写真126	北東捨場地区	土器 (23) ブロック4066・4067	412
写真127	北東捨場地区	土器 (24) ブロック4069・4070・4071	413
写真128	北東捨場地区	土器 (25) ブロック4072・4074・4075・4076	414
写真129	北東捨場地区	土器 (26) ブロック4078・4080・4081	415
写真130	北東捨場地区	土器 (27) ブロック4082	416
写真131	北東捨場地区	土器 (28) ブロック4083・4084	417
写真132	北東捨場地区	土器 (29) トレンチ1	418
写真133	北東捨場地区	土器 (30) トレンチ1	419
写真134	北東捨場地区	土器 (31) トレンチ1～3	420
写真135	北東捨場地区	土器 (32) トレンチ3	421
写真136	北東捨場地区	土器 (33) トレンチ5・その他	422
写真137	北東捨場地区	土製品 (1)	423
写真138	北東捨場地区	土製品 (2)	424
写真139	北東捨場地区	石器・石製品 (1)	425
写真140	北東捨場地区	石器・石製品 (2)	426
写真141	北東捨場地区	石器・石製品 (3)	427
写真142	北東捨場地区	石器・石製品 (4)	428
写真143	北東捨場地区	石器・石製品 (5)	429
写真144	北東捨場地区	石器・石製品 (6)	430
写真145	北東捨場地区	石器・石製品 (7)	431
写真146	北東捨場地区	石器・石製品 (8)	432
写真147	北東捨場地区	石器・石製品 (9)	433
写真148	北東捨場地区	石器・石製品 (10)	434
写真149	北東捨場地区	石器・石製品 (11)	435
写真150	北東捨場地区	石器・石製品 (12)	436
写真151	北東捨場地区	石器・石製品 (13)	437
写真152	北東捨場地区	石器・石製品 (14)	438
写真153	北東捨場地区	石器・石製品 (15)	439
写真154	北東捨場地区	石器・石製品 (16)	440
写真155	北東捨場地区	石器・石製品 (17)	441

写真156	北東捨場地区	石器・石製品 (18)	442
写真157	北東捨場地区	石器・石製品 (19)	443
写真158	北東捨場地区	石器・石製品 (20)	444
写真159	北東捨場地区	石器・石製品 (21)	445
写真160	北東捨場地区	石器・石製品 (22)	446
写真161	北東捨場地区	石器・石製品 (23)	447
写真162	北東捨場地区	石器・石製品 (24)	448
写真163	北東捨場地区	石器・石製品 (25)	449
写真164	北東捨場地区	石器・石製品 (26)	450
写真165	北東捨場地区	石器・石製品 (27)	451
写真166	北東捨場地区	石器・石製品 (28)	452
写真167	北東捨場地区	石器・石製品 (29)	453
写真168	北東捨場地区	石器・石製品 (30)	454
写真169	北東捨場地区	石器・石製品 (31)	455
写真170	北東捨場地区	石器・石製品 (32)	456
写真171	北東捨場地区	石器・石製品 (33)	457
写真172	北東捨場地区	石器・石製品 (34)	458
写真173	北東捨場地区	石器・石製品 (35)	459
写真174	北東捨場地区	その他の遺物 (漆製品・アスファルト)	460
写真175	東捨場延長地区	土層	461
写真176	東捨場延長地区	遺物出土状況 (1)	462
写真177	東捨場延長地区	遺物出土状況 (2)	463
写真178	東捨場延長地区	遺物出土状況 (3)	464
写真179	東捨場延長地区	土器・土製品 (1)	465
写真180	東捨場延長地区	土器・土製品 (2)	466
写真181	東捨場延長地区	土器・土製品 (3)	467
写真182	東捨場延長地区	土器・土製品 (4)	468
写真183	東捨場延長地区	土器・土製品 (5)	469
写真184	東捨場延長地区	石器・石製品 (1)	470
写真185	東捨場延長地区	石器・石製品 (2)	471
写真186	東捨場延長地区	石器・石製品 (3)	472
写真187	東捨場延長地区	石器・石製品 (4)	473
写真188	東捨場延長地区	石器・石製品 (5)	474
写真189	東捨場延長地区	石器・石製品 (6)	475
写真190	東捨場延長地区	石器・石製品 (7)	476
写真191	北東捨場延長地区	土層	477
写真192	北東捨場延長地区	土器・土製品	478
写真193	北東捨場延長地区	石器・石製品 (1)	479
写真194	北東捨場延長地区	石器・石製品 (2)	480
写真195	北東捨場延長地区	石器・石製品 (3)	481
写真196	北東捨場延長地区	石器・石製品 (4)	482
写真197	北東捨場延長地区	石器・石製品 (5)	483
写真198	北東捨場延長地区	石器・石製品 (6)	484

## 第1編 東捨場地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 調査方法

### 1 発掘作業の方法

本遺跡の発掘作業に関わる基本事項は、報告書Ⅱで示している。

本編の報告範囲は川原平(1)遺跡の東端に位置し、図1に示すように東捨場地区と村道地区に区分される。南西は南捨場、西は平場、北西は北東捨場の各地区に接する。遺跡登録上、村道までが川原平(1)遺跡で、その東が川原平(4)遺跡である。村道は大沢川の西に位置する大川添への道路として大正時代に開削されたもので、IVW列以北については東捨場の一部を切り土して北東捨場方面へ下がっていき、西捨場付近から大沢川を渡って大川添に至る。路面は未舗装で、昭和30年代に現在の県道が開通した後は、水田や畑への通路として使用されていたようである。発掘調査開始時は、IVW列以北で元の路面が水の通り道となってえぐれ、両側の斜面に雑木が生え、沢のような状態であった。

グリッドの配置は図2に示した。捨場の範囲は直線的にくることができるものではなく、この区分は調査にあたっての便宜的なものである。東側の区分が階段状であるのは、縄文時代の遺物包含層が東側では削平により失われているためである。また、セクションベルト(Sec4)の位置を本地区に含めたため南側では細長く延びている。

2011年(平成23)調査において、南捨場の土器出土重量は調査区の東側ではおおむね少なかったが、調査区の北東隅IVT-56、IVU-55・56ではグリッドあたりの出土土器重量が約8kgと、隣接グリッドの0.5～5.5kgと比べてやや多く、その時点では沢と認識していた村道の切り土部分にかけて遺物量が増えるのではないかと想定された。

2013年(平成25)はSec4以北Sec6までの間を調査し、多数の遺構・遺物を確認した。

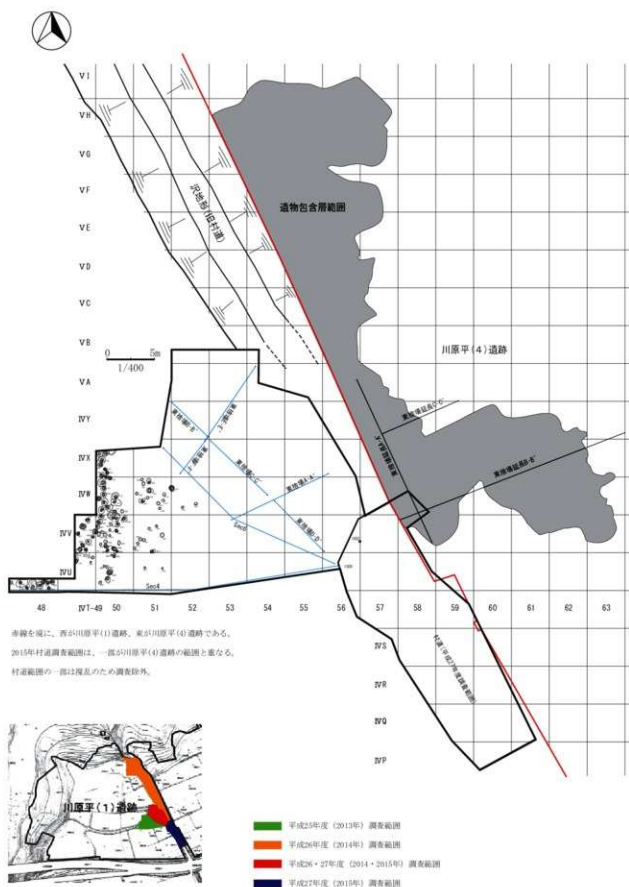
2014年(平成26)は本地区が遺跡の東端にあたることから東捨場と呼称し、Sec6以北を調査した。また、沢のような状態であった村道地区の北半(IVW列以北)を調査し、この部分が道路開削時に切り土されており、本来は沢ではないことが判明した。

2015年(平成27)は前年度に完了できなかったセクションベルトB・EおよびSN64～66を精査し、村道地区の南半を調査した。(図本)

### 2 整理・報告書作成作業の方法

本遺跡の整理作業に関わる基本事項は、報告書Ⅱで示している。整理期間は2015・2016両年度である。

土器はグリッドごとに仕分けし、重量計測した。重量を計測した目的は、図17のようにグリッドごとの出土重量を示し、捨場への遺物土集中度を明らかにしたかったためである。接合はグリッドごとに下層から行い、層ごとにどの時期の土器が含まれているかの把握に努めた(本編末尾に表を掲載)。復元実測可能なものはできるだけ抽出するとともに、変わった特徴のあるものは小片でも抽出した。整理期間の都合で、掲載するすべての土器を実測することができなかったため、写真掲載にとどめたものが多い。石器・製品類は土器とは別に、単体ごとに資料化の要不要を判断した。(図本)



赤線を境に、西が川原平(1)遺跡、東が川原平(4)遺跡である。  
2015年村道調査範囲は、一部が川原平(4)遺跡の範囲と重なる。  
村道範囲の一部は覆土のため調査除外。

図1 東捨場地区全体図並びにセクション配置図

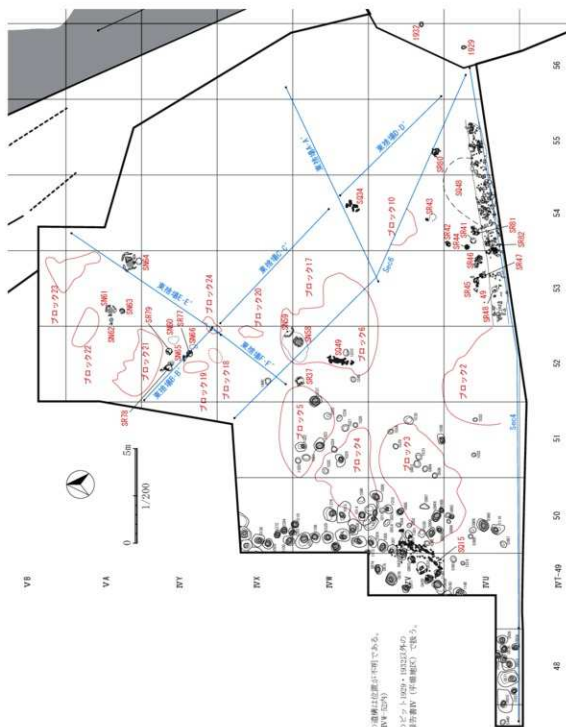


図2 東原池地区 遺構配置図

注1. 下記の遺構は位置が不明である。  
 ・S28~40 (N.W. 50%)  
 注2. 検出ポイント500・10250等の  
 ピアットは、東原池田(平堀池田)で採る。



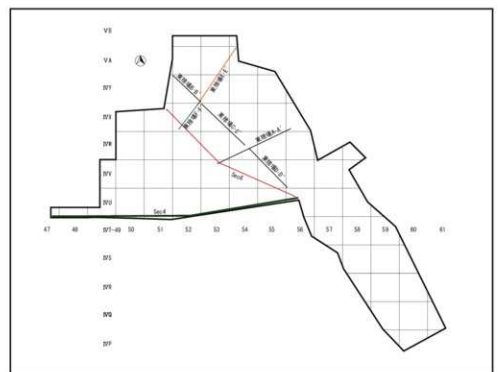
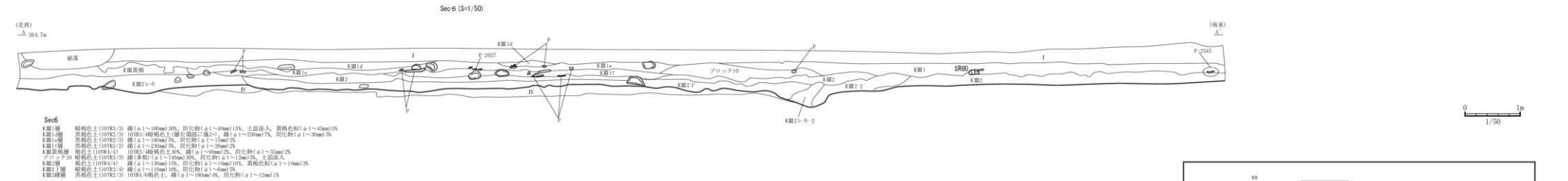
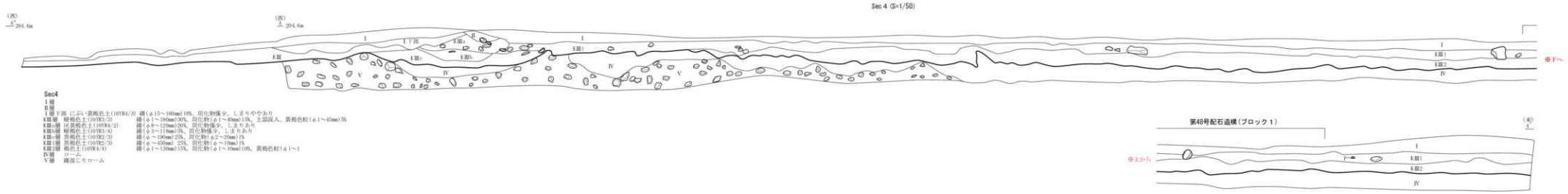


図3 東捨場地区 セクション図(1)



## 第2節 基本層序

本遺跡における基本土層とその解釈は次のとおりである。Ⅰ層：表土。Ⅱ層：本来はⅢ層であったが、耕地や道路の造成時に攪乱を受けた部分。Ⅲ層：耕作等による新しい時代の攪乱を受けていない縄文時代の堆積層。漸移層：Ⅲ層とⅣ層の間にある、遺物を含まない自然堆積土。Ⅳ層：段丘堆積物。いわゆる地山（無遺物層）。地山については深掘りを行った地点が少なく、また地点ごとに様相が異なるため、地山内の堆積順序あるいは年代については情報が不足している。このため、地山は基本的にⅣ層と表記し、必要に応じて「Ⅳ層（ローム）」のように（ ）内に土質を記した。ただし、東捨場においてはSec4の記録でⅣ層をローム、Ⅴ層を雑混じりロームとしており、図3ではⅤ層という表記を残した。

2011年調査の所見では、調査区（現南捨場）の東端辺りではⅢ層の遺物が少なくなり、色調も黒または黒褐色であったものが、灰褐色に近くなっていた。このため、調査区東端付近の遺物包含層をⅢ層として連続させるか新しい層名を付すかという問題が生じたものの、決着がつかないまま2013年の調査を迎えたため、当面の措置として仮Ⅲ層とすることにして調査を開始した。最終的に遺跡内の他の地点においても2011年調査区Ⅲ層との連続が確認できない遺物包含層が発見され、これらをすべてⅢ層としたことにより仮という文字は意味を失ったが、遺物への注記をKⅢ層としたため、以下の記述はKⅢ層で統一する。包含層は大きくは上下に分かれる見通しを得たため、上部をKⅢ1層、下部をKⅢ2層に区分した。両層は地点により細分されるため、数字の後に記号を付してKⅢ1d層のように表記した。KⅢ1・KⅢ2の两大別層とも晩期3期を含んでおり、層ごとの密な堆積時期を確定することはできなかった。土層図作成前の取り上げ遺物は、1・2と区分せず、KⅢ層とした場合がある。また、取り上げ層位で下層というのは、下位という意味で用いている。つまりKⅢ下層はKⅢ層下位という意味で、土層図には表れていないことがある。

本地区におけるⅠ・Ⅱ層は薄い部分が多く、地表下20cmほどで包含層に達する。包含層（KⅢ層）は50～90cmの堆積がある。包含層の形成は縄文時代後期後葉に開始され、それ以前の遺物・遺構はなく土地利用の痕跡は確認できない。包含層の下部は地山で、土質は黄褐色ロームである。包含層と地山との境に明瞭な漸移層は確認できない。一部に包含層形成前の風倒木痕が確認される。

地山の標高は、Sec4で203.7m、Sec6で203.8m、Aラインで203.6mとほぼ平坦だが、Eラインでは西端が203.5m、東端が203.1mである。川原平(4)遺跡の東捨場延長地区ではBライン西端が203.6m、東端が203.2mである。以上から、東捨場地区周辺の旧地形はおおむね平坦であるが、南西がやや高く、北西が低い。50～90cmの厚さをもつ包含層は各所でほぼ水平に堆積しており、最高所はSec4の204.4m、AおよびEラインで204.2mである。川原平(4)遺跡の東捨場延長地区では包含層の層厚が最大でも50cm、最高所は同Bラインで203.9mと、(1)遺跡の方が(4)遺跡より高い。包含層は居住域から離れるに従って厚さを減じているといえる。東捨場から東捨場延長地区にかけての地山のエレベーションは図5に示した。(岡本)





## 第2章 東捨場地区の検出遺構と出土遺物

### 第1節 遺構

本編で報告する遺構は、配石遺構4基、土器埋設遺構19基、焼土遺構9基、ピット2基である。欠番はない。遺構番号は遺跡全体での通し番号であり、本編にない番号の遺構は別地区で検出されたものである。整理過程で新たに遺構番号を付したものは、各項で個別に示した。

#### 1 配石遺構

**第15号配石遺構** (SQ15 遺構：図6、写真9 遺物：図6、写真19)

【位置・確認・重複】IVV-49・50グリッドに位置し、KIII層掘削中に確認した。第108a号建物跡(SI108a)に切られているため、配石の西側は原形をとどめていないと思われる。なお、包含層を地山まで掘り下げた後にピットを確認しており、Pit0490・1003のように配石下部において単独で検出された柱穴には本遺構より古いものがあることは確かだが、本遺構と周辺ピットとの先後関係は明瞭でない。

【規模・形状】3.01×0.98mで、南北に長い。頭大の石で方形に組んである。東側は、扁平な礎を立てた状態でほぼ一直線に配置している。列状に配置された礎をおおむね東限として、周囲および西側に礎が散漫に確認される。

【堆積土】遺構を短軸方向に断ち割ったが、明瞭な礎掘方や下部の掘り込みは確認できない。1層は礎下部にある。2・3層は東捨場の堆積土であり、本遺構に直接の関係はもたない。遺物は覆土として取り上げているが、掘り込みをもたない遺構なので、遺構確認または配石の下部で出土したものである。

【出土遺物】土器はすべて破片で、出土量は500gほどである。写19-1は十腰内IV群で、報告書II-図118-17と同一個体のようなが接合しない。写19-2は晩期4～5期の鉢である。このほか時期が分かる遺物としては後期7-4期・8期、晩期1b期・2期・3期の有文土器が少量ずつ出土している。写19-12は粗粒玄武岩製の磨製石斧で、刃部と基部が欠損している。

【小結】写19-2から、晩期4～5期に構築された可能性があるが、晩期中葉以降と考えられる第108a号建物跡(SI108a)以前の配石遺構である。 (高橋)

**第34号配石遺構** (SQ34 遺構：図6、写真9 遺物：図6、写真19)

【位置・確認】IVW-54グリッドに位置し、KIII層掘削開始直後に確認した。

【規模・形状】長軸10～30cmの礎6個が、80×40cmの範囲に検出された。遺構周辺には礎が少ないことから人為的に配置されたものと考えられるが、何らかの形状を意図した配置には見えない。S4以外は扁平な礎で構成される。S-5は石皿を転用したものである。

【堆積土】礎を設置した掘方は確認できない。礎の接地面が揃っており、KIII層の中の平坦な場所に礎を置いたと考えられる。

【出土遺物】遺構に直接伴う遺物はなく、配石の下から出土したP-2456は非掲載である。周辺では礎設置レベルの下位から晩期3期の土器が出土している。写真19-13は配石S-5として使われた石皿である。

【小結】 検出層および周辺遺物から晩期3期の遺構と考えられる。 (岡本)

#### 第48号配石遺構 (SQ48 (旧ブロック1) 遺構：図7、写真10・11 遺物：図7、写真20)

【位置・確認・重複】 IVU-54・55グリッドに位置する。表土を除去したところ、KIII1層で遺物と礎の集中を確認した。調査中は、遺物の集中からブロック1としたが、礎がまとまって分布していることから、整理過程で配石遺構に変更した。西側に第82号土器埋設遺構が重複する。周辺に土器埋設遺構や、潰れた状態の深鉢形土器などが複数確認されている。

【規模・形状】 3.92×2.46mの楕円形である。セクション4には、配石が見られないうえ、平成23年度調査の所見で一帯に遺構・遺物は希薄であるので、南限はセクション4のベルトまでと考えられる。拳大から頭大の礎によって構成されている。

【堆積土】 掘り込みなどは確認できなかった。

【出土遺物】 ブロック1として取り上げた遺構周囲の土器は、重量0.7kgである。ほとんどが晩期3期に属する。ブロック1は上下に分けて取り上げられているが、ともに晩期3期の土器が出土しており時期差は認められない。晩期3期の一括資料であるが、完形にならないものが多い。

【小結】 周辺から出土した土器により、晩期3期頃に構築されたと考えられる。 (高橋)

#### 第49号配石遺構 (SQ49 遺構：図6、写真9)

【位置・確認・重複】 IVW-52グリッドに位置する。ブロック6の範囲内にあり、その検出面で確認された。

【規模・形状】 1.45×0.42mで、一列に礎が並んでいる。

【堆積土】 掘り込みはもたず、KIII1f層の中に礎が並ぶ。

【出土遺物】 遺構に直接伴う遺物はない。

【小結】 ブロック6の出土遺物から、晩期前葉以前に構築されたと考えられる。 (高橋)

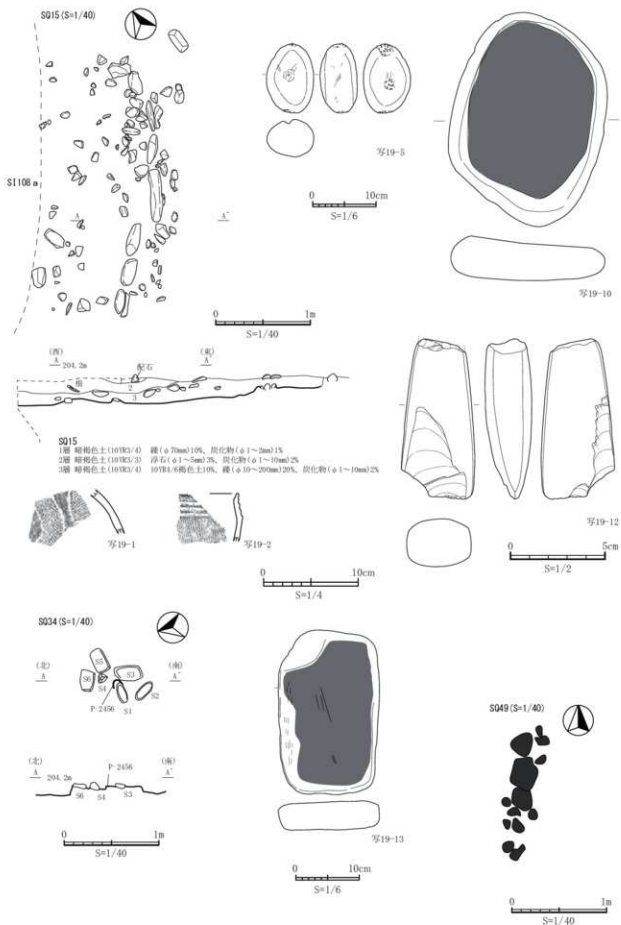


図6 東捨場地区 配石遺構(1)







## 2 土器埋設遺構

第48号配石遺構の周辺で多数確認できた。すべて倒立状態で設置されているが、セクションを観察する限り、堀方が確認できなかった。第49号土器埋設遺構に長いトレンチを入れ、堆積状況を確認したところ(図10)、旧地表面と思われる層(KIII2層)の境に口縁部が乗せて設置してあることが判明した。先行して調査した他の土器埋設遺構についても、写真で確認したところ、すべて同じような状態であった。また同時期の土器の多くが、土器埋設遺構と同じレベルで確認できた。これらの特徴を鑑みて、東捨場で確認できた土器埋設遺構は、土坑を構築し、その中に設置したのではなく、地面に逆さまの状態を設置したと推定される。

これ以外に、近くで押しつぶされた様に出土した深鉢形土器も、埋設土器と認定しなかったが、本来は倒立状態で設置していたかもしれない。ただ、倒立状態であることを積極的に言えるだけの情報はなかったため、以下、調査時に倒立状態で確認できた資料を土器埋設遺構として報告する。

類例は、岩手県北上市九年橋遺跡第8次調査、1号埋設土器である(藤村1985)。深鉢形土器を逆さまの状態で地山面上に置いたものである。土器周辺には掘り込み面等は確認されないため、同報告書では、意図的に置かれたものかどうかは不明であると報告している。また、川原平(1)遺跡に隣接する川原平(4)遺跡においても、第27号土器埋設遺構が同じ特徴を有しており、東捨場一帯にこのような遺構がまとまって検出されたと言えよう。(高橋)

### 第37号土器埋設遺構 (SR37 遺構:図8、写真14)

【位置・確認】IVW-52グリッドに位置する。KIII1d層で確認された。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は、KIII層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】土器内は褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】ブロック6の近辺なので晩期前葉以前の可能性もあるが、このような埋設状態の土器は、晩期中葉に比定されるものが多いので、時期は新しくなる可能性もある。(高橋)

### 第38号～第40号土器埋設遺構 (SR38・SR39・SR40 遺構:写真14 遺物:図11、写真21)

IVW-52グリッドに位置する。半載したところ、掘方が確認できなかった点と、土器が断片だったので、現場では土器埋設遺構と認定せず、SR番号をつけて取り上げた。図面などの記録は取らなかった。

その前で調査したSR37については、掘方が見えなかったが、土器が逆さまに置かれた状態であったので、掘方が確認できないのは、土の影響と考えた。しかし、その後SR41など、掘方が不明確なものが、多数確認でき、SR38～40も類似した遺構の可能性もあると判断し、土器埋設遺構の所に掲載した。ただ、土器の時期が晩期前葉や、正位の状態を確認できたものもあるなど、SR37、SR41以降と様相が異なる。そのため、土器埋設遺構でない可能性は高い。

(高橋)

**第41号土器埋設遺構** (SR41 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。土器は口唇部に突起を持つ深鉢形土器である。

【堆積土】土器内は黄褐色・褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第42号土器埋設遺構** (SR42 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】深鉢形土器の内側に、台付鉢形土器(写21-4)が確認できた。石鏝(写21-5)が粗製深鉢の下で出土しているが、構築場所が捨場であることから積極的に埋納したものかどうかは疑問がある。

【小結】土器内部から出土した台付鉢形土器から、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第43号土器埋設遺構** (SR43 遺構：図8、写真14 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の北側に位置する。KⅢ層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く鉢形土器が逆さまに置かれている。その南に土器(写21-6)が散らばるような状態で出土した。口縁部は推定で、KⅢ2層上面に接している。土器は口縁部に平行沈線を持つ。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】出土土器が晩期2～3期であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第44号土器埋設遺構** (SR44 遺構：図8、写真15)

【位置】IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったため、資料化していない。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】 第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

#### 第45号土器埋設遺構 (SR45 遺構：図8、写真15 遺物：図11、写真21)

【位置・確認】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。複数個体の深鉢形土器(図11-2～5・写21-7)がまとまって出土している。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】 土器は後期後葉から晩期前葉であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

#### 第46号土器埋設遺構 (SR46 遺構：図9、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。2個体の深鉢形土器(写21-8・9)で構成されている。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。晩期2・3期の土器片と剥片が少量出土しているが、図化していない。

【小結】 晩期中葉の埋設土器と考えられる。(高橋)

#### 第47号土器埋設遺構 (SR47 遺構：図9、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。深鉢形土器であるが、本体の接合・復元ができなかったので、底部(写21-10)のみ資料化した。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】 出土土器が晩期2～3期であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。(高橋)

#### 第48号土器埋設遺構 (SR48 遺構：図10、写真15 遺物：図12、写真21)

【位置・確認】 IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。KⅢ1層で確認した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。土器は口唇部に突起を持つ深鉢形土器である(写21-11)。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

#### 第49号土器埋設遺構 (SR49 遺構：図10 遺物：図12、写真21)

【位置・確認】IVU-53グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。KⅢ1層で確認した。

【重複】第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。深鉢形土器(図12-1)と台付鉢形土器(写21-13)であるが、本体の接合・復元ができなかったので、底部のみ資料化した。

【堆積土】土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

#### 第77号土器埋設遺構 (SR77 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KⅢ2上層を掘り込んで埋設されている。P-2634として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が正位で出土した。土器は資料化していない。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)

#### 第78号土器埋設遺構 (SR78 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KⅢ2上層を掘り込んで埋設されている。P-2675として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が逆位で出土した。土器は資料化していない。

【伴出遺物】埋納物なし。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)

#### 第79号土器埋設遺構 (SR79 遺構：図9)

【位置】IVY-52グリッドに位置する。KⅢ2上層を掘り込んで埋設されている。P-2676として取り上げた。整理過程で遺構番号を付した。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】掘方は確認できなかった。口縁・底部を欠く粗製深鉢が正位で出土した。土器は資料化していない。

【小結】周囲の焼土遺構との関連から、晩期前葉の可能性が高い。

(岡本)

**第80号土器埋設遺構** (SR80 遺構：図9 遺物：図12、写真21)

【位置】 IVV-55グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。土器は口縁部に羊歯状文と突起を持つ鉢形土器である(写21-14)。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 土器の特徴から、晩期3期と考えられる。(高橋)

**第81号土器埋設遺構** (SR81 遺構：図9)

【位置】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の西側に位置する。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったもので、資料化していない。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

**第82号土器埋設遺構** (SR82 図7)

【位置】 IVU-54グリッドに位置する。第48号配石遺構の範囲内にある。

【掘方・土器埋設状況・埋設された土器の状態】 掘方は確認できなかった。底部を欠く粗製深鉢形土器が逆さまに置かれている。口縁部はKⅢ2層上面に接している。本体の接合・復元ができなかったもので、資料化していない。

【堆積土】 土器内は暗褐色土である。

【伴出遺物】 埋納物なし。

【小結】 詳細な時期は不明であるが、第48号配石遺構と関連があるなら、晩期3期と考えられる。

(高橋)

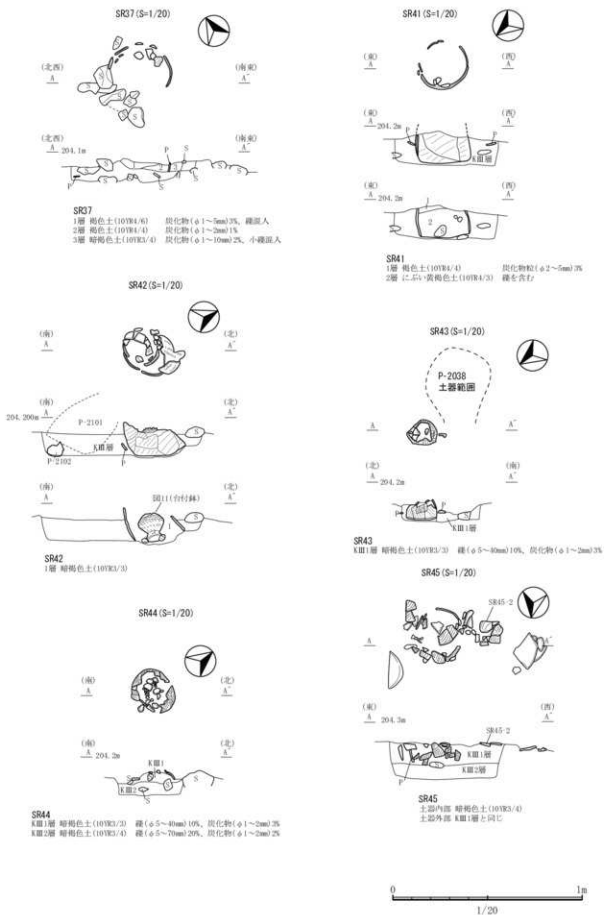


図8 東捨場地区 土器埋設遺構(1)



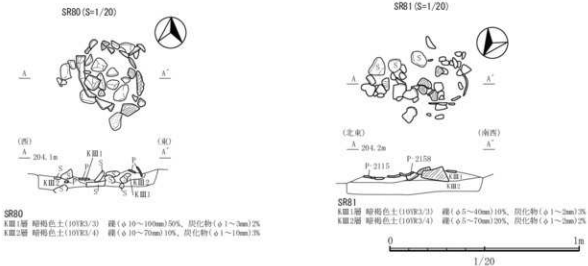
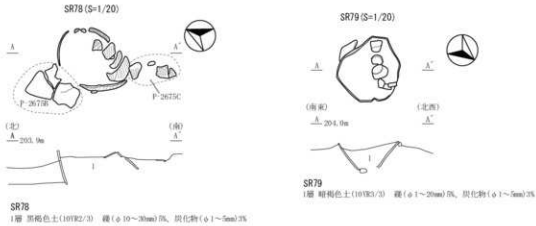
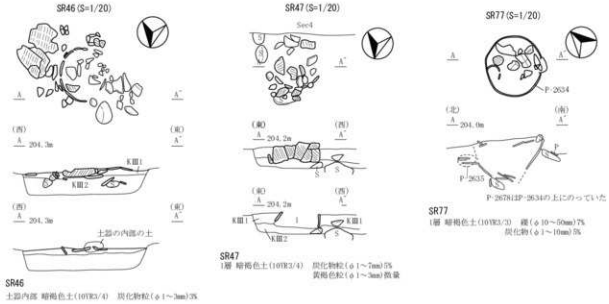
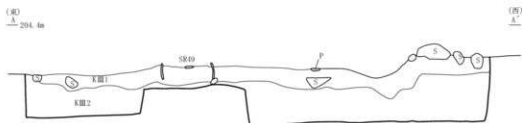
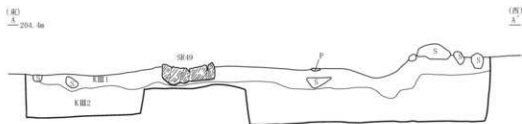
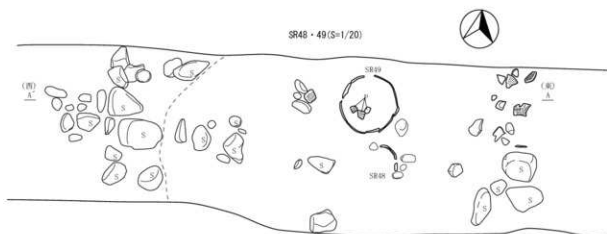


図9 東捨場地区 土器埋設遺構(2)



SR48-49

- SⅡ1層 暗褐色土(10YR3/3) 礫(φ10~130mm)1%, 炭化物(φ1~10mm)2%
- KⅡ2層 褐色土(10YR4/4) 10YR3/4暗褐色土20%, 礫(φ10~90mm)0%, 炭化物(φ1~10mm)2%
- 土器内部 暗褐色土(10YR3/3) 礫1%含む, 炭化物2%



図10 東捨場地区 土器埋設遺構(3)

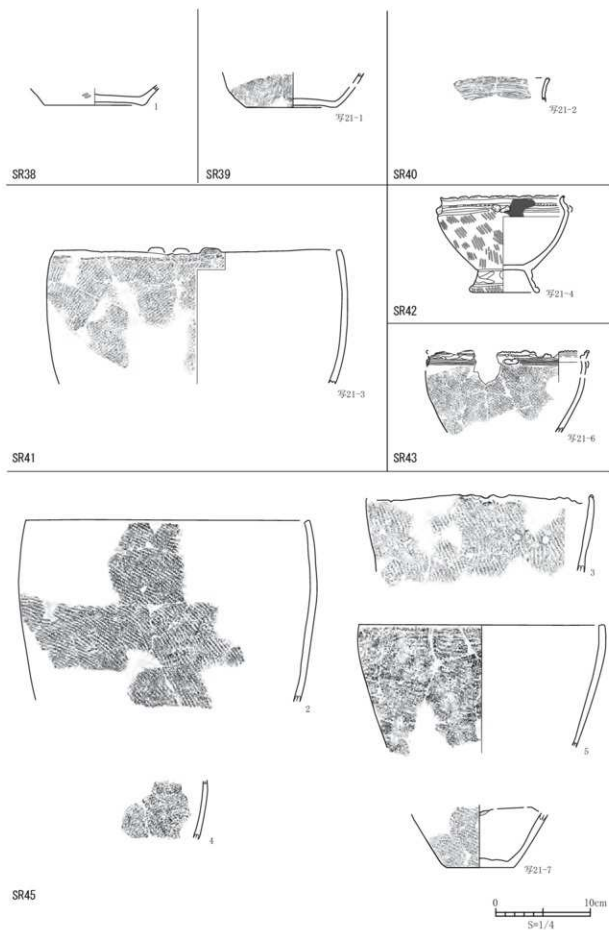


図11 東捨場地区 土器理設遺構出土遺物(1)

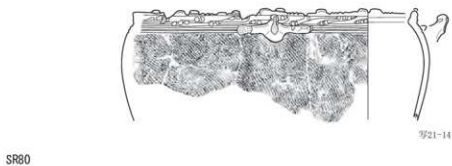
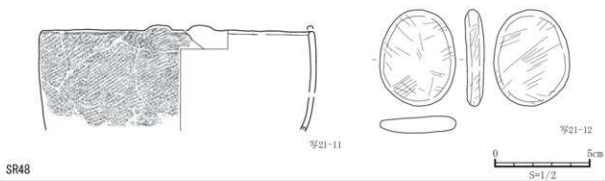
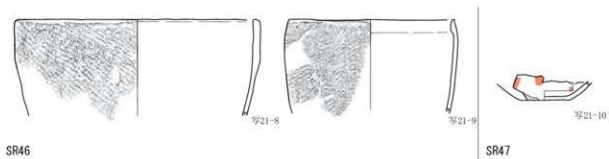


図12 東捨場地区 土器埋設遺構出土遺物(2)

### 3 焼土遺構

#### 第58号焼土遺構 (SN58 遺構：図13、写真6 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】IVW-52グリッドのKⅢ1d層で確認された。検出面では炉外にも炭化物や焼土の散布が確認できる。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN59に隣接し同一面で検出されたが、直接の切り合いはなく、先後関係は不明である。ブロック17と重複し、本遺構が新しい。

【規模・形状】石囲炉で、炉石は完存している。長径10～25cmの石9個を外径50cmほどの円形に配置しており、その内部を炉外よりも5cmほど掘り窪めて火床面としている。火床面は直径30cmの円形で、炉石には明瞭な被熱痕跡はない。

【堆積土】断面図の※層は、炉外に広がる炭化物を含む焼土層で、取り上げ層位は周辺焼土である。1層は遺構廃絶後の堆積土で、焼土や炭化物、土器を含む。2層は遺構の構築に伴う攪乱を受けていないKⅢ1d層で、上面が被熱している。被熱の深さは3cmである。

【出土遺物】土器は小片のみで、遺構に伴うというより当時の地表に散らばっていたものではないかと考えている。写22-1は1層で出土しており、晩期1a期の可能性がある。写22-2・3は周辺焼土で出土した。2は晩期前葉に属す。周辺出土炭化材C-1はクリと同定され（樹種同定No.170）、炭素年代測定結果は2910±20yrBP（KAWA(1)-69）である。また、1層出土土焼骨（種は同定できず）の炭素年代測定結果は、2850±20yrBP（KAWA(1)-164）であった。

【小結】出土土器から晩期前葉以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期と晩期1b期の土器が出土しており、矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、出土土器や炭素年代測定結果から考えて、晩期前葉の遺構と判断しておきたい。

#### 第59号焼土遺構 (SN59 遺構：図13、写真6 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】IVX-52グリッドのKⅢ1d層で確認した。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN58に隣接し同一面で検出されたが、直接の切り合いはなく、先後関係は不明である。ブロック17と重複し、本遺構が新しい。

【規模・形状】石囲炉である。北半の石は抜き取られたようで、3個の炉石が残存している。確認できる最大外径は65cmである。明瞭な火床面は確認できず、炉石も被熱していない。

【堆積土】堆積土中に焼土は確認できない。炉石内外に同質の土が認められ、KⅢ1d層を10cmほど掘り窪めて構築している可能性がある。セクションラインでは炉石の掘方は確認できない。炉石の内側を1層（炉内）、外側を2層とした。平面図の炭化物位置は炉底面の可能性がある高さである。

【出土遺物】土器は小片のみで、遺構に伴うというより当時の地表に散らばっていたものではないかと考えている。写22-5・6は炉内出土で、いずれも晩期1b期と考えられる。写22-4は炉外出土で、晩期の粗製土器である。1層出土炭化材はクリと同定され（樹種同定No.171）、年代測定結果は2850±20yrBP（KAWA(1)-70）である。平面図に出土位置を示した炉底面出土炭化材の年代測定結果は2830±20yrBP（KAWA(1)-71）である。

【小結】出土土器から晩期1b期以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期2期の土器が出土しており、矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土している

ため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、出土土器や炭素年代測定結果から考えて、晩期前葉の遺構と判断しておきたい。

**第60号焼土遺構** (SN60 遺構：図13、写真7・8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】IVY-52グリッドのKⅢ1d層で確認した。炉の周囲に貼床や硬化面は確認できなかった。SN65・66とは直接重複しないが、両者より上位の層準で検出されており、本遺構が新しい。

【規模・形状】地床炉で、掘り込みは伴わない。火床面は55×40cmの楕円形である。

【堆積土】掘り込みをもたないため、炉に伴う堆積層はない。KⅢ1d層が被熱しており、1層は被熱部分で、被熱の深さは5cmである。2層はKⅢ1d層である。

【出土遺物】焼土胎で写22-7が出土しており、後期後葉～晩期前葉の台付鉢の台部である。遺構に伴うものではなく、機能時の地表面にあったものであろう。このほかに時期の分かる破片は出土していない。

【小結】出土土器から晩期前葉以降に構築されたものである。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており矛盾はない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、直近の出土土器から、晩期前葉の遺構と判断する。

**第61号焼土遺構** (SN61 遺構：図14、写真7・8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN62と同一平面であるが、直接重複しないため新旧関係は不明である。SN63より検出標高が高いため、本遺構が新しい可能性がある。

【規模・形状】石囲炉である。炉石は6個確認でき、全周していない。明瞭な抜き取り痕が確認できないので、当初から全周していなかった可能性もある。現存する炉石の掘方も確認できなかった。炉の外径は直径60cm、火床面は40×30cmの楕円形である。

【堆積土】1・2層は廃絶後の堆積土である。2層の厚さから考えて、炉内は周囲よりやや掘り窪めていた可能性が高い。3層はKⅢ1d層が被熱したもので、被熱の深さは7cmである。

【出土遺物】2・3層から土器片が少量出土したが、時期の分かるものはない。写22-10・11は1層で出土しており、炉の廃絶後の土器と思われる。10は晩期、11は晩期～中葉の粗製深鉢である。2層出土土焼獣骨（種は同定できず）の炭素年代測定結果は、2630±20yrBP (KAWA(1)-166)である。写22-8・9は炉石に転用された礫石器である。

【小結】本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、遺構の構築はそれ以後と判断できる。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、周囲の焼土遺構との関係から、晩期前葉の遺構と判断する。焼獣骨の年代測定結果は、遺構の推定時期に対してやや新しい年代を示す。

**第62号焼土遺構** (SN62 遺構：図14、写真7・8)

【位置・確認・重複】VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN61と同一平面であるが、直接重複しないため新旧関係は不明である。SN63より検出標高が高いため、本遺構が新しい可能性がある。

【規模・形状】火床面の西側に2点の石が確認できるが、炉石とするには小ぶり、火床面を囲むよ

うにも見えないため、本遺構は地床炉と判断する。火床面は直径25cmの円形である。

【堆積土】 炉に伴う堆積層はなく、構築にあたって掘り窪めた痕跡もない。1層はKⅢ1d層が被熱したもので、被熱の深さは5cmである。

【出土遺物】 なし。

【小結】 本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、遺構の構築はそれ以後と判断できる。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、周囲の焼土遺構との関係から、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第63号焼土遺構 (SN63 遺構：図14、写真8 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】 VA-53グリッドのKⅢ1d層で確認した。SN61・62よりも下位に位置する。

【規模・形状・土器埋設状況】 土器埋設炉で、煮沸痕跡のある粗製深鉢を転用し、正位に埋設している。土器の周囲にも焼土が確認された。埋設された写22-12は晩期の深鉢である。底部が完全な平底であることから、晩期前葉以降と判断される。口縁は確認されないが、埋設時に打ち欠かれたものか、埋設後に欠損したものかは不明である。

【堆積土】 炉体土器よりも一回り大きな掘方を持ち、炉体土器の底部は掘方底面には接していない。炉内堆積土は3細分され、焼土は土器の中位で確認された。

【出土遺物】 炉内堆積土から後期8期と晩期2期の土器片が少量出土した。機能時の混入である。

【小結】 炉内出土土器から晩期2期以降と判断でき、炉体土器の底部形状が平底を呈することと調和的である。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土しており、これと矛盾しない。KⅢ1d層全体では晩期3期に下る土器が出土しているため、晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当たらないため、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第64号焼土遺構 (SN64 遺構：図15、写真9 遺物：図16、写真22)

【位置・確認】 VA-53グリッドに位置する。2014年にセクションベルト内で確認し、2015年に精査した。KⅢ1d層上面に作られている。

【規模・形状】 大小の炉石が1m×70cmの楕円形、あるいは隅丸方形に配置される。南側に位置する直径30cmほどの丸石は、炉石ではない可能性がある。炉石の配置には隙間がある。炉石には掘方を伴うが、隙間の部分では掘方が検出できないので、当初から密に配置されてはいなかったと考えられる。火床面は50×40cmの楕円形である。火床面の中央がやや窪んでおり、炉内がやや掘り窪められていた可能性がある。

【堆積土】 炉に伴う堆積土は確認されず、KⅢ1d層が被熱している。被熱の深さは8cmである。

【出土遺物】 1層から少量の土器片が出土している。焼土に伴うというよりも、当時の地表面にあった土器ではないかと考えられる。有文土器の時期は、後期8期と晩期1b期で、写22-13は晩期1b期の鉢である。写22-14は石皿で、火床面より上位で出土したため、本遺構に直接伴うものではないかもしれない。

【小結】 出土土器から晩期1b期以降の遺構である。本グリッドのKⅢ1d層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土している。晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当た

らないため、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第65号焼土遺構 (SN65 遺構：図15、写真9 遺物：図16、写真22)

【位置・確認・重複】2014年に確認し、2015年に精査した。IVY-52グリッドに位置し、KIII2上層を掘り込んで作られている。SN66・ブロック19より上位に位置しており、本遺構が新しい。

【規模・形状・土器埋設状況】火床面の周囲で土器が出土しており、土器埋設炉の可能性が高い。西半分は掘りすぎたため全容がつかめないが、火床面は20×15cmの楕円形に広がるようである。底部を欠く粗製深鉢を倒立状態で埋設している。埋設された土器の下端（口縁）まで焼土が確認される。写22-15は埋設された土器本体である。煮沸痕跡のある粗製深鉢を転用している。

【堆積土】土器の周囲に土層の乱れがあり、土器に対してやや大きな掘方が想定できる。土器内に焼土があることが確認できる。

【出土遺物】埋設された土器以外の遺物は確認できない。

【小結】晩期1期までが出土しているブロック19より新しいことから、晩期前葉以降の遺構である。本グリッドのKIII2上層では後期7-4期～晩期1b期の土器が出土している。晩期中葉の可能性がないわけではないが、積極的に中葉に下げる理由は見当たらないため、晩期前葉の遺構と判断する。

#### 第66号焼土遺構 (SN66 遺構：図15、写真9)

【位置・確認・重複】2015年に精査した。IVY-52グリッドに位置し、KIII2層の上面に作られている。SN65より下位、ブロック19の上位に位置する。

【規模・形状】地床炉である。40×20cmの楕円形に火床面が広がる。

【土器埋設状況】底部を欠く粗製深鉢を倒立状態で埋設している。掘方は確認できなかった。埋設された土器の下端（口縁）まで焼土が確認される。

【堆積土】掘り込みはもたず、KIII2層が被熱している。被熱の深さは5cmである。

【出土遺物】なし。

【小結】晩期1期の廃棄単位であるブロック19の上位に位置するため、晩期前葉以降の遺構である。本グリッドのKIII2層では晩期3期までが出土しているため、遺構の帰属時期は晩期1期から晩期3期までで考える必要があるものの、周辺焼土の帰属時期から積極的に晩期中葉に下げる理由は見当たらない。ここでは晩期前葉の遺構と判断しておく。

(岡本)

## 4 ビット

報告範囲内の柱穴は、建物跡を構成するものを含め、多くは包含層掘削終了後に地山面でも確認したものである。ただし、それはKIII層中での確認が困難であったためであり、柱穴の構築が包含層形成以前に遡るわけではない。なお、東捨場地区で検出されたものは報告書IVの平場地区で報告することとし、本項では村道地区で検出された2基について記載する。

Pit1929はIVU-56、Pit1932はIVV-56に位置し、地山面でも確認した。詳細は遺構一覧表に記載した。

(岡本)



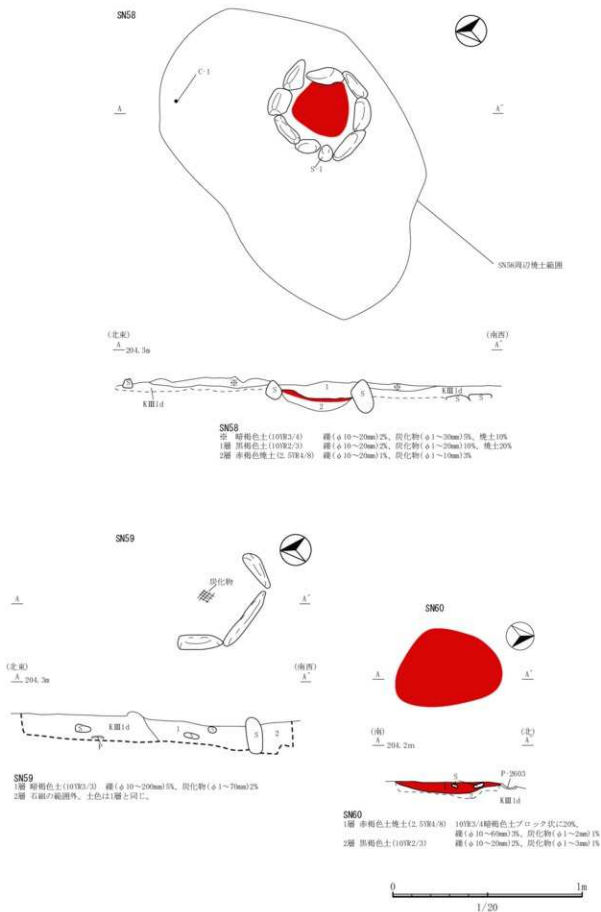


図13 東捨場地区 焼土遺構(1)

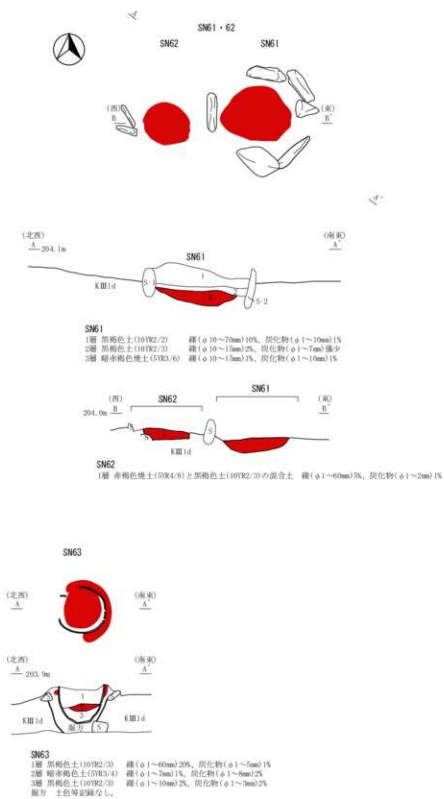
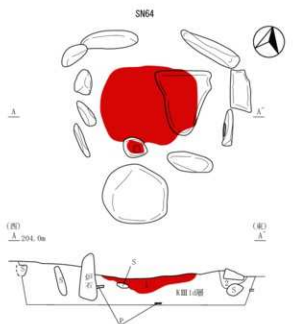
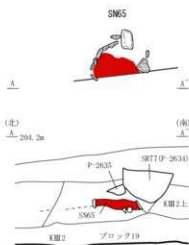


図14 東捨場地区 焼土遺構(2)



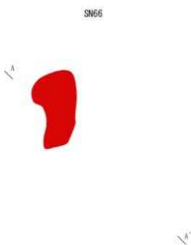
SN64

1層 褐色土(7.5YR4/6) 7.5YK3/4(暗褐色土10%, 炭化物(φ1~70μ)17%  
2層 暗褐色土(10YK3/4) 炭化物(φ1~3μ)1%



SN65

SN65 1層-P-2635焼土 赤褐色土(10YR4/8) 炭化物(φ1~2mm)5%



SN66

1層 赤褐色土(7.5YR4/6) 炭化物(φ1~3mm)10%

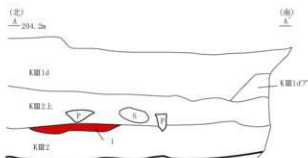


図15 東捨場地区 焼土遺構(3)

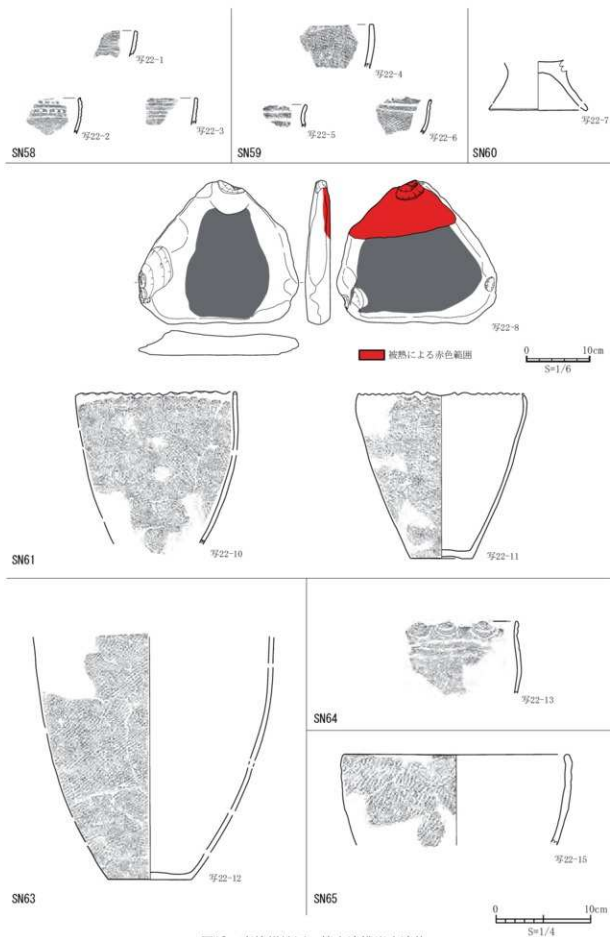


図16 東捨場地区 焼土遺構出土遺物

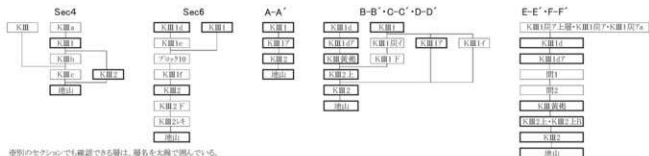
## 第2節 東捨場

### 1 概要

東捨場は平坦地に形成された捨場である。捨場に堆積した土（遺物包含層）は、遺構掘削残土、廃棄された遺物および有機物、あるいは廃棄物の腐臭を覆うためにかけられた人為堆積土である。もちろん、人為堆積の窪みに溜った水成や風成による自然堆積土の存在は否定しないが、盛土と呼称されることもある人為堆積が基本であることを押さえておく必要がある。地山の上に堆積した土の厚さは柱穴が検出されている区域よりも厚いので、縄文時代集落の集落機能時には写真5-7のように周囲よりは若干の高まりがあったと推定されるが、細別各層がおおむね水平に堆積していることから、土まんじゅう状の盛土がこの地区に形成されていたわけではなさそうである。この意味では平場地区の盛土遺構とは異なる廃棄域であり、時期的な差によるものであろう。捨場内に焼土遺構や配石遺構、土器埋設遺構がみられることから、土地利用のあり方は南捨場との共通性が高い。なお、土層の区分は主に色調によってなされており、1回の廃棄単位を認定できるような細かな線引きはしていない。堆積土中に焼獣骨の碎片が多数含まれることは、ほかの捨場とも共通する。

遺物の出土状況を観察すると、一回の廃棄で多数の土器が捨てられた事を見出すことはできなかった。捨場は小さな廃棄単位の積み重ねで成り立っていると考えられる。廃棄後に移動した土器があることを確実に示すことはできず、離れた場所で出土した破片同士が接合する事も比較的少ないので、廃棄後に土を均したりする行為が頻繁に行われていたようには思えない。そうであれば、捨場内には多数の凹凸があったはずである。ある窪みに別の時期に土器を捨てたとすれば、我々が調査したときには同一レベルで別型式の土器が出土する現象として捉えられる。亀ヶ岡文化の捨場を我々が調査するときは、今回がそうであったように必ず時間との戦いになる。土器や石器など遺物がざくざく出て潮干狩りのような話、時期の古いものも新しいものも混在して出土するので層の上下で時期差は出せないという話など、亀ヶ岡文化の捨場調査の印象論はこのような中で成立するのではないだろうか。

下表はセクションごとの細別層を整理したものである。上部をKⅢ1層、下部をKⅢ2層として大別できるが、いずれにおいても晩期3期の土器が出土しており、層の上下から時間的な差（土器型式の差）を導くことを困難にしている。



個別のセクションでも確認できる層は、厚みを太線で囲んでいる。

主要な層の概要および出土した土器の時期は、下記の通りである。

**KIII 1層**：色調は暗褐色で、礫も多数含まれる。東捨場の地山はロームが基本なので、礫は別の場所から持ち込まれたと考えられる。東捨場の南半に広がりをもつ。後期7-4期～晩期2期の土器は少ない。主体は晩期3期で、復元個体も多い。確実な晩期4期は含まれず、晩期5期が少量出土する。セクションA-A' (図3) では、写29-10の土器とP-2507がどちらも水平に出土している。一時的な地表面に対応する可能性があり、本層の堆積が何段階かに区分できることを示唆する。

**KIII 1d層**：KIII 1d層はKIII 1層とは直接上下を確認できる場所はなく、東捨場の北半に広がりをもつ。色調は黒褐色で、後期7-4期～晩期1b期が多い。晩期2期は少なく、復元率も低い。2013・2014年いずれの調査でも晩期3期の土器が少量出土している。晩期4期以降の土器は含まれない。

**KIII 1炭A層**：炭化物主体の層で、焼土は含まれない。時期は異なるが、北捨場などでも類似した層が確認されている。出土炭化材の放射性炭素年代測定値は $2760 \pm 20\text{yrBP}$ である。

**KIII 1炭I層**：炭化物主体の層で、焼土は含まれない。写36-7の土器は本層に据え置かれたような状態で、逆位で出土したもののだが(写真17-3)、土器埋設遺構とはしなかった。本層出土炭化材の放射性炭素年代測定値は $2920 \pm 20\text{yrBP}$ である。

**KIII 1下層**：KIII 1炭I層の下部にある。後期7-4期～晩期3期が出土している。

**KIII 黄褐**：KIII 1d層とKIII 2上層の間にある。地山ロームに由来すると考えられ、遺構の掘りあげ土の可能性もある。遺物は少なく、後期後葉～晩期前葉の土器が少量出土している。

**KIII 2上層**：KIII 2層より礫を多く含み、色調も濃いことから区分される。KIII 1d層とKIII 2層の間にある。後期7-4期～晩期3期の土器が出土している。出土漆塗膜(特274)の放射性炭素年代測定値は $3060 \pm 20\text{yrBP}$ である。

**KIII 2層**：KIII 1層・KIII 1d層の下部にある。両層よりも色調は淡い。KIII 2層では後期7-4期～晩期1b期の土器が多く、晩期2期は少ない。また、2013・2014年いずれの調査でも晩期3期の土器が少量出土している。晩期4期以降の土器は含まれない。出土漆塗膜の放射性炭素年代測定値は $3050 \pm 20\text{yrBP}$ である。写37-8の土器は台部を欠くもの大きな破損箇所のない状態で、逆位で出土した(写真17-2)。周囲ではあまり土器が出土しておらず、単体で確認した。掘方は確認できず、土器埋設遺構とはしなかった。

**KIII 層**：Sec4にKIII層という区分を設けているが、その場所以外でも土層図作成前には多くをKIII層として取り上げている。

**KIII 上層**：KIII層の上位という意味で相対的に用いており、土層図には表れていない。

**KIII 下層**：KIII層の下位という意味で相対的に用いており、土層図には表れていない。

図17は東捨場および川原平(4)遺跡東捨場延長部分で出土した土器の重量分布である。報告書Ⅱ第5章図④と連続させると、南捨場の区域Fよりもグリッドあたりの出土量が多く、南捨場とは区分される捨場と考えてよい。村道を挟んで遺物量は減るものの、捨場としては川原平(4)遺跡に連続している。1グリッドで出土した土器重量の最大はIVY-52の168.2kgと、南捨場の最大値とほぼ同じで、西、北、北東捨場の最大値の三分の1程度である。平地に形成された捨場ということで堆積量自体が斜面捨場より少なかったことに起因するのだろう。(岡本)



## 2 土器集中範囲（ブロック）

現地調査中に土器が集中して出土した範囲に対して「ブロック」という名称を与えて遺物を取り上げた。見かけの上で土器が集中していることを認定基準としており、集中の度合いは相対的なものである。ブロックの認定基準は南捨場とほぼ同じである。調査過程で一括廃棄をとらえたわけではなく、型式としてのまとまりを抽出できるのではないかと考えたためにグリッドより小さい遺物取り上げ単位を設けたものである。このため本項の検討対象は土器に限定し、「土器集中域」として報告する。ブロック番号は遺跡全体での通し番号であり、空白の番号は本編以外に掲載されている。ブロック1は配石遺構（SQ48）に振り替えた。

図18・19の●印は、取り上げ番号を付した土器の出土位置である。同図では各ブロックの範囲を示しているが、これは取り上げ番号を付さなかった遺物でもその範囲内はブロックとして一括したことを示す。取り上げ番号を付したものは、その範囲外にも存在する場合がある。ブロックとして取り上げた土器以外の遺物は必要に応じて触れるにとどめ、石器は遺物観察表の出土位置の項目にブロック番号を記した。

### ブロック2（遺構：図18、写真12 遺物：図21、写真23）

【位置・確認状況・規模・形状】IVU-51・52グリッドのKⅢ1層で確認した。遺物は4×5mの範囲に半円状に広がっている。

【堆積土】掘り込みはなく、KⅢ1層の中に遺物や自然石が高低差をもたず散在する。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土としている。

【出土遺物】土器はすべて破片で、出土重量は8kgである。後期7-4期、晩期1期、晩期3期が出土している。写23-1は晩期1a期、写23-2は晩期1b期、写23-4・5は晩期3期である。写23-6は香炉頂部で後期に属す。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、復元される土器もないことから、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入しているものでないかと考えられる。

### ブロック3（遺構：図18、写真12 遺物：図21、写真23）

【位置・確認状況・規模・形状】IVU・V-50・51グリッドのKⅢ層で確認した。6.4×3mの楕円形に広がる。ブロック4に隣接し、同一面にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、0.8kg出土した。後期7-4期、晩期1期、晩期3期が出土している。写23-7は後期7-4期、写23-9は晩期1a～1b期、写23-10は晩期3期である。写23-8は後期後葉～晩期前葉の粗製土器である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入しているものでないかと考えられる。



**ブロック4** (遺構: 図18、写真12 遺物: 図21、写真23)

【位置・確認状況・規模・形状】IVV・W-50・51グリッドのKⅢ層で確認した。5×3mの不整形に広がる。ブロック3・5に隣接し、同一面にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、2.5kg出土した。後期7-4期、晩期1a期、晩期2～3期が出土している。写23-11は後期7-4期、写23-12は晩期1a期、写23-13は晩期2～3期である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

**ブロック5** (遺構: 図18 遺物: 図21、写真23)

【位置・確認状況・規模・形状】IVV・X-51・52グリッドのKⅢ層で確認した。4.8×2.8mの楕円形に広がる。ブロック4に隣接し、同一平面上にある。

【堆積土】掘り込みはなく、遺物や自然石が高低差をもたずに散在する。Sec6より、検出面はKⅢ1f層相当である。遺物取り上げ層位はKⅢ層または覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、1.8kg出土した。後期7-4期、後期8～晩期1a期、晩期3期、晩期4期が出土している。写23-14は後期7-4期、写23-15・17は後期8期～晩期1a期、写23-16は晩期4期である。

【小結】異なる時期の土器が混在しており、小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期4期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

**ブロック6・ブロック17** (遺構: 図19、写真12・13 遺物: 図22・23、写真25)

【位置・確認状況・規模・形状】ブロック6は2013年、ブロック17は2014年に調査した。両者は一体のものと考えられ、IVV・W・X-52・53グリッドに5.4×5mの不整形に広がる。検出層は、Sec6よりKⅢ1d層である。SQ49はブロック6の範囲内に位置しており、同時期の遺構と考えられる。

【堆積土】遺物取り上げ層位は、ブロック6がKⅢ層または覆土、ブロック17がKⅢ1d層であるが、一部の遺物は層が混乱しKⅢ1d～f層となっている。写真12-下段左はブロック17の全景だが、遺物の多いところは周囲と比べて礫が多く、土色の黒味が強い場合もある。また、写真13-上段左はブロック17の遺物取り上げ後の状態であるが、掘り込みをもたず、整然と並べられたわけでもない、大小の混在した礫からなる集石が確認できる。このようなあり方は、遺物を捨てるだけでなく、礫を含めて遺構の掘削残土を捨場に廃棄したという人間行動の一端を示していると考えられる。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1a期、晩期1b期、晩期2期、晩期2～3期の土器が出土している。ブロック6は、写24-1が後期8期、写24-2・3・8が晩期1b期、写24-4が晩期1a～1b期、写24-6が晩期2～3期、写24-5・7が後期後葉～晩期である。ブロック17は、写25-3～4・6・10～13が晩期1b期、写25-5が晩期1b～2期、写真25-7・9・14が晩期2期、8が晩期である。このほか、写44-87が晩期2

～3期である。

【小結】晩期3期に下る可能性がある復元個体を含むものの、主体は晩期1b～2期であり、晩期前葉のまとまった資料と考えられる。接合が進まない土器が多く、破損したものを廃棄した可能性がある。

#### ブロック10 (遺構：図19、写真13 遺物：図22、写真25)

【位置・確認状況・規模・形状】IVV-54グリッドに位置し、径2mの半円状に広がる。Sec6の北側を2014年に調査した際には顕著な遺物の広がりは確認できなかった。

【堆積土】掘り込みはもたず、Sec6においてKIII1e層とKIII1f層に挟まれて確認された。遺物取り上げ層位は覆土である。

【出土遺物】土器はすべて破片で、晩期2期、3期の土器が出土している。写25-2が晩期3期、写25-1は晩期前葉の可能性がある。

【小結】小片のみであるため、土器の一括廃棄の様相を認めることはできない。最新の土器から晩期3期の人為堆積で、古い土器は遺構の掘削残土等に混入していたものでないかと考えられる。

(ブロック17はブロック6と連続しているため、ブロック6と合わせて記載している)

#### ブロック18 (遺構：図19、写真13 遺物：図23、写真26)

【位置・確認状況・規模・形状】IVX-Y-52グリッドに位置し、KIII2層で確認された。ブロック19に隣接し、直径約1.5mの範囲に広がる。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器や礫が小規模な山状にまとまっている。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1a期、晩期3期の土器が出土している。写26-1は後期7-4期、写26-2は後期8期、写26-4は後期後葉、写26-6は後期8期、写26-3は晩期1a期、写26-5は晩期3期である。

【小結】晩期3期の土器は破片であり、このブロックにおいては混入と考えられる。後期末葉～晩期初頭の小規模な廃棄単位ではないかと考えられる。

#### ブロック19 (遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真26)

【位置・確認状況・規模・形状】IVY-52グリッドのKIII2層で確認した。1.3m×50cmの楕円形に広がっている。ブロック18に隣接し、SN65・66より下に位置する。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器や礫が小規模な山状にまとまっている。ブロックの中央にはロームが認められる。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期、晩期1期が出土している。写26-7・10は後期7-4期、写26-11は後期8期、写26-9は後期後葉～晩期、写26-8は晩期1b期の可能性がある。

【小結】土器や礫を含む土が小さな山のように検出された。土器の時期が混在していることや、復元率が低いこと、また土壌化していないロームが含まれていることなどから、遺構掘削残土などを廃棄した可能性がある。時期は下限となる土器型式から晩期前葉と考えられる。

**ブロック20** (遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真26)

【位置・確認状況・規模・形状】IVX-52グリッドのKIII2層で確認した。1.3m×50cmの不整な楕円形に広がっている。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器が密集している。顕著な礫は含まれない。

【出土遺物】後期8期～晩期1a期が出土している。写26-12は後期8期、写26-14は後期8期～晩期1a期、写26-13は後期後葉～晩期で、写26-15は後期後葉と考えられる。

【小結】後期末葉～晩期初頭の廃棄単位の可能性がある。

**ブロック21** (遺構：図19、写真13 遺物：図24、写真27)

【位置・確認状況・規模・形状】IVY・VA-52グリッドのKIII2上層で確認した。2.4×1.5mの不整な楕円形に広がる。

【堆積土】掘り込みはもたず、土器が平坦な面を作るように密集している。顕著な礫は含まれない。

【出土遺物】後期7-4期、後期8期～晩期1a期、晩期3期が出土している。写27-1が後期7-4期、写27-3が後期8期、写27-6が後期後葉、写27-2が晩期前葉、写27-4・5が晩期3期である。

【小結】出土状況からは二次的な堆積には見えず、後期末葉～晩期初頭の小規模な廃棄単位ではないかと考えられる。新しい時期の遺物、特に晩期3期のものは破片であり、本ブロック形成後に上部を覆ったKIII2上層の土に含まれていたものと考えられる。

**ブロック22** (遺構：図19、写真13 遺物：図24・25、写真27)

【位置・確認状況・規模・形状】VA-52・53グリッドのKIII2上層で確認した。2.1×1mの楕円形に広がる。近接する焼土遺構より下位で検出され、ブロック23と同一面である。

【堆積土】掘り込みはもたず、遺物と礫が密集している。

【出土遺物】遺物が重なっていたため上下に分けて取り上げたが、一体のものと考えられる。後期7-4期、晩期1a期、晩期1b期が出土しており、下部で出土した有文土器は後期7-4期に限られる。写27-12が後期7-4期、写27-7が後期8期、写27-13が後期後葉、写27-9が晩期1a期、写27-8・14・15が後期後葉～晩期、写27-10が晩期前葉、写27-11が後期後葉～晩期前葉である。写67-3の線刻礫を伴う。また、ブロック内で出土した炭化材を分析し、樹種はニシキギ属と同定され(樹種同定No190)、年代測定結果は3110±20yrBP (KAWA(1)-166)である。

【小結】土器の復元率は低いが、後期7-4期の小規模な廃棄単位と考えられる。炭化物の年代値も本遺跡で測定したものでは比較的古い値が出ており、後期7-4期の年代を示している可能性が高い。新しい時期のものは、本ブロック形成後に上部を覆ったKIII2上層の土に含まれていたものと考えられる。

**ブロック23** (遺構：図19、写真13 遺物：図25、写真28)

【位置・確認状況・規模・形状】VA・B-52グリッドのKIII2上層、ブロック22と同一面で確認した。最大幅2.5、長さ2mの帯状に広がる。近接する焼土遺構より下位で検出され、ブロック22と同一面である。

【堆積土】掘り込みはもたず、周囲に比べ礫が集中しており、その中に遺物が含まれる。

【出土遺物】有文土器は晩期1a期、1b期、2期が出土している。写28-2は晩期1a期、写28-4は晩期1b期、写28-3は晩期2期、写28-1は後期後葉～晩期である。

【小結】土器の復元率は低いが、晩期1a～1b期の小規模な廃棄単位と考えられる。晩期2期の土器は破片であり、本ブロック形成後に上部を覆ったKⅢ2上層の土に含まれていたものと考えられる。

**ブロック24**（遺構：図19、写真13 遺物：図25、写真28）

【位置・確認状況・規模・形状】2015年調査において、セクションベルトE内、IVY-52グリッドのKⅢ2上層で確認した。前年度調査における周辺部の掘り下げの際には顕著な遺物のまともは確認していない。

【堆積土】掘り込みはもたず、KⅢ2上層の中に少量の遺物がまとまる。

【出土遺物】本ブロックとして取り上げた遺物は少量で、完形に復元できるものはない。有文土器は晩期1a期に限られる。写28-5のみ掲載している。

【小結】晩期1a期の小規模な廃棄単位と考えられる。

(岡本)

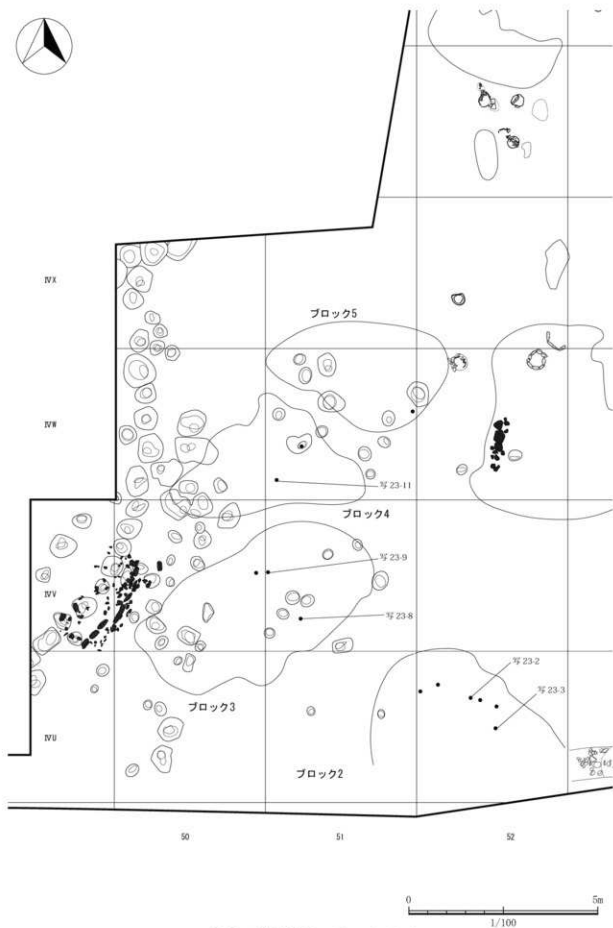


図18 東捨場地区 ブロック(1)

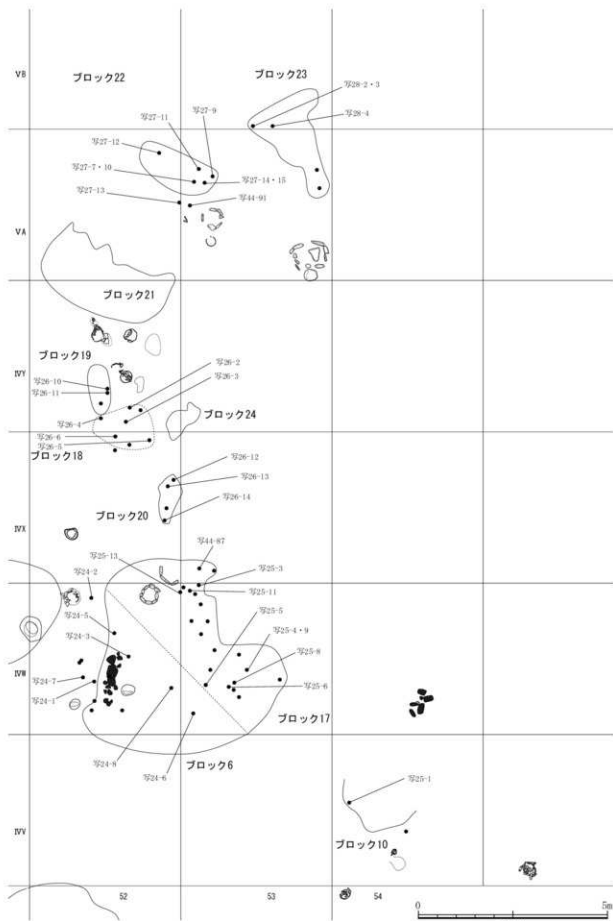


図19 東捨場地区 ブロック (2)



### 3 土器

東捨場地区出土土器の総重量は約1900kgである(図17・表1)。IVW~IVY-52~54グリッドで出土量が100kgを超える。後期後葉から晩期後葉の深鉢・鉢・台付鉢・片口鉢・浅鉢・皿・台付皿・壺・注口がみられ、KⅢ1層からまとまって出土した(図25~30、写真28~40、表7)。

#### I層

晩期1b期の浅鉢(写28-6)、晩期前葉の壺(写28-8)、晩期4~5期の壺(写28-7)が出土した。

#### KⅢ1層

後期後葉から晩期後葉の深鉢・鉢・台付鉢・片口鉢・浅鉢・皿・台付皿・壺・注口が出土した。後期後葉の土器は調査区北東部のIVU-53・IVW-53~IVY-53・IVX-54~55グリッドに分布し、晩期前葉から後葉の土器は調査区全域に分布する。後期後葉の土器は晩期以降と比べて少ない。

深鉢は晩期のものが出土した(写29-6、写30-2, 8, 9)。三叉状の抉りにより装飾的な口縁をもつもの(写29-6)、小波状口縁のもの(写30-9)、平口縁で体部上半に条痕のあるもの(写30-2)がある。

鉢は後期7-4期から晩期中葉のものが出土した(写29-1~5, 7~9, 写30-1, 3~7, 10, 写31-1~3, 5~8)。後期後葉のものは刻目を充填した入組文のある鉢(写29-1・2)がある。晩期前葉・中葉の深鉢は口唇にB突起をもつもの、刻目をもつもの、三叉状の抉りにより装飾的な口縁をもつものなどがある。

片口鉢は晩期2期から4期のものが出土した(写31-9~12)。口唇にB突起を配置し、口縁直下に横走沈線を施したものが多い(写31-10~12)。

台付深鉢は晩期3期のものがある(写31-13)。写31-13は外面に横位沈線4条がみられ、沈線間に退化した羊歯状文がみられ、その下には沈線による雲形文が施されている。内面に漆液が付着していることから漆液を保管・貯蔵した容器と推定される。

台付鉢は晩期1a期から3期のものが出土した(写31-14~16, 18, 35-8)。

台付浅鉢は晩期3期から4期のものが出土した(写31-17, 写32-1)。写31-17は口縁直下に横位沈線が3条みられ、その下に2個一組の突起がある。写32-1は外面に彫去による雲形文が施されている。

浅鉢は晩期3期のものを主体とし、晩期1b期から晩期3期のものがある(写32-2~11, 写33-2~4)。晩期1b期の写33-2は沈線間に入組文が施されたものである。晩期3期のものは体部に沈線あるいは彫去による雲形文を施したものが多い。

皿は晩期3期のものがある。写33-1は装飾的な口縁をもち、外面に彫去による雲形文が施されている。写33-8は口唇に連続するB突起があり、口縁部には粗雑な沈線がみられる。

台付皿は晩期3期のものがある(写33-5~7)。写33-5は連続した三叉状の抉りと斜位の刻目によりB突起状の装飾的な口縁を作出したものである。台内部が黒色光沢であり、塗膜分析の結果、透明漆が1層みられることが判明している。写33-7は台で、外面に彫去による雲形文がみられる。

壺は短頸及び長頸がある(写34-2~12, 写35-1~7, 9, 12)。晩期3期を主体とする。体部に雲形文を施したものと、頸部に隆帯をめぐらしたものがある。写35-12は端部に突起がみられ、外面に刺突列が施された長頸の壺である。写35-15は壺と推定される破片で、沈線・隆帯・突起で人面を表現



している。

注口は後期後葉から晩期前葉のものがある。写34-1・写36-3は円形あるいは縦長の貼瘤をもつ注口である。写36-3は二山状を呈した香炉の頂部で、一方に獣面、もう一方に人面が表現されている。

### KⅢ1d層

IVW-52・IVY-52・IVX-52グリッドに広がる。後期8期の鉢が出土した。写36-4は刻目列による入組文と推定される文様を施した鉢である。写36-5は台形突起と二山状台形突起を2種類交互に配し、入組文の空隙と口縁突起下に三叉文を施した鉢である。写36-6は木葉痕のある底部である。

### KⅢ1炭イ層

晩期3期に相当する台付鉢・壺が出土した。写36-7は連続した三叉状の袂りにより装飾的な口縁のある台付鉢、写36-8は彫去による雲形文のある壺、写36-9は沈線による雲形文のある壺である。

### KⅢ1下層

IVW-53及びIVX-53グリッドで晩期1b期に相当する土器が出土した。写37-1・4は入組三叉文、写37-2は入組文と三叉文、写37-3は入組文と袂りによる三叉文のある鉢である。

### KⅢ2層

VA-52～53及びIVY-52・53グリッドで後期後葉から晩期前葉（後期7-4期～晩期1b期）の土器が出土した。深鉢・鉢・壺・注口・香炉がある。写37-5は口縁直下に刻目列と貼瘤をもつ鉢である。写37-6は入組文の空隙に三叉文のある鉢で後期8期に相当する。写37-7は口唇に沿って刻目列をもつ深鉢である。写37-8は小波状口縁の鉢で、崩れた入組三叉文がみられる。写37-9は沈線文のある台付鉢である。写37-10は口縁直下に刻目列と横位沈線を施した浅鉢と推定される破片、写37-11は沈線と突起で人面を表現し、頭部上方に透かし孔をもつ香炉と推定される土器片である。写37-12・13は高台付きの壺である。写37-13は頸部に隆帯をもち、その上に突起がある。写37-14は高台をもつ注口で、頸部と肩部の境目に円形の貼瘤に円形刺突を施す。

### KⅢ2上層

IVY-52・53及びIVX-53グリッドで後期7-4期から晩期1b期を中心とする土器が出土している。深鉢・鉢・台付鉢・壺・注口がある。写38-1は口縁突起に三叉文、体部に入組文のある台付鉢である。写38-2は短沈線と刺突を交互に配した鉢、写38-3は粗製の台付鉢である。写38-4は山突起と二山突起を交互に配置した台付皿である。写38-6は波状口縁の深鉢である。写38-7は台である。写38-8は壺で内面に赤色顔料がみられ、赤色顔料容器の可能性があり、注口は後期7-4期から後期8期のものが認められる（写38-5・9～12）。注口部が欠損しているものが多いが、基部に二袋状の膨らみのあるもの（写38-11）、一袋状の膨らみのあるもの（写38-12）がある。

### KⅢ2上層B

IVY-53及びVA-53グリッドで後期8期から晩期1b期の土器が出土した。写38-13は2条の沈線間に入組文のある台付鉢、写38-14は沈線文を施した鉢、写38-15は透かし孔を伴う台である。

### KⅢ上層

晩期中葉と推定される短頭の壺（写39-1）が出土した。体部から底部にLR縄文が施される。

### KⅢ下層

IVU-54及びIVV-55グリッドで晩期前葉から中葉の土器が出土した。台付鉢、浅鉢、壺、皿がある。写39-2は沈線間に刺突列を施した台付鉢、写39-3・4は彫去による雲形文のある皿、写39-5は2条の沈線間に彫去による雲形文のある台付き皿、写39-6は雲形文のある壺、写39-7は内外面に赤彩のある壺の底部、写39-8・9は短頭の壺である。

### KⅢ層

口縁に円柱状の突起をもち、入組三叉文を施した鉢（写40-1）、口縁に連続するB突起のある鉢（写40-2）、入組文・三叉文のある台付浅鉢（写40-3）、短頭で寸胴の壺（写40-4）を掲載した。

### 自然科学分析

#### 【炭素・窒素安定同位体比分析】

晩期中葉に相当する片口鉢2点に付着した炭化物の炭素・窒素安定同位体比分析を実施した。分析の結果、写31-9（試料⑪）の内面付着炭化物は主にC<sub>3</sub>植物の堅果類に由来する炭化物、写31-11（試料⑫）の外面粉着炭化物は、C<sub>3</sub>植物に由来する炭化物と推定されている（報告書Ⅷ第7章第5節）。

#### 【土器付着黒色塗膜の分析】

晩期3期の皿類に付着した黒色塗膜の薄片分析及び赤外分光分析を実施した。写33-5（塗膜分析No.16）の台付皿は台内面に黒色塗膜が付着し、光沢を有する。分析の結果、透明漆層が1層塗布されていることが判明した。写35-13（塗膜分析No.17）の皿は外面に黒色塗膜が付着している。分析の結果、黒色漆層1層が確認され、煤など有機系黒色顔料と推定されている（報告書Ⅷ第7章第2節参照）。

（中澤）



ブロック2



ブロック3



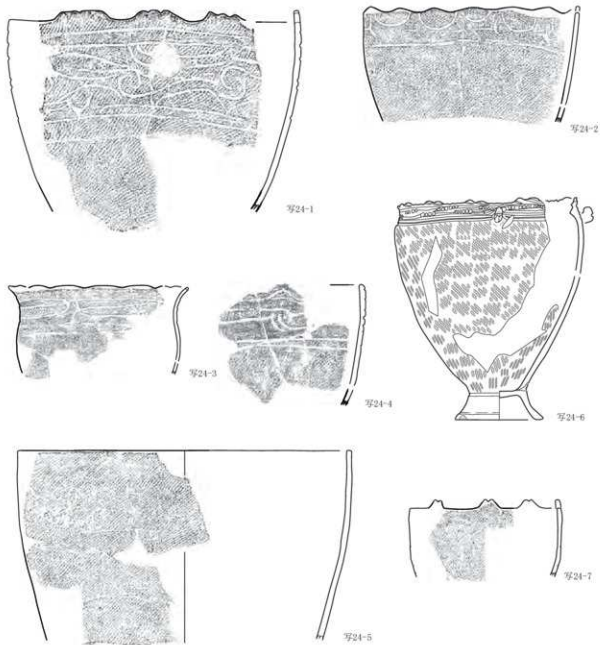
ブロック4



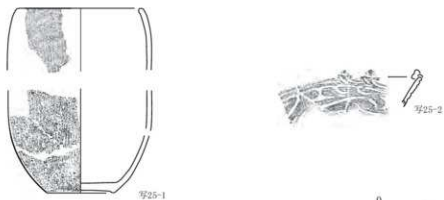
ブロック5



図21 東捨場地区 土器(1) ブロック1・2・3・4・5



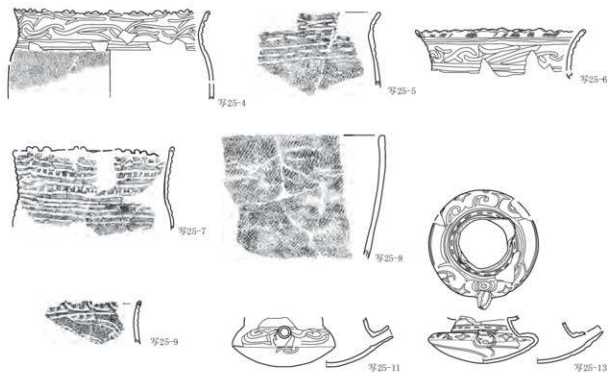
ブロック6



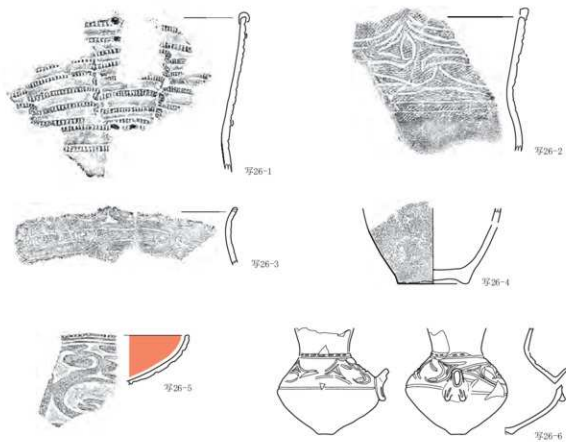
ブロック10



図22 東捨場地区 土器(2) ブロック6・10



ブロック17



ブロック18



図23 東捨場地区 土器(3) ブロック17・18

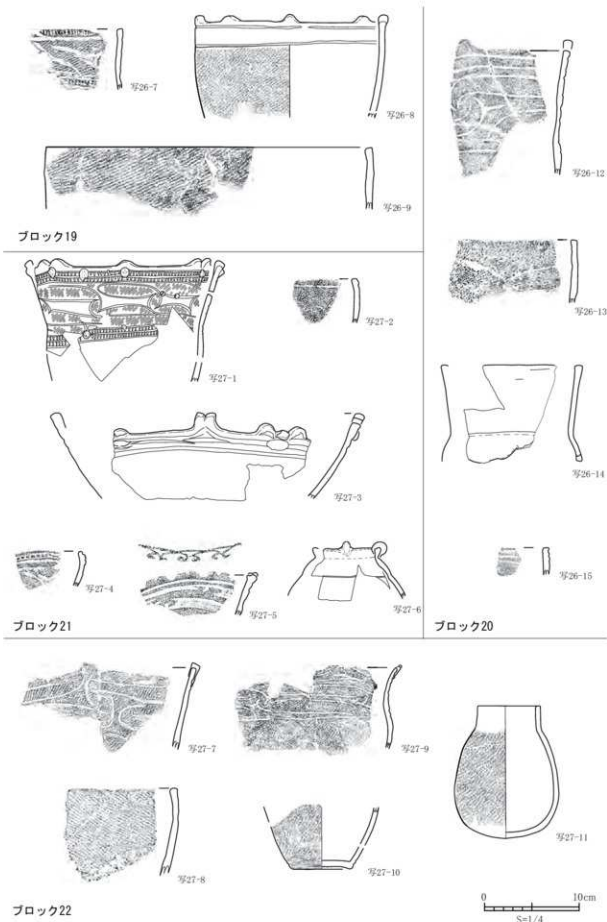


図24 東捨場地区 土器(4) ブロック19・20・21・22

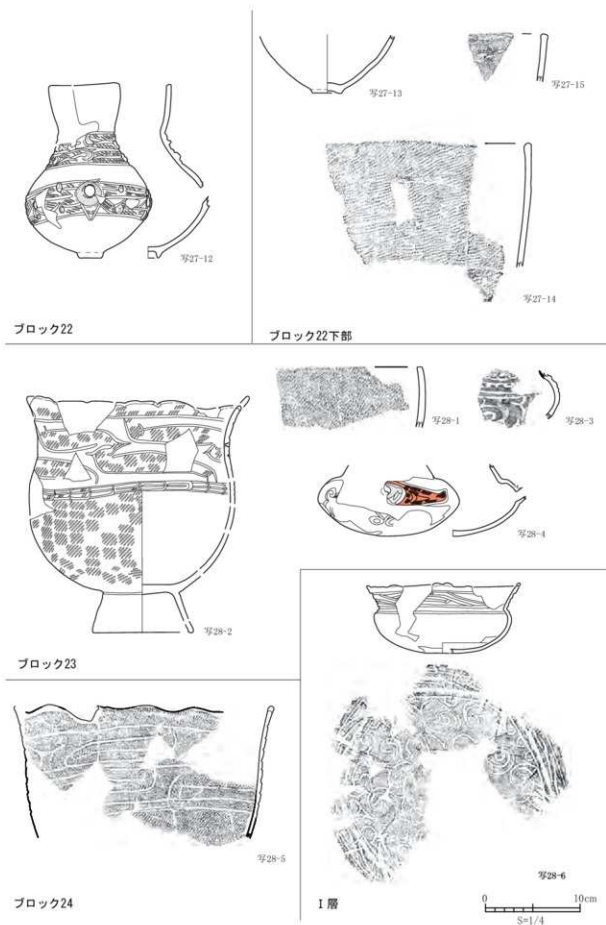


図25 東捨場地区 土器(5) ブロック22・23・24・1層

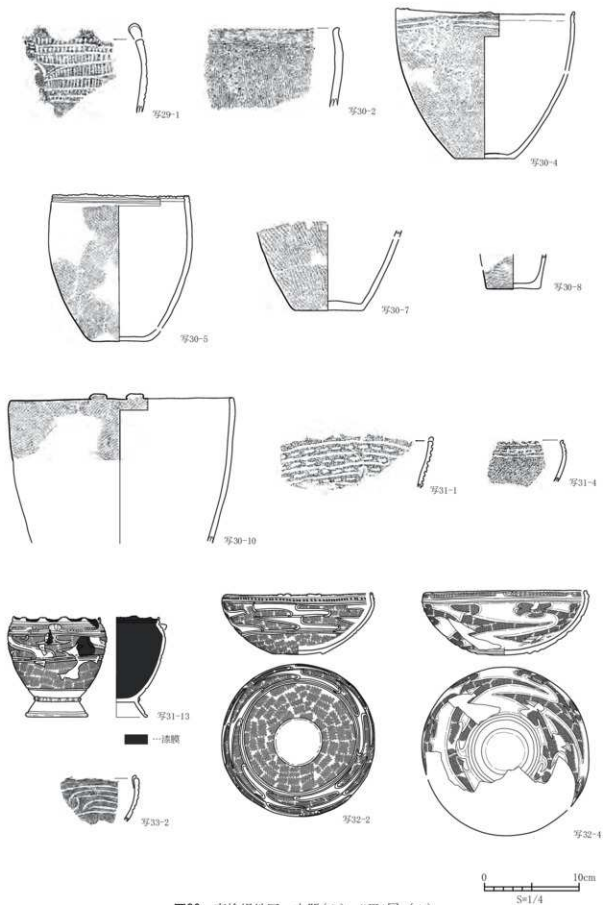


图26 東捨場地区 土器(6) KⅢ1層(1)



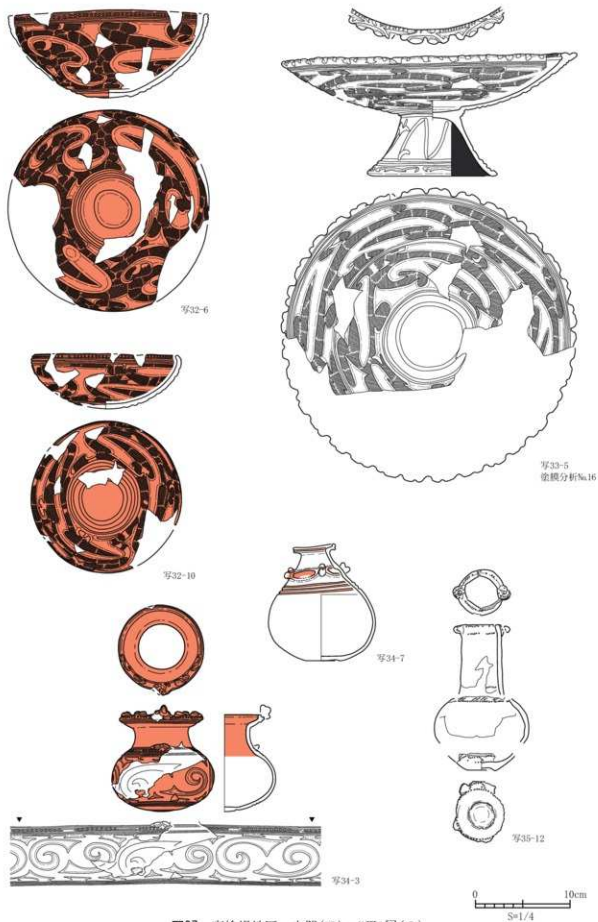


図27 東捨場地区 土器(7) KIII1層(2)

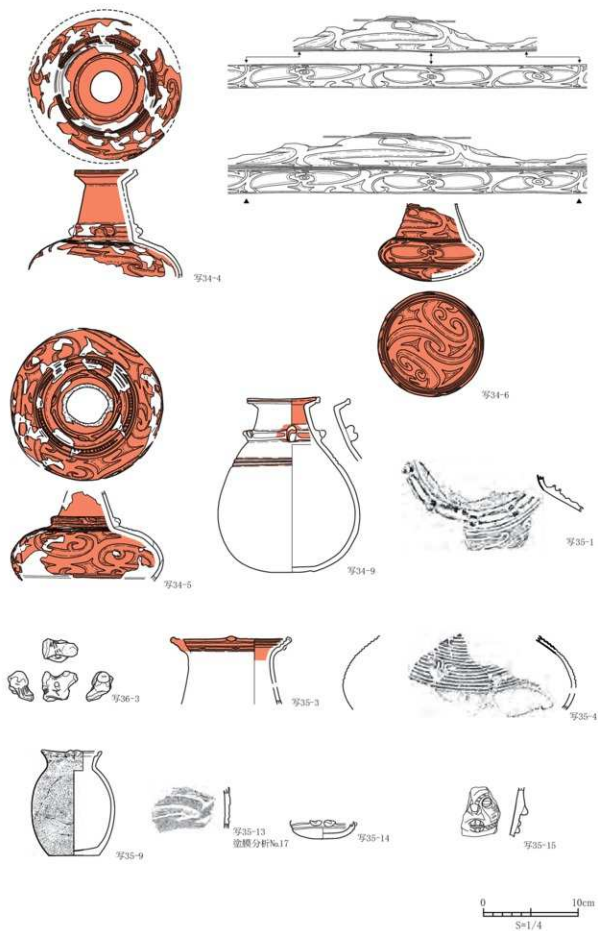
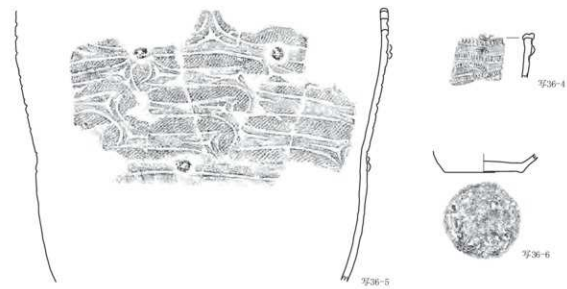


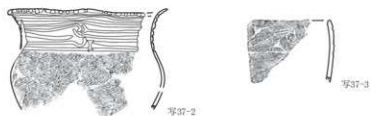
図28 東捨場地区 土器(8) KIII層(3)



KIII 1d層



KIII 1炭イ層



KIII 1下層



KIII 2層

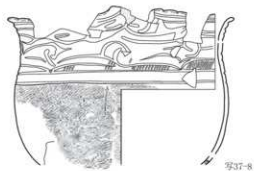


図29 東捨場地区 土器(9) KIII 1d層・KIII 1炭イ層・KIII 1下層・KIII 2層

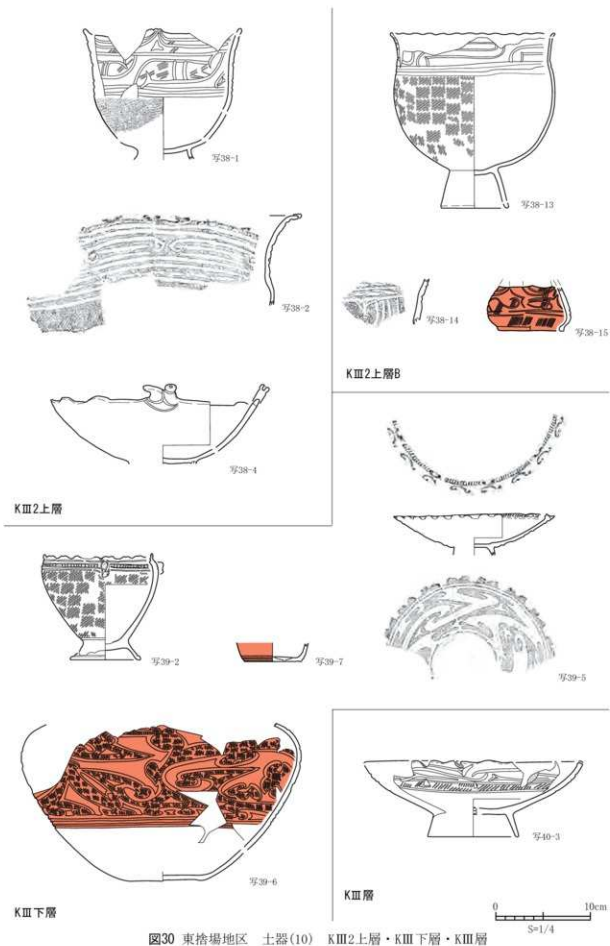


図30 東捨場地区 土器(10) KIII2上層・KIII下層・KIII層

#### 4 土製品

東捨場からは、土偶24点、亀形土偶3点、耳飾り7点、土版1点、スプーン形土製品2点・粘土塊2点、円盤状土製品12点、ミニチュア・小型土器36点の計87点が出土した（図31～37、写真41～44、表8・9）。

**土偶**（図31-1～9、図32-10～18、図33-19～24、写真41・42）

全体の形状は、いかり肩（図31-1）・なで肩（図31-5）で、ウエストがくびれ、腰部がはる形状である。顔面は目を楕円形文様の中心に横一文字の沈線を施す遮光器表現のものと、目・口・鼻孔を刺突で眉・鼻を粘土で貼り付けて表現しているもの（図31-2）もある。15は目を表していない。2は顔の輪郭が円形を呈している。また、耳部が極端に大きく羊の耳のような形態であるが、馬淵川流域にみられる土偶と類似面をもつ。乳房は粘土を用いて貼り付けている。12は内面に輪積み痕跡が確認される。1・5は腹部がふくらんでおり妊婦を表しているものと思われる。16は穿孔がみられる。足部は平坦で自立できるもの（図33-19）と自立できないもの（図31-5）がみられる。文様は、乳房の間に縦位の粘土紐を貼り付け正中線とし、1は左右に渦巻文を施文している。2は顔の周縁にきざみ、ほほに沈線を施文しており土面の技法と類似している。2は首部にアスファルトが付着している。21は中実の蹲踞土偶であり、正面・背面に赤色顔料を塗布している。脚部の間に粘土を用いて男性性器を貼り付けている珍しい例である。

**亀形土偶**（図33-33、図34-35～36）は、すべて破片である。35は先端部にX字状の文様を施文している。36は粘土紐を用いており部位は側縁部と考えられる。

**土製品**（図33-25～31、図34-34、図34-39～51、図35-52～55、写真42・43）

**耳飾り**（図33-25～31、図34-34）の形態は滑車形と耳栓（図33-31）の二種がみられる。文様は34が玉抱三叉文、29が表裏面の側縁に連続刺突、30は中心部に向かって放射状に施文、34は透かし彫りで表現し、耳飾りの中では優品である。

**土版**（図34-39）は、中央部分のみである。残存部から推定すると台形を呈し無文である。

**スプーン形土製品**（図34-40・41）は、把手部が欠損している。文様は縦位方向の短沈線を施文している。

**粘土塊**（図34-42・43）は、直径2.5cmを測り表面が凹凸している。

**円盤状土製品**（図34-44～51、図35-52～55）は、鉢形の胴部破片を用い周縁を打ち欠いて円形に整形している。周縁部は、打ち欠き後に一部擦っているものもみられる。52は底部を用いており、スス状炭化物の付着が多い。直径は3～4cmになるものが多いが、7～8cmと大形なもの（図35-52・53）もみられる。51は中心部に二次穿孔のみられるものである。

**ミニチュア・小型土器**（図35-57～73、図36-74～84、図37-85～91、写真43・44）

鉢は底部から口縁部にかけて外反する形状が多い。66は内面にスス状炭化物の付着がみられる。台付鉢（図35-71・図36-76・77）はスス状炭化物の付着がみられる。壺は体部下半が張り出し頸部が長い長頸壺と頸部が短い短頸壺があり、赤色顔料塗布が多い。80は内面に黒色付着物がみられる。87・90は四足土器であり、90は人面を表現しているものと思われる。図37-91の注口は断面形が算盤形を呈する。  
(成田)

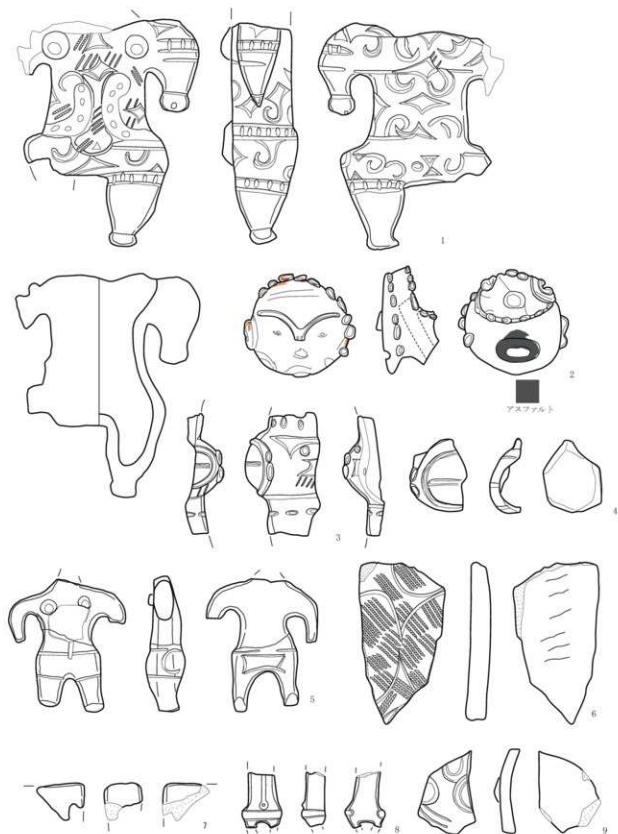


図31 東捨場地区 土製品(1)

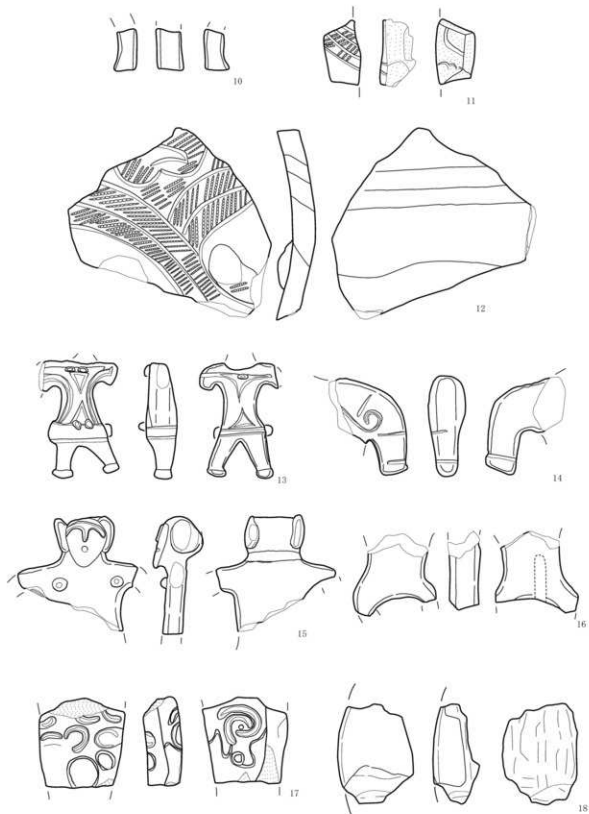


図32 東捨場地区 土製品(2)

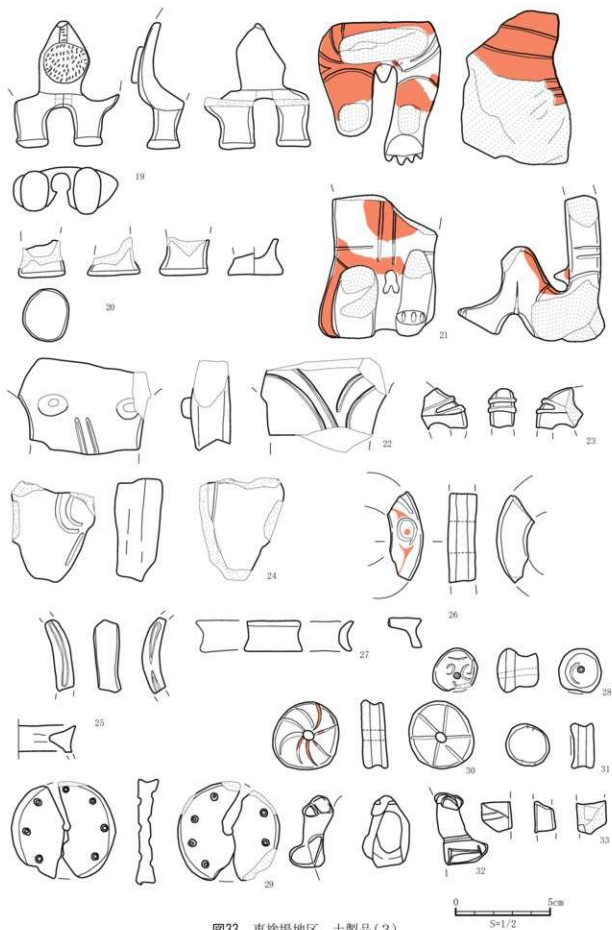


図33 東捨場地区 土製品(3)



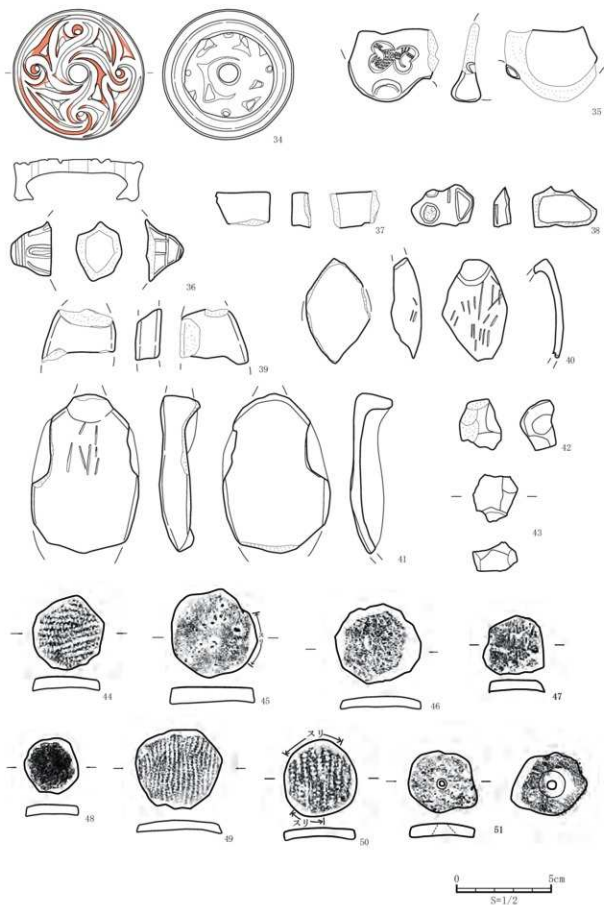


图34 東捨場地区 土製品(4)

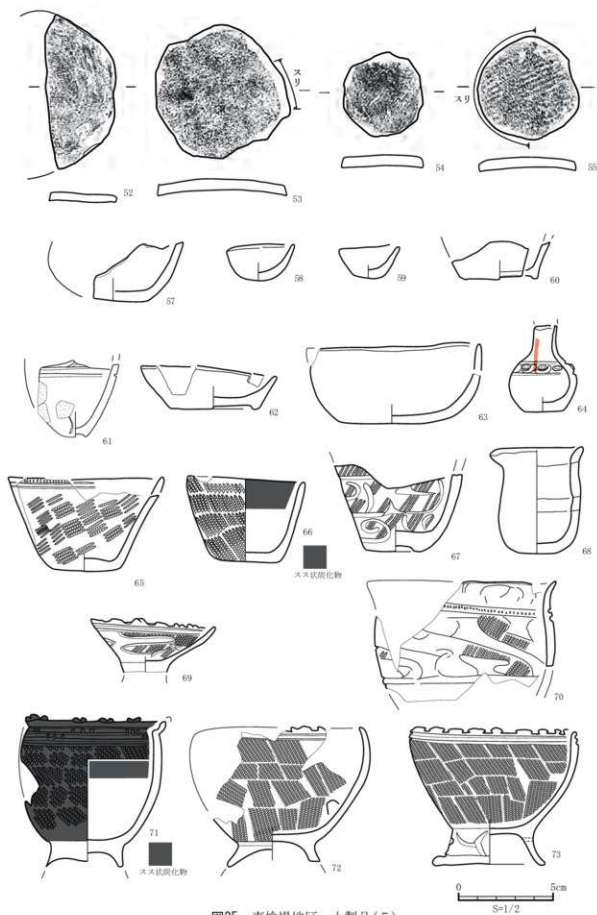


図35 東捨場地区 土製品(5)

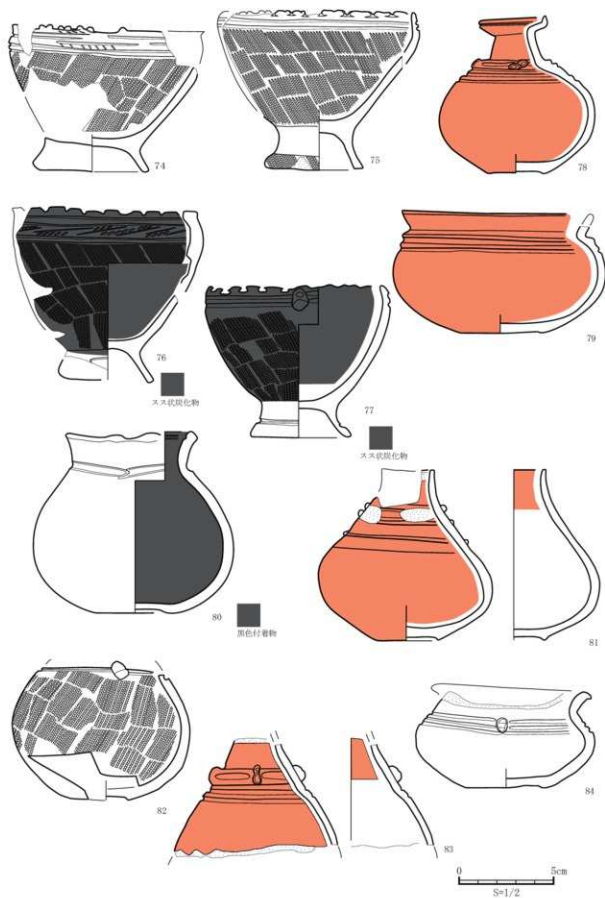


図36 東捨場地区 土製品(6)

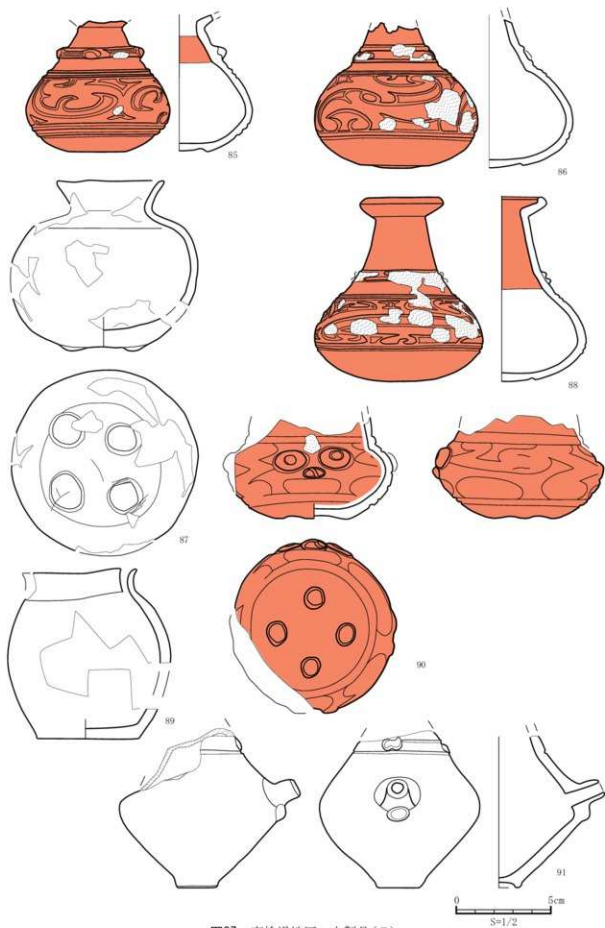


图37 東捨場地区 土製品(7)

## 5 石器

剥片石器や礫石器は出土量が多く、写真掲載を基本とした(図38~42、写真45~58・70、表10)。そのため、石器は写真図版を優先して事実記載する。写真・図ともに、上層から下層に向かって掲載することを基本とした。その他報告に関する考え方や石器出土点数及び組成については、報告書Ⅶに掲載する。東捨場延長部分と北東捨場及びその延長部分も同様である。

### 剥片石器

石鏃は写45-1~40・写48-17に掲載した。ほとんどが珪質頁岩製であるが硬く良質な石質のものが多い。有茎凸基鏃が多くを占める。形状と大きさは変異があるが丁寧な加工で整った左右対称の形のものが多い。そのため写45-37・39・40など左右非対称の物は未製品の可能性がある。写45-41~80と写46-2・3は石錐である。棒状の物と、棒状の錐の一端に基部を付けた物が多い。写45-76のように剥片の一端に錐先を作り出した物もある。

写46-1・4~9は石鏃である。4にはアスファルトが付着する。

写46-10~48-8は石匙である。写46-15~26のように下辺が刃部にあたる横型石匙が丁寧な加工で作られる。つまみ部分にアスファルトが付着するものは刃部に光沢が確認できるものが多い。縦型石匙は加工部分の少ない物が多い。写47-7は、小さく欠失しやすい大きさのつまみ部のみ作り出したものである。同15・22は、つまみ部のほかに、つまみに類した突起を作り出している。明瞭ではないものの、側縁での凸の作り出しは写47-29~31にもみられる。

写48-9~49-4は削器や異形石器などである。写48-12~16は削器とした。石鏃未製品の可能性のあるものを含むが、この形状の物には一側縁にアスファルトが付着するものがある。同17・18・20は黒曜石製で、17は異形石器破片よりも石鏃破片の可能性が高く、18は削器、20は小形で円形の削器である。32は二次加工剥片であるが、裏面のほぼ全面にアスファルトが付着している。

写49-1~3は黒曜石製の異形石器である。4は鉄石英製で、赤色である。同5~23は石核・石核転用敲石及び剥片の接合資料(写49-9)である。(齋藤)

### 磨製石斧

磨製石斧は写真50(図39・40)に掲載した。石材は緑色凝灰岩、凝灰岩、粗粒玄武岩、角閃岩、緑色岩である。

大半が破損している。整形は、研磨と敲打によってなされている。写50-11は裏面に擦切痕が見られる。

写50-6は、扁平な形状であるので、他の磨製石斧と比較して形状が異なる。整形加工の剥離痕が明瞭に残されている。石材は緑色凝灰岩である。

写50-9は刃部が潰れている。敲石へ転用されたと思われる。

小形磨製石斧(写50-2、12)が2点出土している。緑色凝灰岩と緑色岩製である。

欠損面に再加工の痕跡がある磨製石斧がある。写50-4は刃部破損面に敲打痕が見られる。写50-8、7は基部欠損面に剥離が見られる。写50-11は、基部断片資料であり、折れ面を打面として剥離、折れ面には敲打痕が見られる。基部にも敲打の集中がみられる。敲石に転用された可能性がある。またア

スファルトと思われる黒色の付着物が見られる。

(高橋)

### 礫石器

磨面と敲打痕など複数の種類の使用痕を持つものも多いが、主体となる使用痕から概ね磨石、敲石、凹石、石皿の順に写50-13～写真58にまとめた。磨石は花崗岩などの硬質の石を含み、大きさも大形から小形まで変異がある。凹石は凝灰岩など軟質の石材が中心である。写54-1・2のように大きな窪みを持つものは、石製品に近い印象を受ける。写52-15は底面が平坦に面取りされ、正面の中央部から側面にかけて敲打による窪みが回り込む。礫石器とするよりも、独鈷石等の石製品の製作途中品の可能性がある。写55-16は擦切具である。同17は石皿で片方の面が縁付きで、もう一方が中高の石皿となっているものである。

写真58-1～6は自然礫である。有孔のもの、棒状、くびれのあるものを掲載した。写真58-9は被熱により赤黒色に変化した部分の中に、被熱の弱い部分が白く紐状に浮かびあがった自然礫である。

(齋藤)

## 6 石製品 (図45～51、写真59～70、表10・11)

石器と同様に写真番号をもとに記述する。

### 石棒類

石棒類は写真59・60 (図43・44) に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写59-11は、真二つに割れた破損面にアスファルトと思われる黒色の付着物が見られる。欠損後、修理したものと思われる。柄頭には工字文風の沈線文が施文されている。写59-3は石刀である。柄頭には沈線文が見られ、沈線と沈線間の側面に敲打痕が見られる。明確な刃関が作出されていないが、残存部の中央から、柄部と刃部の境が見られ、断面形状が異なる。同一個体と思われる切っ先が出土している。写59-5は柄頭に三叉文崩れの沈線文が施文されている。写59-6は凝灰岩製であり、正面に深い溝がある。柄頭は円盤状であり、側面に沿って沈線が1条巡る。写59-2・10は柄頭の断片資料である。2は沈線文が柄頭をらせん状に巡る。写59-13は両端が尖頭状で、中央がくぼむ、独鈷石状の形態である。

写59-8は点紋粘板岩製である。敲打による凹帯が見られる。写70-14は凝灰岩製、石刀の刃先断片である。刃先に刻みが見られる。写59-9は点紋粘板岩製で素文の蛇頭形の柄頭を有する。写59-4は点紋粘板岩製、先端部資料である。写59-12は隣接グリッドの上下層から出土した破片同士が接合した。欠損品を再加工したものと思われる。写59-7は柄部資料であり、柄頭には突起、沈線文、柄頭の境に近い部分には2条の隆帯が巡っている。写59-11は柄頭断片資料であり、扁平な形状である。X状の沈線文が施文されている。

写真のみ掲載した石棒類は、胴部や先端部などの断片である (写真50-11、59、60)。

(高橋)

## 岩版

岩版は14点出土した。

形態は、端部が丸みをもつ楕円形(写60-10)と端部が平坦で全体の形状が方形(写60-3・9)、下部に向かって広がる形(写60-2)の三形態が確認できる。

文様は中心部に垂直な直線の正中線を施文し、その端部に円形の孔を施文しているものがある(写60-5・6・10)。写60-5は上部に対の楕円形文を施文しており、顔面の目を表現している。写60-3・9・10、写62-1・4は渦巻文様の間に三角形文を充填しており、写60-2・5は両端渦巻文様を施文している。写60-4・61-3は表裏面に擦痕を有している。(成田)

## その他の石製品

写61-4～6は岩版の形に整えられているが、文様が刻まれていない。岩版未製品の可能性と共に、このままで完結する可能性がある。擦痕等がみられることから、線刻礫と同じ扱ひとした。写真61-7は半球状の石製品であり、裏面が内側に向かって窪みを持つ。

写62-3・5～66-4は石製円盤である。石材は花崗岩、安山岩、デイサイト、凝灰岩など遺跡周辺で獲得できる石材が用いられ、写63-7のように珪質頁岩製のものもある。写62-3・5・9、63-2・8、65-21のように、軟質の凝灰岩やシルト岩では側面を含めて丁寧に研磨したものがある。また、剥離のみで側面の敲打痕等が無く、整形しないものが多い。剥離加工も1～2打撃で終わる物がある。写62-22のように板状の楕円礫の縁面に敲打痕のある石製円盤は敲石との区分が難しい。製作に両極打法が多用されるため、剥離が向かい合う抉りとなったものは、石鍾との区分が難しい。石製円盤は性格を異にする複数の物が含まれていると考えられ、今後の課題が多い。写64-2～5、11～13のように、中央部にアスファルトの付着した物もある。完成品の詳細な定義ができないため、1～2打撃の加工品についても未製品と述べることができない。そのことから、今後の再検討のために可能な限り、掲載することとした。そのため石製円盤を集合写真にして写真68～69に掲載した。集合写真毎に円1～11までの番号を付した。写真には東捨場と東捨場延長部分をあわせて掲載した。大きさの変化が大きく、円11にまとめた物は、長軸が2 cm 強から～4 cm 弱の小形品である。円12は石製円盤と類似した形状の礫である。明確な加工がみられず、素材礫あるいは、そのまま石製円盤として使用された可能性もある。円12の次には東捨場地区の南端の平成27年度調査の村道部分の出土品を主体とした円24を掲載した。

石製品では特筆されるのが、写66-13である。珪質頁岩のノジュールを素材としている。礫皮に近い外側の灰白色の部分を敲打により女性の乳房の形に作り出している。乳輪にあたる部分には、線刻を巡らせて乳首の盛り上がりについても削り出している。内側については、自然の窪みがあり、縦長の穴がある。その周辺の珪質の部分は敲打により形を整えて、全体として女性の性象徴を表現しているように見える。写真67には線刻礫等を置いた。写67-12については正面中央の横線から下に向かって線が刻まれている。両側縁の対向する剥離についても人体を意識して加工された可能性がある。同13は線状の欠損部の下に線刻が残る。通常の凹石に形成される物としては違和感があり、線刻礫とした。写67-10についても凹痕はあるが、裏面の窪みの長さ幅共に大きく、半球状で底面に窪みを持つ写61-7のような石製品の未製品の可能性がある。

### 赤色顔料塊

写真69の右下に赤色顔料塊の一部を置いた。赤鉄鉱により鉄染された泥岩であり、周辺に産する(柴2016)。東捨場及び延長部分の出土量等は、北東捨場を含めた他の捨場のものとともに、報告書Ⅶで記述する。(齋藤)

## 7 その他の遺物

アスファルト・漆製品(櫛・漆塗膜)が出土した(写真70、表12)。

### アスファルト(写真70、表12)

I層・KⅢ1層・KⅢ2上層からアスファルトが3点出土した。

### 漆製品(表12)

KⅢ1層から漆塗膜片が1点、KⅢ2上層から櫛と推定される漆塗膜片、KⅢ2層から赤色漆塗りの櫛が出土した。いずれも小破片であるため、観察表のみ掲載した。なお、櫛2点については放射性炭素年代測定を実施し、 $3060 \pm 20\text{yrBP}$ (KAWA(1)-158)、 $3050 \pm 20\text{yrBP}$ (KAWA(1)-159)の年代値が得られている(報告書Ⅶ第5章第6節参照)。(中澤)



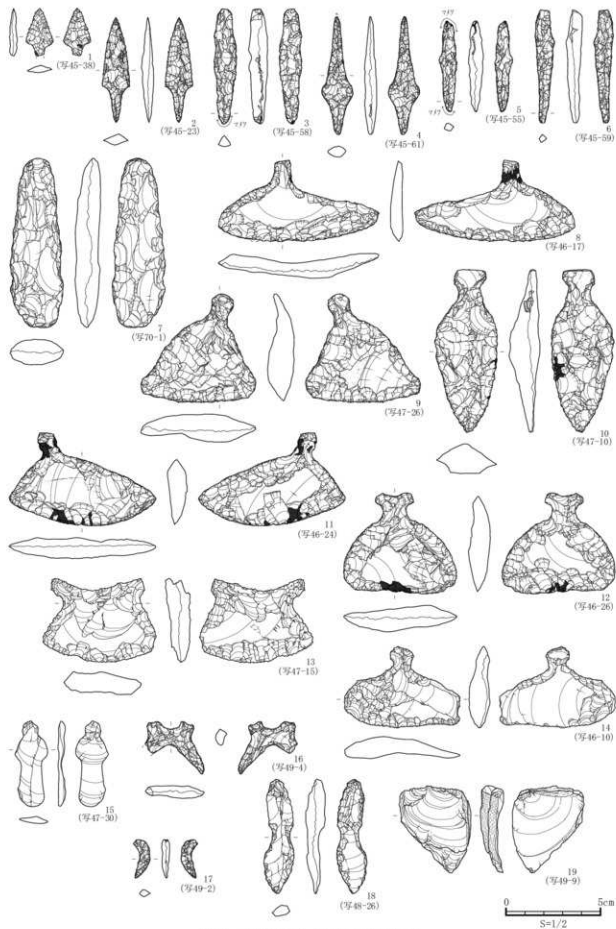


图38 東拾場地区 石器・石製品(1)

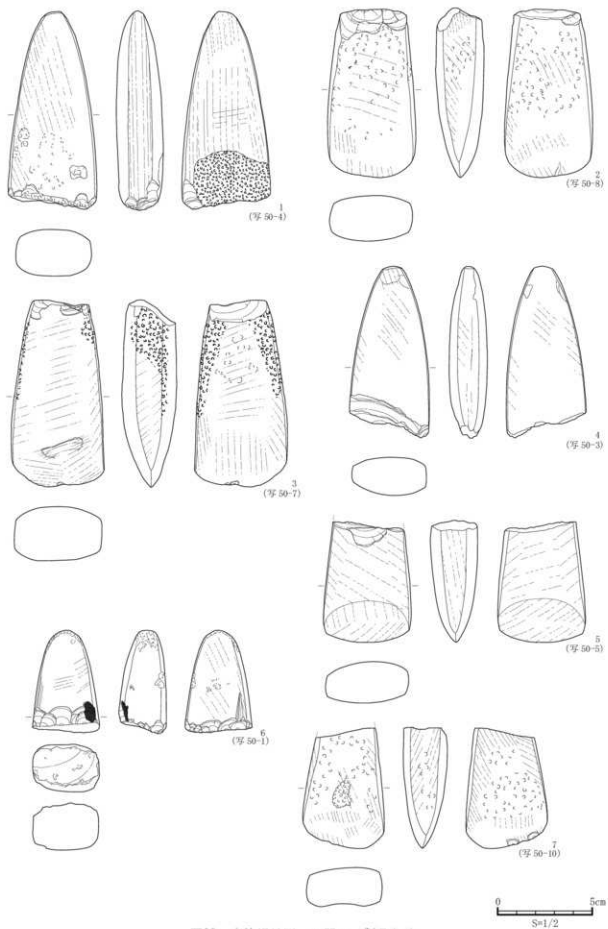


图39 東捨場地区 石器・石製品(2)

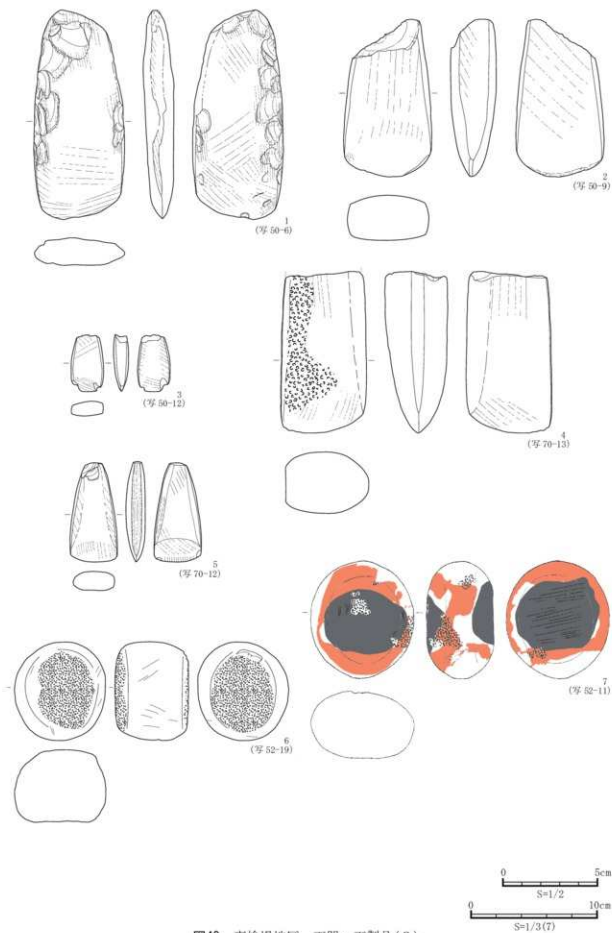


図40 東捨場地区 石器・石製品(3)

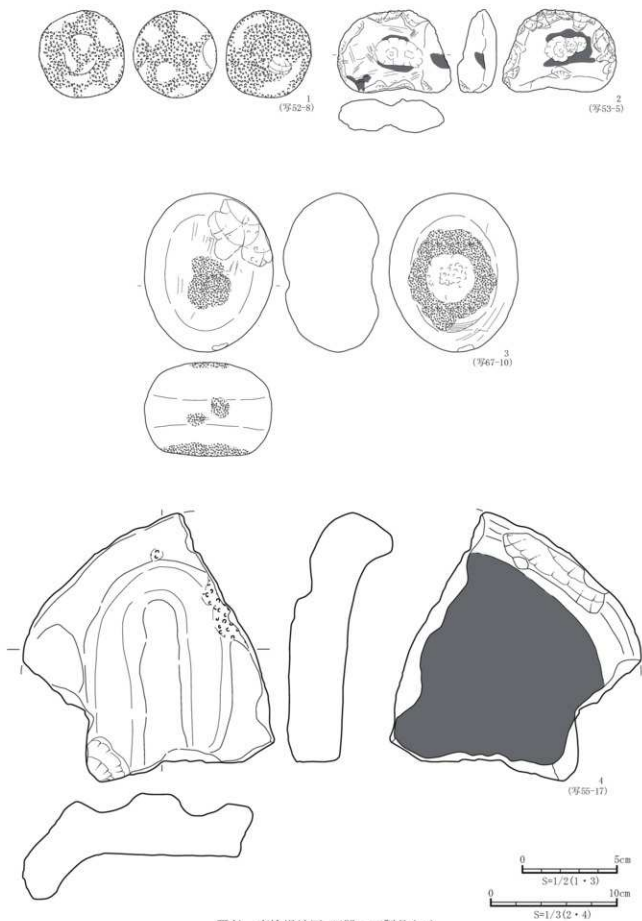


図41 東捨場地区 石器・石製品(4)

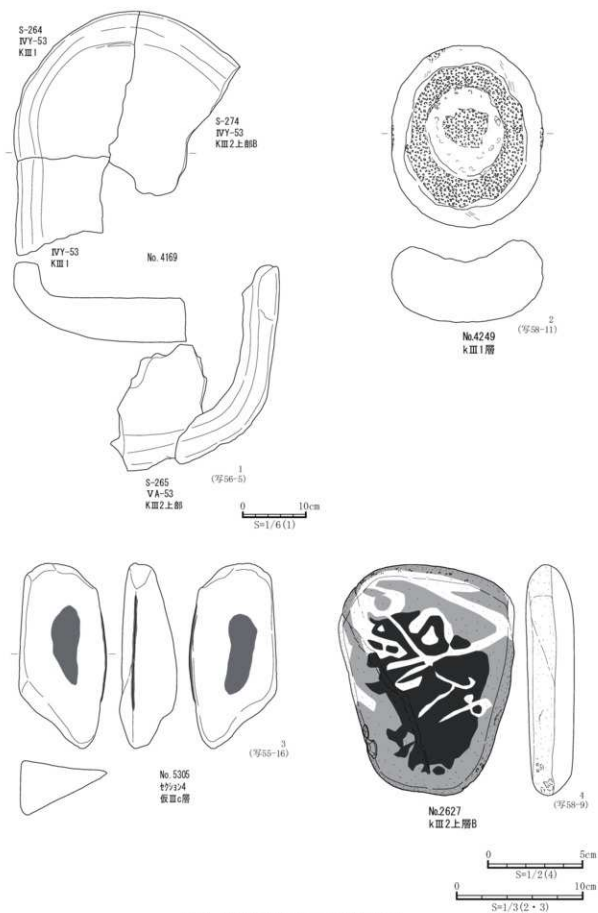


図42 東捨場地区 石器・石製品(5)

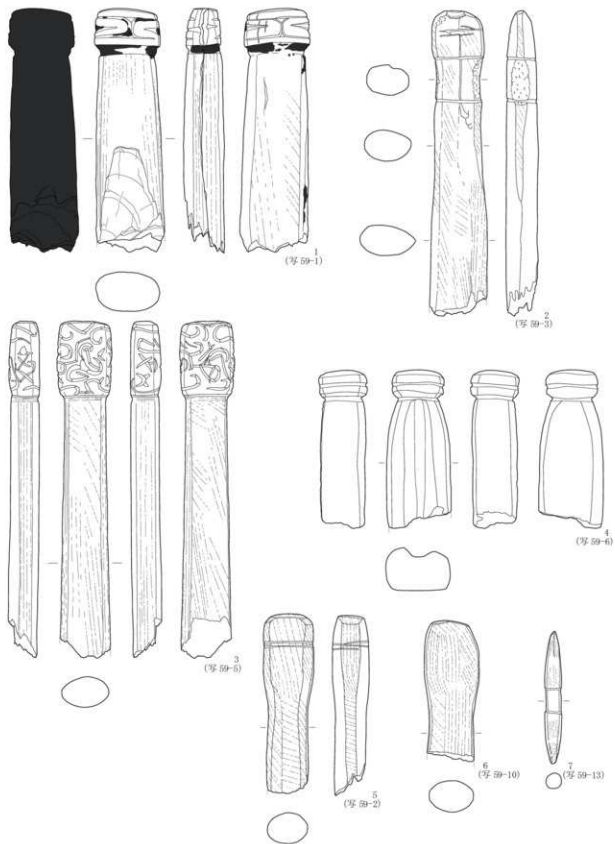


図43 東捨場地区 石器・石製品(6)

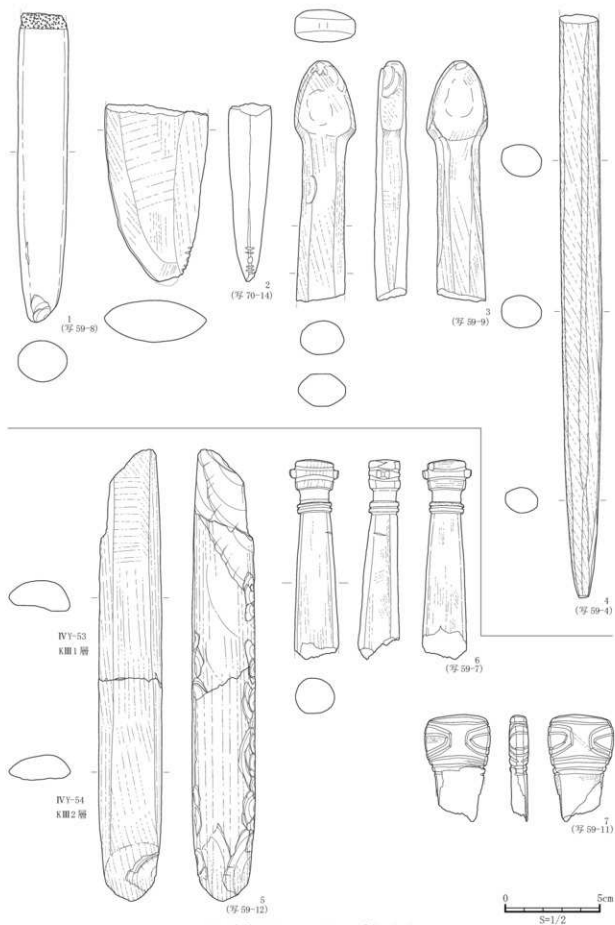


図44 東捨場地区 石器・石製品(7)

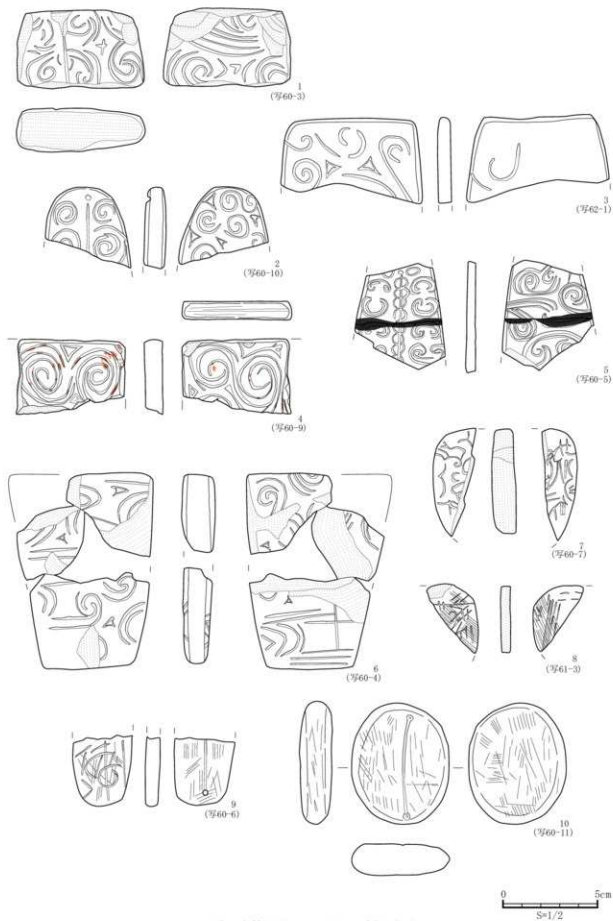


図45 東捨場地区 石器・石製品(8)





図46 東捨場地区 石器・石製品(9)

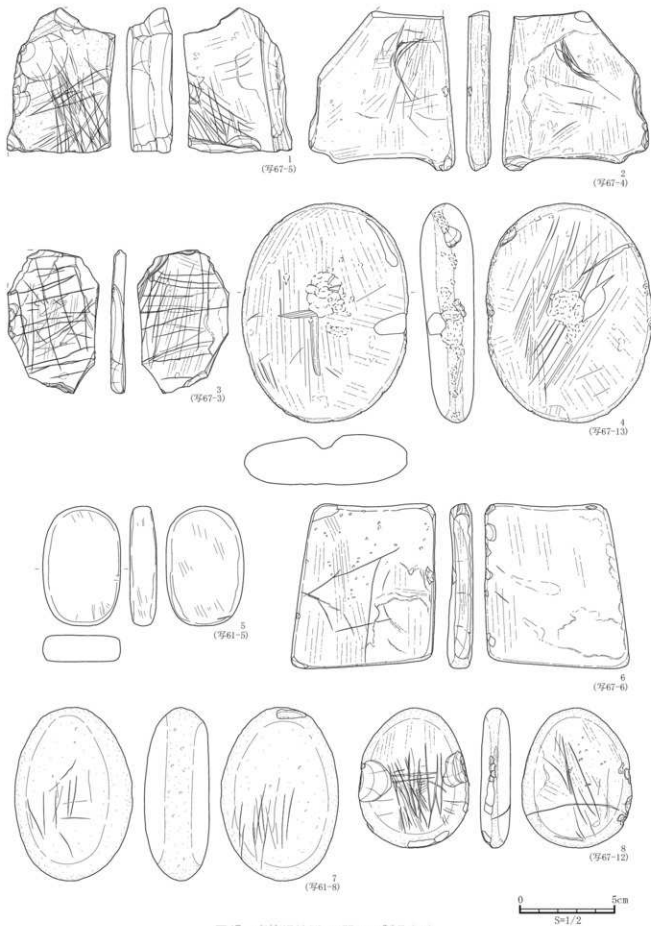


図47 東捨場地区 石器・石製品(10)

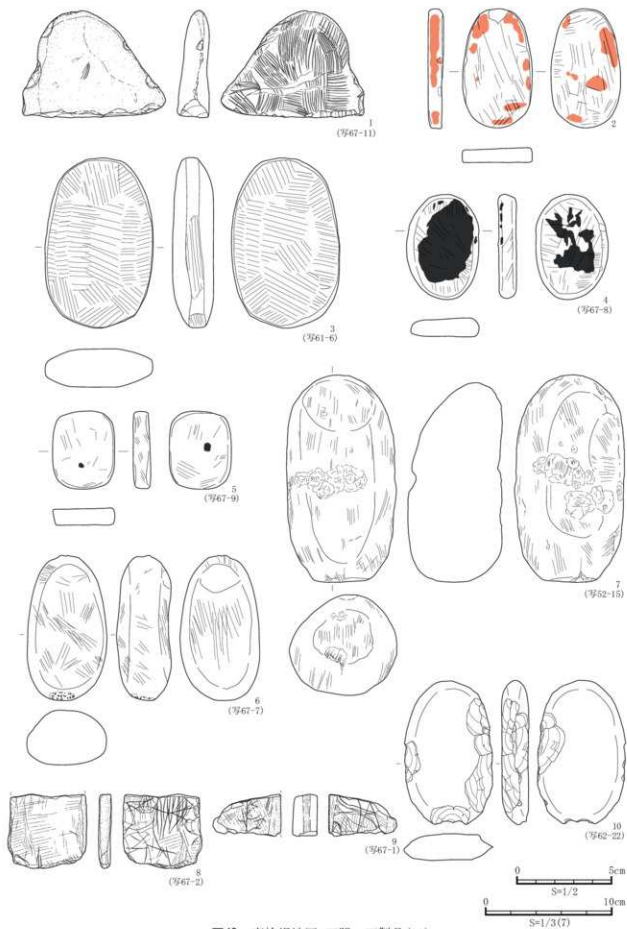


図48 東捨場地区 石器・石製品(11)

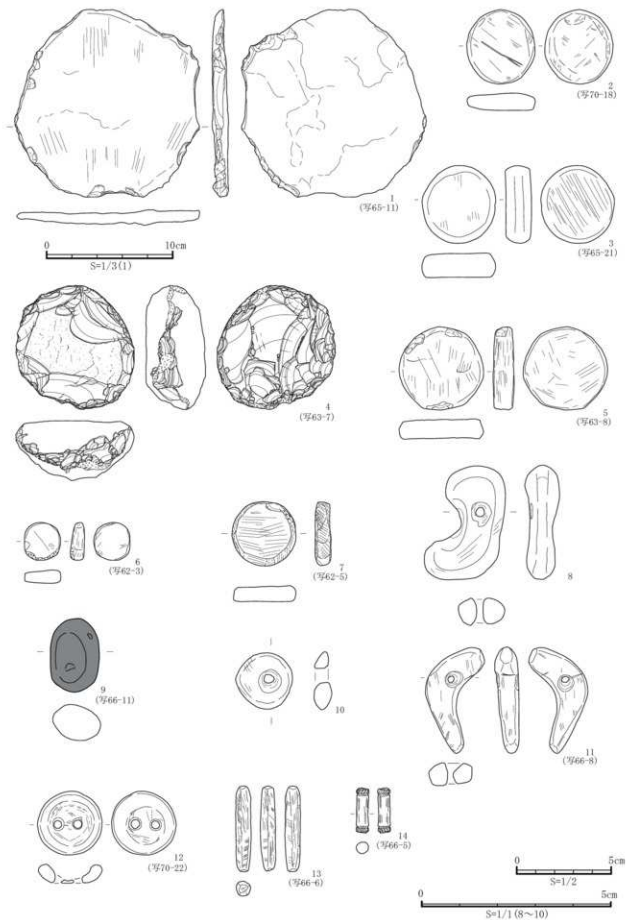


图49 東捨場地区 石器・石製品(12)

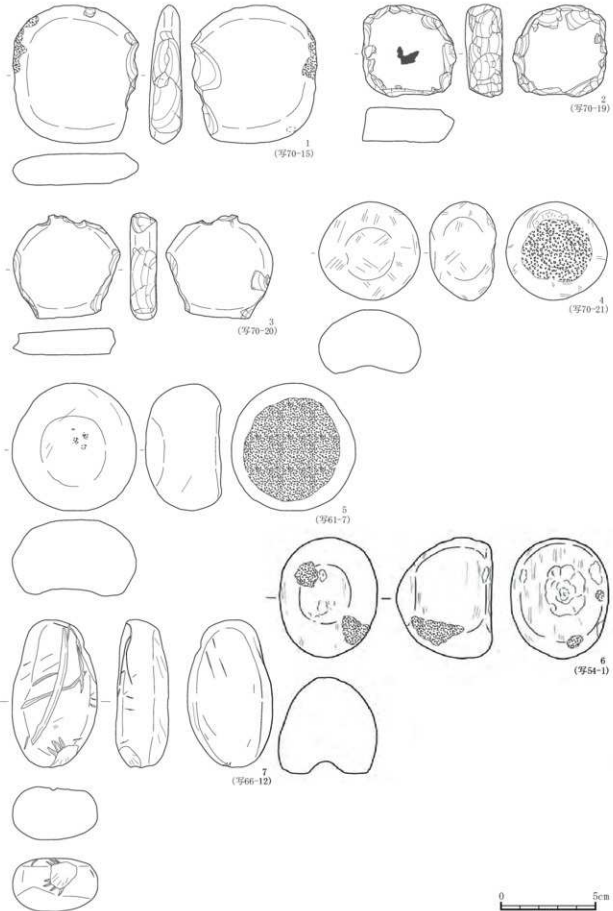


図50 東捨場地区 石器・石製品(13)

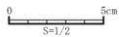
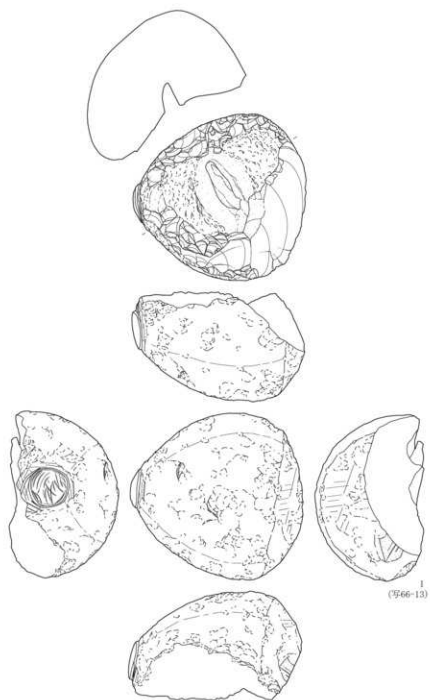


図51 東捨場地区 石器・石製品(14)

## 第3章 まとめ

東捨場地区は、主要な居住域と考えられる平場地区の外側に位置する平坦地である。堅穴建物跡に伴わない焼土遺構が検出されること、墓域が確認されずいくつかの群に分かれた土器埋設遺構が存在すること、小規模な配石遺構が散在すること、断続的に廃棄域となることなど、土地利用のあり方は平場地区に対して同様の位置にあり地形も類似する南捨場との共通性が高い。なお、東捨場と南捨場では相互に接合する遺物は知られていない。東捨場で検出された遺構は、配石遺構4基、土器埋設遺構19基、焼土遺構9基、ピット2基である。このほか、土器集中域であるブロックが14箇所確認された。下表はそれらの時期と検出層位の関係をまとめたものである。また、文末には出土土器の時期を層単位でグリッド別に示した。これは土器接合時の時期判定であり、その後若干の変更はあるものの、出土傾向の大枠を知ることができる。

遺構の時期と確認層位

層位	時期	後期7-4期	後期末～ 晩期初頭	晩期前葉	晩期3期	晩期1～ 5期	不明
KIII (不明含む)				SR38・39・40	ブロック3・4	SQ15 <sup>b</sup> ブロック5	P1(1929・ 1932)
KIII1					SQ34・48 SR41・42・43・44・45・46・ 47・48・49・80・81・82 ブロック2		
KIII1d				SQ49 SN58・59・60・61・62・63・64 ブロック6 (17含む)・10 (KIIIe ～f)	SR37		
KIII2上	ブロック22	ブロック21・24		SR77・78・79 SN65・66 ブロック23			
KIII2		ブロック18・20	ブロック19				

※SQ15は晩期5期の建物跡に遺されており、それ以前。

後期中葉以前の遺構・遺物は確認されておらず、地区内の土地利用は後期後葉に始まる。後期後葉～晩期初頭においては、地区の北側に小規模な廃棄単位（ブロック）が形成される。

晩期前葉の土地利用は前の時期よりも広がるが、主体は地区の北側である。ブロックの形成が続くほか、土器埋設遺構・焼土遺構が構築される。焼土遺構には確実に伴う遺物が少なく時期の決定は難しいが、検出層位および周辺で出土している土器から晩期前葉と判断した。前葉の中でも2期の遺物は少ないため、1b期に属する可能性が高い。隣接して晩期3期の捨場があり、出土炭化物の放射性炭素年代測定値は3期の土器付着物の測定値とも重なるため、3期に属す焼土遺構がある可能性は否定できないが、焼土遺構およびその直下、また焼土遺構が属すグリッドのKIII1d・KIII2上層では3期の土器は出土していない。検出層位は最も古いSN66がKIII2上面、SN65がKIII2上層の中、SN61・62・63がKIII1層の中、最も新しいSN58・59・60・64がKIII1d上面と多岐にわたり、同一層内でも上下差をもつ場合があることから晩期前葉の段階で地表面が次第にかさ上げされていく様子が窺える。

晩期3期には地区の南側が廃棄域として利用され、晩期前葉の遺構の上部には広がらない。この時期の土器は良好な一括資料であるが、比較的広い範囲に遺物が連続して出土し、ブロックのような廃

棄単位をつかむことはできなかった。廃棄域の中には配石遺構や土器埋設遺構が確認される。

晩期4期以降の遺物はごく少量が出土するのみだが、SQ15・ブロック5は該期に属する可能性がある。SQ15は晩期5期の建物跡に壊されているため、それ以前としかいえない。

焼土遺構は地床炉、石囲炉、土器埋設炉と形態が多様である。焼土周辺では硬化面や柱穴が確認されず、一般に屋外炉として扱われるものである。武藤康弘は秋田県平鹿遺跡を例に、炉の周辺から明確な床面が検出されない焼土遺構は平地式住居に伴う可能性が高いことを指摘している（武藤2016）が、今回の調査ではそれらを明らかにすることはできていない。

土器埋設遺構は晩期3期に属すると考えられるものが多い。墓域に伴うものではなく、いくつかの集中地点に分かれる。埋設された土器にはいずれも使用痕跡が認められ、内外面に炭化物が付着している。晩期3期のものはいずれも明瞭な掘方が観察されず、包含層中に伏せ置かれたように出土した。包含層中に置き去りにされたものであるとすれば、「埋設」という語は適さないが、青森県内で検出された晩期の土器埋設遺構は本遺跡が最多であり、比較対象が不足しているため本編では注意喚起の意味を含めてこれらを遺構として扱った。なお、掘方が確認できない逆位の埋設土器は、南捨場SR06・30（報告書Ⅱ）のほか第2章で触れたように岩手県九年橋遺跡でも検出されている（藤村1985）。

配石遺構はいずれも包含層中に礫を並べたもので、整った形状を意識したものではなさそうである。また、礫の掘方や土坑などの下部施設は検出されなかった。配石に確実に伴う、供献されたような遺物の出土状態も認められない。

東捨場に関連する放射性炭素年代測定値は下記の通りである。なお、比較対象である時期別の土器附着物の放射性炭素年代測定値は報告書Ⅷの第1分冊第10章に掲載した。

#### 本編に関連する放射性炭素年代測定結果

出土地点	試料	測定値 (yrBP)	測定番号	出土遺物等による推定時期	土器附着物の測定値との比較
SN58周辺焼土	炭化材	2910±20	KAWA(1)-069	晩期前葉	後期8～晩期3期に相当
SN58・1層	焼獣骨	2850±20	KAWA(1)-164	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SN59	炭化材	2850±20	KAWA(1)-070	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SN59	炭化材	2830±20	KAWA(1)-071	晩期前葉	晩期1b・3期に相当
SM61・2層	焼獣骨	2630±20	KAWA(1)-166	晩期前葉	晩期4期に相当
ブロック22	炭化材	3110±20	KAWA(1)-126	晩期7-4期	後期7-4期より古い
KⅢ2上層・IVY-52	漆塗換	3060±20	KAWA(1)-158	晩期3期以前	晩期7-4～8期に相当
KⅢ2層・IVY-53	漆塗換	3050±20	KAWA(1)-159	晩期16期以前	後期7-4～8期・晩期2期に相当
KⅢ1灰ア層	炭化材	2760±20	KAWA(1)-125	晩期3期以前	晩期4期に相当
KⅢ1灰イ層	炭化材	2920±20	KAWA(1)-124	晩期2期以前	後期8～晩期3期に相当

後期後葉～晩期前葉の土器は数箇所のブロックとして出土状況を把握できたが、器種・文様の組み合わせを論じることができるほどの出土量は得られなかった。また、KⅢ1層出土土器は晩期3期の一括資料であるが、3期の中での新旧を出土状況から明らかにするには至っていない。

特殊な遺物としては、人面・獣面付の土器が4個体出土している。写36-3は両者が一個体の中に共存する例である。写42-21は股間に突起がみられ、男性を表現した土偶の可能性が高い。KⅢ1層で出土した晩期前葉の耳飾り（写42-34）は、直径7cmの大型品で、透かし孔等が入念に施されている。類例は少なく、県内では階上町滝端遺跡出土品に限られる（階上町教委2000）。石製品ではアスファルトで補修された岩版（写60-5）や石棒（写59-1）、同一個体に乳房と女性器を表現したとみられるもの（写66-13）が目される。

（岡本）



## 層位・グリッド別の土器の時期

## Sec4 K組a層

地点	層7-1	層8	層1a	層1b	層2	層3	層4	層5
RV-49								
DV-50	●							

## Sec4 K組b層

地点	層7-1	層8	層1a	層1b	層2	層3	層4	層5
RV-41	●							
RV-49		●			▲	▲		
RV-50		●						

## Sec4 K組c層

地点	層7-1	層8	層1a	層1b	層2	層3	層4	層5
RV-50	●							

## K組層

地点	層7-1	層8	層1a	層1b	層2	層3	層4	層5
RV-47	●							
RV-48								
RV-49								
RV-50	●							
RV-51	●							
RV-52		●						
RV-53								
RV-54	●							
RV-55	●							
RV-48								
RV-51	●							
RV-52		●						
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53	●							
RV-54	●							
RV-55								
RV-50								
RV-52	●							
RV-48	●							
RV-51	●							
RV-51	●							
RV-52	●							
RV-53								



## 第2編 北東捨場地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 発掘作業の方法

「北東捨場」と呼称したこの地区は、川原平(1)遺跡における北東縁辺部の滑落崖に位置し、居住域の外周に形成された捨場群（「西捨場」・「北捨場」・「本捨場」・「東捨場」・「南捨場」）の一部である。

北東捨場における発掘作業の方法について以下に述べるが、測量基準点・水準点の設置・グリッド設定、基本土層、表土等の調査、遺構の調査、写真撮影などの基本的事項については、既刊『川原平(1)遺跡Ⅱ』における記載とほぼ変わるところはない。よって、ここではそれらについての記載を省き、北東捨場が確認されるまでの経緯や、北東捨場に特化した調査方法を時系列で記し、調査経過の記載を兼ねることとする。なお、発掘調査方法に関する詳細については、第4章第1節に記した。

### 【捨場として認識されるまでの経緯】

当初この地区は、2013年に行われた確認調査において、広範囲に分布する黒褐色系土壌の存在と、この中から出土する多くの遺物のあり方から、多数の竪穴建物跡が重複したエリアであると想定されていた。

2014年の調査では、黒褐色系土壌の土質と、礫を含めた遺物の分布状況とを入念に観察することで、竪穴建物跡の重複状況の把握と、それら竪穴建物跡を切る柱穴の有無確認を同時に行うこととした。結果、黒褐色系土壌と地山との境界は、大きな弧状のラインを呈し、礫は、そのラインに平行するように筋状に分布し、個々の礫は、東～北東方向にやや傾いている傾向が認められた。

これらのことから、広範囲に分布する黒褐色系土壌は、竪穴建物跡が重複した結果等ではなく、地形に関係する大型の落ち込みであることが判明した。筋状に分布する礫の状況と多量の礫が傾斜している状況に加え、面的に分布する炭化物層の存在等も考えあわせ、この黒褐色系土壌は、斜面に形成された捨場堆積層（遺物包含層）であろうとの予測を持つに至った。

### 【北東捨場地区の調査方法（調査経過：詳細は、第4章第1節参照）】

- ・柱穴の有無確認を行う（調査終了まで継続）。最終的に、北東捨場地区内に柱穴の検出は無し。
- ・黒褐色系土壌に、小型トレンチ（図56・写真73参照：斜面トレンチ1、2-1、2-2、3-1、3-2、4-2、5、西端トレンチ）を設定、地点毎の深さを把握。
- ・地山が大きく落ち込んでいる状況を把握、黒褐色系土壌は予想以上に厚く、遺物も多量であることも判明。調査手順を見直す。
- ・「大正時代に開削された道路」<sup>1)</sup>に繁茂する樹木や表土を全て剥がして精査し、崩落土壌に含まれる遺物の回収および、「道路」の法面に現れた黒褐色系土壌（写真72-5）の断面図化を行い、予想遺物量と排土量を概算。「道路」部分を排土置き場として利用することとする。
- ・安全対策として、崖付近を階段状に水平カットし（図57参照）、手すりや歩み板などを設置（写真73-1参照）。
- ・小型トレンチの両側壁に現れた土層を分層し、土壌の傾斜方向を推定。

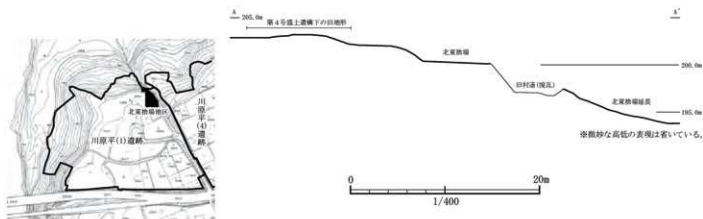
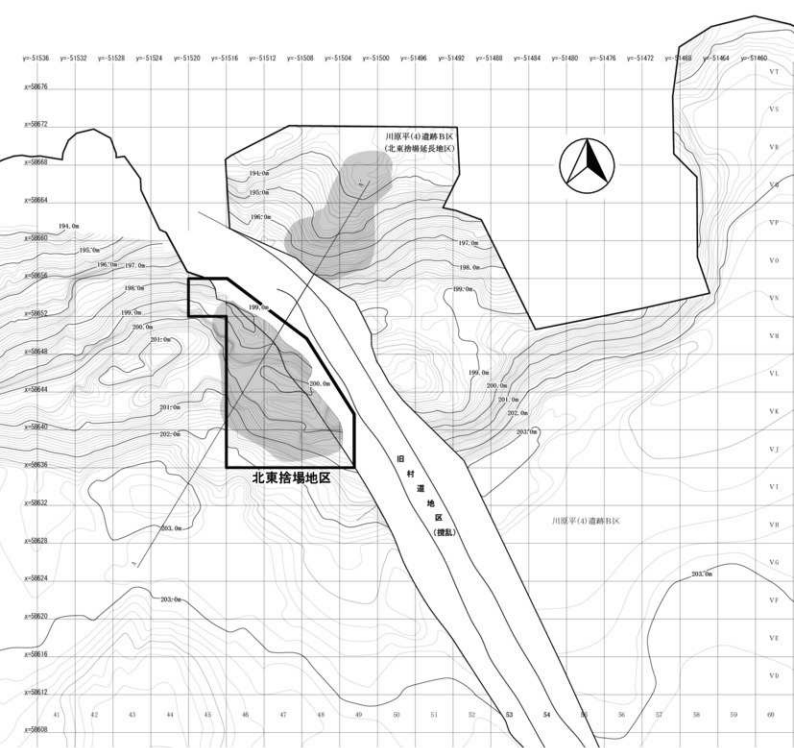


図 52 北東捨場地区の位置と周辺の地形 (1 : 400)  
 (網かけ内は捨場堆積層 (遺物包含層) の範囲)

- ・土壌の傾斜方向に合わせ、大型トレンチを3条(図56参照:トレンチ1~3)設定。
- ・トレンチ内に検出された土器の集中域を「ブロック」と称し、ブロック単位で遺物を取り上げる。集中範囲内に出土した石器など土器以外の遺物も、ブロック範囲内の遺物として取り上げる。
- ・トレンチに沿わせ、5本のベルトを設定。トレンチ1~3の各北壁面にベルト1~3、トレンチ1の南壁面にベルト1.5、トレンチ2の南壁面にベルト2.5を設定(図56)。
- ・トレンチ〜ベルト間の掘り下げは、同一土層の面的な広がりを確認しながら行い、ここにおいても、土器の集中域を「ブロック」とした。
- ・「調査区西端トレンチ」(図56参照)以西の区域が調査可能になって以降、4本目の大型トレンチ(トレンチ5)を追加設定。このトレンチの南西端にみられる溝状の凹みに小型のトレンチ(トレンチ6・7)を設定(トレンチ6・7の部分は、『川原平(1)遺跡IV』の中で、「クラック地区」として報告している)。(木村)

## 註

1)第564集『川原平(1)遺跡II』【第1分冊 本文・観察表編】のP18(註3)および第566集『川原平(4)遺跡IV』のP15を参照。

## 第2節 整理・報告書作成作業の方法

北東捨場地区では、1箇所の捨場および配石遺構1基、焼土遺構2基が検出され、出土遺物は634箱(段ボールで土器400箱、石器等234箱)にのぼる。整理作業は、平成27年4月1日から平成29年3月31日まで実施した。遺構面および出土遺物の整理・報告書作成作業の方法は以下の通りである。

【図面類の整理】トータルステーションを用いて作成した遺構平面図を原則として縮尺20分の1で図化し、簡易造方測量で作成した土層断面図等との調整を行った。また、遺構台帳・遺構一覧表・遺物台帳等を作成し、発掘作業時の所見等を整理した。

【写真類の整理】写真等の記録類については、写真台帳を作成するとともに、35mmモノクロームフィルムは、撮影順にネガアルバムに収納し、35mmカラーリバーサルフィルムは、発掘作業状況や遺構毎に整理して、スライドファイルに収納した。デジタルカメラのデータについては、遺構毎にフォルダに整理し、ポータブルハードディスクドライブおよびDVD-Rに保存した。

【遺物の洗浄・注記】遺物の注記は、遺物取り上げ時のカードをもとに、調査年度、遺跡名、出土地区・グリッド名、遺構名、出土層位、取上番号等を全て記し、剥片石器などの直接注記できない遺物については、チャック付の収納袋に注記した。土器細片(4cm×2cm, 3.3cm×2.4cm程度以下)については、出土地点と層位を優先し、遺跡名と捨場名は右表のように省略した。注記後、ブロック、トレンチ、ベルト、グリッド、層位といった属性で分類し、「トコ函」(内寸:約58×36×16cm)へ収納、トコ函へは函管理番号を付け、内容物をリストにまとめた。

ブロック番号有		ブロック番号無		
P番号有	P番号無	P番号有	P番号無	
ブロ4030	ブロ4030	P-4312	トレンチ名有	ベルト名有
P-4312 TR1-4層	P-X TR1-4層	TR1-4層	トレンチ名 ベルト名無	トレンチ名 ベルト名無
			トレ1-6~7 TR1-4層	ベルト2-4 VM-4.5 TR1-4層
				VM-4.5 TR1-4層

【土器の接合・復元】接合・復元にあたっては、出土地点や出土層名等を入念に点検しながら行った。遺物量が膨大であったため、作業に優先順位をつけた。ブロック出土のものを最重視し、ブロック内での接合→ブロック間（周辺・直下・直上）の接合→ブロック付近から出土したブロック以外との接合、ブロック以外の土器をグリッド毎に接合、という手順で進めた。

#### 【土器の時期別分類・抽出・収納】

接合・復元作業と並行しながら、北東捨場の様相把握に有効と思われる破片類の抽出・収納を行った。トロ函から、口縁部、底部、主要文様の観察できる破片、縄文のみの大型胴部破片、「土器製作体制」を考える上で注意したいもの、土器片利用円盤、赤彩土器…などを抽出し、時期別に分類し、目視による数量比をカルテ（右図）に記録した後、時期区分単位でメモ写真を撮影、セパレートボックスに収納した。抽出されなかった破片は再びトロ函に収納した。

なお、これらの抽出遺物は報告書掲載外ではあるが、再検討しやすい収納・保管としている。

【報告書掲載遺物の選別】掲載候補となった遺物には、整理番号を付し、台帳に登録した。選別にあたっては、美術工芸的な価値に感わされることなく、ブロック出土資料を主体に掲載した。漆やアスファルト等が付着した希少資料、特殊資料についても可能な限り掲載した。

【遺物の観察・図化】遺物の特徴を適切にわかりやすく表現するよう図化した。拓本では表現しきれない凹凸のある遺物については、実測図を作成するように心がけた。掲載遺物については、種類毎に法量・特徴等を記載した遺物台帳（観察表・計測表）を作成した。なお、整理期間の都合上、大部分の遺物は写真掲載のみとし、遺存状態がよく時期・型式等がわかる代表的資料のみを図化した。

【トレース・版下作成】トレース・版下作成では、株式会社CUBIC製「遺構実測支援システム」および「トレースくん」、アドビシステムズ㈱製「Adobe Illustrator CS4・CS6」および「Adobe InDesign CS4・CS6」を用いた。写真図版についても、デジタルデータを主に用いた。

【遺物の写真撮影】実測図では表現しがたい質感・雰囲気・製作技法・文様表現等を伝えられるように留意した。なお、写真撮影は業者に委託して行った。

【遺物の分類・整理・検討】遺物を種別、出土状態毎に整理し、全体的な様相について検討した。ブロック出土遺物は、今後の研究に資するよう、表2には、ブロックの観察結果を掲載した。また、各ブロックの層位と、主体となる土器型式に基づく推定時期や、ブロック出土でありながら掲載外となった土器の整理番号等については表3に掲載した。これらブロック出土の資料は、報告書掲載外も含め、再検討しやすい収納・保管としている。

【自然科学分析】本地区の変遷を知るために、炭化物等の放射性炭素年代測定、土器の製作体制を明らかにするために胎土分析、漆製品の製作技術を明らかにするために漆塗膜分析を行った。

【保存処理】漆塗り堅櫛・漆塗膜の保存処理を外部に委託した。

【報告書刊行】全てデジタルデータで入稿し、3回の校正を経て報告書を刊行した。

(木村・中澤)

## 第2章 北東捨場地区の概要

北東捨場は、北東縁辺部の滑落崖に形成されており、居住域の外周に巡る捨場群（西捨場・北捨場・〔本捨場〕・東捨場・南捨場）の一部を構成するものである。北側には岩木川が流れ、東方は、「大正時代に開削された道路」<sup>1)</sup>を挟んで川原平(4)遺跡B区に隣接している<sup>2)</sup>。

本捨場もいわゆる「斜面捨場」の類に属し、南西から北東にかけて下る斜面に、多量の土壌と礎、遺物が廃棄されていたものであるが、この斜面は滑落崖の一部分に相当するもので、西捨場や北捨場ほど規模の大きなものではない。斜面の存在は、確認時において全く認められず、上端が弧状を呈す大規模な凹みが、多量の黒褐色系の土壌（捨場の堆積層＝遺物包含層）で埋没していた状態であった。

検出位置は、グリッドで示すところのおおむねVL-47杭が本捨場の中心あたりに相当する（『川原平(1)遺跡Ⅷ』付図参照）。上述のように、北東方向には、「川原平(4)遺跡B区北西端」が隣接し、本捨場の西方には、本捨場とは様相の異なる土壌で埋没した「溝状の落ち込み（崩壊地形）」が続いている。これら「川原平(4)遺跡B区北西端」と「溝状の落ち込み（崩壊地形）」については、「北東捨場延長地区」と「クラック地区」として別途報告している<sup>2)</sup>。両地区からは、本捨場の遺物と時期的に並行するものが出土しており、廃棄活動の様相を広く考察する上で、両地区との比較は必須と言える。

捨場堆積層（遺物包含層）からの出土遺物は、段ボール箱で634箱（土器400箱、石器等234箱）を数える。多量の遺物の中から100単位の土器集中域（ブロック：第4章第3節参照）を抽出し、廃棄時における土器のセット関係を推定できる可能性がある。土器からみた捨場堆積層の形成期間（遺物の廃棄期間）は、縄文時代後期後葉から晩期5期までであり、長期にわたって利用され続けた捨場であることが判明している。

捨場堆積層（遺物包含層）の中からは、わずかながら遺構の検出もみられた。配石遺構1基、焼土遺構2基である。配石遺構は、晩期中葉における構築、焼土遺構も晩期中葉の形成と考えられる。少なくとも本捨場は、ある時期において、物質廃棄だけの空間ではなかったことが分かる。

（木村）

### 註

1) 第564集『川原平(1)遺跡Ⅱ』【第1分冊 本文・観察表編】のP18（註3）および第566集『川原平(4)遺跡Ⅳ』のP15を参照。  
2) 川原平(4)遺跡B区北西端は、巻頭写真1や写真72上段の航空写真などでも分かるしており、地形的に本捨場と連続している上に、出土遺物も多く時期的に並行することから、「大正時代に開削された道路」の構築以前においては、本捨場と連続していたことが明らかである。このようなことから、川原平(4)遺跡B区の北西端の成果については、本報告書の第3編において「北東捨場延長地区」として報告している。グリッドで示すところの、V0～VR-46～53がその報告範囲である。

また、本捨場の西側に位置する「溝状の落ち込み（崩壊地形）」は、本捨場とは様相の異なる土壌で埋没していた部分である。この範囲は、2014年調査の終盤段階において、本捨場の連続部分として調査していたが、様々な時期の小破片が混在して出土する状況が認められ、土壌のみならず、遺物も本捨場の様相とは異なることが分かった。この地区における様相の把握には相当に困難を極め、後述する「トレンチ6,7」を新設し、「トレンチ1」および「トレンチ5」の南西端の土層、「トレンチ6,7」の土層を比較検討した結果、本捨場とは異なる廃棄空間であることが判明した。

以上のような状況から、「溝状の落ち込み（崩壊地形）」範囲の成果については、『川原平(1)遺跡Ⅳ』において、「クラック地区」として報告している。「クラック地区」の報告範囲は、本報告書の図53（次ページ）に掲載しているとおり、機械的にグリッドで区切っているが、「クラック地区」の範囲内に相当する、2014年調査分（調査区西端トレンチ（図56参照）のラインよりも東側：北東捨場と同時に調査）に関しては、本編の報告対象としている。グリッドを用いずに、地形的に本捨場と「クラック地区」を分けるとすれば、図54・56に示した赤い線がその境界となろう。



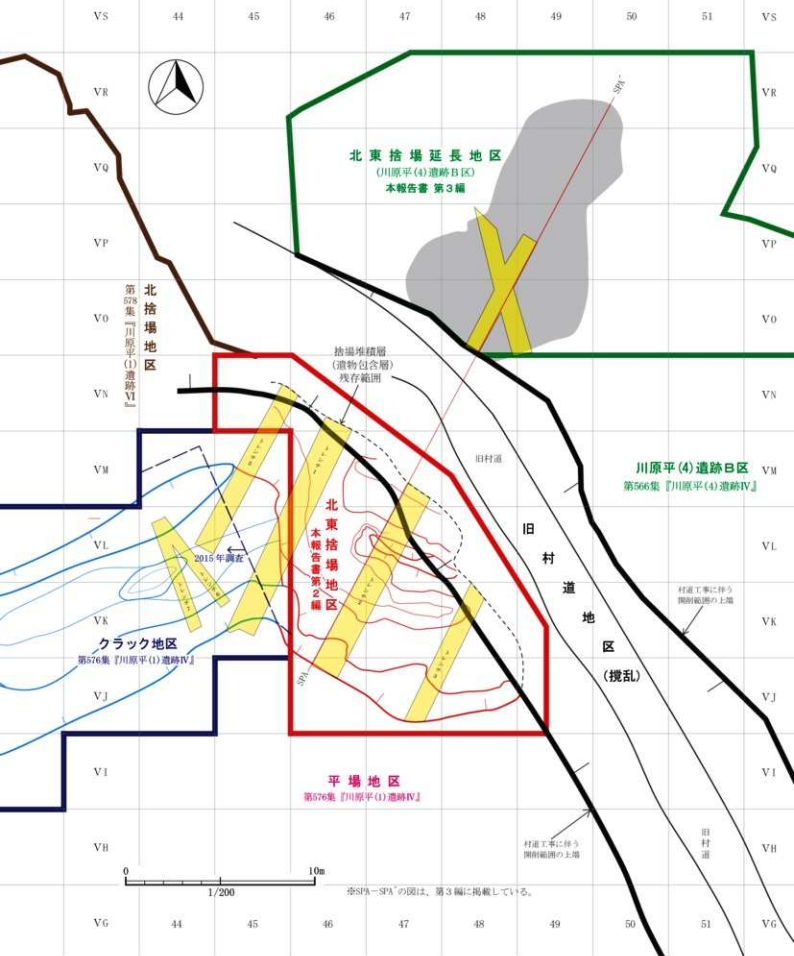


図 53 北東捨場地区・北東捨場延長地区・クラック地区等の位置関係 (1 : 200)

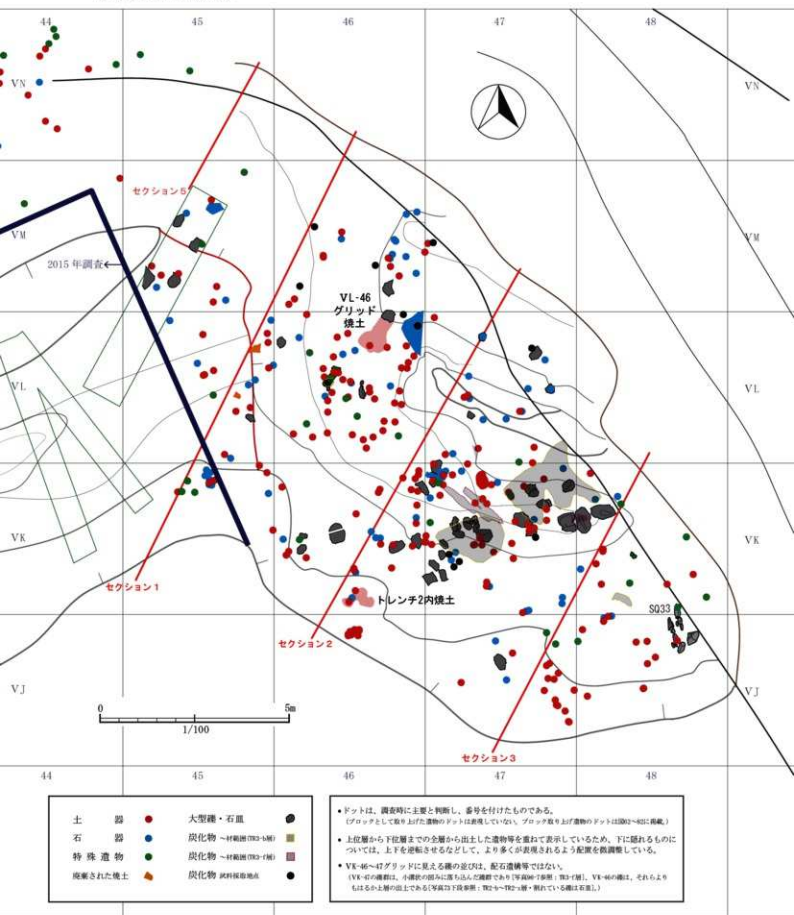


図 54 北東捨場地区 遺構配置図・遺物等分布状況図 (1 : 100)

## 第3章 検出遺構と出土遺物

配石遺構1基、焼土遺構2基が検出された。全て北東捨場の包含層中における検出である。

### 1 配石遺構

第33号配石遺構 (SQ33 図55、写真83・104)

【位置・確認・重複】 VJ～VK-48グリッドに位置し、TR3-イ層の中に確認した。重複なし。

【規模・形状】 TR3-イ層の中に礫が配置されている。平面的には、長軸を南北にとる2列の配石（西列=S-3～9、東列=S-10～14）に見えるものであり、各列の南端にはやや大型の礫（S-1、2）が、軸線からわずかにずれて配置されている。断面図や写真でも分かるとおり、西列、東列の各礫は、面積の広い面を側にして、立てるように配置されている。顕著なのは、西列北端の板状礫（S-7）であり、その東側に沿うS-8、9は、S-7の補強のために加えられたようにも見える（写真参照）。

礫設置のための掘方を入念に探したが、確認されなかった。また、土坑等の掘り込み等も伴わない。

【堆積土】 TR3-イ層の掘り下げ過程で確認したことから、覆土は同層であった可能性がある。

【出土遺物】 列内から土器片が数点出土し、4点ほどを図示したが、これらはTR3-イ層に含まれていたもので、本遺構に伴うものではないと考えられる。

【小 結】 TR3-イ層の形成途中（晩期中葉）における構築と考えられる。

（木村）

### 2 焼土遺構

2基とも本地区が捨場として機能していた（遺物包含層が形成されていた）ある段階で遺された被熱痕である。赤化範囲は非常にぼんやりしており、本遺跡において焼土遺構と一般的に称しているものとは異なることから、ここではSN番号を付さず、調査時の呼称をそのまま用いた。

なお、これら以外にも、付近にはいくつかの焼土が認められているが、全て廃棄された焼土であり、現地性のものではない。

VL-46グリッド焼土（図55、写真76）

【位置・確認・重複】 VL-46グリッドに位置する。TR1-4.5層の掘り下げ過程で確認した。重複なし。

【規模・形状】 赤化範囲は、113×77cmを測り、平面形は不整形を呈する。

【堆積土】 TR1-4.5層が被熱しているもので、掘り込み等は特に認められない。赤化の深さは17cmと深い。赤化度合いは全般に弱い。この焼土を覆うTR1-4.5層が堆積土に相当する。

【出土遺物】 本焼土に伴う遺物はなし。

【小 結】 TR1-4.5層の堆積過程（晩期中葉）における形成と考えられる。

（木村）

トレンチ2内焼土 (図55、写真79)

【位置・確認・重複】VK-46グリッド (トレンチ2-1~2) に位置する。TR2-z層の除去後、TR2-1層上面で確認した。重複なし。

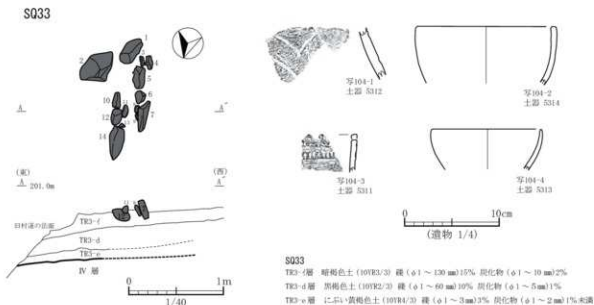
【規模・形状】赤化範囲は、81×65cmを測り、平面形は不整形を呈す。

【堆積土】TR2-1層が被熱したもので、掘り込みは認められない。赤化の深さは8cmで、赤化の度合いは弱い。この焼土を覆うTR2-zが堆積土に相当する。

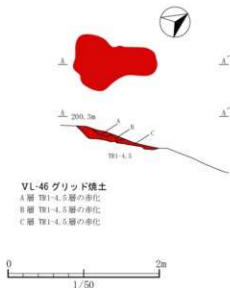
【出土遺物】本焼土に伴う遺物はなし。

【小 結】時期は、TR2-1層の堆積完了後、TR2-z層堆積以前 (おおむね晩期中葉) の形成と考えられる。

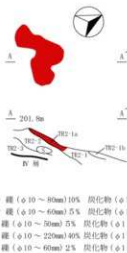
(木村)



VL-46グリッド焼土



トレンチ2内焼土



土層断面図における礫の表現は省いている (礫の状況については、写真図版参照)。

図55 北東捨場地区 配石遺構・焼土遺構

## 第4章 北東捨場

### 第1節 調査の方法

調査では、土壌と礫と遺物にみられる人為的痕跡と自然作用の関与度合いについて、常に思考しながら、遺物の層位的な取り上げ、土器集中域（ブロック：本章第3節）の認定、各種遺物と土器との共存関係の有無、包含層中における遺構の有無等に最大限の注意を払って作業を進めた。

図54の遺構配置図でも分かるとおり、北東捨場地区の付近には、堅穴建物跡が構築されており、居住域が付近に存在することが明確であったことから、先ずは捨場堆積層（遺物包含層）の上面を移植ベラで丁寧に削り落とし、遺構確認作業を複数回にわたって行った。

結果、北東捨場地区における捨場堆積層（遺物包含層）の内部に柱穴等は存在しないことを確認した。

ただし、この段階での捨場堆積層（遺物包含層）の上面には、東～北東方向にやや傾きながら筋状に分布する礫群や、傾斜しながら面的に分布する炭化物などが認められたことから、捨場堆積層（遺物包含層）の掘り下げ途中で堅穴建物跡の柱穴などが検出される可能性はあり得ると考え、層位的な掘り下げと断面の削り作業においては、常に土壌の色調が明瞭になるように心がけた。この作業姿勢は、北東捨場を完掘するまで、一貫して継続した。以下、調査の方法について述べる。

**【小型トレンチの設定】**捨場堆積層（遺物包含層）に、小型トレンチ（斜面トレンチ1、2-1、2-2、3-1、3-2、4-2、5、調査区西端トレンチ）を設定し、地点毎の深さと遺物の包含量、土層の堆積状況の把握を試みた（図56・写真73）。結果的に、捨場堆積層（遺物包含層）は予想以上に厚く（深く）、遺物と礫が相当に含まれていることを把握した。

**【大型トレンチの設定】**土壌の傾斜方向にあわせ、幅1mないし1.5m、長さ7.5～12mの大型トレンチを4条（トレンチ1～3、5）設定した。土層の比較検討をスムーズに行えるよう、各トレンチ間の距離は、2～4mと狭く設定した。（土壌の傾斜方向の削り出しは、小型トレンチの両側壁に現れた土層の観察に基づく）

**【中型トレンチの設定】**「調査区西端トレンチ」以西の区域が調査可能になって以降、調査面積を拡大したが、トレンチ5の南西端には、北東捨場とは様相の異なる土壌で埋没した溝状の落ち込み（崩壊地形）が認められたことから、この部分に中型トレンチ（トレンチ6・7）を設定した（図56）。この溝状の落ち込み部分は、『川原平(1)遺跡Ⅴ』の中で、「クラック地区」として報告されている。

**【大型トレンチの土層断面（ベルト）】**大型トレンチの土層断面に沿わせ、5本のベルトを設定した。トレンチ1～3の各北壁面にベルト1～3、トレンチ1の南壁面にベルト1.5、トレンチ2の南壁面にベルト2.5を設定した。これにより、北東捨場の土層観察面は、トレンチ4条（トレンチ1、2、3、5）とベルト6条（ベルト1、1.5、2、2.5、3、5）の側面（合計13面：トレンチの断面でありベルトの断面でもある箇所が6面）で行うことで、土層を比較しやすい状態を構築した（図56）。固化工具とした土層断面は、トレンチ1～3の各北壁面である。なお、これらベルト1～3は、地表面から底面までの深さが130～200cmという大型のものであり、北東捨場の生命線とも言うべき重要な断面であったことから、部分的な欠損や崩壊を防ぐため、断面を垂直にすることは避け、微妙な勾配をつけた。従って、土層断面の下端が、上端よりも手前にせり出す状況が生じたために、平面におけるセクションポイントは、トレンチの

上端ラインから若干ずれたものとなっている。ただし、土層断面図はトータルステーションで作成しているため、縦方向の長さの増幅などはない。

壁面の劣化防止策として、要所に保湿剤としての土糞や土糞袋等を断面の天端に設置し、乾燥気味の箇所には常に加湿し、終業前にはシートで壁面を覆うなど、恒常的な保守作業を行った。

なお、ベルト1, 2, 3, 5の右端(北東側)は、安全対策のために施した水平カットの名残で、階段状になっている(図57および後述の【安全対策】参照)。

**【トレンチ内小グリッド・ベルト内小グリッドの設定】**大型トレンチおよびこれに沿うベルトは、いずれも南西-北東に軸線をとるもので、グリッドの軸線とは60°ほどずれる。よって、グリッド単位での遺物取り上げが煩雑になることから、各トレンチおよびベルトの内部を1mごとに分割し、「トレンチ1-3」、「トレンチ2-5」、「ベルト1-3」、「ベルト2-5」のように、「トレンチ内小グリッド」と「ベルト内小グリッド」を設け(図56)、トレンチとベルトに関しては、これらの小グリッドで遺物取り上げを進めた。(結果的に土器の接合作業も効率的に行うことができた。)グリッド、トレンチ、ベルトの関係は、下表の通りである。

大型トレンチ			中型トレンチ																																																																																																																							
<table border="1"> <tr><td>ベルト1</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VL-45・VM-45</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-45</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td>VM-45・VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td></td></tr> </table>	ベルト1	-1			-2	VL-45		-3			-4			-5	VL-45・VM-45		-6	VM-45		-7	VM-45・VM-46		-8	VM-46		-9			-10	VM-46		-11		<table border="1"> <tr><td>トレンチ1</td><td>-1</td><td>VM-45・VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VL-45・VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-46・VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td>VM-46・VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td>VM-46</td></tr> </table>	トレンチ1	-1	VM-45・VL-45		-2			-3	VL-45		-4			-5	VL-45・VL-46		-6	VM-46・VL-46		-7			-8	VM-46		-9			-10	VM-46・VM-46		-11	VM-46	<table border="1"> <tr><td>ベルト1.5</td><td>-1</td><td>VM-45</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VL-45</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VL-45・VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td>VM-46</td></tr> </table>	ベルト1.5	-1	VM-45		-2	VL-45		-3	VL-45・VL-46		-4			-5	VL-46		-6			-7			-8	VM-46		-9			-10	VM-46		-11	VM-46	<table border="1"> <tr><td colspan="2">トレンチ6</td></tr> <tr><td>VL-44</td><td>VM-44・VM-45</td></tr> <tr><td colspan="2">トレンチ7</td></tr> <tr><td>VL-44</td><td>VM-44</td></tr> </table>	トレンチ6		VL-44	VM-44・VM-45	トレンチ7		VL-44	VM-44												
ベルト1	-1																																																																																																																									
	-2	VL-45																																																																																																																								
	-3																																																																																																																									
	-4																																																																																																																									
	-5	VL-45・VM-45																																																																																																																								
	-6	VM-45																																																																																																																								
	-7	VM-45・VM-46																																																																																																																								
	-8	VM-46																																																																																																																								
	-9																																																																																																																									
	-10	VM-46																																																																																																																								
	-11																																																																																																																									
トレンチ1	-1	VM-45・VL-45																																																																																																																								
	-2																																																																																																																									
	-3	VL-45																																																																																																																								
	-4																																																																																																																									
	-5	VL-45・VL-46																																																																																																																								
	-6	VM-46・VL-46																																																																																																																								
	-7																																																																																																																									
	-8	VM-46																																																																																																																								
	-9																																																																																																																									
	-10	VM-46・VM-46																																																																																																																								
	-11	VM-46																																																																																																																								
ベルト1.5	-1	VM-45																																																																																																																								
	-2	VL-45																																																																																																																								
	-3	VL-45・VL-46																																																																																																																								
	-4																																																																																																																									
	-5	VL-46																																																																																																																								
	-6																																																																																																																									
	-7																																																																																																																									
	-8	VM-46																																																																																																																								
	-9																																																																																																																									
	-10	VM-46																																																																																																																								
	-11	VM-46																																																																																																																								
トレンチ6																																																																																																																										
VL-44	VM-44・VM-45																																																																																																																									
トレンチ7																																																																																																																										
VL-44	VM-44																																																																																																																									
<table border="1"> <tr><td>ベルト2</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VM-46・VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VL-46</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VL-47</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td></td></tr> </table>	ベルト2	-1			-2	VM-46		-3			-4			-5	VM-46・VL-46		-6	VL-46		-7			-8	VL-47		-9			-10	VM-47		-11		<table border="1"> <tr><td>トレンチ2</td><td>-1</td><td>VM-46・VJ-46</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VM-46・VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VL-46・VL-47・VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VL-47</td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td>VM-47</td></tr> </table>	トレンチ2	-1	VM-46・VJ-46		-2			-3	VM-46		-4			-5	VM-46・VM-47		-6	VL-46・VL-47・VM-47		-7			-8	VM-47		-9	VL-47		-10			-11	VM-47	<table border="1"> <tr><td>ベルト2.5</td><td>-1</td><td>VJ-46</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VJ-46・VM-46</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VM-46・VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td>VL-47</td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-10</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-11</td><td>VL-47・VM-47</td></tr> </table>	ベルト2.5	-1	VJ-46		-2	VJ-46・VM-46		-3	VM-46・VM-47		-4			-5	VM-47		-6			-7			-8	VL-47		-9			-10	VM-47		-11	VL-47・VM-47	<table border="1"> <tr><td colspan="2">小型トレンチ</td></tr> <tr><td>断面トレンチ1</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td>断面トレンチ2-1</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td>断面トレンチ2-2</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td>断面トレンチ2-3</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td>断面トレンチ2-4</td><td>VL-47</td></tr> <tr><td>断面トレンチ2-5</td><td>VL-46</td></tr> <tr><td>断面トレンチ5</td><td>VM-46</td></tr> <tr><td>調査区西端トレンチ</td><td>VM-44 VL-45</td></tr> <tr><td>調査区東端トレンチ1</td><td>VL-47</td></tr> </table>	小型トレンチ		断面トレンチ1	VM-47	断面トレンチ2-1	VM-46	断面トレンチ2-2	VM-47	断面トレンチ2-3	VM-46	断面トレンチ2-4	VL-47	断面トレンチ2-5	VL-46	断面トレンチ5	VM-46	調査区西端トレンチ	VM-44 VL-45	調査区東端トレンチ1	VL-47
ベルト2	-1																																																																																																																									
	-2	VM-46																																																																																																																								
	-3																																																																																																																									
	-4																																																																																																																									
	-5	VM-46・VL-46																																																																																																																								
	-6	VL-46																																																																																																																								
	-7																																																																																																																									
	-8	VL-47																																																																																																																								
	-9																																																																																																																									
	-10	VM-47																																																																																																																								
	-11																																																																																																																									
トレンチ2	-1	VM-46・VJ-46																																																																																																																								
	-2																																																																																																																									
	-3	VM-46																																																																																																																								
	-4																																																																																																																									
	-5	VM-46・VM-47																																																																																																																								
	-6	VL-46・VL-47・VM-47																																																																																																																								
	-7																																																																																																																									
	-8	VM-47																																																																																																																								
	-9	VL-47																																																																																																																								
	-10																																																																																																																									
	-11	VM-47																																																																																																																								
ベルト2.5	-1	VJ-46																																																																																																																								
	-2	VJ-46・VM-46																																																																																																																								
	-3	VM-46・VM-47																																																																																																																								
	-4																																																																																																																									
	-5	VM-47																																																																																																																								
	-6																																																																																																																									
	-7																																																																																																																									
	-8	VL-47																																																																																																																								
	-9																																																																																																																									
	-10	VM-47																																																																																																																								
	-11	VL-47・VM-47																																																																																																																								
小型トレンチ																																																																																																																										
断面トレンチ1	VM-47																																																																																																																									
断面トレンチ2-1	VM-46																																																																																																																									
断面トレンチ2-2	VM-47																																																																																																																									
断面トレンチ2-3	VM-46																																																																																																																									
断面トレンチ2-4	VL-47																																																																																																																									
断面トレンチ2-5	VL-46																																																																																																																									
断面トレンチ5	VM-46																																																																																																																									
調査区西端トレンチ	VM-44 VL-45																																																																																																																									
調査区東端トレンチ1	VL-47																																																																																																																									
<table border="1"> <tr><td>ベルト3</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VJ-47</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td>VM-47</td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-47・VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td>VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> </table>	ベルト3	-1			-2	VJ-47		-3			-4	VM-47		-5			-6	VM-47・VM-48		-7	VM-48		-8		<table border="1"> <tr><td>トレンチ3</td><td>-1</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VJ-47</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td>VJ-47・VJ-48・VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td>VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VM-48・VL-48</td></tr> </table>	トレンチ3	-1			-2	VJ-47		-3			-4	VJ-47・VJ-48・VM-48		-5			-6	VM-48		-7			-8			-9	VM-48・VL-48	<table border="1"> <tr><td>ベルト3.5</td><td>-1</td><td>VL-47・VL-48</td></tr> <tr><td></td><td>-2</td><td>VL-48</td></tr> <tr><td></td><td>-3</td><td>VL-48・VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-5</td><td>VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-6</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-7</td><td>VM-48</td></tr> <tr><td></td><td>-8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-9</td><td>VM-48</td></tr> </table>	ベルト3.5	-1	VL-47・VL-48		-2	VL-48		-3	VL-48・VM-48		-4			-5	VM-48		-6			-7	VM-48		-8			-9	VM-48																																										
ベルト3	-1																																																																																																																									
	-2	VJ-47																																																																																																																								
	-3																																																																																																																									
	-4	VM-47																																																																																																																								
	-5																																																																																																																									
	-6	VM-47・VM-48																																																																																																																								
	-7	VM-48																																																																																																																								
	-8																																																																																																																									
トレンチ3	-1																																																																																																																									
	-2	VJ-47																																																																																																																								
	-3																																																																																																																									
	-4	VJ-47・VJ-48・VM-48																																																																																																																								
	-5																																																																																																																									
	-6	VM-48																																																																																																																								
	-7																																																																																																																									
	-8																																																																																																																									
	-9	VM-48・VL-48																																																																																																																								
ベルト3.5	-1	VL-47・VL-48																																																																																																																								
	-2	VL-48																																																																																																																								
	-3	VL-48・VM-48																																																																																																																								
	-4																																																																																																																									
	-5	VM-48																																																																																																																								
	-6																																																																																																																									
	-7	VM-48																																																																																																																								
	-8																																																																																																																									
	-9	VM-48																																																																																																																								

**【各トレンチの掘り下げ】**土層の堆積状況や地山面までの深さ等を早期に把握する一斉掘り下げの方式は採らず、各層の特徴と遺物の出土傾向を詳細に確認しながら、層位毎に慎重に掘り下げ、細かな作業を必要とする層と、簡略に掘り進めることが可能な層との見極めを行った。掘り下げ途中における遺構の有無確認は、恒常的な基本作業とした。

**【トレンチ～ベルト間の掘り下げ】**同一土層の面的な広がりや常に観察しながら掘り下げた。ここにおいても掘り下げ途中における遺構の有無確認は、恒常的な基本作業とした。各層には、多くの遺物が含まれていたことから、基本的には移植ペラとねじり鎌を用いて掘削したが、トレンチ調査で把握された、簡略に掘り進めることが可能な層については、部分的にジョレンを用い、作業の省力化をはかった。

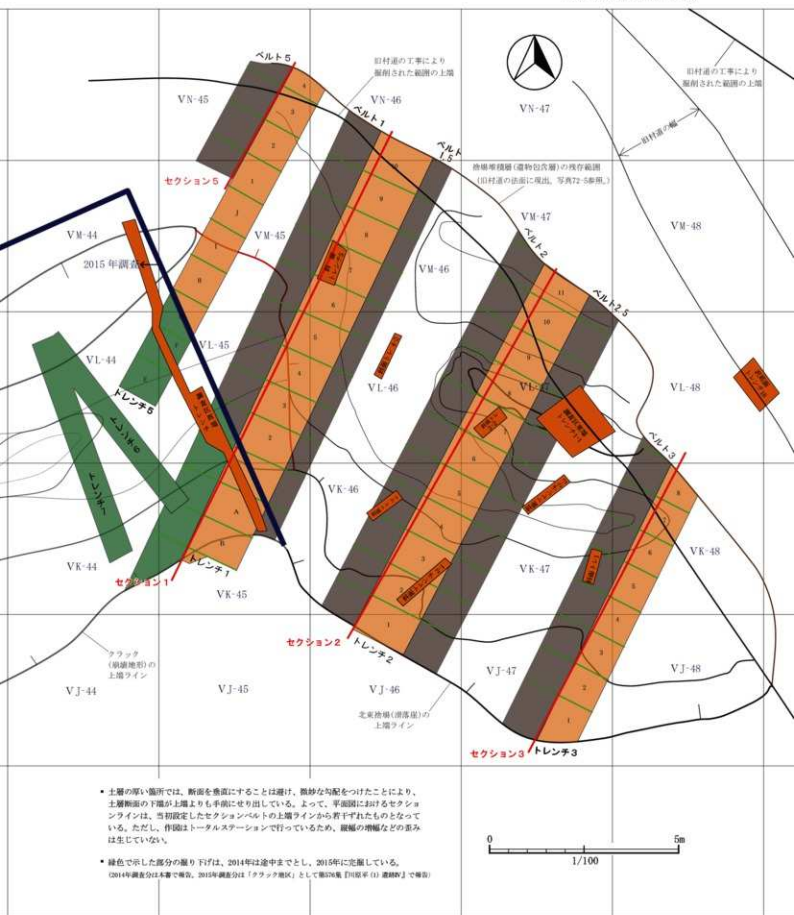


図 56 北東捨場地区 グリッド・トレンチ・ベルトの位置 (1:100)

【土層番号】大型トレンチの土層名は、トレンチ1にTR1系統、トレンチ2にTR2系統のように、トレンチごとにつけた。これらの頭番号に、枝番号として小文字アルファベット系(a～z)、数字系(1～)、カタカナ系(ア～)を加え、「TR1-a」、「TR2-1」、「TR3-ア」のように表記した。これは、近距離であっても、日照の状況や土層断面の乾湿の状態などにより、同一層の認定は決して容易ではなかったため、層番号を意図的に増やしたものである。

各トレンチとも10m前後の長さをもつため、南西側(上方:左側)から付けた層番と北東側(下方:右側)から付けた層番とがあり、同一層に対して2つの層番が付されているものがわずかにある(TR1-4=TR1-e、TR2-2=TR2-エなど)。ただし、特徴的な土層で、ある程度広い範囲で同一と認定できる層については、トレンチ2でありながら、「TR3-e」を付けるなど、一部はトレンチ間で共有する層番号もある。なお、TR2-y層は、図57以降の土層断面図に表記されていないが、これはTR2-b層とTR3-a層の中間的な層である。

北東捨場の調査で用いた層番号

	TR1系	TR2系	TR3系	TR5系	TR6系
大字系	TR1-1 TR1-2 TR1-3 TR1-4 TR1-5 TR1-6 TR1-7 TR1-8	TR2-1 TR2-2 TR2-3 TR2-4		TR5-1 TR5-2 TR5-3	TR6-1 TR6-2 TR6-3
小文字系	TR1-a TR1-b TR1-c TR1-d TR1-e	TR2-a TR2-b TR2-c TR2-x TR2-y TR2-z	TR3-a(6):TR3-a1 TR3-a2 TR3-b TR3-c TR3-d(6):TR3-d1 TR3-d2 TR3-e TR3-f TR3-g TR3-z		クラック 地中土 埋戻
カタカナ系		TR2-ア TR2-イ TR2-ウ	TR3-ア TR3-イ		

※トレンチ4はTR1-2、トレンチ7は存在するが、TR7系の層番号の認定に無し

【土器集中域(ブロック)の認定】土器の集中域が検出された場合、これを「ブロック」と称し、ブロック単位での遺物取り上げを行った。良好な復元個体になり得ると思われる2個体以上が近接(上面からの目視で2点間距離が60cm前後)して出土し、同時廃棄されているように見えるものを認定対象としている。

ブロックの土器として認定した個体土器(良好な復元個体になり得ると思われる個体)については、主要な破片をドットマップ化し、ブロックの範囲の輪郭については、ラインとして作図した。北東捨場のブロック番号は4000番台を用いたが、調査の初期段階では、遺跡全体で用いたブロック番号(ブロック15、16)を使用している。

【遺物の図化】ブロック出土遺物や重要遺物、特殊遺物については、写真撮影の後、遺物番号(P-4001～、S-4001～、特4001～)を付して図化した(北東捨場の遺物番号は4000番台と5000番台)。図化は、基本的にはドット、状況によって微細図とした。全面的に出土する土器破片や不定形な剥片類は、一括番号(P-X、S-X)を付し、写真撮影や図化は行わなかった。

【遺物の取り上げ】ブロック出土遺物や重要遺物、特殊遺物については、遺物番号毎にビニール袋に入れ、カードを付して取り上げた。ただし、ブロックの範囲内に含まれる、小型の土器片類は、取りよりその場に存在していたものが含まれていると考えられることから、これらについてはブロックのP-Xとして取りあげた。石器などの小型の遺物はチャック付き袋に入れた。写真撮影や図化を行わずに一括番号(P-X、S-X)を付した土器破片や不定形な剥片類は、グリッドと層番号でまとめ、カードを付して一袋にまとめた。なお、本捨場の北東側にある「大正時代に開削された道路」は、調査段階で「沢」と呼称し、遺物の取り上げも「沢」で取り上げている。

【排土置き場】(小型トレンチによる調査により、排土置き場が相当に不足することが分かったことから。)荒地状態にあった「大正時代に開削された道路」を精査し、法面に現れた捨場堆積層(遺物包含層:写真72-5)の断面図化を行い、予想排土量を概算し、「大正時代に開削された道路」部分を排土置き場として利用した。(結果的に、排土はほぼ計算通りに収まり、調査の初期段階で心配された危険な状態もこの排土によって日々改善された。)

【安全対策】捨場堆積層(遺物包含層)と「大正時代に開削された道路」との境は、落差4.5m前後(法面長約6m)の崖(写真72-5)であり危険だったため、安全対策として、崖付近を階段状に水平カットし(図57参照)、手すりや歩み板などを設置した(写真73上段参照:設置途中の状況)。また、この部分における過乾燥と過湿の反復による捨場堆積層(遺物包含層)の劣化・崩壊を防ぐため、シートによる法面保護を施した。トレンチ3の土層断面は相当な深さになることが精査の途中で分かったため、地表面から下方へ約1mまでの土層断面を図化・記録し、その深さまで掘り下げてから残り底面までを掘り下げた(写真80～81上段参照)。

(木村)



## 第2節 捨場堆積層<sup>1)</sup>(遺物包含層) (図57～60・写真71～82)

以下ではトレンチ1～3の土層断面をセクション1～3と読み替えて記述する。土層番号の付け方については、本章第1節(左ページ)を参照。

**【遺存状況】**多量の遺物が出土した本捨場は、遺存状況という面で見ると、それほど良好なものではない。前述のように、大正時代における道路構築のために大幅に開削されており、捨場堆積層(遺物包含層)の北東側は大規模に失われている。また、本捨場の確認面は極めて平坦であるが、これは、この地区が水田造成に伴う削平を受けているためである。よって、本捨場の確認面における、弧状を呈す落ち込みのラインは、本来の捨場の最上端(滑落崖の上端)から数十cm(20～30cm)か)下位に相当しているものと考えられる。

**【微地形】**滑落崖の一部利用によって形成された本捨場は、残存範囲で見れば、南北(北西-北東)約20m、東西(南西-北東)約12m(北東捨場延長地区までを含めると約33m)、確認面から底面までの深さは約3mを測る。また、本捨場から北東捨場延長地区までの傾斜(完掘状態)を巨視的に見れば、まさに「緩傾斜」と言うべき状況ではあるが、後期後葉や晩期前葉頃の、土壌の堆積が少ない時期を想定して、微視的に地点間を比較すると、トレンチ1などは緩い傾斜であるが、トレンチ2や3は、かなり“きつい傾斜”となっている。傾斜がきついか緩いかという漠然とした区分は、あくまでも傾斜に対する人間の身体的な限界(楽に降りられるか、登れるか)に基づく感覚的表現ではあるが、傾斜の角度は、遺物の廃棄方法(姿勢、体勢、構え)に大きく関与し、また、廃棄された土壌や礫、遺物の自然移動の度合いにも深く関連するものと考えられる<sup>2)</sup>。このようなことを踏まえて、以下に捨場堆積層(遺物包含層)について述べていく。

**【色調】**色調については、日照量の少ない日や曇天下で慎重に観察した。巨視的には、セクション1～3の間に、際立った色調差は認められず、全般に黒褐色系の土壌を主体とするが、微視的にみると、セクション1は、黒褐色土が主体を占め、セクション2は、暗褐色土が主体、セクション3は、黒褐色土～暗褐色土が主体を占めつつも、褐色土(TR3-a=TR3-ア)が特徴的に堆積するというように、地点毎の色調には特性が認められる。つまり、同一時期の土層であっても、広範囲に同系色の土層が堆積することはないことが分かる。これは、初回の廃棄土壌(A)が、次回の廃棄土壌(B)と混和して(C)が形成され、3回目の廃棄土壌は、(A)～(C)の土壌の上に新たな廃棄土壌を重ね、混和した分は(D)となる、といったサイクルにより、地点毎に色調差が生じたのではないかと考えられる<sup>3)</sup>。

**【土層ライン】**セクション1, 2, 3を比較すると、セクション1はやや複雑なラインを呈しているが、セクション2、セクション3と、南東側に近づくほど、土層ラインは単調なものとなっている。これは、トレンチ2, 3のあたりにおいては、時間経過に伴って、安定的な堆積が進行していった状況とみられ、一方でセクション1のTR1-d、TR1-2=TR1-cの下端ラインをみると、それまでの堆積土が流れたか、あるいは土壌堆積のパターンが変化したのか、いずれにしても何らかの変化があったことを推測させる(地山の傾斜方向と、断面ラインが斜めに交差している状況も関係している可能性がある)。

また、セクション1のTR1-5層は、途中で土層が途切れている(図中の矢印)が、これは多量の礫の集積により、その下方には同層が広がらなかった状況を示す(写真75:土層断面⑤左側)。人間活動が土壌の自然な堆積を常に変えていることをよく示している。そのような意味で、セクション2, 3は、人間活動に伴う廃棄土壌であっても、きわめて自然に層序が形成されていった状況とみることができそうである。

**【遺物の包含状況】**全ての層に遺物は包含されているが、層ごとに多寡が認められる。極端な2例を示すと、土量に対する遺物量が明らかに多い層として、TR1-4層が挙げられる(晩期3期～4期を多

量に包含)。逆に、明らかに少ない層としては、TR3-アが挙げられ、この層からは、ごく希に小破片が出土するに過ぎない。このように、土器類が多量に廃棄された層、土壌が多量に廃棄された層とがある。

**【礫の包含状況】**各土層は全体的に礫を多く含んでいる。興味深いのは、先に述べたTR1-4層（土器類が明らかに多い）や、TR3-ア層（土器類が明らかに少ない）などにみられる礫の多さである。つまり、土器の包含が極端に多い場合と、極端に少ない場合に限って、礫の包含率が高い傾向がある。土器が多ければ礫も多く、土壌が多い場合も礫が多い。このことは、TR1-4層にみられる状況は、ある段階において、遺物の廃棄と礫の廃棄は同じ場所が選ばれていた可能性、そして、TR3-ア層にみられる状況は、多量の土壌の廃棄とともに、地山<sup>4)</sup>に含まれていた礫も自然に混じった、このような状況があったことを推測させる。TR3-ア層は、本捨場では希と言うべき褐色を呈す土壌であることも考え合わせると、この層は、堅穴建物の構築などに伴う、一括性の高い掘削土であると推定される。

**【各層の特徴（「層」の表記を省略）】セクション1** TR1-bは、赤茶色がかかり、植物などの影響を受けている可能性がある。TR1-cは、礫と土器が多い。TR1-eは、TR1-4を途切れさせる層だが、これは何か有機質の痕跡であろうか。TR1-4は、暗褐色土で、明らかに周囲の層よりも明るい。礫も土器も多量に出土した。TR1-4.5も上層と同様、周囲より明るい暗褐色土。TR1-5は、礫100%の箇所により、土層ラインが途切れる（図中矢印部分）。TR1-6は、明るい暗褐色土で、焼土粒を多く含み、特徴的である。

**セクション2** TR3-Zは、特徴的な粘土質土。TR3-bは、炭化物層で、ほぼ純層の箇所もある。炭化材が主で、芽状のものも微量に混じる。消失家屋等の廃棄部材の可能性もある。遺物は微量であるが大洞A式を含む。TR2-1、TR2-b、TR2-Z、TR2-ア、TR2-イ、TR2-ウは大洞C1式を包含し、TR2-bは多量の大洞C1式を含み、TR2-Zには礫が多い。TR2-X（TR2-イ）はしまり無く、ボソボソしている。TR2-2、TR2-エ、TR3-d2は、大洞B式を包含し、TR2-エは、礫多く、TR3-d2は、焼土粒やローム粒により赤みがかって見える。TR3-eは、礫多く、TR3-fは、混入物僅少で、地山と3-gとの混合土を主体に褐色を呈す。これらTR2-3、TR3-e、TR3-fは、後期後葉～後期末を包含する。TR2-4には、中期の土器がわずかに含まれている。なお、セクション2は、下方の下層において、TR3系の土層（TR3-Z、TR3-b、TR3-d2、TR3-e、TR3-f）が分布する。

**セクション3** TR3-cは、一括廃棄の可能性のある地山起源土壌と推定され、礫が多く、遺物は少ないが、ごく希に大洞C2式の略完形が出土する。TR3-アは、粘性の強い粘土質土で、礫多く、大洞C1式をわずかに包含し、特徴的な褐色を呈す。これも上層と同じく、一括廃棄の可能性のある地山起源土壌と推定される。TR3-イも粘性の強い粘土質土で、大洞C1式を包含する。TR3-d、TR3-d2は、ともにシルト質で、焼土粒やローム粒により赤みがかかり、大洞B式を含む。TR3-eは、シルト質であるがややしまりに欠け、柔らかい。TR3-fは褐色を呈す。これらTR3-eとTR3-fの境に後期後葉～後期末が出土する。TR3-gには中期が微量に含まれる。

**【クラック地区との関係】**P92の註2において、本捨場の西側に隣接する「クラック地区」について触れたが、クラック地区Aベルトの土層断面（『川原平(1)遺跡IV 図171』）における堆積土と同一と考えられる層がいくつか認められる。同一ラインで連続した土層ではなく、互いに土壌のカット方向が異なることから、完全な同一層とは言えない面もあるが、右に推定される土層の対応関係を記しておく。

北東捨場	クラックAベルト
TR6-1、TR6-2層	1b層
TR1-5層	3a、3b層
TR1-6層	5a層
TR1-7層	8a、8b、8c層

(木村)

**註**

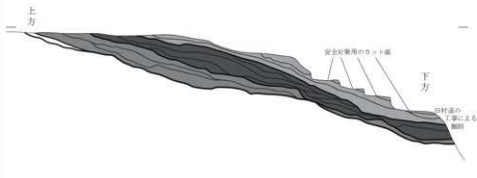
1) トレンチ5の土層断面（セクション5）については、包含層の形成が他の地点に比べて十分ではない（地山の傾斜がきつことから、常に土壌が流出していた可能性がある）範囲の図示である上、TR1-a、TR1-bと時間的に並行すると思われる薄い層が3層ほど堆積するにすぎないことから、ここではトレンチ1～3（セクション1～3）を主体に述べる。

捨場堆積層(遺物包含層)の分層線は、多孔質な土壌と多量の礫のために、思い通りに引くことは困難であった。線は釘を使っ  
て引いたが、軟質な部分に釘先が引き込まれることが多く、一度引いた線を消そうとしても、断面は決れるばかりで、線の修  
正は極めて難しかった。よって、図示した土層ラインと、写真中のラインとは、若干の誤りが生じているが、あくまでも線画  
で図示したラインが正式なものである。

- 遺物観察表には、TR2-γ層などの、トレンチ1～5のいずれにも登場しない土層が記されているが、この層などは、トレン  
チ2と3の間の層で、セクション1～3のライン上には存在しなかった層である。(TR2-γ層は、TR2-b層とTR3-a層の中間的な層)  
2) 土壌の堆積が進行することによって、本捨場は徐々に平坦化していったものと考えられる。ある程度の土壌堆積が進んだ晩期  
中葉頃においては、トレンチ3のセクションポイントA付近から下方に降りていく行為は可能だったと推定される。  
3) 廃棄された土壌内の混入物や、廃棄された有機物の腐食過程、そこに繁茂した植物の種類、土中生物の活動や化学変化など、  
多様な原因が考えられる。  
4) 図中における「漸移層」と「IV層」は、既報告の内容と同様である。即ち、漸移層は「遺物を含まない明褐色～黒褐色土」、  
IV層は、既報告の「IV層」・「地山」に相当し、「礫やローム、両者の混合層など地点によって多様」な状態を呈す土壌である。

## トレンチ1(セクション1:TR1系のみ表記 図58参照)

上方層名⇄下方層名	土層の形成時期
TR1-a	晩期
TR1-1=TR1-b	4期～5期
TR1-2=TR1-c	
TR1-d	
TR1-3	晩期
TR1-4=TR1-e	3期～4期
TR1-f,5	
TR1-5	晩期2層(後半)
TR1-6	後期7-4期
TR1-7	～晩期16期
TR1-8	遺物としての利用なし



## トレンチ2(セクション2:TR2系のみ表記 図59参照)

上方層名⇄下方層名	土層の形成時期
TR2-A	晩期
TR2-X=TR2-イ	4期～5期
TR2-a=TR2-ウ	
TR2-b	晩期
TR2-Z	3期～4期
TR2-1	
TR2-2=TR2-エ	晩期2層(後半)
TR2-3	後期7-4期
	～晩期16期
TR2-4	遺物としての利用なし



トレンチ2は、下方および下層において、TR3系の土層(TR3-Z, TR3-b, TR3-dE, TR3-a, TR3-f, TR3-g)が堆積する。

## トレンチ3(セクション3:TR3系のみ表記 図60参照)

上方層名⇄下方層名	土層の形成時期
TR3-Z	晩期
TR3-b	4期～5期
TR3-c	
TR3-a	晩期
TR3-a2=TR3-イ	3期～4期
TR3-d	
TR3-d2	晩期2層(後半)
TR3-e	後期7-4期
TR3-f	～晩期16期
TR3-g	遺物としての利用なし

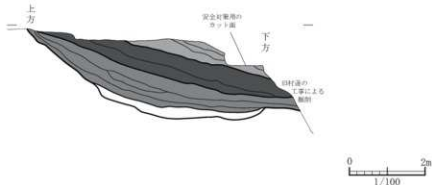
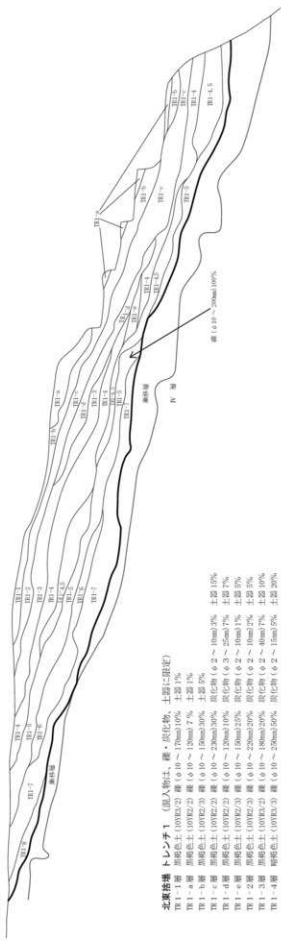


図57 北東捨場地区 トレンチ1～3土層断面図と土層番号・各土層の形成時期

トレンチ  
(セクション1)

(横断)  
1/50



- 北東捨堀 トレンチ1 (掘入物は、腐・炭化物、土器に限定)**
- III-1層 黒褐色土 (010K3/2) 腐 (0.10 ~ 170mm) 10% 土器 1%
  - III-1-a層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 120mm) 7% 土器 1%
  - III-1-b層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 120mm) 7% 土器 1%
  - III-1-c層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 120mm) 7% 土器 1%
  - III-1-d層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 120mm) 10% 炭化物 (0.2 ~ 10mm) 3% 土器 10%
  - III-1-e層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 120mm) 10% 炭化物 (0.2 ~ 25mm) 7% 土器 7%
  - III-1-f層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 120mm) 11% 炭化物 (0.2 ~ 10mm) 1% 土器 3%
  - III-1-g層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 220mm) 20% 炭化物 (0.2 ~ 10mm) 2% 土器 3%
  - III-1-h層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 220mm) 20% 炭化物 (0.2 ~ 40mm) 7% 土器 10%
  - III-1-i層 黒褐色土 (010K3/2) 腐 (0.10 ~ 180mm) 20% 炭化物 (0.2 ~ 15mm) 5% 土器 20%
  - III-1-j層 黒褐色土 (010K3/2) 腐 (0.10 ~ 220mm) 20% 炭化物 (0.2 ~ 20mm) 10% 土器 10%
  - III-1-k層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 200mm) 20% 炭化物 (0.10 ~ 50mm) 7% 土器 10%
  - III-1-l層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 200mm) 20% 炭化物 (0.10 ~ 50mm) 7% 土器 10%
  - III-1-m層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.10 ~ 120mm) 12% 炭化物 (0.1 ~ 20mm) 2% 土器 3%
  - III-1-n層 黒褐色土 (010K2/2) 腐 (0.12 ~ 120mm) 8% 炭化物 (0.1 ~ 20mm) 2% 土器 3%

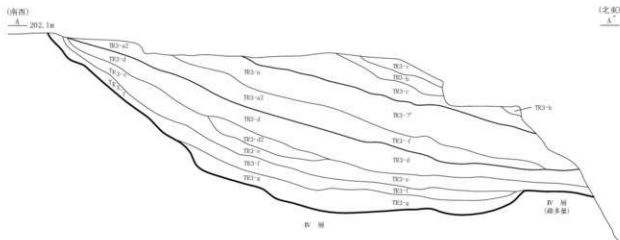
※ 図中に付した層の厚さは示していない(層の状況については、写真照準参照)。  
 横断の位置については、P105参照。



図 58 北東捨堀地区 トレンチ1 土層断面図



トレンチ3  
(セクション3)



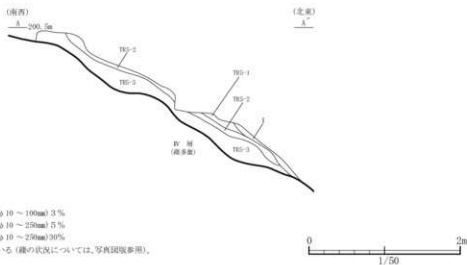
北東捨場 トレンチ3 (風入物は、礫・炭化物に限定)

- TR3-a層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~35mm) 3% 炭化物 (φ1~15mm) 1%
- TR3-b層 暗褐色土 (10YR3/2) 礫 (φ1~125mm) 20% 炭化物 (φ1~20mm) 5%
- TR3-c層 暗褐色土 (10YR3/2) 礫 (φ1~145mm) 30% 炭化物 (φ1~17mm) 1%
- TR3-d層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~120mm) 20% 炭化物 (φ1~12mm) 1%
- TR3-a2層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~190mm) 10% 炭化物 (φ1~8mm) 1%
- TR3-a層 暗褐色土 (10YR4/4) 礫 (φ1~190mm) 50% 炭化物 (φ1~20mm) 1%
- TR3-e層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~160mm) 20% 炭化物 (φ1~13mm) 1%
- TR3-d層 暗褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ1~360mm) 20% 炭化物 (φ1~10mm) 1%
- TR3-d2層 暗褐色土 (10YR3/4) 礫 (φ1~120mm) 5% 炭化物 (φ1~30mm) 2%
- TR3-e層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ1~300mm) 10% 炭化物 (φ1~40mm) 3%
- TR3-f層 暗褐色土 (10YR4/4) 礫 (φ1~70mm) 1% 炭化物 (φ1mm) 1%
- TR3-g層 暗褐色土 (10YR2/2) 礫 (φ10~30mm) 2% 炭化物 (φ1~5mm) 1%

※ 図中における礫の表現は省いている (礫の状況については、写真図版参照)。

特微的な礫については、P102参照。

トレンチ5  
(セクション5)



北東捨場 トレンチ5

- TR5-1層 暗褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ10~100mm) 3%
- TR5-2層 暗褐色土 (10YR2/3) 礫 (φ10~250mm) 5%
- TR5-3層 暗褐色土 (10YR3/3) 礫 (φ10~250mm) 30%

※ 図中における礫の表現は省いている (礫の状況については、写真図版参照)。

図 60 北東捨場地区 トレンチ3・トレンチ5土層断面図

### 第3節 土器集中域(ブロック)(図61～82・84～94、表2・3、写真84～96・104～131)

発掘調査では、良好な復元個体になり得ると思われる2個体以上が近接(上面からの目視で2点間距離が60cm前後)して出土し、同時廃棄<sup>1)</sup>されているように見えるものを「ブロック」として取り上げた<sup>2)</sup>。開放的な空間への廃棄に見えるものであることから、土坑内の一括資料のような、閉鎖的かつ安定的なまとまりは保証されず、偶然の近接した出土である可能性<sup>3)</sup>は否定できない。しかしそもそも、同時廃棄であるか否かの判断以前に、近接した出土が偶然であるかどうかさえも、厳密には判断できない。このようなことから、同一層の中で平面的に近接して出土した状況を「ブロック」として機械的に捉え、事例数を増やすことにより、本捨場における廃棄行為の特質やある段階における土器の同時存在を推定する一助とした。勿論、ある瞬間における同時廃棄(一括廃棄)、短期間内における追加廃棄(下記)という「まとまり」を示しているものは、決して少なくないと考えている。

**【ブロックの重複】** 垂直方向での重複関係は当然あるものとしてここでは触れないが、平面的にもあったことはほぼ確実と言える。それは、地表面に露出している、過去に廃棄されていた個体A・Bの近くに、個体C・Dを廃棄し、そしてまた時間が経った後に、個体A～Dの付近に個体Eを廃棄するといった状況は十分に想定できるからである。以下に述べるブロックの中にも、新旧関係にある2単位のブロックが、1単位として取り上げられているものが含まれているものと思われるが、このような、取り上げ時における把握の不確かさが原因で、既存の編年観と一致しない状態を含んでいる可能性はある。しかし一方で、既存の編年観の再検討も行われる必要がある。

**【ブロックの認定数と報告数】** 発掘調査では、83単位のブロックを認定した。うち、8単位の大型ブロック(4024, 4031, 4032, 4043, 4052, 4053, 4054, 4062)については、範囲内を分割(細分)することにより、枝番号を付けたブロックが17単位生じた。この17単位のブロックを単独のものとして捉えれば、全体で100単位のブロックを調査中に認定したことになる。しかし、接合作業の結果、2個体ととらえていたものが1個体にまとまった等の例があり、ブロックとして認定すべきではないものも生じた。図示および写真報告に耐えうる良好な2個体以上が組み合わせられたブロックは最終的に45単位となった。以下、これら45単位のブロックについて述べる<sup>4)</sup>。

**【各ブロックの主体的な時期と多寡】** **【後期後葉～晩期前葉】** ブロック4055, 4069, 4081, 4082, 4084の5単位が認定された。**【晩期1a期(大洞B1式期)】** ブロック4074の1単位のみの認定となったが、該期は、前段階(後期後葉～晩期前葉)の時間幅にも含まれていることから、晩期1a期が極端に少ない訳ではない。**【晩期1b期(大洞B2式期)】** ブロック4031-1, 4033, 4051, 4053-2, 4057, 4058, 4061, 4072, 4075, 4080, 4083の11単位が認定され、割合に活発な廃棄活動のあったことがうかがわれる。**【晩期2期(大洞BC式期)】** ブロック4013の1単位のみの認定となった。ブロック以外の該期の遺物も、他の時期に比べると極端に少なく、他の捨場との比較が必要である。**【晩期3期(大洞C1式期)】** ブロック15, 4004, 4005, 4024-1, 4025, 4030, 4032-1, 4032-3, 4032-5, 4036, 4037, 4038, 4053-1, 4066の14単位が認定された。この時期に属すブロックが最多で、活発な廃棄活動期、あるいはこの時期の絶対年代幅が他の時期よりも長い等、様々な要因が推察される。**【晩期4期(大洞C2式期)】** ブロック4011, 4019, 4032-6, 4043下層A, 4043下層B, 4045, 4052-1, 4052-4の8単位が認定された。**【晩期5期(大洞A式期)】** ブロック16, 4044の2単位が認定された。この時期の土層は、削平を受けているため、ブ

ロック数の少なさは、集落の縮小云々の議論と安易に直結させることはできない。**晩期2期～4期・晩期中葉～後葉** これらのほか、晩期2期～4期と幅広く捉えたブロック4024-2、4062-2、同じく幅広く捉えた晩期中葉～後葉のブロック4010がある。

**【時期毎の分布傾向 (図61-2)】** 時期毎の分布状況について概略を記す。**後期後葉～晩期前葉** V K-47・48グリッドのTR3-e層が中心的である。**晩期1a期(大洞B1式期)** 1単位のみであるが、VL-46グリッドのTR2-2層において認定された。**晩期1b期(大洞B2式期)** VL-45・46グリッドのTR1-5層が中心的である。**晩期2期(大洞B3式期)** 1単位のみであるが、VL-45グリッドのTR1-5層において認定された。**晩期3期(大洞C1式期)** VL-46、VM-46グリッドのTR1-4層が中心的である。**晩期4期(大洞C2式期)** VK-47グリッドのTR2-b層、VM-46グリッドのTR1-4層が中心的である。**晩期5期(大洞A1式期)** ブロック2単位のみであるが、VM-46グリッドのTR1-c層とVM-47グリッドのTR3-b層に認定された。

以上の分布傾向をまとめると、概ね後期後葉は本捨場の南東域、トレンチ3の中心あたりが廃棄の中心地、そして晩期前葉は北西に移動し、トレンチ1の上方から中心あたりが廃棄の中心地、晩期中葉はそこからごくわずかに北東に移動し、トレンチ1の中心から北東域が廃棄の中心地、そして晩期後葉は、トレンチ1と2の間の北東域に廃棄、というように、廃棄場所が移り変わる経過と経路が分かる。即ち、南東→北西(「クラック地区」方向へ)→北東(「北東捨場延長地区」へ)という動きが浮かび上がる。「北東捨場延長地区」方向への移動の背景には、廃棄土壌の堆積が進んだことによる、可動範囲の拡大があると考えられるとともに、「川原平(4)遺跡B区北西端」との連絡の活発化もあると考えられる。

**【重視されるブロック】** 図80に示した4081、4082、4083、4084の各ブロックは、TR3-e層～TR3-f層において認識されたものである。これらは層位的に大きな上下差をもって出土したものではなく、型式的にも後期後葉～晩期前葉と幅広く捉えておくのが現時点では最良と思われるが、ブロック間で新古を推定する試みはなされても良い資料群と思われる。ブロック4084(写真96左下)は、上方から転がってきた礫と、放り投げられた(?)土器と炭化材の組み合わせとみられる。小溝状の凹みに多くの遺物が集まっており、自然作用の関与がうかがわれるブロックである。図72のブロック4053-2は、晩期1b期の注口3個体と台付鉢、壺、深鉢などで構成され、多くの器種がまとまっており、組成を考える際の良いセットになるものと考えられるが、注口がまとまって3点出土している状況は、器種組成比としては違和感のあるもの、即ち、何か儀礼的な活動に伴ったものかと推定される。一方、図70に示したブロック4062-2は、半精製と粗製の土器がまとまって出土しており、精製土器の伴出が無いために、晩期2期～4期と幅広い時間幅で把握せざるを得ないが、逆にこのブロックこそ、短寿命の煮沸系日常品で構成されたものであることからすれば、むしろ時間幅を狭めて捉えてみることも必要かと思われる。このような意味で、精製土器と粗製土器の両方が出土している他のブロックなどは、粗製土器の編年を整備していく上で、今後重要度が高まるものと考えられる。

(木村)

#### 註

- 1)「廃棄」ではなく「送り」である云々の議論は常に重要であるが、当時の社会における観念についてまで考察することはできないことから、ここで用いる「廃棄」という用語は、「送り」的な観念を含めた幅広い概念として用いるものとする。
- 2) ブロックとして取り上げた遺物の中には、石器・その他もあるが、これらについては、土器とは別に報告している。
- 3) ブロックは、次世代に覆乱(壊られたり、退かされたり)されたり、あるいは自然現象で風化が進んだり、様々な環境に





図 61-1 北東捨場地区 土器集中域(ブロック)配置図

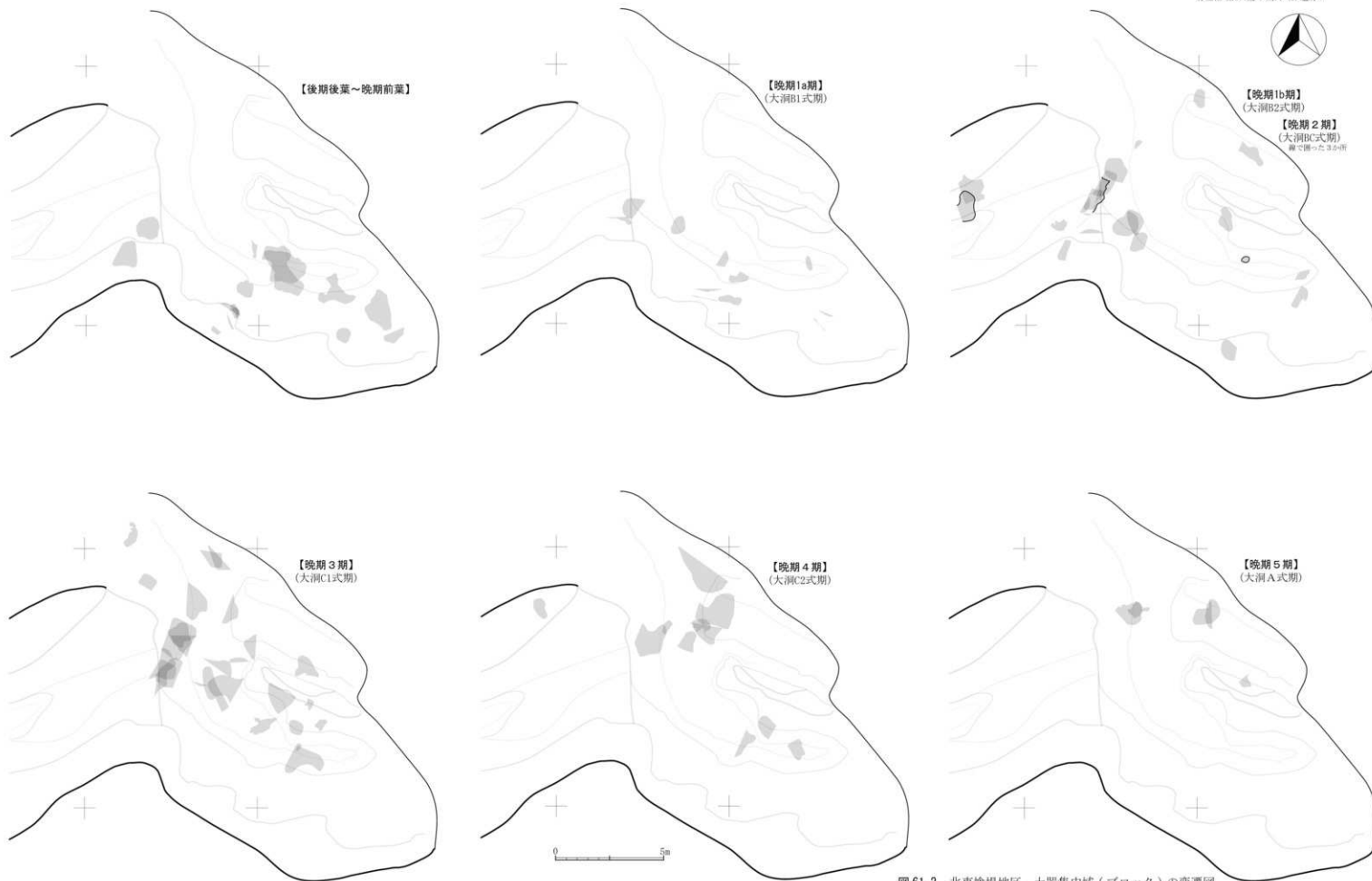


図 61-2 北東捨場地区 土器集中域(ブロック)の変遷図

らされ続け、後の土壌にバックされるまでの間に移動した可能性は当然想定される。また、植物の根、特に樹木類の根の成長による移動や根腐れ根への落下なども考慮すれば、新しい物が下へ移動する可能性も十分考えられる。

4) 各ブロックの平面図は、紙数の都合上、同一層位ごとではなく、複数のブロックが抽出された地点毎に掲載している。

情報の整理後に、いくつかのブロックについては、取り上げ層番号の誤認ではないかと思われるものが含まれていることが判明したが、層番号の変更などはあえて一切行っていない。矛盾する状況があれば、それは取り上げ時における誤認そのもの、また逆に、型式学と層位学との狭間に存在する不整合である可能性もあり得る。

ブロック範囲内に存在したK番号の土器片等との今後の検討等に混乱無く対応できるよう、ブロック番号の抹消や変更はあえて行っていない。

ブロック間で接合したものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表2 北東拾場地区 ブロック観察表(1)

ブロック名	位置	抽出層位	掲載土器整理No.	その他出土土器整理No.(K3等)	主体となる遺物の時期	挿入番号
ブロック15	VL-45	TR1-4	4038, 4039, 4041, 4044, 4045, 4046, 4054, 土4053	4040, 4042, 4043, 4053, 4104, 4106, 4107, 4108, 4109, 5145	晩期3	0665
ブロック16	VM-46	TR1-c	4051, 4052	4047, 4048, 4049, 4050, 4105, 4112	晩期5	0673
ブロック4001	VJ-46・VK-46	TR2-2	5156	4055, 4056, 4057, 5123	晩期後葉～晩期	0676
ブロック4002	VM-46	TR1-c	4063	4058, 4059, 4060, 4061, 4062, 4113	晩期5	0663
ブロック4003	VL-47	TR2-ウ	4064		晩期後葉	0675
ブロック4004	VL-47	TR2-ウ	4066, 4068, 4070, 4079, 5290	4065, 4067, 4069, 4111	晩期3	0675
ブロック4005	VK-46・47	TR2-b	4078, 4080	4076, 4077, 4119, 4120	晩期3	0677
ブロック4006	VK-46	TR2-2		4071, 4072, 4073, 4074, 4075, 4115, 4116, 4117, 4118	晩期後葉～晩期前葉	0676
ブロック4007	VY-45	TR1-a～TR1-b	4082	4081	晩期3	0662
ブロック4008	VM-45	TR1-a～TR1-b		4083, 4084, 4085	晩期	0662
ブロック4009	VL-45・46	TR1-4～TR1-5		4012, 4086, 4087, 4088, 4089, 4090, 4091, 4092, 4093, 4121, 4122, 4123, 4124	晩期3	0669
ブロック4010	VL-47・VK-47	TR2-b	4094, 4096, 4097	4095	晩期中葉～後葉	0677
ブロック4011	VK-47	TR3-b～TR3-c	4099, 4100, 4101	4098, 4114	晩期4	0679
ブロック4012	VK-47	TR3-c		4102, 4103	晩期3	0679
ブロック4013	VL-45	TR1-5	4126, 4130	4125, 4127, 4128, 4129, 4130, 4131, 4132, 4133, 4134, 4135, 4136, 4137, 4138	晩期2	0671
ブロック4014	VL-45	TR1-5		4148, 4149	晩期1	0671
ブロック4015	VL-47	TR2-ウ	土4058	4141, 4142, 4143, 4144, 4145, 4146, 4147	晩期3	0675
ブロック4016	VL-45	TR1-1		4150, 4151, 4152, 4153, 4154	晩1b	0662
ブロック4017	VK-48	TR3-ア～TR3-イ		4157, 4158, 4159, 4160	晩期後葉～晩期	0678
ブロック4018	VK-47	TR2-γ・TR3-c	4161	4155, 4156	晩期	0677
ブロック4019	VL-47	TR1-4	4162, 4166, 4167, 4170, 4171, 4172, 5309	4163, 4164, 4165, 4168, 4169	晩期4	0664
ブロック4020	VL-45	TR1-4	4173	4174, 4175, 4176, 4177, 4178, 4179, 4180, 4181, 4182	晩期1a	0666
ブロック4021	VK-46	TR2-1		4183, 4184, 4185, 4186, 4187, 4188, 4189	晩1a	0675
ブロック4022	VK-45	TR1-6	4193	4190, 4191, 4192, 4194, 4195, 4196, 4197, 4198, 4199, 4200, 4201, 4202, 4203, 4204	晩期末葉～晩期初期	0674
ブロック4023	VM-46・VL-46	TR1-c下	4225	4205, 4206, 4207, 4208, 4209, 4210, 4211, 4212, 4213, 4214, 4215, 4216, 4217, 4218, 4219, 4220, 4221, 4222, 4223, 4224	晩3	0663
ブロック4024-1	VL-46	TR1-4	4234, 4260, 4261, 4264, 4270	4249, 4250, 4263, 4264, 4265	晩3	0666
ブロック4024-2	VL-46	TR1-4	4229, 4231, 4233, 4236, 4237, 4241, 4252, 4259, 4270	4228, 4230, 4232, 4238, 4239, 4240, 4242, 4243, 4244, 4245, 4246, 4247, 4248, 4251, 4253, 4254, 4255, 4256, 4262, 4266, 4267, 4268, 4269	晩2～4	0666
ブロック4024-3	VL-46	TR1-4		4235	—	0666
ブロック4024-4	VL-46	TR1-4			—	0666
ブロック4025	VK-47・VL-47	TR3-a	4226, 4227		晩3	0678
ブロック4026	VK-47	TR2-γ	4281	4271, 4272, 4273, 4274, 4275, 4276, 4277, 4278, 4279, 4280	晩3	0677
ブロック4027	VM-47	TR3-c		4282, 4283	晩2～3	0679
ブロック4028	VK-46	TR2-1		4284, 4285	晩期後葉～晩期前葉	0675
ブロック4029	VK-45	TR1-7	4290	4286, 4287, 4288, 4289, 4291, 4292	晩期1b	0674

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表2 北東捨場地区 ブロック観察表(2)

ブロック名	位置	検出層位	掲載土器整理No.	その検出土器整理No.(※3※4)	主体となる遺物の時期	採回番号
ブロック4030	VM-46・VL-46	TR1-4	4293, 4294, 4299, 4301, 4310, 4311, 4313, 4315 土4055, 土4059	4295, 4296, 4297, 4298, 4300, 4302, 4303, 4304, 4305, 4306, 4307, 4308, 4309, 4312	晩3	図67
ブロック4031-1	VL-45	TR1-5	4316, 4317	4324, 4327, 4328, 4329, 4330, 4331	期1b	図71
ブロック4031-2	VL-45	TR1-5	4325	4318, 4319, 4320, 4321, 4322, 4323, 4326	晩期1b	図71
ブロック4032-1	VL-46	TR1-4	4364, 4365, 4399	4361, 4362, 4363, 4365, 4366, 4392, 4396, 4397, 4398, 4755	晩期3	図67
ブロック4032-2	VL-46	TR1-4	4375	4367, 4368, 4369, 4370, 4371, 4372, 4373, 4374, 4691	晩期3	図67
ブロック4032-3	VL-46	TR1-4	4384, 4385	4376, 4377, 4378, 4379, 4380, 4381, 4382, 4383, 4386, 4387, 4388, 4389, 4390, 4391	晩期3	図67
ブロック4032-4	VL-46	TR1-4		4332, 4333, 4334, 4335	晩期4	図67
ブロック4032-5	VL-46	TR1-4	4336, 4337	4338, 4339, 4340, 4341, 4401, 4402, 4403, 4404	晩期3	図67
ブロック4032-6	VL-46・VM-46	TR1-4	4346, 4355	4342, 4343, 4344, 4345, 4347, 4348, 4349, 4350, 4351, 4352, 4353, 4354, 4356, 4357, 4358, 4539, 4360	晩期4	図67
ブロック4033	VL-44	TR6-2 ~ TR6-3	4405, 4407, 4412, 4717, 4724	4406, 4408, 4409, 4410, 4411, 4413, 4414, 4415, 4416, 4417, 4418, 4419, 4445, 4446, 4714, 4715, 4716, 4718, 4719, 4720, 4721, 4722, 4723	晩期1b	図81
ブロック4034	VL-46	TR1-4, 5	4422	4420, 4421, 4423	晩期2 ~ 3	図69
ブロック4035	VM-44	確認面		4447, 4448, 4449, 4450, 4451, 4452, 4453, 4454, 4455, 4456, 4457	晩4	図82
ブロック4036	VM-46・VL-46	TR1-4 ~ TR1-4.5	4431, 4432	4424, 4425, 4426, 4428, 4430, 4433, 4434, 4435, 4436, 4437, 4438, 4439, 4440, 4441, 4442, 4443	晩期3	図69
ブロック4037	VM-46	TR1-d	4460, 4461, 4466, 4475	4458, 4459, 4462, 4463, 4464, 4465, 4467, 4468, 4469, 4470, 4471, 4473, 4474, 5335	晩期3	図64
ブロック4038	VM-46	TR1-c	4483, 4500	4476, 4477, 4478, 4479, 4480, 4481, 4482, 4484	晩期3	図63
ブロック4039	VM-46	TR1-4	4487	4485, 4486, 4488, 4489, 4490, 4491, 4492, 4493, 4494, 4495, 4496, 4497, 4498, 4499	晩4	図68
ブロック4040	VL-47	TR3-c	4511	4507, 4508, 4509, 4510	晩期3 ~ 4	図79
ブロック4041	VM-45	TR5-2	4556	4501, 4502, 4503, 4504, 4505, 4506	晩2 ~ 3	図81
ブロック4042	VL-44	TR6-3 ~ TR1-6	4635	4522, 4523, 4524, 4525, 4526, 4527, 4528, 4529, 4530, 4531, 4532, 4533, 4534, 4535, 4536, 4537, 4538, 4539, 4540, 4541, 4542, 4543, 4544	晩期2	図74
ブロック4043上層A	VK-47	TR2-b	4747	4568, 4569, 4570, 4571, 4573, 4575, 4576, 4746	晩期	図77
ブロック4043下層A	VK-47	TR2-b	4574, 4578, 4579, 4749	4577, 4750, 4751, 4752	晩期4	図77
ブロック4043下層B	VK-47	TR2-b	4634, 4567	4562, 4563, 4565, 4572	晩期4	図77
ブロック4044	VM-47	TR3-b	4516, 4517, 5192	4512, 4513, 4514, 4515, 4518, 4519, 4520, 4521	晩期5	図79
ブロック4045	VM-46	TR1-4.5	4756, 4757	4758, 4759, 4760, 4761, 4762, 4763, 4764, 4765, 4766, 4767	晩期4	図69
ブロック4046	VL-47	TR2-ウ		4768, 4769, 4770, 4771	晩期3	図75
ブロック4047	VM-45	TR5-2	4556	4545, 4546, 4547, 4548, 4549, 4550, 4551, 4552, 4553, 4554, 4555	晩期3	図81
ブロック4049	VJ-47・48	TR3-d	4773	4772, 4774, 4775	晩期後室～晩期前室	図78
ブロック4050	TK-47	TR3-d		4776, 4777, 4778, 4779	晩期3	図72
ブロック4051	VK-48	TR3-e	4603, 4628	4557, 4558, 4559, 4560, 4561	晩期1b	図90
ブロック4052-1	VM-46・47	TR1-4	4580, 4582, 4596, 4597, 4602, 4610, 4614, 4615, 4626, 4627, 4727, 4728, 4731, 4732, 4735, 土8057	4581, 4583, 4584, 4587, 4588, 4589, 4590, 4591, 4593, 4594, 4598, 4601, 4603, 4604, 4605, 4606, 4608, 4609, 4611, 4612, 4613, 4725, 4729, 4730, 4734	晩期4	図68
ブロック4052-2	VM-47	TR1-4	4624	4616, 4617, 4618, 4620, 4621, 4622, 4623, 4625	晩期5	図68
ブロック4052-3	VM-47	TR1-4		4619, 4633, 4634	晩期	図68
ブロック4052-4	VM-46	TR1-4	4636, 4641, 4739, 4740, 4744, 4745, 土4060	4635, 4636, 4637, 4638, 4639, 4640, 4642, 4643, 4738, 4737, 4738, 4741, 4742, 4753, 4754	晩期4	図68

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表2 北東捨場地区 ブロック観察表(3)

ブロック名	位置	検出層位	掲載土器整理No.	その検出土器整理No.(※3※8)	主体となる遺物の時期	採回番号
ブロック4053-1	VL-45・46	TR1-5	4650, 4655	4657, 4658, 4659, 4660, 4661, 4662, 4663, 4664, 4665, 4666, 4667, 4668, 4669, 4670	晩期3	図72
ブロック4053-2	VL-45・46	TR1-5	4611, 4644, 4645, 4647, 4649, 4656, 4671, 4672, 4692, 4702, 4706, 5292	4646, 4648, 4651, 4652, 4653, 4654, 4694, 4695, 4696, 4697, 4698, 4700, 4701, 4703, 4704, 4705, 4707, 4708, 4709, 4710, 4712	晩期1b	図72
ブロック4054-1	VK-46・VL-46	TR1-5	4686	4680, 4681, 4687, 4688, 4690	晩期1b	図73
ブロック4054-2	VL-46	TR1-5	4685	4673, 4674, 4675, 4676, 4677, 4678, 4679, 4682	晩期1b	図73
ブロック4055	VJ-48	TR3-d～TR3-e	4792, 4793, 4794, 4799	4795, 4796, 4797, 4798	後7-4～晩1a	図78
ブロック4056	VJ-48・VK-48	TR3-e	4802	4780, 4781, 4782, 4783, 4784, 4785	晩期1a	図80
ブロック4057	VL-47	TR2-エ	4786, 4787, 4790, 4791	4788, 4789	晩期1b	図76
ブロック4058	VJ-47	TR2-2	4807, 4801	4800, 4802, 4803, 4804, 4805, 4806	晩期1b	図76
ブロック4059					—	図76
ブロック4060	VN-45	TR5-2	4809	4807, 4808	晩期3	図81
ブロック4061	VN-47・VM-47	TR2-エ	4810, 4822, 4823, 4825	4811, 4812, 4813, 4814, 4815, 4816, 4817, 4818, 4819, 4820, 4821, 4824, 4826	晩期1b	図76
ブロック4062-1	VM-46	TR1-4	4835	4837, 4827, 4828, 4829, 4830, 4831, 4832, 4833, 4834, 4836, 4837, 4838, 4839	晩期3	図70
ブロック4062-2	VM-46・47	TR1-4	4913, 4914, 4915, 4916, 4921, 4923, 4926, 4928, 4929, 4932, 4938, 4941, 4944, 4945, 4946, 4948	4907, 4908, 4909, 4910, 4911, 4912, 4917, 4918, 4919, 4920, 4922, 4924, 4925, 4927, 4930, 4931, 4933, 4934, 4935, 4936, 4937, 4939, 4942, 4943, 4947, 4949	晩期2～4	図70
ブロック4063	VK-46	TR2-2	4840	4841, 4842	後期後葉～晩期	図76
ブロック4064	VK-47	TR3-d～TR3-e	土4061	4844, 4845	晩期1a	図78
ブロック4065	VK-46	TR2-2		4846, 4847, 4848, 4849	晩期1a	図76
ブロック4066	VM-46	TR1-4	4880, 4883, 4884, 4886, 4887, 4898, 4903, 4906, 5306, 土4054	4850, 4851, 4852, 4853, 4854, 4855, 4858, 4859, 4860, 4867, 4868, 4871, 4872, 4873, 4874, 4875, 4876, 4877, 4878, 4879, 4881, 4882, 4885, 4888, 4889, 4890, 4891, 4892, 4893, 4894, 4895, 4896, 4897, 4899, 4900, 4901, 4902, 4904, 4905	晩期3	図70
ブロック4067	VK-46・47	TR2-2	4856	4850, 4851, 4852, 4853, 4854, 4855	晩期1a	図76
ブロック4068	VK-48	TR3-f		4858	—	図80
ブロック4069	VL-45	TR1-7上面	4950, 4954	4951, 4953	後期後葉～晩期	図74
ブロック4070	VL-45	TR1-5	4983	4982, 4984, 4985	晩期1b	図73
ブロック4071	VM-46・47	TR1-4.5	4006	4966, 4967, 4968, 4969, 4970, 4971, 4972, 4973, 4974, 4975, 4976	晩期1b	図69
ブロック4072	VL-45	TR1-5	4960, 4962, 4963	4955, 4956, 4957, 4958, 4959, 4961	晩期1b	図73
ブロック4073	VL-45	TR1-6～TR1-7		4986, 4987, 4988, 4989, 4990, 4991, 4992, 4993, 4994, 4995, 4997, 4998, 4999, 5000	晩期1a	図74
ブロック4074	VL-46	TR2-2	4964, 4980	4965, 4977, 4978, 4979, 4981	晩期1a	図76
ブロック4075	VL-46	TR1-6～TR1-7	5032, 5035	5018, 5019, 5020, 5021, 5022, 5024, 5025, 5026, 5027, 5029, 5030, 5031, 5033, 5034	晩期1b	図74
ブロック4076	VK-47	TR2-2～TR3-d2	5001	5002, 5003	晩期1a	図76
ブロック4077	VK-47	TR3-d2	土4062	5004	後期前葉～中葉	図78
ブロック4078	VK-47	TR2-エとTR3-eの境	4020	5006, 5007, 5017	晩期2	図76
ブロック4079	VK-46	TR3-e		5008, 5009, 5011, 5012, 5013	後期後葉～晩期初期	図80
ブロック4080	VM-46	TR1-4.5～TR1-5	4005, 4008		晩期1b	図69
ブロック4081	VK-47・48	TR3-eとfの境	4018, 5040, 5042, 5053, 5334	4014, 5036, 5037, 5038, 5039, 5041, 5043, 5044, 5045, 5046, 5049, 5050, 5051	後期後葉～晩期前葉	図80
ブロック4082	VK-47	TR3-e	5056, 5057, 5058, 5065, 5073, 5074, 5075, 5091	5023, 5054, 5055, 5059, 5060, 5061, 5062, 5063, 5064, 5066, 5067, 5068, 5069, 5070, 5071, 5072, 5076, 5077, 5078, 5079, 5080, 5081, 5082, 5090	後期後葉～晩期前葉	図80
ブロック4083	VK-48	TR3-eとTR3-fの境	5084, 5089	5083, 5085, 5086, 5087	晩期1b	図80
ブロック4084	VK-47	TR3-eとTR3-fの境	4022, 5016	5014, 5015	後期後葉～晩期前葉	図80

※異なるブロック間で接合したもの、あるいは同一個体となるものについては、それぞれのブロックに土器整理番号を付した。

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(1)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
15	4040	P4023	平筒製	鉢		晩3か	台部
15	4042	P4014	平筒製	鉢	II Bc11	後期後葉～晩期	口縁なし
15	4043	P4018	平筒製	鉢	I Aa2	晩2	口縁なし
15	4053	P4025	粗製	深鉢	I Aa2	後期後葉～晩期	口縁なし
15	4104	P4019	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
15	4106	P4028	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
15	4107	P4021	平筒製	鉢	I Aa2	晩3	口縁なし
15	4108	P4020	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
15	4109	P4016	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
15	5145	P4016	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
16	4047	P4039	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
16	4048	P4043	平筒製	深鉢	I Aa2	晩3	口縁平行沈線
16	4049	P4038	平筒製	深鉢	I Aa1	晩4～5	口縁平行沈線
16	4050	P4044	平筒製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線
16	4105	P4040	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
16	4112	P4042	平筒製	鉢小		晩3か	赤彩, 平行沈線
4001	4005	P4064	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4001	4006	P4061	精製	蓋		後期後葉～晩期	口縁なし
4001	4057	P4061	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	高台
4001	5123	P4062	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4002	4058	P4075	平筒製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線
4002	4059	P4075	平筒製	深鉢	I Aa1	晩5	口縁平行沈線
4002	4060	P4074	平筒製	鉢		晩3か	台部
4002	4061	P4077	平筒製	鉢	II Bc11	晩4～5	口縁なし
4002	4062	P4072	粗製	深鉢	I Aa3	後期後葉～晩期	口縁なし
4002	4113	P4076	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4004	4065	P4083	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4004	4067	P4083	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4004	4069	P4086	粗製	鉢	I Bb1	晩期前半	片口
4004	4111	P4084	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4005	4076	P4089	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4005	4077	P4091	平筒製	鉢		晩3か	台部
4005	4119	P4097	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部
4005	4120	P4092	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4006	4071	P4095	精製	深鉢	II A11	晩4	口縁なし
4006	4072	P4094	精製	深鉢	I Aa11	晩4	赤彩
4006	4073	P4094	精製	深鉢		晩5か	赤彩
4006	4074	P4096	精製	注口		晩1～8	口縁なし
4006	4075	P4096	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4006	4115	P4099	粗製	蓋小		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4006	4116	P4099	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4006	4117	P4099	粗製	深鉢		後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4006	4118	P4097	精製	台付浅鉢		晩1～7	口縁なし
4007	4081	P4101	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4008	4083	P4103	平筒製	鉢	I Aa5	晩3	口縁なし
4008	4084	P4103	平筒製	鉢	II Bc5	晩3	口縁なし
4008	4085	P4104	粗製	深鉢	I Aa11	晩期	口縁なし
4009	4012	P4106	精製	台付鉢小		後期後葉～晩期	台部のみ
4009	4086	P4109	粗製	鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4009	4087	P4109	平筒製	鉢	II Bc1	晩2～3	口縁なし
4009	4088	P4109	平筒製	台付鉢小		後期後葉～晩期	台部のみ
4009	4089	P4010	精製	蓋		晩2～3	赤彩
4009	4090	P4114	平筒製	鉢	II Bc2	晩2	口縁なし
4009	4091	P4112	平筒製	鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁平行沈線
4009	4092	P4113	精製	浅鉢		晩3	底部
4009	4093	P4113	精製	浅鉢	I A1	晩2～3	口縁なし
4009	4121	P4111				後期後葉～晩期	口縁なし
4009	4122	P4111	粗製	蓋		後期後葉～晩期	口縁なし
4009	4123	P4110	平筒製	鉢	II Bc	晩2	口縁なし
4009	4124	P4110				後期後葉～晩期	台部
4010	4095	P4121	平筒製	鉢		晩期	台部
4011	4098	P4125	平筒製	鉢	I Bb2	晩4か	口縁なし

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4011	4114	P4150	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部
4012	4102	P4127	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4012	4103	P4128	平筒製	鉢	I Aa2	晩2	口縁なし
4013	4125	P4133	精製	鉢	II A4	晩1b	口縁なし
4013	4127	P4137	粗製	深鉢	II A4	後期後葉～晩期	口縁なし
4013	4128	P4137	精製	鉢	II A4	晩1b	口縁なし
4013	4129	P4136	精製	鉢	II Bc4	晩1b	口縁なし
4013	4130	P4136	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	口縁なし
4013	4131	P4136	精製	鉢	II A4	晩1b	口縁なし
4013	4132	P4132	粗製	鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4013	4133	P4132	精製	鉢	II A4	晩1b	口縁なし
4013	4134	P4134	精製	深鉢	II A4	晩1b	口縁なし
4013	4135	P4139	精製	鉢	II A4	晩1b	口縁なし
4013	4136	P4138	精製	鉢	II Bc4	晩1b	口縁なし
4013	4137	P4131	精製	注口か		後期後葉～晩期	口縁なし
4013	4138	P4131	粗製	深鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4014	4139	P4139	粗製	深鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4014	4140	P4139	粗製	深鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4014	4141	P4139	粗製	深鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4014	4142	P4139	粗製	深鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4014	4143	P4139	粗製	深鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4014	4144	P4163	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4015	4145	P4162	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4015	4146	P4160	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4015	4147	P4159	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4016	4150	P4173	精製	鉢	II Aa1	晩1b	口縁なし
4016	4151	P4171	粗製	注口		後期後葉～晩期	口縁なし
4016	4152	P4173	不明	鉢		後期後葉～晩期	台部
4016	4153	P4172	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4016	4154	P4172	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	口縁なし
4017	4157	P4176	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4017	4158	P4175	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4017	4159	P4174	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	赤彩文
4017	4160	P4174	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	底部(平底)
4018	4155	P4180	平筒製	鉢	II Bb4	晩1b	口縁なし
4018	4156	P4180	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4019	4163	P4188	精製	浅鉢	I Bb5	晩3	赤彩
4019	4164	P4188	精製	浅鉢	I Bb5	晩3	赤彩
4019	4165	P4188	平筒製	鉢	I Aa1	晩期	口縁平行沈線
4019	4168	P4194	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4019	4169	P4195	平筒製	鉢	II Bc21	晩2	平直底文
4020	4174	P4203	不明			後期後葉～晩期	台部
4020	4175	P4203	不明			後期後葉～晩期	台部
4020	4176	P4210	不明	深鉢		晩期	底部(平底)
4020	4177	P4209	精製	鉢	II Aa1	晩1a	口縁なし
4020	4178	P4209	不明	鉢小		後期後葉～晩期	底部(丸底)
4020	4179	P4206	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4020	4180	P4204	粗製	深鉢	I c1	後期後葉～晩期	口縁なし
4020	4181	P4205	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4020	4182	P4205	精製	深鉢	II Bb4	晩1a	口縁なし
4021	4183	P4211	粗製	蓋		後期後葉～晩期	口縁なし
4021	4184	P4211	精製	鉢	II Bb4	晩1a	口縁なし
4021	4185	P4214	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4021	4186	P4212	精製	深鉢	I Bb1	後期後葉～晩期	口縁なし
4021	4187	P4213	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4021	4188	P4215	粗製	深鉢		後期後葉～晩期	口縁なし
4021	4189	P4215	不明	不明		後期後葉～晩期	口縁なし
4022	4190	P4239	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(2)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4022	4191	P4243	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	底部(高台)
4022	4192	P4243	粗製	台付鉢		後期後葉～ 晩期	台部
4022	4194	P4237	不明	鉢		後期末葉～ 晩期初葉	台部
4022	4195	P4240	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4022	4196	P4236	不明	鉢		後期末葉～ 晩期初葉	台部
4022	4197	P4238	粗製	深鉢		後期末葉～ 晩期初葉	口縁なし
4022	4198	P4232	粗製	深鉢	I Aa1	後期末葉～ 晩期初葉	口縁なし
4022	4199	P4235	粗製	深鉢		後期末葉～ 晩期初葉	口縁なし
4022	4200	P4241	粗製	蓋		後期末葉～ 晩期初葉	口縁なし
4022	4201	P4242	不明	不明		後期末葉～ 晩期初葉	台部
4022	4202	P4242	粗製	深鉢	I Aa1	後期末葉～ 晩期	口縁なし
4022	4203	P4234	精製	深鉢	B	晩期	口縁なし
4022	4204	P4233	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4023	4205	P4223	半精製	鉢	B/Bc21	晩3	無文
4023	4206	P4222	精製	浅鉢	I A1	晩期	無文
4023	4207	P4218	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4023	4208	P4225	半精製	鉢		晩期	台部
4023	4209	P4225	精製	浅鉢	晩3	口縁なし	
4023	4210	P4218	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4211	P4234	精製	蓋	皿	晩3	蓋形文
4023	4212	P4228	精製	浅鉢	I A1	晩3	
4023	4213	P4227	精製	深鉢	B/Bc21	晩2	半蓋状文
4023	4214	P4219	精製	深鉢	B/Bc21	晩2	半蓋状文
4023	4215	P4230	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4216	P4229	半精製	鉢		晩期	台部
4023	4217	P4229	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	口縁なし
4023	4218	P4217	半精製	鉢		晩期	台部
4023	4219	P4217	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4023	4220	P4216	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4023	4221	P4220	精製	浅鉢		晩1a～1b	口縁なし(無文)
4023	4222	P4228	精製	蓋		晩3	
4023	4223	P4228	粗製	深鉢	I Aa4	晩3	
4023	4224	P4228	粗製	深鉢	I Aa4	晩3	
4024	4249	P4250	粗製	深鉢	B/Bc21	晩3	
4024	4250	P4250	精製	鉢		晩1b	口縁なし
4024	4253	P4255	粗製	深鉢	B/Bc21	晩3	
4024	4254	P4255	粗製	蓋	皿	晩期	口縁なし
4024	4258	P4278	半精製	鉢	B/Bc2	晩3	
4024	4260	P4261	半精製	鉢	B/Bc21	晩3	
4024	4232	P4261	精製	注口か		晩3	口縁・注口なし 。蓋部部。
4024	4238	P4276	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4024	4239	P4275	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4024	4240	P4257	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4024	4242	P4273	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024	4243	P4267	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024	4244	P4262	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024	4245	P4259	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024	4246	P4265	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024	4247	P4268	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	
4024	4248	P4266	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024	4251	P4263	半精製	鉢		晩3か	台部
4024	4253	P4280	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024	4254	P4256	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4024	4255	P4271	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024	4256	P4270	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024	4262	P4249	粗製	深鉢	I Aa4	晩期	縞線孔あり
4024	4266	P4269	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024	4267	P4269	半精製	鉢	B/Bc2	晩3	
4024	4268	P4257	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4024	4269	P4274	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4024	4235	P4277	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4026	4271	P4287	半精製	鉢	B/Bc21	晩3	
4026	4272	P4289	粗製	深鉢		晩期	口縁なし。 ケズリ
4026	4273	P4295	精製	浅鉢	I A1	晩3	口縁・半行沈線 赤点。
4026	4274	P4285	粗製	深鉢	I Bc1	後期後葉～ 晩期	
4026	4275	P4293	粗製	深鉢		後期末葉～ 晩期初葉	底部(平底)
4026	4276	P4290	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	縞線孔あり
4026	4277	P4290	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4026	4278	P4288	精製	浅鉢	I A1	後期末葉～ 晩期	無文
4026	4279	P4283	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4027	4282	P4297	半精製	鉢		晩2～3	台部
4027	4283	P4296	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4026	4280	P4286	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(平底)
4028	4284	P4298	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4028	4285	P4299	半精製	深鉢	I Bb1	後期後葉～ 晩期前葉	
4029	4296	P4300	精製	注口		晩2～3	注口部
4029	4297	P4305	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	口縁なし。高台。
4029	4288	P4305	精製	鉢		晩3	口縁なし(無文)
4029	4299	P4303	精製	深鉢	I Aa1	晩3か	
4029	4291	P4306	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期前葉	底部(高台)
4029	4292	P4304	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期前葉	
4030	4295	P4320	精製	鉢		晩3	口縁なし。 蓋形文。
4030	4296	P4322	精製	浅鉢		晩3	口縁なし。 蓋形文。
4030	4297	P4329	精製	浅鉢	I A1	晩3	
4030	4298	P4314	精製	浅鉢	I Bc1	晩3	
4030	4300	P4316	半精製	鉢	B/Bc2	晩3	半蓋状文
4030	4302	P4307	粗製	深鉢	I Bb1	晩期	
4030	4303	P4317	粗製	蓋		晩期	
4030	4304	P4371	精製	浅鉢		晩期	口縁なし(無文)
4030	4305	P4310	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし(無文)
4030	4306	P4310	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4030	4307	P4319	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4030	4308	P4319	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4030	4312	P4313	不明	鉢		晩1a～1b/c	台部
4031	4324	4328	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4031	4327	4329・ 4331	精製	鉢		晩1a～1b	口縁なし
4031	4328	P4327	精製	鉢	B A4	晩1b	
4031	4329	P4325	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4031	4330	P4333	粗製	浅鉢か		晩期	口縁なし
4031	4331	P4333	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4031	4318	P4335	精製	鉢	B/Bc2	晩1a/c	
4031	4319	P4335	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期初葉	底部(高台)
4031	4320	P4335	半精製	深鉢	I Aa2	晩1b/c	
4031	4321	P4335	精製	鉢	B/Bc2	晩1b	
4031	4322	P4335	精製	鉢	B/Bc21	晩1b	
4031	4323	P4336	精製	蓋		晩1b	口縁なし。 三叉文。
4031	4326	P4334	精製	鉢	B/Bb1	晩1b/c	
4032	4301	P4332	精製	鉢	B/Bc3	晩3	
4032	4362	P4330	半精製	鉢		晩2	口縁なし。 半蓋状文。
4032	4363	P4330	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4032	4365	P4333	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4032	4366	P4340	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4032	4392	P439・ 4342	粗製	深鉢		後期後葉～ 晩期	底部(平底)

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(3)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4032-1	4396	PC41-4341	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～中期	
4032-1	4397	PC41-4342	粗製	深鉢		後期後葉～中期	底部(平底)
4032-1	4398	PC41	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～中期	
4032-1	4755	PC439	半精製	台付鉢		後期後葉～中期	台部
4032-2	4367	PC439	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4032-2	4368	PC439	精製	深鉢		晩1b5+	口縁なし
4032-2	4369	PC439	粗製	深鉢		晩期	底部(丸底・気味)
4032-2	4370	PC434	精製	皿	I B5	晩3	
4032-2	4371	PC47	粗製	壺		晩3	口縁なし
4032-2	4372	PC380	粗製	壺		晩期	口縁なし
4032-2	4373	PC343	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4032-2	4374	PC344	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	
4032-2	4601	PC379	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4032-2	4376	PC356	粗製	深鉢		晩期	底部のみ
4032-2	4377	PC459	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	
4032-3	4378	PC362	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4032-3	4379	PC356	半精製	鉢		晩3	台部
4032-3	4380	PC358	半精製	鉢		晩3	
4032-3	4381	PC358	粗製	鉢		ⅡB2-2	
4032-3	4382	PC358	半精製	鉢	I Aa2	晩3	内底に赤い内溝
4032-3	4383	PC358	半精製	鉢	ⅡB2-2	晩3	
4032-3	4386	PC366	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4032-3	4387	PC354	精製	注口		晩2～3	体部
4032-3	4388	PC354	半精製	鉢	ⅡB4	晩3	台部
4032-3	4389	PC354	半精製	鉢	ⅡB2-2	晩3	台部
4032-3	4390	PC355	粗製	壺		晩期	
4032-3	4391	PC355	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4032-4	4332	PC363	粗製	注口		晩2～3	体部、肩部
4032-4	4333	PC365	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4032-4	4334	PC378	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4032-4	4335	PC361	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～中期	
4032-5	4338	PC366	精製	浅鉢		晩期	無文
4032-5	4339	PC366	粗製	壺		晩期	底部(平底)
4032-5	4340	PC366	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4032-5	4341	PC366	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4032-5	4401	PC369	精製	注口		晩3	体部
4032-5	4402	PC369	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	平底
4032-5	4403	PC368	粗製	深鉢		晩期	底部(平底)
4032-5	4404	PC371	粗製	壺		晩期	
4032-6	4342	PC377	半精製	壺		晩3	台部
4032-6	4343	PC377	不明	壺		晩期	
4032-6	4344	PC377	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4032-6	4345	PC372	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4032-6	4347	PC374	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4032-6	4348	PC385	粗製	深鉢		後期後葉～中期	底部(平底)
4032-6	4349	PC385	半精製	鉢	ⅡB2-2	晩3	台部
4032-6	4350	PC385	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4032-6	4351	PC385	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4032-6	4352	PC375	粗製	壺		晩期	口縁なし
4032-6	4353	PC376	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4032-6	4354	PC374	粗製	壺		晩期	口縁なし
4032-6	4356	PC384	半精製	鉢		晩3	台部
4032-6	4357	PC384	精製	皿		晩4	底部、裏底
4032-6	4358	PC383	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4032-6	4359	PC382	粗製	深鉢	I Aa2	晩2～3	
4032-6	4360	PC376	粗製	深鉢		後期後葉～中期	口縁なし
4033	4406	PC388	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4033	4408	PC386	精製	浅鉢		晩1b5+	無文
4033	4409	PC386	精製	浅鉢		ⅡA	晩3
4033	4410	PC386	粗製	深鉢		ⅡB2-2	無文
4033	4411	PC386	粗製	深鉢		ⅡB1	口縁なし
4033	4413	PC391	粗製	深鉢	I Bb1	晩1b5以降	口縁・底面(平底)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4033	4414	PC390	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4033	4415	PC403	不明	壺		晩期	
4033	4416	PC387	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～中期	
4033	4417	PC402	不明	鉢		晩期初期	
4033	4418	PC389	粗製	壺		晩8～晩1	
4033	4419	PC389	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4033	4445	PC395	精製	深鉢		晩1	
4033	4446	PC395	精製	注口		晩1	
4033	4714	PC386	粗製	深鉢		晩3	
4033	4715	PC386	粗製	深鉢		晩1a	
4033	4716	PC386	不明	鉢		後期後葉～中期初期	
4033	4718	PC388	精製	深鉢		晩1	
4033	4719	PC388	粗製	深鉢		晩1	
4033	4720	PC388	粗製	深鉢		晩1a	
4033	4721	PC388	粗製	壺		晩1	
4033	4722	PC388	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4033	4723	PC388	精製	深鉢		晩1	口縁なし
4034	4420	PC392	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4034	4421	PC392	半精製	鉢	I Aa2	晩2	
4034	4423	PC394	半精製	鉢		晩2～3	
4035	4447	PC399	半精製	鉢	I Aa2	晩2	手掘式文
4035	4448	PC399	不明	鉢		晩3	台部
4035	4449	PC399	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	ケズリ
4035	4450	PC398	粗製	深鉢	ⅡB2-1	晩1b	
4035	4451	PC398	不明	鉢		晩3	台部
4035	4452	PC398	不明	鉢		晩1	台部
4035	4453	PC398	粗製	深鉢	ⅡBb1	晩1	
4035	4454	PC398	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	無文
4035	4455	PC396	粗製	深鉢	Ⅱ	晩2	口縁なし
4035	4456	PC396	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4035	4457	PC397	粗製	深鉢		晩2	
4036	4424	PC412	半精製	台付鉢	I Aa5	晩3	
4036	4425	PC412	粗製	深鉢	I Aa1	晩期	伊賀紀・4427・4444と同。
4036	4426	PC412	精製	浅鉢	I B1	晩1b	
4036	4428	PC413	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	4420と同。
4036	4430	PC408	精製	浅鉢	I B5	晩2	手掘式文
4036	4433	PC421	粗製	壺	Ⅱ	晩2以降	
4036	4434	PC421	精製	浅鉢	I B5	晩3	
4036	4435	PC421	粗製	壺		晩3	赤彩、口縁平行波線
4036	4436	PC421	不明	壺		晩期	
4036	4437	PC421	半精製	壺		晩3	台部
4036	4438	PC411	半精製	壺		晩3	台部
4036	4439	PC411	粗製	深鉢		晩2以降	底部(平底)
4036	4440	PC410	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩3	
4036	4441	PC410	粗製	深鉢	I Bb1	後期後葉～中期	
4036	4442	PC410	粗製	深鉢		晩2以降	底部(平底)
4036	4443	PC410	半精製	鉢		晩3	台部
4037	4458	PC414	不明	鉢		晩3	台部
4037	4459	PC419	半精製	鉢	ⅡB2-2	晩3	交互半字
4037	4462	PC416	半精製	鉢	I A1	晩3	雷形文
4037	4463	PC416	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩2	手掘式文
4037	4463	PC416	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩2	手掘式文
4037	4464	PC416	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩3	交互半字
4037	4465	PC416	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩3	交互半字
4037	4467	PC418	半精製	鉢	ⅡB2-2	晩3	交互半字
4037	4468	PC417	精製	浅鉢	I A1	晩3	交互半字
4037	4469	PC417	精製	浅鉢	ⅡB2-1	晩2	手掘式文
4037	4470	PC417	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩3	交互半字
4037	4471	PC417	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩3	交互半字
4037	4473	PC417	精製	壺	Ⅱ1	晩3	台部
4037	4474	PC417	半精製	鉢		晩3	台部
4038	4476	PC422	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	口縁平行内面に波線
4038	4477	PC422	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4038	4478	PC422	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩3	交互半字
4038	4479	PC422	精製	浅鉢	I A1	晩3	雷形文、赤彩
4038	4480	PC422	半精製	鉢	ⅡB2-1	晩3	交互半字
4038	4481	PC423	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	
4038	4482	PC424	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～中期	



表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(4)

ブロック 整理 番号	取上 番号	種類	器種	器形	時期	備考
4038	4484	P4420	半精製 鉢	晩3か	沈没文あり、赤 絵	
4039	4485	P4427	粗製 深鉢	I B02	晩期	
4039	4486	P4427	半精製 鉢	晩3か		
4039	4488	P4430	半精製 鉢	晩3か		
4039	4489	P4430	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4039	4490	P4428	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	
4039	4491	P429/ 4430	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4039	4492	P4429	半精製 鉢	II Bc2/2	晩3	キザミ
4039	4493	P4429	半精製 鉢	II Bc5	晩3	キザミ
4039	4494	P4429	粗製 深鉢	I Bb1	後期後葉～ 晩期	ケズリ
4039	4495	P4429	半精製 鉢	II Bc5	晩3	
4039	4496	P4429	半精製 鉢	I B02	晩4	平行沈線
4039	4497	P4429	半精製 鉢	晩3～4	口縁平行沈線	
4039	4498	P4429	粗製 深鉢	I Aa1	晩3	
4039	4499	P4429	半精製 鉢	II Bc5	晩3	
4040	4507	P4452	粗製 深鉢		晩3～4	
4040	4508	P4450	半精製 鉢		晩4	
4040	4509	P4450	半精製 鉢	I B02	晩4	
4040	4510	P4454	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4041	4501	P4455	粗製 浅鉢		晩期	
4041	4502	P4455	粗製 深鉢	I A5	晩2～3	
4041	4503	P4456	粗製 深鉢	II B04	晩1b	
4041	4504	P4456	半精製 鉢	II Bc2/2	晩2	
4041	4505	P4456	半精製 鉢	II Bc2/1	晩2	
4041	4506	P4456	半精製 深鉢	I B0	晩2小	
4042	4522	P4461	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4523	P4461	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4524	P4462	粗製 深鉢	晩7-4～晩2		
4042	4525	P4462	不明 深鉢	晩8～晩1		
4042	4526	P4458	不明 深鉢	晩7-4～晩1		
4042	4527	P4458	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	
4042	4528	P4458	不明 壺		晩期	
4042	4529	P4458	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4530	P4458	粗製 鉢		後期後葉～ 晩期	
4042	4531	P4458	粗製 壺	I	晩期	
4042	4532	P4463	粗製 深鉢	II Aa/1	晩1a	
4042	4533	P4463	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4534	P4463	粗製 深鉢	I B01	後期後葉～ 晩期	
4042	4535	P4463	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	
4042	4536	P4459	粗製 深鉢	II Ba1	後期後葉～ 晩期	
4042	4537	P4459	粗製 注口	晩1a/1		
4042	4538	P4460	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	
4042	4539	P4458	粗製 浅鉢	I A1	晩3小	
4042	4540	P4458	粗製 深鉢	I A1	晩3小	
4042	4541	P4458	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4542	P4458	粗製 深鉢	晩1a		
4042	4543	P4458	粗製 深鉢	晩1a/1		
4042	4544	P4458	粗製 深鉢	II B3/4		
4042	4545	P4469	粗製 深鉢	I Aa1	晩期	
4042	4546	P4469	粗製 深鉢	I Bc4	晩期	
4042	4547	P4469	粗製 深鉢	I Aa1	晩期	
4042	4548	P4469	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4549	P4469	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4550	P4469	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4551	P4469	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4552	P4469	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4042	4553	P4467	粗製 深鉢	I B04	後期後葉～ 晩期	
4042	4554	P4470	粗製 深鉢	I B04	後期後葉～ 晩期	
4042	4555	P4488	粗製 深鉢	II	後期後葉～ 晩期	口縁なし
4042	4563	P4488	半精製 鉢	II Bc1	晩4小	内面沈線
4042	4565	P4487/ 4510	粗製 深鉢		中期か	口縁なし、志摩 い底面、溝文 L.F. 否。4566、4 4777ブロック 4040と同。

ブロック 整理 番号	取上 番号	種類	器種	器形	時期	備考
4047	4572	P4487	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	底部(平底)
4047	4577	P4490	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4047	4750	P4491	粗製 鉢		晩3小	口縁なし、 溝文
4047	4751	P4491	粗製 鉢		晩4小	口縁なし、 溝文
4047	4752	P4489	粗製 壺		晩期	口縁なし、外面 赤色顔料付着
4044	4512	P4471	粗製 壺		晩5	
4044	4513	P4471	粗製 壺		晩5	
4044	4514	P4471	粗製 壺		晩5	
4044	4515	P4471	粗製 浅鉢		晩期	口縁なし、 溝文、赤絵
4044	4518	P4473	粗製 壺		晩5	体面、溝文あり、 工字状文
4044	4519	P4473	粗製 深鉢		晩期	底部(平底)
4044	4520	P452/ 4475	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4044	4521	P4475	粗製 深鉢		晩期	底部(平底)
4045	4758	P4480	半精製 鉢	II Bc5	晩2	表面沈文
4045	4759	P4480	半精製 鉢	II Bc2/1	晩3	
4045	4760	P4480	半精製 鉢	II Bc2/1	晩3	
4045	4761	P4480	半精製 鉢	II Bc2/1	晩3	
4045	4762	P4480	半精製 鉢	II Bc5	晩3	
4045	4763	P4480	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4045	4764	P483	半精製 鉢		晩3小	底部
4045	4765	P4479	粗製 浅鉢	I A1	晩3	底部(平底)
4045	4766	P4479	粗製 深鉢		晩期	口縁なし、 溝文
4045	4767	P4479	粗製 鉢		晩3～4	
4046	4768	P4477	半精製 鉢		晩3小	底部
4046	4769	P4476	粗製 深鉢		晩期	底部(凹底)
4046	4770	P4476	粗製 深鉢		晩期	底部(平底)
4046	4771	P4476	粗製 深鉢		晩期	底部(平底)
4047	4545	P4497	粗製 付付鉢		晩期	口縁なし
4047	4546	P4497	半精製 鉢	I Aa2	晩3	
4047	4547	P4498	粗製 鉢	II Bc2	晩1b	
4047	4548	P4498	粗製 鉢	II Bc2	晩1b	
4047	4549	P4498	粗製 鉢	II Bc2	晩1b	
4047	4550	P4498	粗製 深鉢	I Aa2/1	晩期	
4047	4551	P4498	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	底部(高台状)
4047	4552	P4498	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4047	4553	P4498	不明 深鉢		晩期	底部
4047	4554	P4498	粗製 鉢	II B02	晩1b	
4047	4555	P4498	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4049	4772	P4500	粗製 注口		晩8小	体部
4049	4774	P4501	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4049	4775	P4503	粗製 注口		晩8小	注口部
4050	4776	P4508	粗製 浅鉢		晩3小	付付浅鉢、右 面、赤絵
4050	4777	P4510	粗製 深鉢		口縁なし、 L.F. 否。4566、4 4777ブロック 4040と同。	
4050	4778	P4509	粗製 浅鉢	I Aa1	晩3	赤絵
4050	4779	P4507	半精製 付付鉢	II Bc2/1	晩3	
4051	4557	P4512	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	
4051	4558	P4513	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	
4051	4559	P4513	粗製 深鉢	II A1	晩7-4	口縁なし
4051	4560	P4514	粗製 深鉢	II A1	晩7-4	口縁なし
4051	4560	P4514	粗製 深鉢		後期後葉～ 晩期	口縁なし
4051	4561	P4515	不明 深鉢		後期後葉～ 晩期	底部(高台状)
4052	4581	P4523	粗製 深鉢	I Aa1	晩期	
4052	4583	P4523/ P4522	半精製 鉢	I Aa5	晩3	
4052	4584	P4528	粗製 壺		晩2～3	外面赤絵
4052	4587	P4525	粗製 深鉢		晩期	底部(平底)
4052	4588	P4525	半精製 壺		晩期	口縁なし
4052	4589	P4525	半精製 鉢	II Bc5	晩3	
4052	4590	P4540	粗製 壺		晩期	
4052	4591	P4539	半精製 鉢	II Bc1	晩3小	4592と同
4052	4593	P4539	半精製 鉢	II Bc2/1	晩3	
4052	4594	P4539	半精製 鉢		晩3小	底部
4052	4598	P4531	粗製 深鉢	I Aa1	後期後葉～ 晩期	口唇面取

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(5)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4052-1	4601	P4530	半精製	鉢	晩3カ	台部	
4052-1	4603	P4531	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3～4	4726と同一
4052-1	4604	P4529	粗製	深鉢	ⅠAa1	晩期	
4052-1	4605	P4521	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	台部
4052-1	4606	P4522	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	
4052-1	4608	P4522	粗製	鉢	Ⅰc2	晩3カ	
4052-1	4609	P4522	粗製	壺	晩期	口縁なし	
4052-1	4611	P4524	粗製	深鉢	晩期	底部(平底)	
4052-1	4612	P4524	粗製	深鉢	晩期	底部(平底)	
4052-1	4613	P4524	半精製	深鉢	晩期	底部(内凹向口)	
4052-1	4725	P4530	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	
4052-1	4729	P4525	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	
4052-1	4730	P4532	半精製	鉢	晩3カ	口縁なし	
4052-1	4734	P4529	粗製	深鉢	ⅠAa1	晩期	
4052-2	4616	P4545	粗製	注口	Ⅱ	晩1bカ	口縁なし
4052-2	4617	P4545	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4618	P4541	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(平底)
4052-2	4620	P4543	粗製	深鉢	晩期	底部(平底)	
4052-2	4621	P4543	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4052-2	4622	P4541	粗製	深鉢	ⅠAa2	晩期	高台、底部直上1/2露出
4052-2	4623	P4541	粗製	壺	晩期	口縁なし	
4052-2	4625	P4542	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇内そぎ
4052-2	4619	P4546	粗製	深鉢	ⅠAa2	晩期	
4052-2	4633	P4547	粗製	深鉢	晩期	口縁なし、ケズリ	
4052-2	4634	P4548	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし
4052-2	4628	P4553	粗製	壺	晩期	口縁なし	
4052-2	4629	P4553	半精製	鉢	ⅠAa1	晩3	
4052-2	4630	P4553	粗製	深鉢	ⅠB5	晩3	雲形文
4052-2	4631	P4553	半精製	鉢	晩3カ	台部のみ	
4052-2	4632	P4553	粗製	鉢	晩5	台部、1/2文字カ	
4052-2	4635	P4556	半精製	鉢	ⅠBc2	晩3～4	口縁沈線2条
4052-2	4636	P4556	粗製	深鉢	晩期	後期(平底)	
4052-2	4637	P4556	粗製	深鉢	ⅠAa1	晩3	雲形文露文なし
4052-2	4638	P4555	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	
4052-2	4639	P4551	半精製	鉢	Ⅱ	晩3カ	台部のみ
4052-2	4640	P4551	粗製	深鉢	ⅠAa2	晩期	
4052-2	4642	P4559	半精製	鉢	ⅠAa1	晩3カ	台部のみ
4052-2	4643	P4554	半精製	鉢	ⅠAa1	晩3カ	台部のみ
4052-2	4736	P4551	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	
4052-2	4737	P4559	精製	浅鉢	ⅠB1	晩3	内外赤彩全面1/2露出
4052-2	4738	P4550	精製	深鉢	ⅠBc1	晩5	
4052-2	4741	P4552	精製	浅鉢	ⅠB5	晩3	
4052-2	4742	P4557	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	内面沈線
4052-2	4753	P4551	粗製	深鉢	ⅠAa1	晩期	口唇面取なし
4052-2	4754	P4551	粗製	深鉢	晩期	底部(平底)	
4052-2	4657	P4573	精製	鉢	Ⅱ	晩1b	
4052-2	4658	P4572	精製	鉢	ⅡBc4	晩1b	
4053-1	4659	P4573	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-1	4660	P4573	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-1	4661	P4571	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取兼取支
4053-1	4662	P4571	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取兼取支
4053-1	4663	P4571	半精製	深鉢	晩期	底部、底部付口に沈線	
4053-1	4664	P4571	粗製	壺	晩3カ	赤彩	
4053-1	4665	P4571	半精製	深鉢	ⅠAa1	晩2	手裏赤文
4053-1	4666	P4571	半精製	鉢	ⅡBc2	晩3	
4053-1	4667	P4571	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(低い高台)
4053-1	4668	P4571	粗製	壺	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし
4053-1	4670	P4575	粗製	注口	Ⅱ	晩1bカ	口縁面する
4053-2	4646	P4581	精製	注口	Ⅱ	晩1bカ	
4053-2	4648	P4577	粗製	深鉢	ⅡBc2	晩1b	4693と同一
4053-2	4649	P4577	粗製	深鉢	ⅡBc2	晩1b	多量平片沈線
4053-2	4651	P4576	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4652	P4576	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	底部(高台)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4053-2	4653	P4576	粗製	浅鉢	ⅡBc1	晩1bカ	口縁なし、4699+4422(両載)・ブ54034と同一
4053-2	4694	P4581	精製	鉢	ⅡBc4	晩1b	
4053-2	4695	P4581	精製	鉢	ⅡBc4	晩1b	
4053-2	4696	P4581	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(高台)
4053-2	4697	P4577	精製	注口	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4698	P4579	粗製	浅鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4700	P4579	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(高台)
4053-2	4701	P4578	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4703	P4582	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(高台)
4053-2	4704	P4582	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4705	P4582	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4053-2	4707	P4582	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(高台)
4053-2	4708	P4582	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(高台)
4053-2	4709	P4582	不明			後期後葉～晩期	台部
4053-2	4710	P4582	粗製	壺	晩期		
4053-2	4712	P4583	精製	鉢	Ⅱ	晩1カ	台部
4054-1	4680	P4568	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(凹底)
4054-1	4681	P4562	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	凹底、底部
4054-1	4687	P4611	精製	浅鉢	ⅠA4	晩1b	4689と同一
4054-1	4688	P4561	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし
4054-1	4690	P4562	精製	鉢	Ⅱ	晩1b	口縁なし
4054-2	4673	P4565	精製	鉢	ⅡBc1	晩1a	
4054-2	4674	P4565	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし
4054-2	4675	P4565	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	
4054-2	4676	P4563	精製	鉢	ⅡBc4	晩1a	
4054-2	4677	P4563	精製	鉢	ⅡBc4	晩1a	
4054-2	4678	P4566	精製	鉢	Ⅱ	晩1a	
4054-2	4679	P4566	半精製	深鉢	ⅠAa1	晩1a	沈線間に連続する短沈線
4054-2	4682	P4569	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取、ケズリ顯著、4683と同一
4055	4795	P4500	半精製	深鉢	Ⅱ	晩7-4	口縁なし
4055	4796	P4500	精製	注口	Ⅰ1.5a	晩7-4	口唇面取
4055	4797	P4507	精製	浅鉢	Ⅱ	晩7-4	台部
4055	4798	P4507	精製	深鉢	Ⅱ	晩7-4	口縁なし
4056	4780	P4593	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし
4056	4781	P4593	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし
4056	4782	P4593	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4056	4783	P4593	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし
4056	4784	P4593	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4056	4785	P4594	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4057	4788	P4597	精製	注口	Ⅱ	晩8～晩1a	無文
4057	4789	P4596	精製	鉢	Ⅱ	晩1a	口縁なし
4058	4900	P4625	精製	壺	Ⅱ	晩期前葉	口縁なし、外底赤彩
4058	4902	P4601	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4058	4903	P4626	精製	深鉢	Ⅱ	晩7-4	底部(高台)
4058	4904	P4627	精製	浅鉢	ⅠA1	晩1a	無文
4058	4905	P4627	粗製	深鉢	Ⅱ	晩8カ	口縁なし
4058	4906	P4627	粗製	深鉢	Ⅱ	晩8カ	口縁なし
4060	4907	P4602	精製	浅鉢	ⅠA5	晩3	
4060	4908	P4602	精製	深鉢	ⅡBc2	晩2	
4061	4811	P4603	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4061	4812	P4603	粗製	深鉢	ⅠAa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4061	4813	P4606	半精製	深鉢	ⅡBc1	後期後葉～晩期	

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(6)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4061	4814	P4606	精製	鉢	晩1a-1b	台部	
4061	4815	P4606	精製	鉢	ⅡB4	晩1b	
4061	4816	P4605	精製	鉢	晩1b	台部	
4061	4817	P4605	精製	深鉢	ⅡB2	晩1b	
4061	4818	P4604	精製	口付	Ⅱ	ⅡB2	口縁なし
4061	4819	P4604	精製	深鉢	ⅡA5	晩8	
4061	4820	P4604	精製	鉢	ⅡB4	晩1bカ	
4061	4821	P4604	精製	鉢	ⅡB5	晩8	
4061	4822	P4601	精製	鉢	ⅡA	口縁なし	
4061	4826	P4605	精製	注口	Ⅱ	晩1b	
4062	14837	P4609	精製	蓋	ⅡB1	晩3	
4062	14827	P4608	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	14828	P4608	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	14829	P4610	粗製	深鉢	ⅡA1	後期後葉～晩期	口縁なし
4062	14830	P4610	粗製	深鉢	ⅡA1	後期後葉～晩期	口縁なし
4062	14831	P4610	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	14832	P4608	精製	深鉢	ⅡB3	晩期	口縁なし
4062	14833	P4610	精製	深鉢	I A1	晩3カ	内外赤彩
4062	14834	P4610	精製	深鉢	I A5	晩3	
4062	14836	P4610	精製	深鉢	I Aa1	晩2～4～8	無文
4062	14837	P4608	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取。平底。
4062	14838	P4608	粗製	深鉢	I Aa2	晩期	
4062	14839	P4607	半精製	鉢	Ⅱ	台部	
4062	24967	P4611	半精製	鉢	Ⅱ	台部	
4062	24908	P4611	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4062	24909	P4611	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4062	24910	P4611	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4062	24911	P4611	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4062	24912	P4611	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24917	P4618	精製	鉢	ⅡB3	晩1bカ	台部
4062	24918	P4616	粗製	深鉢	I Aa2	晩3	
4062	24919	P4615	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	
4062	24920	P4615	半精製	鉢	Ⅱ	台部	
4062	24922	P4614	粗製	深鉢	Ⅱ	晩3	台部。湯かき孔。90度以上開。
4062	24924	P4616	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24925	P4616	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24927	P4616	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24930	P4622	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24931	P4622	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24933	P4621	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口縁なし
4062	24934	P4620	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4062	24935	P4619	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24936	P4619	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24937	P4619	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24939	P4614	半精製	鉢	ⅡB5	晩3	
4062	24942	P4617	半精製	鉢	Ⅱ	台部	
4062	24943	P4617	精製	深鉢	ⅡB3	晩期	口縁なし(無文)
4062	24947	P4612	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4062	24949	P4612	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4063	4841	P4624	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4063	4842	P4624	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4064	4844	P4631	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4064	4845	P4631	粗製	深鉢	ⅡB4	後期後葉～晩期	口縁なし
4065	4846	P4633	精製	鉢	ⅡB4	晩1a	
4065	4847	P4633	精製	深鉢	不明	晩2～4	
4065	4848	P4633	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取
4065	4849	P4634	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし
4066	4859	P4638	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期前葉	底部(高台)
4066	4860	P4638	精製	蓋	Ⅱ	晩3	口縁なし。雲形文。
4066	4861	P4638	精製	蓋	Ⅱ	晩2～3	外面赤彩
4066	4862	P4638	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4066	4863	P4638	半精製	鉢	I Aa2	晩3	
4066	4864	P4638	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	
4066	4865	P4638	半精製	鉢	ⅡB2	晩3	

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考	
4066	4866	P4638	精製	蓋	Ⅱ	晩3カ		
4066	4867	P4638	精製	深鉢	I B5	晩3	雲形文	
4066	4868	P4638	精製	深鉢	I B5	晩3	雲形文	
4066	4871	P4638	半精製	鉢	Ⅱ	晩3カ	台部	
4066	4872	P4636	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4873	P4636	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4874	P4636	精製	深鉢	I A5	晩3	雲形文	
4066	4875	P4636	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4876	P4636	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4877	P4636	粗製	深鉢	ⅡB2	晩3カ	台部	
4066	4878	P4636	半精製	鉢	Ⅱ	晩期	底部(平底)	
4066	4879	P4636	粗製	深鉢	Ⅱ	晩期		
4066	4881	P4636	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし	
4066	4882	P4636	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4066	4885	P4636	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし	
4066	4888	P4637	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4889	P4637	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし	
4066	4890	P4637	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4891	P4637	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4892	P4637	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期		
4066	4893	P4637	粗製	深鉢	I Aa1	晩3	ケズリ	
4066	4894	P4639	半精製	鉢	I Aa5	晩3		
4066	4895	P4639	不明	鉢	Ⅱ	晩1a～1bカ	台部	
4066	4896	P4639	精製	鉢	Ⅱ	晩3	口縁なし	
4066	4897	P4639	半精製	鉢	Ⅱ	晩3カ	台部	
4066	4899	P4640	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4900	P4640	半精製	鉢	I Aa1	晩3		
4066	4901	P4640	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4902	P4640	半精製	鉢	I Aa1	晩3		
4066	4904	P4635	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4066	4905	P4635	半精製	鉢	ⅡB2	晩3		
4067	4800	P4643	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(凹底)	
4067	4853	P4643	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし	
4067	4852	P4643	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4067	4853	P4643	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4067	4854	P4642	精製	深鉢	I Ba1	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4067	4855	P4642	粗製	深鉢	I Aa1	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取
4068	4858	P4644	精製	深鉢	不明	晩1bカ		
4069	4951	P4646	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取。90度以上開。	
4069	4953	P4645	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4070	4982	P4650	精製	鉢	ⅡB4	晩1bカ		
4070	4984	P4648	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし	
4070	4985	P4648	精製	深鉢	Ⅱ	晩1bカ	口縁なし	
4071	4966	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4071	4967	P4652	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口唇面取	
4071	4968	P4652	不明	深鉢	Ⅱ	中期～後期	底部(平底)。底面に漣文カ。	
4071	4969	P4652	不明	深鉢	Ⅱ	晩期	台部	
4071	4970	P4652	深鉢	Ⅱ	中期後葉			
4071	4971	P4652	粗製	蓋	Ⅱ	晩期		
4071	4972	P4652	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	底部(平底)	
4071	4973	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4071	4974	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4071	4975	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4071	4976	P4652	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～晩期	口唇面取	
4072	4955	P4655	粗製	深鉢	Ⅱ	晩期	底部(平底)	
4072	4956	P4655	粗製	深鉢	I Aa1	晩期		
4072	4957	P4655	粗製	深鉢	I Aa1	晩期		
4072	4958	P4656	精製	鉢	ⅡA	晩1a		
4072	4959	P4656	精製	鉢	ⅡA	晩1a		
4072	4963	P4656	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期前葉	底部(高台)	
4072	4964	P4656	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし	
4073	4966	P4660	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし	
4073	4987	P4660	粗製	深鉢	Ⅱ	後期後葉～晩期	口縁なし	

表3 北東捨場地区 ブロック出土土器一覧(7)

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4073	4908	P#660	粗製	深鉢	後8カ	口縁なし	
4073	4989	P#660	粗製	深鉢	後期後葉～ 後期前葉	口縁なし	
4073	4990	P#657	粗製	鉢	後8カ		
4073	4991	P#657	粗製	深鉢	後8カ	口縁なし	
4073	4992	P#657	粗製	深鉢	IIa2	後7-4～8	口縁なし
4073	4993	P#657	粗製	注口	後7-4～8	口縁なし	
4073	4994	P#657	粗製	深鉢	I Aa2	後8	
4073	4995	P#659	粗製	香炉	後8カ	内面黄化物、 H96と同。	
4073	4997	P#658	粗製	深鉢	後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)	
4073	4998	P#658	粗製	鉢	後1a	口縁なし	
4073	4999	P#658	粗製	深鉢	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取	
4073	5000	P#658	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4074	4965	P#662	粗製	鉢	IIa4	後1a	
4074	4977	P#663	不明	不明		台部	
4074	4978	P#663	粗製	深鉢	II	後7-4	
4074	4979	P#663	不明	不明		後期後葉～ 後期前葉	台部
4074	4981	P#664	粗製	壺	後1a	口縁なし	
4075	5018	P#668	粗製	深鉢	後期後葉～ 後期前葉	底部(平底)	
4075	5019	P#668	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4075	5020	P#668	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口縁なし
4075	5021	P#668	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4075	5022	P#666					
4075	5024	P#666	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4075	5025	P#666	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4075	5026	P#666- #669	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4075	5027	P#669	粗製	鉢	IIa4	後1a	
4075	5029	P#669	粗製	鉢	IIa4	後1a	
4075	5030	P#666- #669	粗製	鉢	I Aa1	後期前葉か 無文 5052と同。	
4075	5031	P#669	粗製	鉢	IIa4	後1a	
4075	5033	P#665	不明	不明		台部	
4075	5034	P#665	粗製	鉢	後1a	口縁なし	
4076	5002	P#672	粗製	鉢	II A4	後1a	
4076	5003	P#672	粗製	壺か	後期	口縁なし	
4077	5004	P#674	粗製	深鉢	後7-4	口縁なし	
4078	5006	P#676	粗製	浅鉢	後期	無文	
4078	5007	P#676	不明	鉢		後期後葉～ 後期前葉	台部
4078	5017	P#676	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	口縁なし
4079	5008	P#677	不明	鉢		後期後葉～ 後期前葉	台部
4079	5009	P#678- #679	不明	台付鉢		後期後葉～ 後期前葉	台部 5010と同。
4079	5011	P#679	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	
4079	5012	P#679	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	口縁突起
4079	5013	P#679	粗製	深鉢		後8カ	口縁なし
4081	4014	P#684	不明	鉢		後期後葉～ 後期前葉	台部
4081	5036	P#691	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4081	5037	P#685	平輪蓋	浅鉢	後7-4か	口縁無文	
4081	5038	P#691	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	口縁なし
4081	5039	P#685	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4081	5041	P#686	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4081	5043	P#686	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4081	5044	P#686	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4081	5045	P#691	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4081	5046	P#689	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取、5047- 5048と同。
4081	5049	P#689	平輪蓋	壺	後期前葉	口縁なし	
4081	5050	P#689	粗製	注口	後7-4～8	口縁なし	

ブロック	整理番号	取上番号	種類	器種	器形	時期	備考
4081	5051	P#691	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4082	5023	P#701	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)、 底部に黄色顔 料付着
4082	5054	P#701	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4082	5055	P#703	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4082	5059	P#698	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4082	5060	P#698	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4082	5061	P#698	粗製	壺		後期後葉～ 後期前葉	口縁なし
4082	5062	P#698	不明	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4082	5063	P#698	粗製	深鉢	IIa11	後8	
4082	5064	P#698	粗製	注口		後7-4～8	口縁なし
4082	5066	P#699	不明	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4082	5067	P#699	粗製	鉢	I Aa1	後1a	
4082	5068	P#699	粗製	注口	II	後7-4～8	
4082	5069	P#699	粗製	深鉢	IIa5	後7-4	
4082	5070	P#699	粗製	深鉢	IIa5	後7-4	
4082	5071	P#699	粗製	鉢	I Aa1	後1a	
4082	5072	P#699	粗製	深鉢		後8カ	口縁なし
4082	5076	P#700	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4082	5077	P#700	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4082	5078	P#700	粗製	深鉢	I Aa11	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4082	5079	P#695	粗製	深鉢		後8カ	口縁なし
4082	5080	P#695	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4082	5081	P#697	粗製	壺か		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4082	5082	P#697	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4082	5090	P#696	粗製	深鉢	I Aa1	後期後葉～ 後期前葉	口唇面取
4083	5083	P#706	不明	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)
4083	5085	P-X	粗製	壺		後期	口縁なし
4083	5086	P-X	粗製	深鉢	I Aa1		後期後葉～ 後期前葉
4083	5087	P-X					5040ブロック #691複製)と同 一
4084	5014	P#709	粗製	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	口縁なし
4084	5015	P#711	不明	深鉢		後期後葉～ 後期前葉	底部(高台)

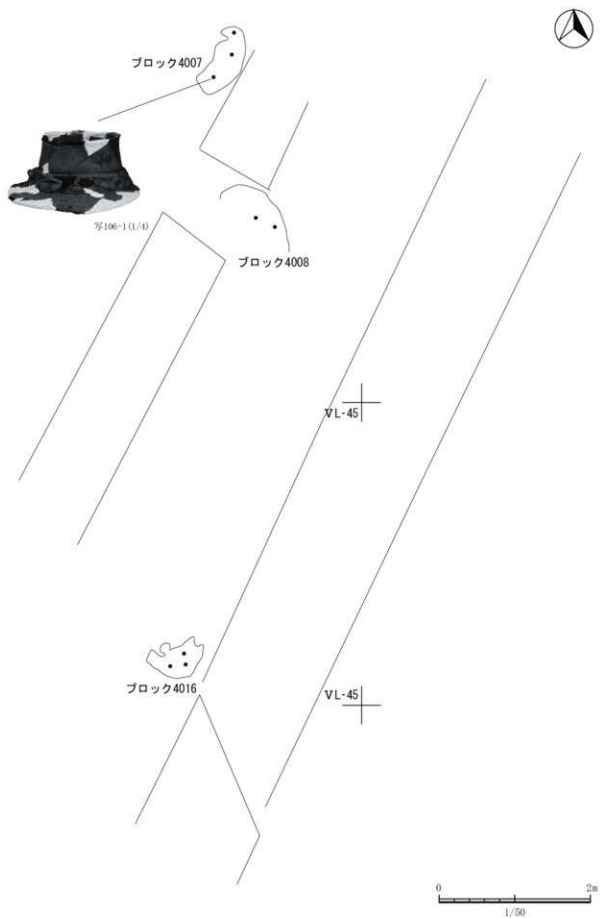


図62 北東捨場地区 ブロック4007・4008・4016 (TR1-a層～TR1-b層・TR1-1層)





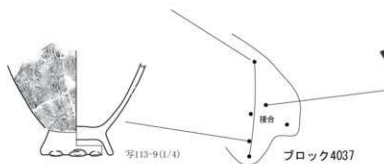
VN-46	VN-47
VM-46	VM-47



写113-10(1/4)



写113-12(1/4)



写113-9(1/4)

ブロック4037



写113-11(1/4)

VM-45	VM-46
VL-45	VL-46

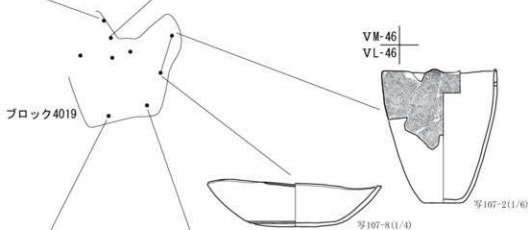
ブロック4037



写107-6(1/4)



写107-3(1/6)



ブロック4019

VM-46	
VL-46	

写107-2(1/6)

写107-8(1/4)



写107-7(1/4)



写107-4(1/4)

VL-46	
-------	--



ブロック4019

図64 北東捨場地区 ブロック4037 (TR1-d層)・4019 (TR1-4層)



図65 北東捨場地区 ブロック15 (TR1-4層)



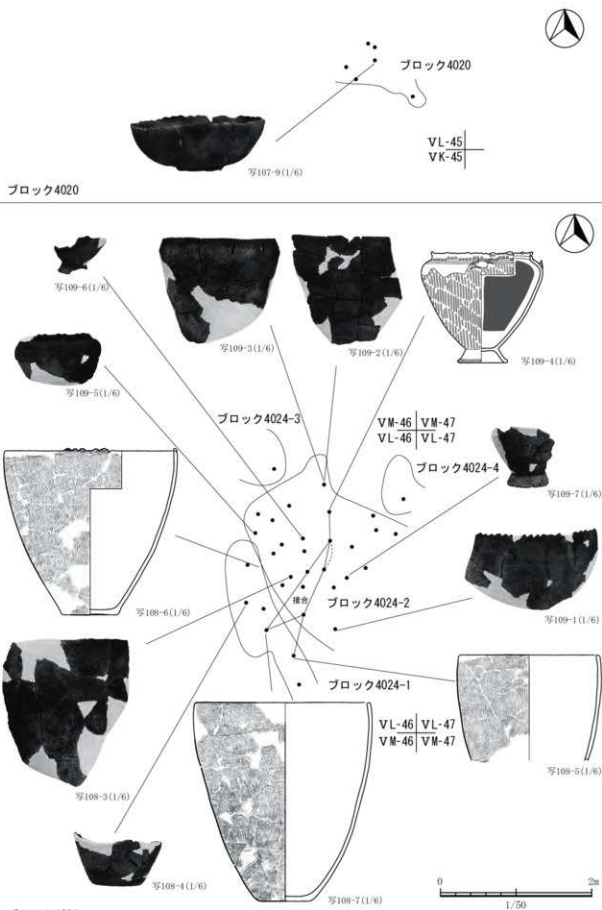
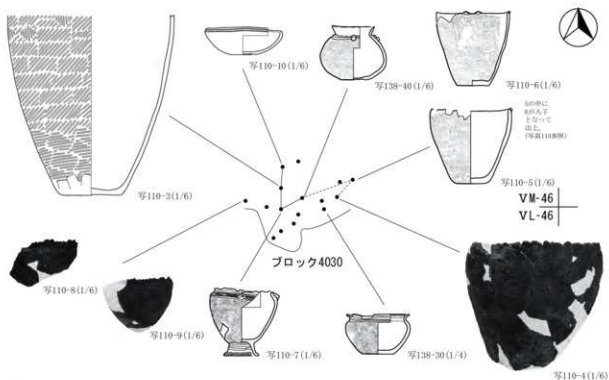
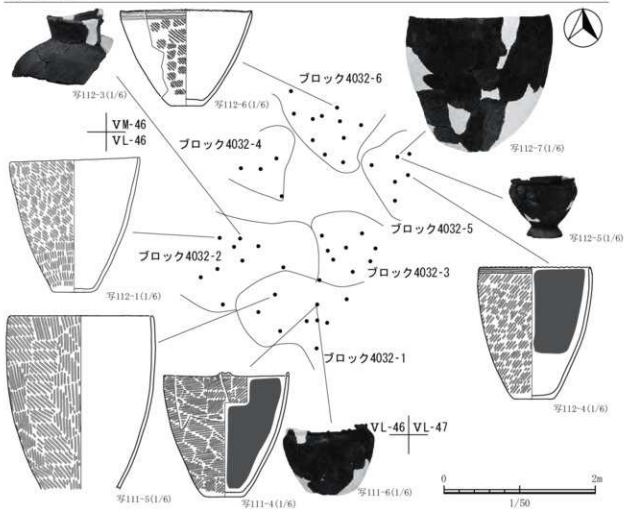


図66 北東捨場地区 ブロック4020・4024 (TR1-4層)



ブロック4030



ブロック4032

図67 北東捨場地区 ブロック4030・4032 (TR1-4層)

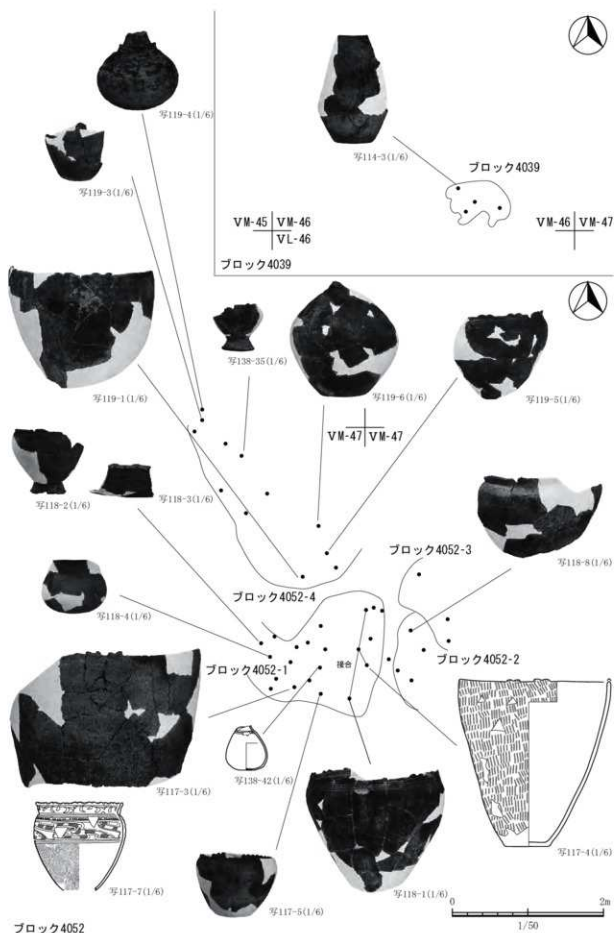
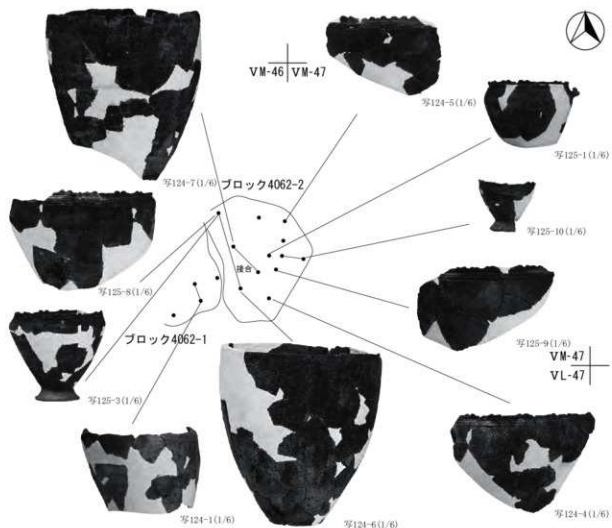


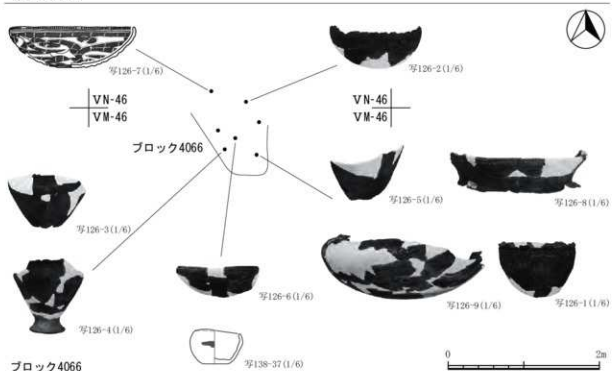
図68 北東捨場地区 ブロック4039・4052 (TR1-4層)



図69 北東捨場地区 ブロック4009・4034・4036・4045・4071・4080 (TR1-4層～TR1-5層)

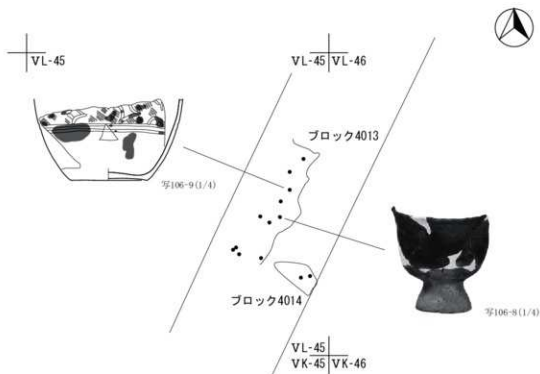


ブロック4062

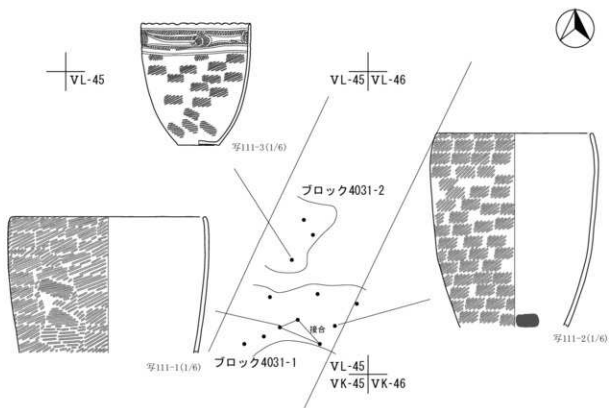


ブロック4066

図70 北東捨場地区 ブロック4062・4066 (TR1-4層)



ブロック4013・4014



ブロック4031



図71 北東捨場地区 ブロック4013・4014・4031 (TR1-5層)

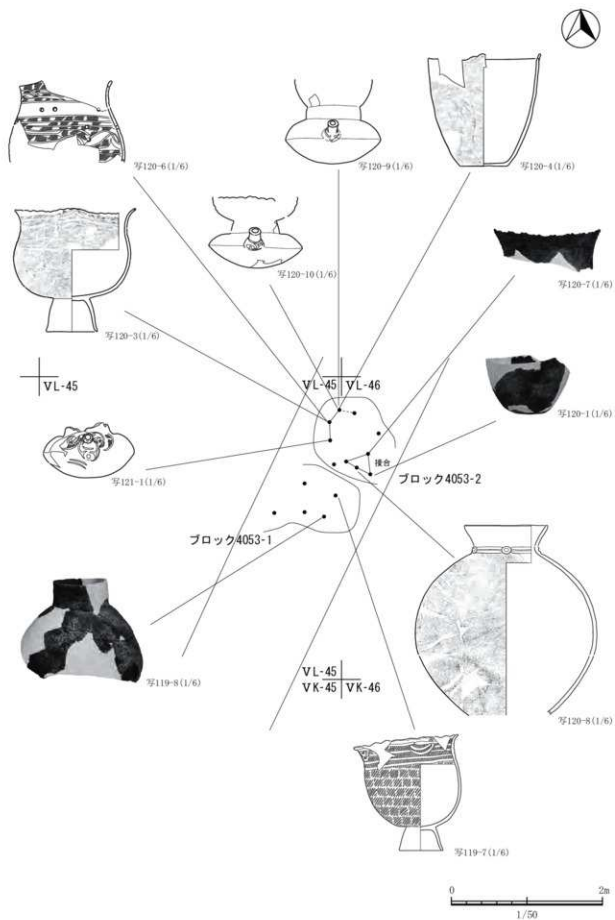


図72 北東捨場地区 ブロック4053 (TR1-5層)

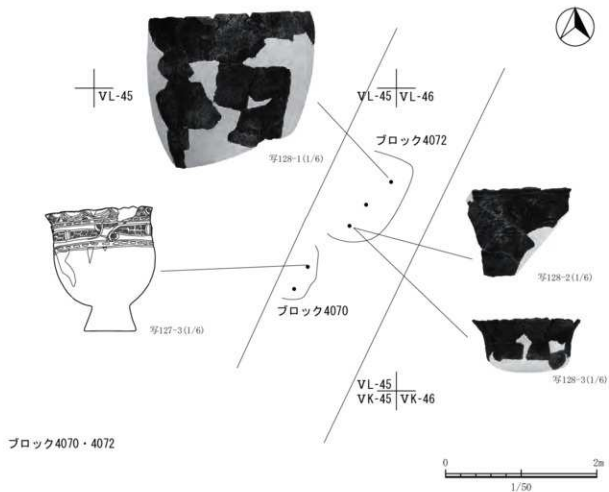
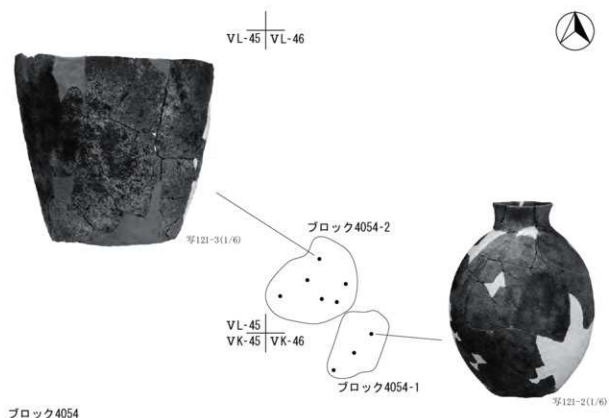


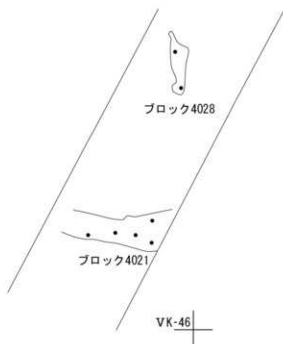
図73 北東捨場地区 ブロック4054・4070・4072 (TR1-5層)



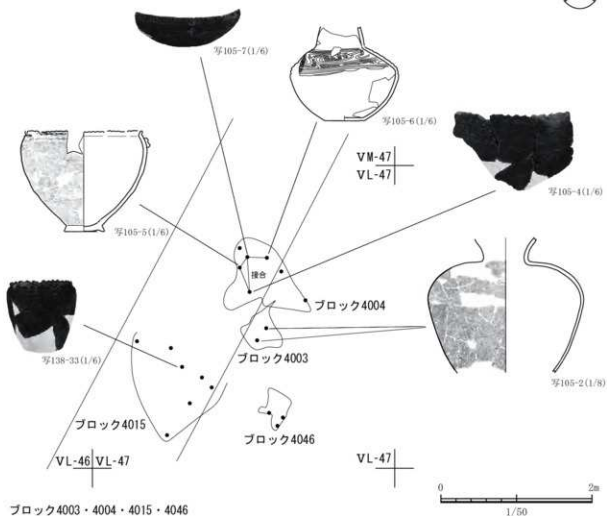


図74 北東捨場地区 ブロック4022・4029・4042・4069・4073・4075 (TR1-6層～TR1-7層)

VK-46



ブロック4021・4028



ブロック4003・4004・4015・4046

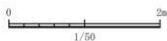


図75 北東捨場地区 ブロック4021・4028 (TR2-1層)・4003・4004・4015・4046 (TR2-a層・TR2-ウ層)

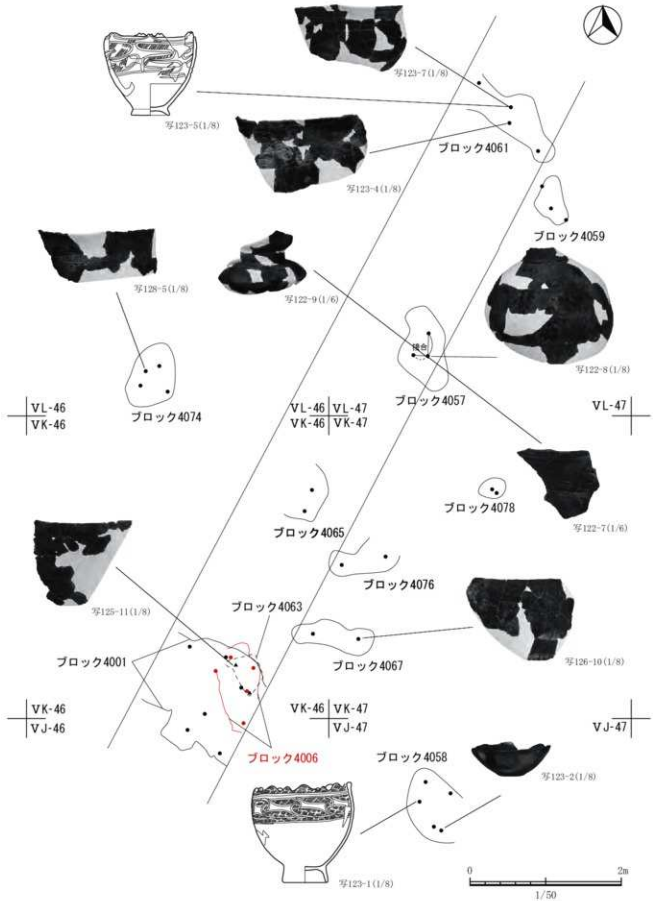


図76 北東捨場地区 ブロック4001・4006・4057・4058・4059・4061・4063・  
4065・4067・4074・4076・4078 (TR2-2層・TR2-エ層)

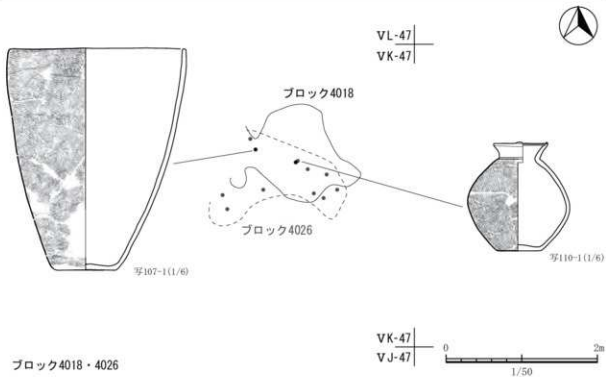
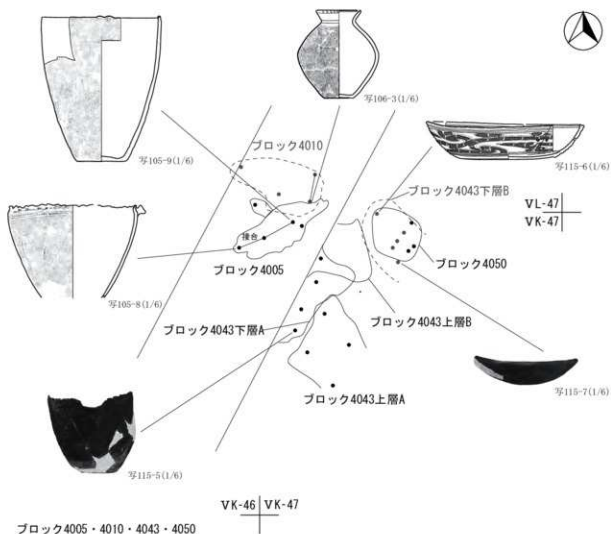
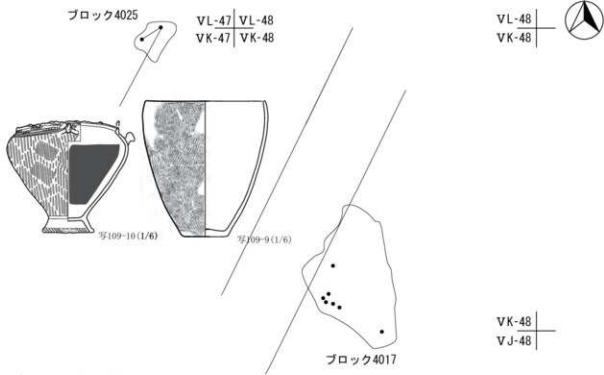
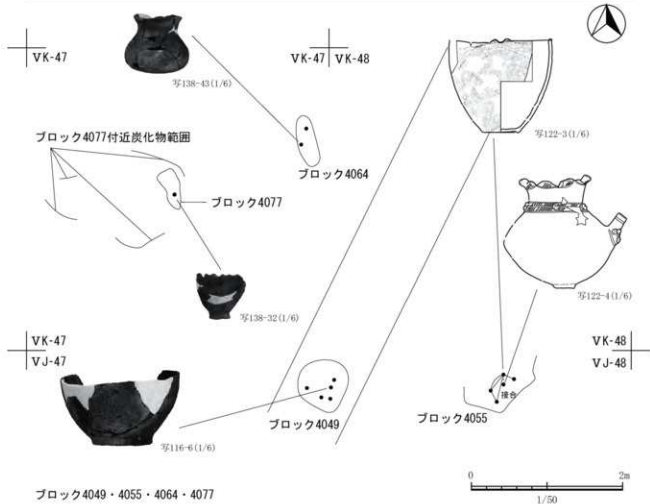


図77 北東捨場地区 ブロック4005・4010・4043・4050 (TR2-b層)・4018・4026 (TR2-y層・TR3-c層)



ブロック4017・4025



ブロック4049・4055・4064・4077

図78 北東捨場地区 ブロック4017・4025 (TR3-a層・TR3-ア～TR3-イ層)  
・4049・4055・4064・4077 (TR3-d層～TR3-e層)



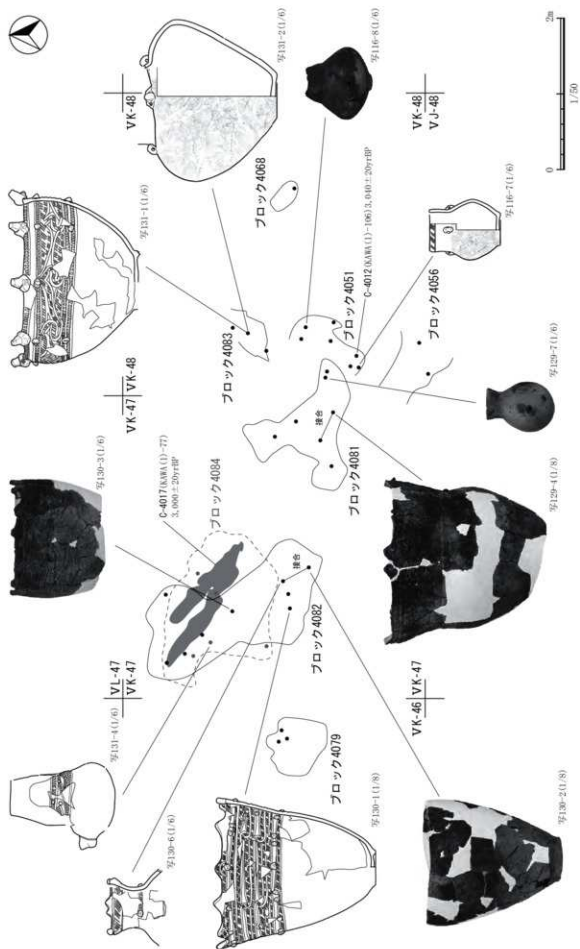


図80 北東落場地区 ブロック4051・4056・4068・4079・4081・4082・4083・4084 (TR3-e層~TR3-f層)

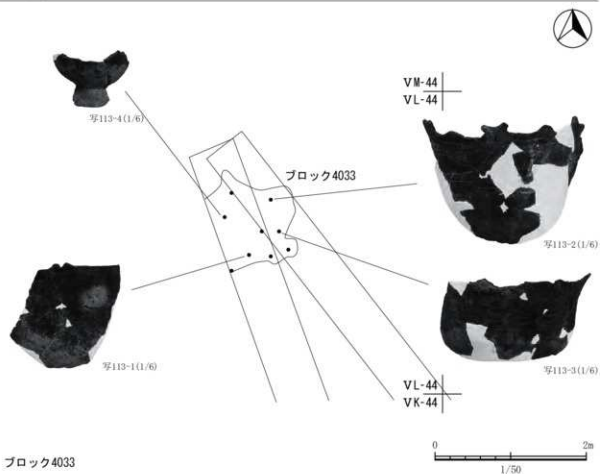
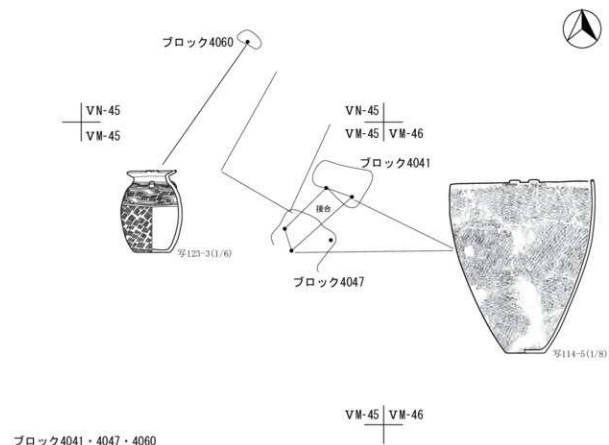


図81 北東捨場地区 ブロック4041・4047・4060 (TR5-2層)・4033 (TR6-2層～TR6-3層)



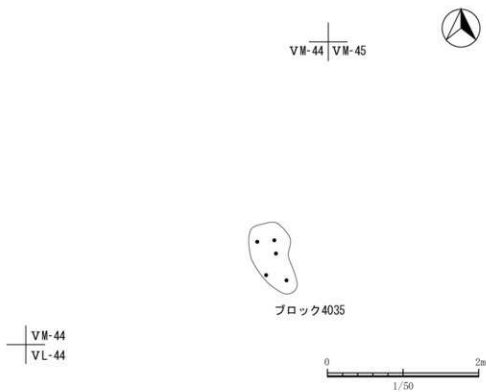


図82 北東捨場地区 ブロック4035 (確認面)

## 第4節 出土遺物

### 1 土器

北東捨場地区出土土器は総重量約3300kgである(図83・表4)。その分布は、出土量が500kgを超えるVL-46・47グリッドを中心とし、その周囲のVM-46・VL-45・VK-47グリッドで300～400kgとなり、周縁に向かうにつれて出土量が減少する。器種は深鉢(粗製・半精製)・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・壺・注口がある。時期は縄文時代後期7-4期から晩期5期を主体とし、縄文時代中期の土器もわずかに出土した。本地区出土土器については、遺構内・外あわせて281点について、図化あるいは写真掲載した(図84～96、写真104～136、表13)。

#### トレンチ1

上層のTR1-1層～TR1-2層及びTR1-a～TR1-d層からは晩期中葉から後葉(晩期3～5期)の土器を主体とする。器種は深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・壺である。TR1-a層から晩期中葉～後葉の粗製深鉢(写132-1)・浅鉢底部(写132-2)、TR1-1層から晩期1a～1b期の長頸の壺(写132-3)、TR1-c層から晩期中葉～後葉に比定される壺(写132-4)、TR1-2～2-a層から粗製深鉢(写132-5)・短頸の壺(写132-6)が出土した。

中層のTR1-4～TR1-4.5層では晩期前葉から中葉の土器がみられ、晩期3期の土器を主体とする。器種は深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・台付皿・注口・壺である。写132-7は入組三叉文と推定される文様のある浅鉢、写132-8は透かし孔の台部をもつ台付皿、写132-9は雲形文のある皿である。TR1-4.5層からは沈線と刻目による羊歯状文を施した半精製の鉢(写132-10)が出土し、内外面が白色を呈するのが特徴的である。このタイプの台付鉢は本遺跡でも一定量出土しているが、その多くが黄褐色あるいは褐色の色調であり、白色を呈するものは稀である。

下層のTR1-5～TR1-8層では、後期7-4期から晩期1b期にかけての土器がみられる。器種は深鉢・鉢・台付鉢・注口・壺である。TR1-4.5～5層出土の写133-1は晩期1bの注口である。TR1-4.5～7層出土の写133-2は後期7-4に比定される注口であり、外面に粘土紐を貼付し、その結節点に扁平な貼瘤を施す。頸部付近に赤色顔料が付着する。また、写133-3は晩期1a～1b期の注口であり、基部に三叉文が施されている。TR1-5層では晩期1b期の注口(写133-4)、TR1-5～3-e層からは晩期1a～1b期の注口(写真133-5)と晩期1b期(写133-6)、TR1-5～8層からは晩期1a～1b期の注口(写133-7、8)が出土している。また、TR1-6～7層からは後期後葉～晩期に比定される粗製深鉢(写133-9)、TR1-7層から後期後葉の注口(写134-1)が出土している。

#### トレンチ2

上層のTR2-イ層～TR2-ウ層は晩期中葉から後葉(晩期3～4期)の土器を主体とする。TR2-イ層からは口縁部に横位沈線、2個一組の突起のある晩期4期の台付鉢(写134-2)、その下のTR2-ウ層からは晩期3～4期の深鉢・台付鉢・浅鉢・壺がまとまって出土した。

中層のTR2-b層からTR2-1層では晩期前葉から中葉(晩期3期)の土器を主体とする。TR2-1層からは晩期前葉の壺(写134-3)が出土した。TR2-b層からは晩期3～4期の深鉢・片口鉢・浅鉢・鉢・皿・

壺が出土した。写134-4は内外面に赤色顔料が施された鉢である。TR2-y層から晩期前葉から中葉の深鉢（写134-6, 7）・台付鉢（写134-8）・浅鉢（写134-9）が出土した。このほか、TR2-z層から十字型・ハート型の透かしを持つ器種不明の土器（写134-5）が出土した。

下層のTR2-2層からTR2-4層では後期後葉から晩期前葉（後期7-4期から晩期1b期）の土器を主体とする。最下層であるTR2-3層及びTR2-4層からは出土遺物が少ない。その上位にあるTR2-2層からは深鉢・台付鉢・浅鉢が出土した。後期7-4期から晩期1b期の土器が多い。ブロック4001及び4074からは波状口縁で外面に入組文配置した鉢（写104-15・128-5）が出土した。同一層であるTR2-エ層からは、後期8期から晩期1b期の深鉢・台付鉢・鉢・注口・壺が出土した。TR2-エ層とTR3-e層の境からは晩期1b～2期の土器が出土した。

### トレンチ3

上層のTR3-z層からTR3-i層では晩期3～4期の土器を主体とする。最上層であるTR3-z層では土器は少ない。その下位のTR3-b層～TR3-c層では晩期3～4期の深鉢・台付鉢・鉢・壺が出土している（写134-12・13, 136-1, 2）。さらに下位のTR3-a層からも晩期3～4期の深鉢（写134-10）・台付鉢（写134-11）が出土している。また、TR3-a層と同一層であるTR3-a層、その下のTR3-a2層・TR3-i層からは遺物は少ない。

下層のTR3-d層～TR3-f層では後期後葉から晩期前葉（後期7-4期～晩期1b期）の土器が出土した。器種は深鉢・台付鉢・壺・注口がある。TR3-g層からは遺物少ない。TR3-d層・TR3-d2層から香炉（写135-1, 2）、TR3-e層からは後期後葉の注口（写135-3, 4）、TR3-e層とTR3-f層の境から後期後葉から晩期の深鉢（写135-6）・鉢（写135-5）、後期7-4期の台付深鉢（写135-8）・鉢（写135-7）が出土している。

### トレンチ5

TR5-1層からTR5-3層において晩期1a～3期の深鉢・鉢・壺・台付鉢が出土している（写136-3・4）。

### トレンチ6

TR6-2層からTR6-3層において後期後葉から晩期前葉の深鉢・鉢・壺・台付鉢が出土している。

### その他特筆される土器

**赤色顔料の塗られた土器**：ブロック4081で内外面に赤色顔料が施された土器が出土した（写129-6）。器種は壺と推定される。胎土は粗く、頸部と体部の境に横位沈線と突起があり、RL縄文が施されている。内面にも付着していることから、赤色顔料容器の可能性もある。

**発泡土器**：土器表面が被熱により変形・変質した状態の土器を「発泡土器」とした。重量が軽く、器面に多数の気泡が認められ、色調は青灰色あるいは黄褐色を呈する。北東捨場ではVL～VN-45・46グリッド、TR1-a層からTR1-4.5層から5点出土した。いずれも粗製深鉢と思われる。写136-6は粗製深鉢の口縁部破片で、歪んで変形している。体部上半に補修孔が1箇所認められることから、焼成後の加熱により変形したことを示唆する。写136-7・9・10は青灰色・暗褐色を呈し、器面に多数の

気泡が認められ、変形している。写136-8は粗製深鉢の口縁部破片で、筒状に変形し、青灰色を呈する。器表面には一部縄文が認められるが、発泡により摩滅している。二次焼成による焼けひずみのある土器については、南捨場地区でも出土し、晩期前半の粗製深鉢（報告書Ⅱ-図77-3）が報告されている。このほか、青森県内では三内丸山遺跡で縄文時代中期の発泡土器が出土している。県外では、栃木県藤岡町藤岡神社遺跡（栃木県埋文1999）や千葉県市原市能満上小貝塚（市原市文化財センター1995）・西広貝塚（市原市教委2007）など、関東・甲信越の縄文時代晩期の遺跡で確認されているが、出土例・報告例は多くはない。

## 自然科学分析

### 【土器付着赤色塗膜分析】

TR2-y層出土の晩期3期の浅鉢（写134-9）に付着した赤色塗膜の薄片分析及び赤外分光分析を実施した（試料No.12）。赤彩は土器内外面に施されている。外面の赤色塗膜の分析の結果、赤色漆と推定される漆層が2層確認され、赤色顔料はベンガラと推定されている（報告書Ⅶ第7章第2節参照）。

### 【胎土分析】

北東捨場出土土器の一部について胎土分析を実施した（報告書Ⅶ第8章第1節）。胎土分析の評価については、第3節を参照されたい。

### 【土器付着炭化物の放射性炭素年代測定】

放射性炭素年代測定については、ブロック4041・4047出土の深鉢（写114-5）の外面付着炭化物を測定した。この土器は口縁直下から体部半ばにかけて短軸絡条体5類とLR縄文が交互に施されている。測定の結果、 $2930 \pm 20$  yrBP（KAWA(1)-143）の年代値が得られている（報告書Ⅶ第5章参照）。

（中澤）

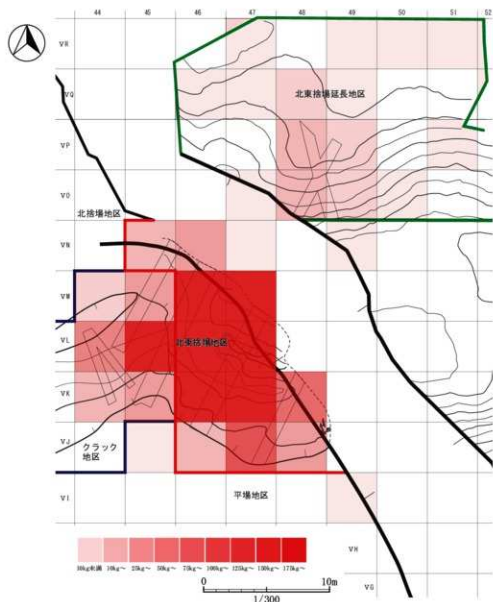


図83 北東捨場地区 土器の重量分布

表4 北東捨場地区 グリッド別土器出土重量

	44	45	46	47	48	49	50	51	52	総計
VR				0.6		0.1	0.4		0.1	1.3
VQ			0.4	0.1	18.9	8.3			0.1	27.8
VP					42.7	19.7		0.1		62.5
V0				4.2	32.8	23.9	0.2			61.1
VN		44.9	53.0	2.4		0.7				101.1
VM	23.4	53.3	324.2	193.7						594.7
VL	86.7	403.5	309.3	517.3						1517.2
VK	49.9	67.4	270.9	362.6	107.9					858.7
VJ		2.3	37.5	135.8	59.4					234.9
VI						3.0				3.0
総計	160.0	571.4	1195.8	1216.7	261.7	55.7	0.6	0.2	0.2	3462.2

単位はkg

【凡例】  175kg以上 300kg以上 500kg以上

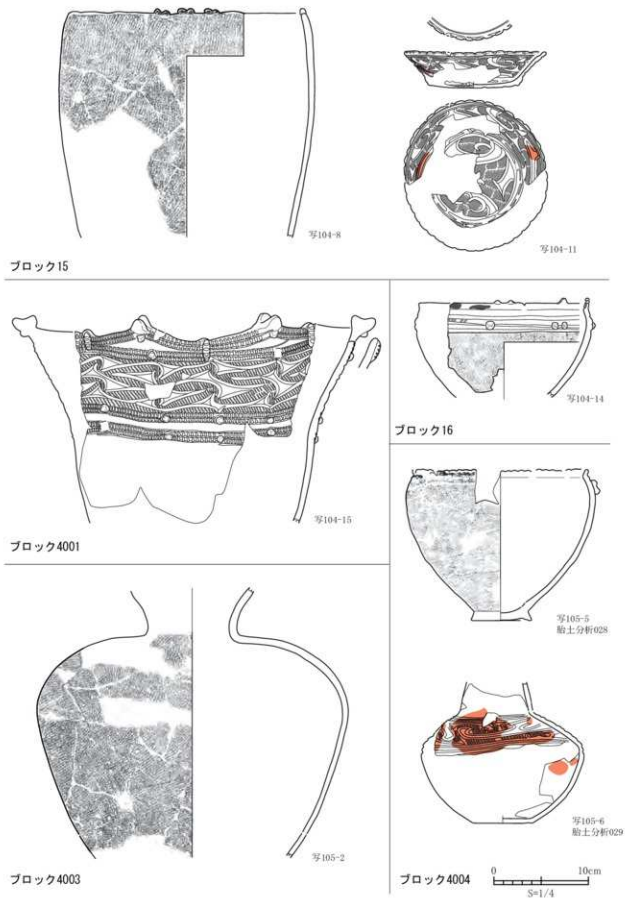
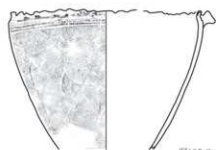
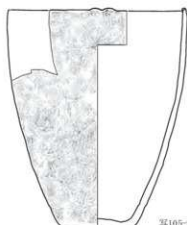


図84 北東捨場地区 土器(1) ブロック15・16・4001・4003・4004



写105-8  
胎土分析023



写105-9  
胎土分析024

ブロック4005



写106-3

ブロック4010

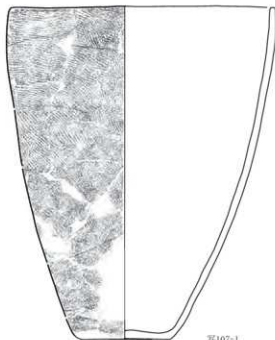


写106-5  
胎土分析027

ブロック4011



写106-6  
胎土分析026



写107-1

ブロック4018



写106-7  
胎土分析025

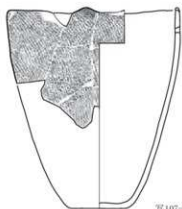


写106-9

ブロック4013



図85 北東捨場地区 土器(2) ブロック4005・4010・4011・4013・4018

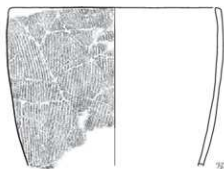


写107-2  
胎土分析021

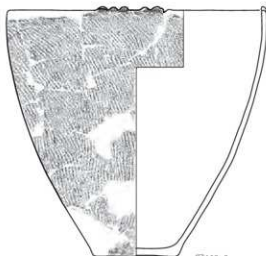


ブロック 4019

写107-8  
胎土分析022

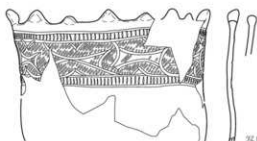


写108-5



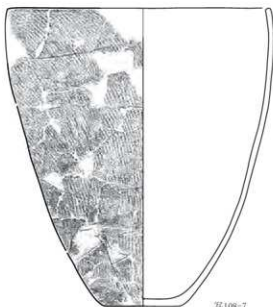
ブロック 4024-1

写108-6



写108-1

ブロック 4022



写108-7

ブロック 4024-1, 4024-2



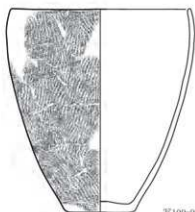
写109-4  
胎土分析019

ブロック 4024-2



図86 北東捨場地区 土器(3) ブロック 4019・4022・4024-1・4024-2





写109-9

ブロック 4025



写109-10



写110-1

ブロック 4026



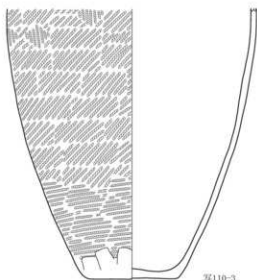
写110-5  
胎土分析014



写110-6  
胎土分析015



写110-7  
胎土分析016



写110-3

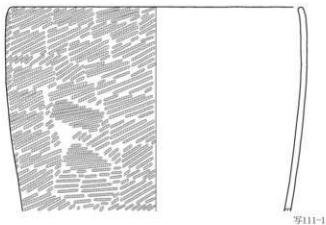
ブロック 4030



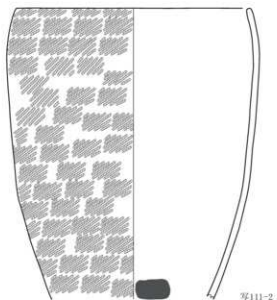
写110-10  
胎土分析017



図87 北東捨場地区 土器(4) ブロック 4025・4026・4030

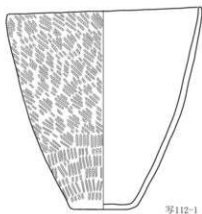


写111-1



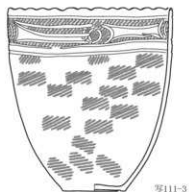
写111-2

ブロック 4031-1



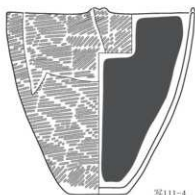
写112-1

ブロック 4032-2

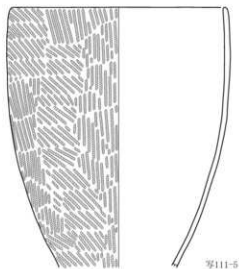


写111-3

ブロック 4031-2



写111-4



写111-5

ブロック 4032-1

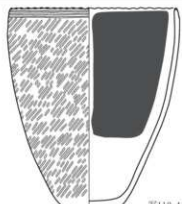


図88 北東捨場地区 土器(5) ブロック 4031-2・4032-1・4032-2



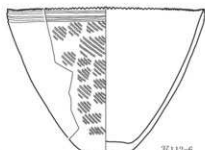
写112-2(赤彩)

ブロック 4032-3



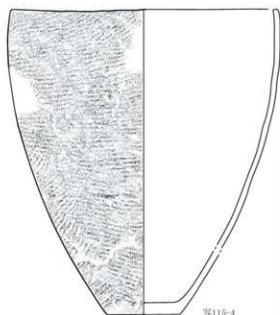
写112-4

ブロック 4032-5



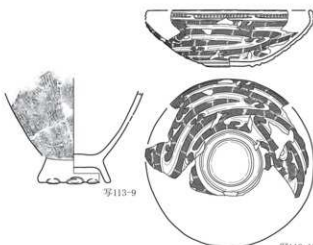
写112-6

ブロック 4032-6



写115-4

ブロック 4043下層A



写113-9

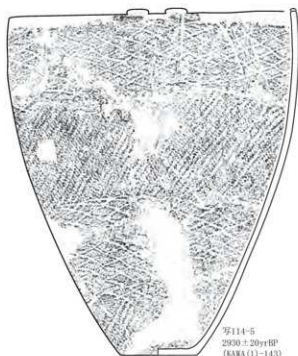
写113-10

ブロック 4037

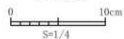


写114-1

ブロック 4038

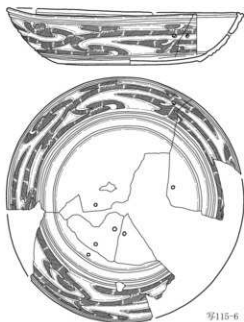


写114-5  
2930 ± 20yr BP  
(KAWA(1)-143)  
胎土分析030



ブロック 4041, 4047

図89 北東捨場地区 土器(6) ブロック 4032-3・4032-5・4032-6・4037・4038・4041, 4047・4043下層A



写115-6

ブロック 4043下層B



写116-1

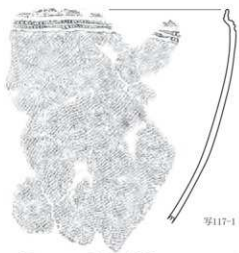
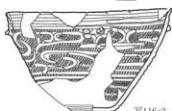


写116-2

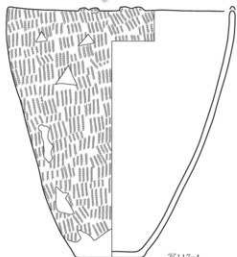


写116-3

ブロック 4044



写117-1



写117-4



写117-6



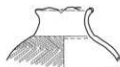
写117-7



写117-8



写116-7



写118-5

ブロック 4052-1



ブロック 4051 (赤影)

図90 北東捨場地区 土器(7) ブロック 4043下層B・4044・4051・4052-1

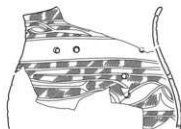


写119-7

ブロック 4053-1



写120-4  
胎土分析010



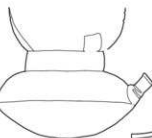
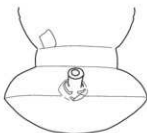
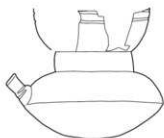
写120-6



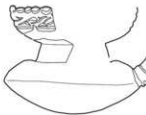
写120-3  
胎土分析008



写120-8  
胎土分析009



写120-9  
胎土分析005



写120-10  
胎土分析006



写121-1  
胎土分析007

ブロック 4053-2

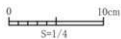


図91 北東捨場地区 土器(8) ブロック 4053-1・4053-2

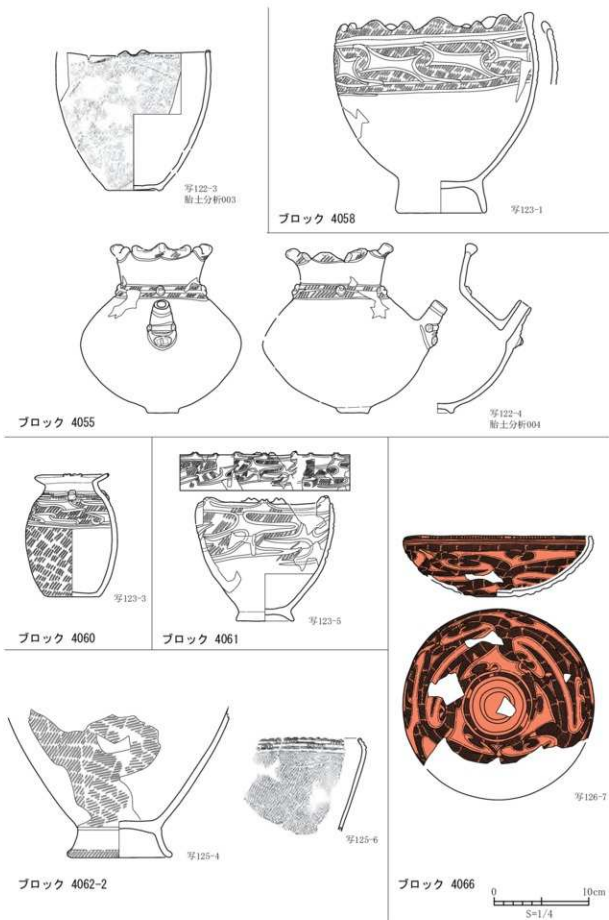
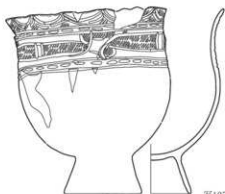
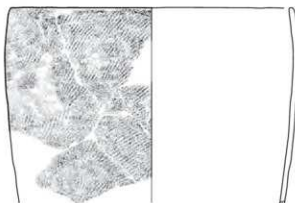


図92 北東捨場地区 土器(9) ブロック 4055・4058・4060・4061・4062-2・4066



写127-3

ブロック 4070

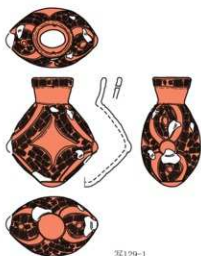


写128-6



写128-7

ブロック 4075

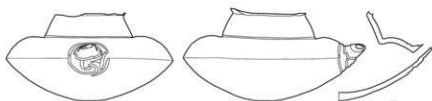


写129-1

ブロック 4078



写129-2  
胎土分析012



写129-3  
胎土分析011

ブロック 4080

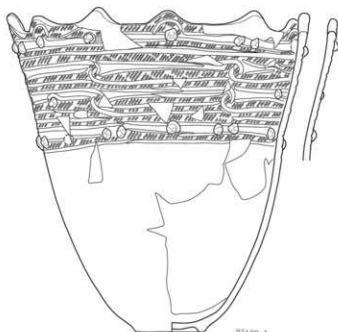


図93 北東捨場地区 土器(10) ブロック 4070・4075・4078・4080



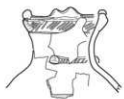
写129-6  
(赤彩)

ブロック 4081

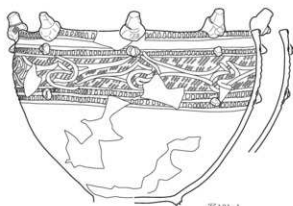


写130-1

ブロック 4082



写130-6

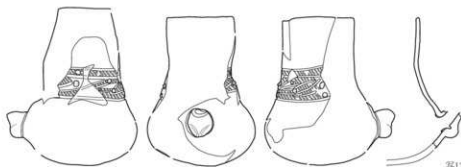


写131-1  
胎土分析001

ブロック 4083



写131-2  
胎土分析002



写131-4

ブロック 4084



図94 北東捨場地区 土器(11) ブロック 4081・4082・4083・4084



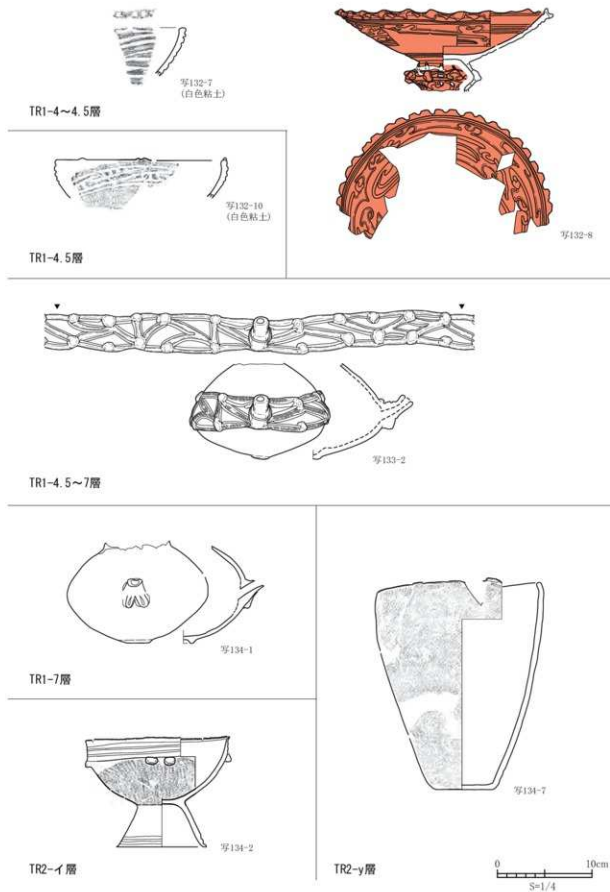
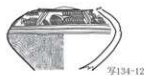
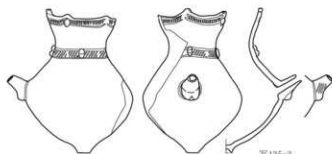


図95 北東捨場地区 土器(12) トレンチ1・トレンチ2

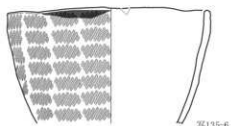


写134-12

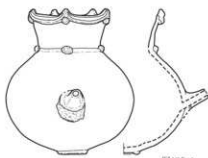
TR3-c層



写135-3

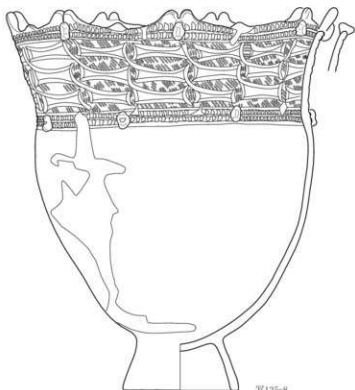


写135-6

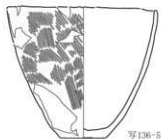


写135-4

TR3-e層



写135-8



写136-5

層位不明



写136-6



写136-8

TR3-e層とTR3-f層の境

発泡土器



図96 北東捨場地区 土器(13) トレンチ3・その他

## 2 土製品

北東捨場地区からは、土偶10点、ケムシ形土製品1点、土製勾玉1点、耳飾り3点、有孔土製品2点、棒状土製品1点、粘土塊4点、円盤状土製品6点、ミニチュア・小型土器16点の計44点が出土した(図97~99、写真137~138、表12)。

**土偶** (図97-1~6・10・11、図98-18、写真137、写138-44)

土偶は10点出土した。土偶は中実と中空とに分かれて土偶を製作している。5の中実は頭頂部が平坦で皿状に顔面を施文せず、いかり肩を呈する。2は中実の手づくね土偶で体部の中央部に凹みをもつ。5は腕部が張る小形土偶である。4はアスファルトが付着、3は漆(?), 11は赤色顔料が付着し、18は赤色顔料と白色付着物がみられる。

**土製品** (図97-12・13、図98-14~32、図99-33~43、写真137~138)

**ケムシ形土製品** (図97-13) は1点出土した。当初は香炉形土器の一部とも考えられたが、断面が湾曲し、先端部(頭)及び側縁部に貼り出し(手・足)を表現しており土製品に分類した。正面は無文・背面に渦巻文・三角形文を施文し、背面のみに赤色顔料を塗布している。青森県では類例を知らず東京都東村山市下宅部遺跡の「ケムシ形土製品」と類似しているのでケムシ形土製品と名称を付した。

**土製勾玉** (図97-7) は1点出土した。無文で端部に穿孔があり欠損している。

**耳飾り** (図97-12・図98-14・15) は3点出土した。15は断面形が漏斗状を呈し、14は滑車形で赤色顔料が付着し、12は中央部に穿孔がみられる。

**有孔土製品** (図97-8・9) は2点出土した。中央部に穿孔があり側縁部に斜位の刻みがあり赤色顔料の付着がみられる。断面形は8が方形・9が槽円形を呈する。

**棒状土製品** (図98-16) は1点出土した。幅0.6cmで細長く両端が欠損している。

**焼成粘土塊** (図98-17・19~21) は4点出土した。直径2.0cmの小形なもの21から、6.5cmの大形なもの19があり表面は凹凸している。

**円盤状土製品** (図98-22~27) は6点出土した。深鉢・鉢の胴部破片で、すべて縄文を施文し、スス状炭化物の付着がみられる粗製土器である。25は周縁部を全体に擦っており、23・24は一部を擦っている。形態は円形が主体であるが、27は方形を呈する。

**ミニチュア・小型土器** (図98-28~32、図99-33~43、写真138) は16点出土した。29は全体に傾いており、37・42は赤色顔料を塗布している。33~35の鉢・台付鉢にはスス状炭化物が付着している。壺は形態が胴部が張り出すものと張り出さない二種の形態がみられる。28・43は注口土器、28は胴部が算盤状、43は壺に注口がつけられており、普通の器種にはみられないものである。

(成田)

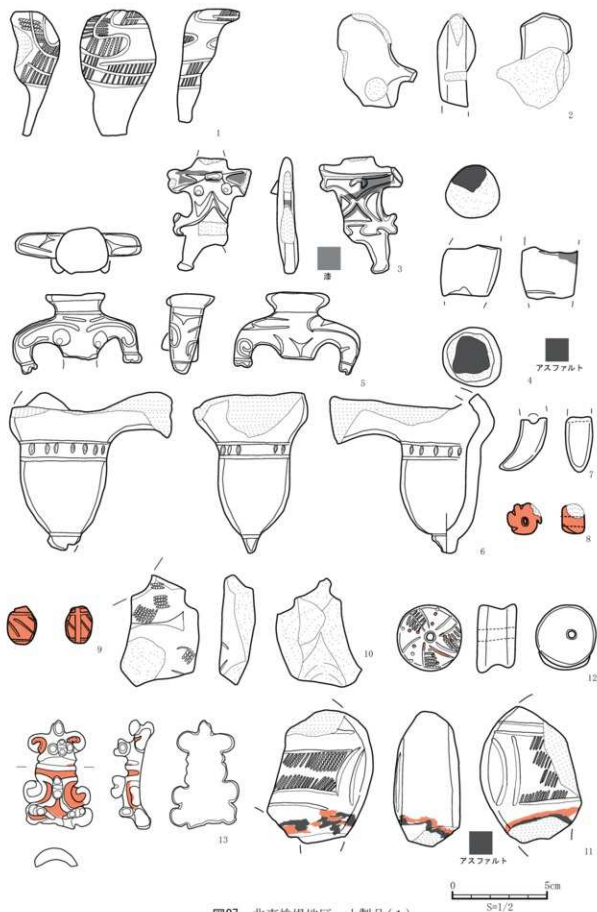


図97 北東捨場地区 土製品(1)

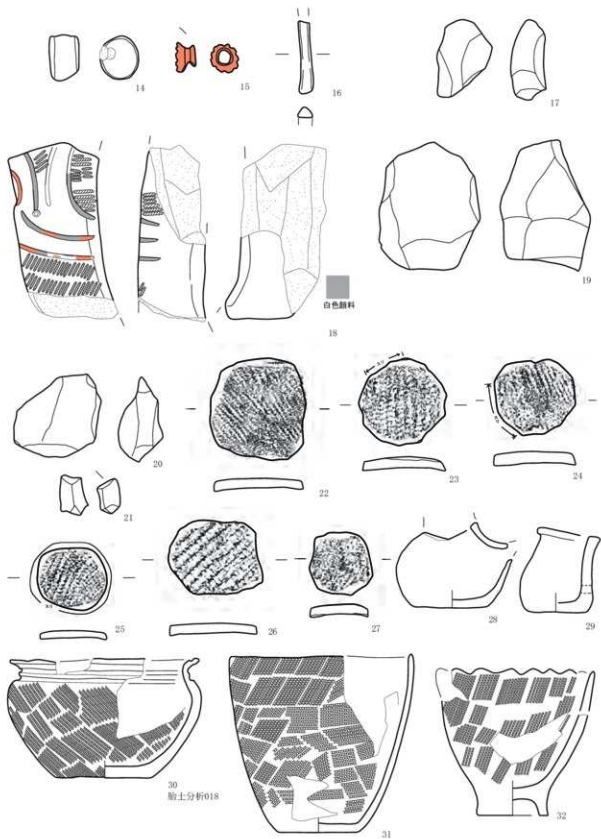


图98 北東捨場地区 土製品(2)

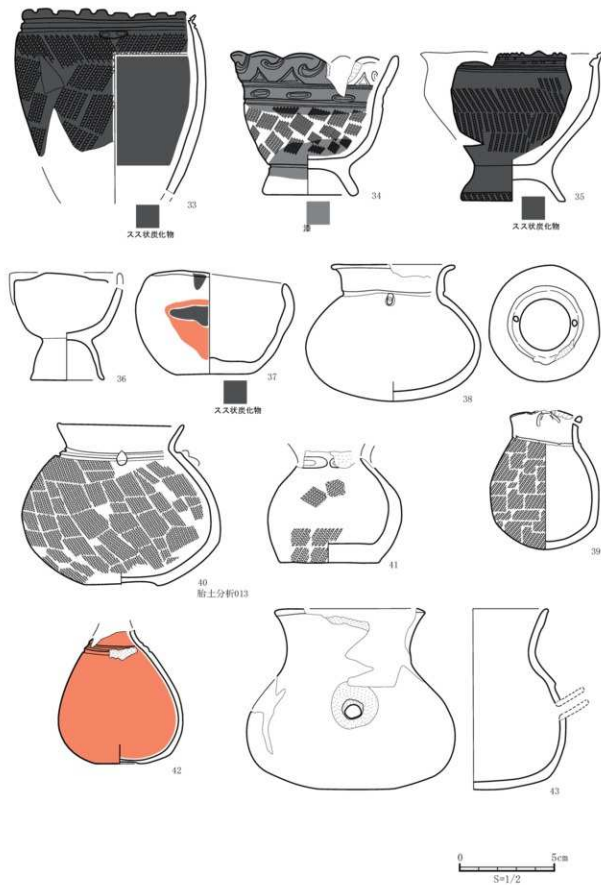


図99 北東捨場地区 土製品(3)

### 3 石器

東捨場と同様に、北東捨場でも写真掲載を基本とした。より細かく細分されている北東捨場の土層に対応させて、同種の石器においても若干離れて掲載したものがあがる(図100~108、写真139~162、表16)。

#### 剥片石器

一括出土品を除き写139-1~143-19、写143-23に掲載した。石鏃は有茎凸基鏃が多くを占め、丁寧な加工で整った左右対称のものが多い。写139-41の基部は二つの突起にわかれる異形の石鏃である。51~70は石錐である。石錐はほとんどが珪質頁岩であり、黒曜石製のものを含まない。68は、石鏃転用の可能性のある石錐であり、尖端部が摩耗している。同71~75は、石篋である。石篋には珪質頁岩のみ使用されている。写140-1~141-17は石匙である。東捨場と同様に、横型が主体である。丁寧な加工でアスファルトの付着率が高い。縦型石匙はつまみ部のみ加工したものが多く、つまみ部と対になる左上の部分に抉りを加工して突起を作り出している。このような突起には写140-10のように両側に抉りが設けられることが多いが、片側のみである。写141-18~22・25は石錐未製品の可能性があるが削り器とした。写141-23・27・29・31及び写142-11・19・20は異形石器である。写141-23は黒曜石、同31・142-11は鉄石英、142-20は玉髄と石材及び色は多様である。

写141-30は大形の石核で、縁辺から求心的に剥片を剥離している。写142-6は、求心的な剥片剥離が両面で行われている。同5は、縁辺の剥離面を打面として、さらに剥離を進行させたものであり、端部が尖った形状に近づいている。写143-19は三稜状で両端が尖る状態まで剥離が進行したものである。中央部で最後の剥離と敲打を行い、抉りが作りだされている。上下と左右が線対称に近づくため、異形石器に形状が類似する。写142-1は上面の打面から縦長の剥片が剥離されている。写141-24・32~34・142-8・143-8・9・10・13・16は石核転用敲石である。敲打の際の衝撃が小さく制御しやすい小形品が中心である。石核の変形という意味から石核とあわせて掲載した。写142-23は玉髄の原石を用いた敲石であるが、同様に扱った。写143-7・15・23は黒曜石製石核である。

(齋藤)

#### 一括出土石器(特4005)

北東捨場地区の中でV L-46グリッドのTR2-b~TR1-4層から特4005(剥片集中)として、剥片を中心に84点取り上げられている。石器の色や質をもとに母岩別に分類し、10のグループに分類できた。その中で、最も多い母岩1については、接合作業を行い、9個体の接合資料が得られた。川原平(1)遺跡から出土する珪質頁岩の中でも珪酸分が弱い部類にはいるが、同様な質のものも石器として加工されている。

図101~103に主要な物であるA~Dを図化した。接合資料は図よりもカラー写真の方が理解しやすい。図示しなかった資料も紹介できる。そのため、写真144~147をもとに記載する。

写144-1は石核、二次加工剥片、剥片による接合資料で、9点接合した。個体A(重量849.9g)として記載する。A-1・3~8が剥片、A-2が二次加工剥片、A-9が石核である。1'にはA-1~4を除いて正面からみた写真を置いた。正面に節理面、上面に礫面が残る。途中で打面調整等を行った痕跡はみられ

ない。剥片剥離工程としては、初めに下方向から剥片を2枚剥離する(A-1・2)。次に打面を180°転移し、剥片を1枚剥離する(A-3)。その後、打面を90°転移し、同方向から連続して5枚の剥片を剥離する(A-4～8)。ここまでで得られた剥片は、A-1が縦型の石匙や削器、A-3・4が石鏃になり得る素材である。また、それ以外は比較的厚手の剥片である。珪化の弱いこともあり、廃棄されることが多いものと考えられるが、厚形の削器になり得る素材である。

写145-1の接合資料は、個体B(重量244.6g)として記載する。正確にはB-1～5の5点の接合品と、B-6・7の2点の接合品に分かれ、B-3とB-6の間の剥片が1枚欠失しているために接合しない。しかし、ほぼ位置が特定できるため、あわせて図化し個体Bとした。写真及び図では、B-3とB-6の間隔を1mm程度としたが、1cm程度離れる可能性もある。正面に礫面が残る。剥離工程は、初めに上方向から6枚剥離する(①～⑥)。この時、③においては打面に数回打撃を行った痕跡がみられる。また、B-5は折損しており、剥片剥離時はB-1～4及びB-6と同じ打面から剥離したと考えられる。その後、打面を90°転移し、1枚剥離する(⑦)。⑦を剥離する際に、数回の打撃により打点の稜が潰れていることから、頭部調整を行った可能性がある。これらの剥片はB-1・6が石鏃、B-3が石匙や削器になり得る素材である。

写145-2の接合資料は、剥片3点の接合品である。個体C(重量118.5g)として記載する。正面に個体Bと類似した礫面が残る。接合はしないが両者は本来は近い位置にあったものと考えられる。頭部調整等を行った痕跡はみられない。全て上方向からの打撃により剥離されている(①～③)。これらの剥片は全て石匙や削器になり得る素材である。

写146-1は剥片3点の接合資料であり、個体D(重量107.8g)として記載する。正面と右側面に節理面、上面に礫面が残る。頭部調整等を行った痕跡はみられない。個体Cと同様に全て上方向からの打撃により剥離されている(①～③)。①においては数回打撃を行った痕跡がみられる。これらの剥片は、D-3が石鏃や削器、D-1・2がそれに加えて石匙や石筈になり得る素材である。

以上の個体A～Dは石材の質や混入物、色調等から同一母岩であるが個体としても同一の可能性はある。写真147には、その他の接合資料と主要な剥片を記載する。

写147-1～5は2点の剥片が接合したものである。礫面を残すものがみられるのは個体A～Dと同様であるが、接合しなかった。6以下は、未接合の剥片である。6と11が削器素材となり得る縦長剥片である。これらも礫面や節理面が残るものがみられる。

今回紹介した接合資料は、個体Aの礫面の外郭からみて、分割される以前は大形の礫であったと推測され、そのような大形原石を採取後、分割し、石器製作に利用していることが分かる事例である。また、これらの資料は、頁岩の中でも珪質分が少ないように見受けられる。

一方、川原平(1)遺跡で出土した頁岩製の剥片石器は珪質分の少ない頁岩も利用してはいるものの、良質な珪質頁岩が大半を占める。このことから、これらの接合資料は、石器製作に利用するための剥片を剥離しようとしたものの、中核部分でも珪質分の少ないものしか獲得できず、一部を除いて捨場に廃棄したと考えられる。石鏃や削器、石匙の素材となり得る形状の剥片も利用しなかった。

また、写真146の2には母岩1の、他の剥片24点を掲載した。小形削器の素材になりそうな物は1～2点である。他に写真から漏れた剥片が1点あるが、石器素材とはならない。母岩2は、砂岩であり剥片石器には質的に不向きである。同時に出土した18点の剥片は母岩3～10と8種類に分類できる



が、礫皮付近の灰白色の軟質部の割合が高いものや、被熱により表面等が変質しているものがある。石器素材となりうるものはない。母岩1に由来するものを含め、最終的に利用されなかった石器素材等を捨場に一括廃棄したものと考えられる。(久保・齋藤)

#### 磨製石斧

磨製石斧は写真143(図104)に掲載した。石材は安山岩、緑色岩、緑色片岩である。

写143-20は、緑色片岩製であり、扁平な形状である。刃部などは剥離されている。写143-22は、緑色岩製で、基部が欠損し、破損面を中心に敲打痕が見られる。

(高橋)

#### 礫石器

写真148～162、171-5に掲載した。磨石類は磨面と敲打痕など複数の種類の使用痕を持つものも多いが、主体となる使用痕から概ね磨石、敲石、凹石、石皿の順で掲載した。磨石では花崗岩が多いが凹石は凝灰岩が多い。写151-2は真円に近い形状の円盤状の礫を素材としている。側面使用の敲石としたが、石製円盤の可能性もある。

写155-1は、隅丸方形の板状礫の両面中央に浅い凹痕が形成される凹石である。軟質の緑色凝灰岩製であり、素材礫が方形に近く、石製品を思わせる形状である。同7は二次加工のある礫で礫器とした。

石皿は石材や縁ありと縁なしと形状の多様性がある。写156-7・8は中高の石皿である。8は正面の下部に石皿の縁が低い部分がある。裏面には脚部と考えられる二つの突起を上部に作り出している。裏面にも磨面が形成され、写真で中央に白く見える部分の下側に、敲打痕がある。また、裏面の中央部左側から下部左側には、器形に沿って溝状に敲打痕が連続する。その延長上の下部右側にも敲打痕があり、当初の意匠としては溝を下部に半周させようとした可能性がある。写162-10は両側縁に剥離があり、大型の石錘の可能性もある。

礫についても本項で述べる。写170-4は石皿に類した窪みを持つ自然礫である。同9は有孔の自然礫である。同10～12は緑色凝灰岩の玉素材であり、12は器表面に光沢を持つ。

(齋藤)

## 4 石製品(図109～114、写真163～173、表16・17)

石器と同様に写真番号をもとに記述するが図化の進んだ岩板は図番号で記述する。

#### 石棒類

石棒類は写真163、164(図109・110)に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写163-1は、内反りの石刀である。柄頭と先端が欠損している。柄部付近に2条の沈線が巡る。また、峰にそって沈線が1条走る。柄部は北東捨場から、刀身は川原平(4)遺跡の北東捨場延長地区から出土している。写163-2は、点紋粘板岩製の石剣である。柄部が欠損している。写163-3は、大形品である。

同一グリッド・層から出土したものの同士が接合した。柄部は破損している。写163-4は、大形品の胴部資料であり、表土とTR3-6層とが接合した。写163-5は、断片資料であるが、一片が西捨場から出土している。写163-6は、凝灰岩製である。写163-7は、柄頭と胴部の境に2条の沈線が巡る。写163-8は、蛇頭形の柄頭を持ち、柄頭部にX状の沈線文が施され、沈線内に赤色顔料が残されている。柄部には敲打痕が残されている。写163-9は、点紋粘板岩製石剣である。柄頭と胴部の境に1条の沈線が巡る。写163-10は、柄頭と胴部の境に2条の沈線が巡る。写164-4は、3分割された石棒断片である。中心の破片が東捨場のIVX-52グリッドから出土している。写164-5は、安山岩製であり、敲打で整形されている。

写真のみの掲載は、胴部や先端部などの断片である(写164-1~3)。

(高橋)

#### 岩版(図111)

形態は端部が丸みを有する楕円形(図111-5・7・9)と端部が平坦なもの(図111-1・6)の二種の形態が存在する。

図111-1は、中心部に正中線を施文し、左右に三角形文を充填しており、浮彫的技法を用いて施文している。同3・5・7は眉・目・口を表現する。3・5は左右に弧状文、7は渦巻文のC字文を施文している。3は裏面に渦巻文を施文している。9は正中線の左右に弧状文と山形状文を施文している。4は方形文を施文している。

(成田)

#### その他の石製品

線刻磙を写171等に、石製円盤を写166-1~170-3・18に掲載した。写170-18は、器表面に線刻を持つ石製円盤である。石製円盤は形や加工状況、大小の大きさ、石材は多様性がある。写真172~173に集合写真としても掲載した。集合写真毎に円13~22までの番号で北東捨場と北東捨場延長部分をあわせて掲載した。石材毎に撮影することはできなかったが円13は花崗岩、円14は相馬安山岩、円15はデイサイトと安山岩、円16は凝灰岩、円17・18は(緑色)凝灰岩を主体としたものである。円16及び円21には観察表に示したように計5点、西捨場のものが入ってしまったが、西捨場の点数として報告書Ⅶで修正する。円23は石製円盤に形状の類似する磙である。石材と大きさは共通している。

(齋藤)

## 5 その他の遺物(写真174、表18)

漆製品3点、アスファルト3点が出土した。

漆製品は漆塗膜と堅櫛が出土した(写174-1・2)。写174-1は漆塗膜であり、藍胎漆器と思われる。写174-2は結歯式堅櫛の棟部で、平面台形状を呈し、上端に三角形の突起をもつ。体部に数個の瘤状突起が認められる。櫛歯は残存しないが、歯の痕跡が9箇所認められる。西捨場地区でも同形態の堅櫛が出土している(報告書Ⅶ-写280-7~10参照)。

(中澤)

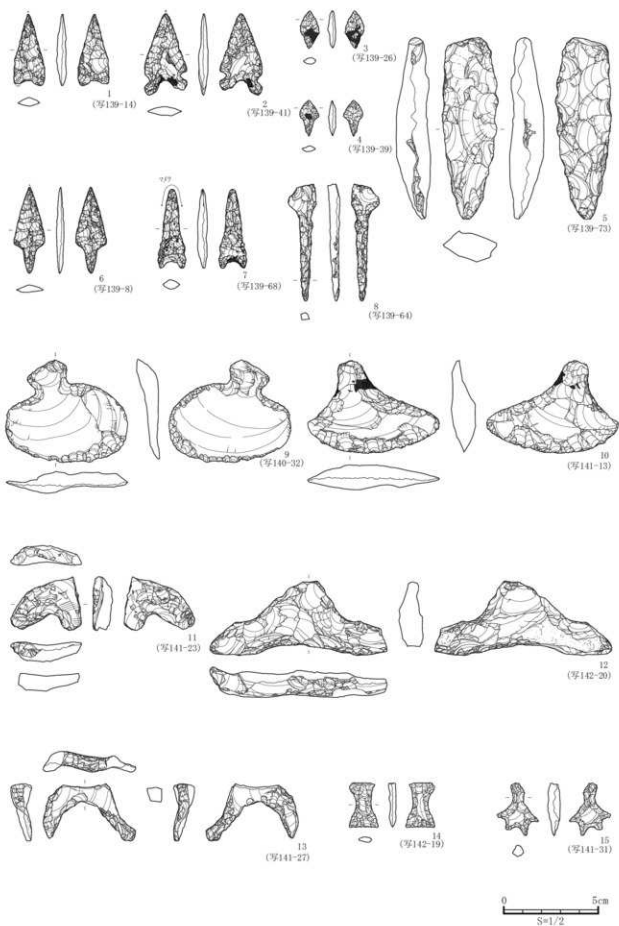


図100 北東捨場地区 石器・石製品(1)

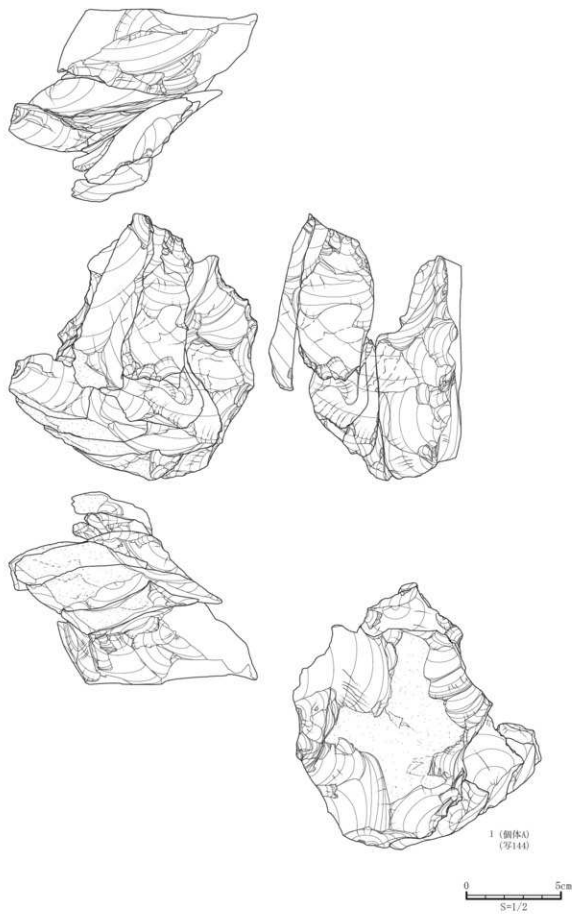


图101 北東捨場地区 石器・石製品(2)

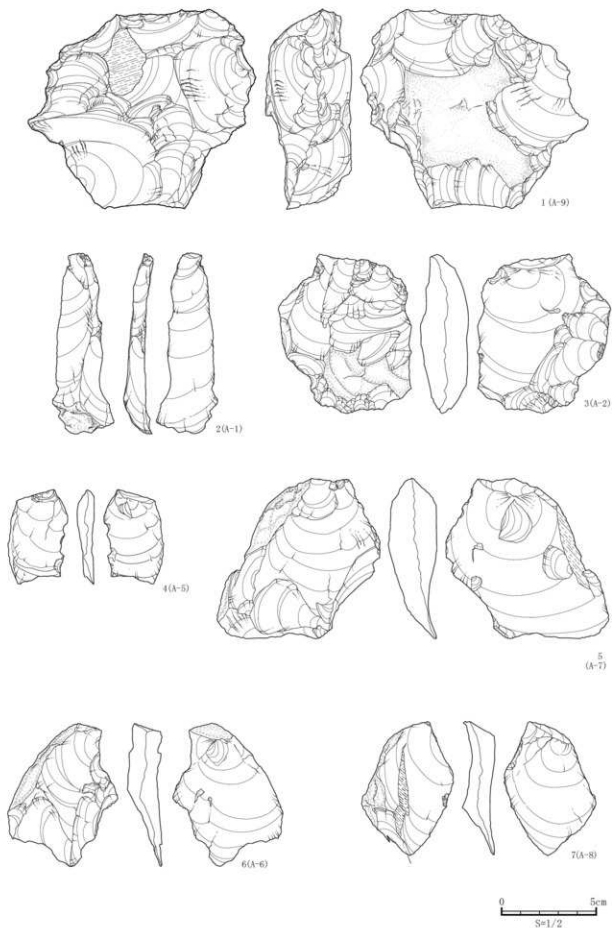


図102 北東捨場地区 石器・石製品(3)

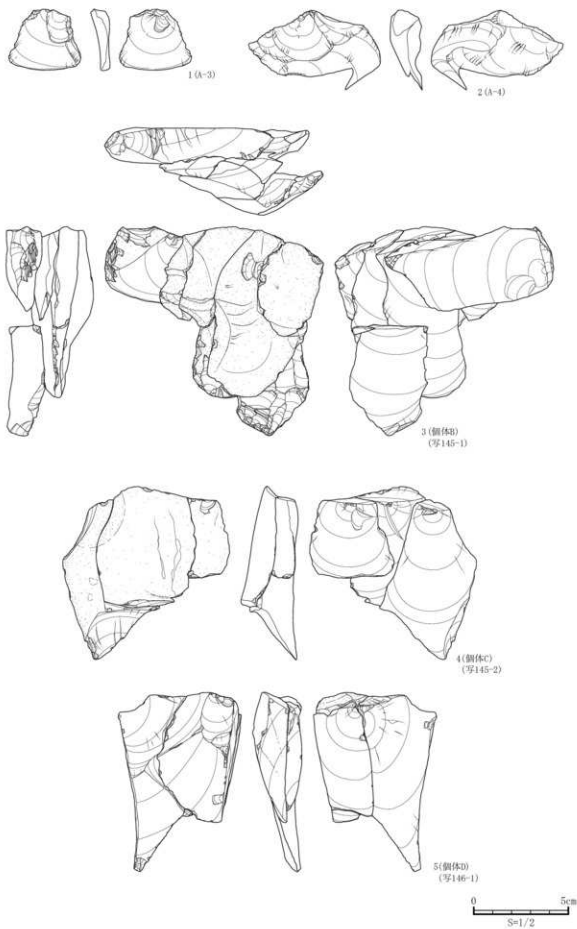


图103 北東捨場地区 石器・石製品(4)

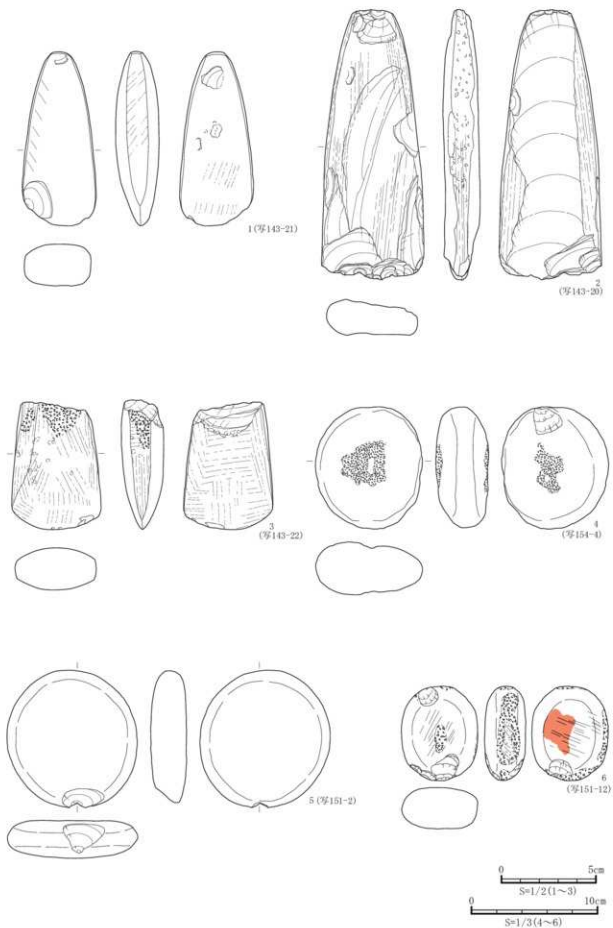


図104 北東捨場地区 石器・石製品(5)

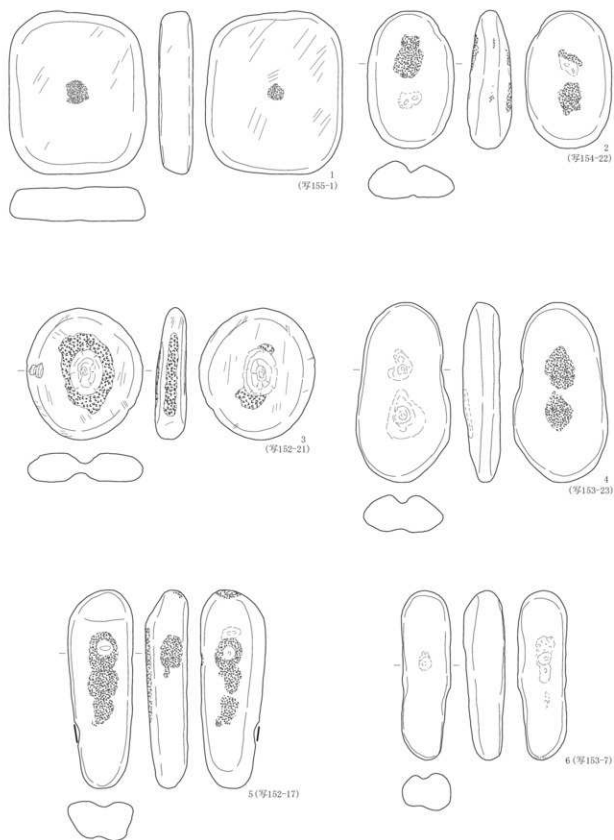


図105 北東捨場地区 石器・石製品(6)



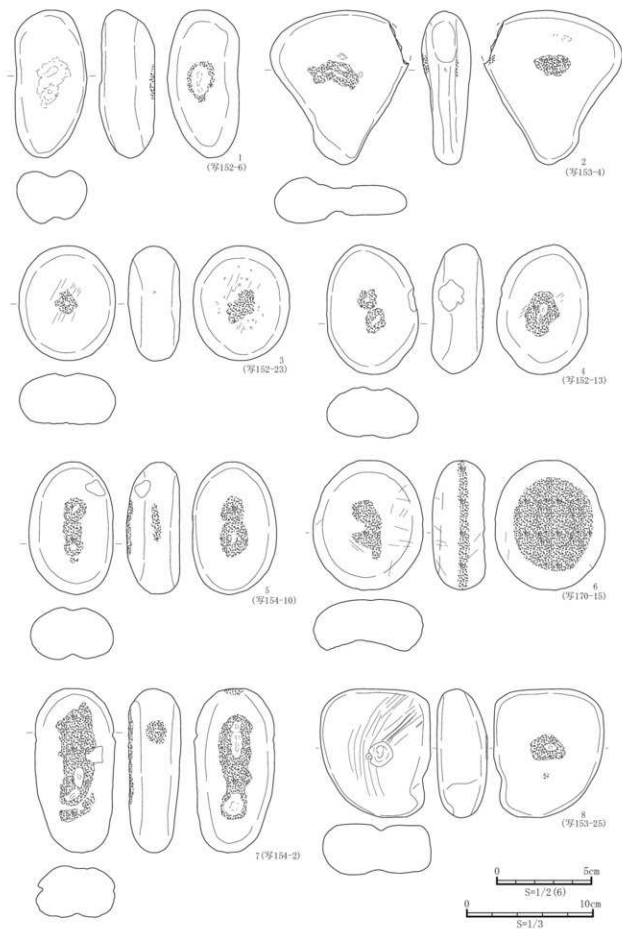


図106 北東捨場地区 石器・石製品(7)

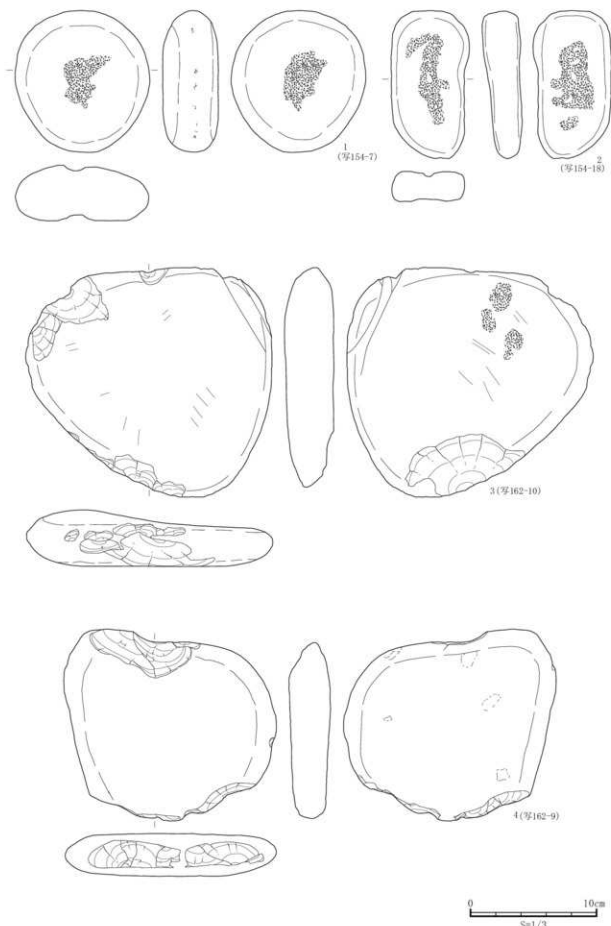


图107 北東捨場地区 石器・石製品(8)

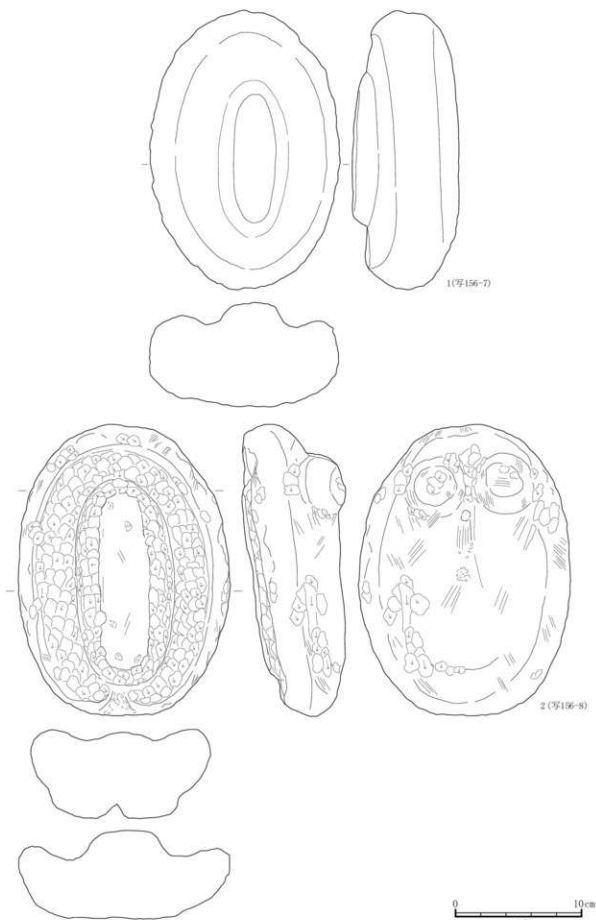


图108 北東捨場地区 石器・石製品(9)

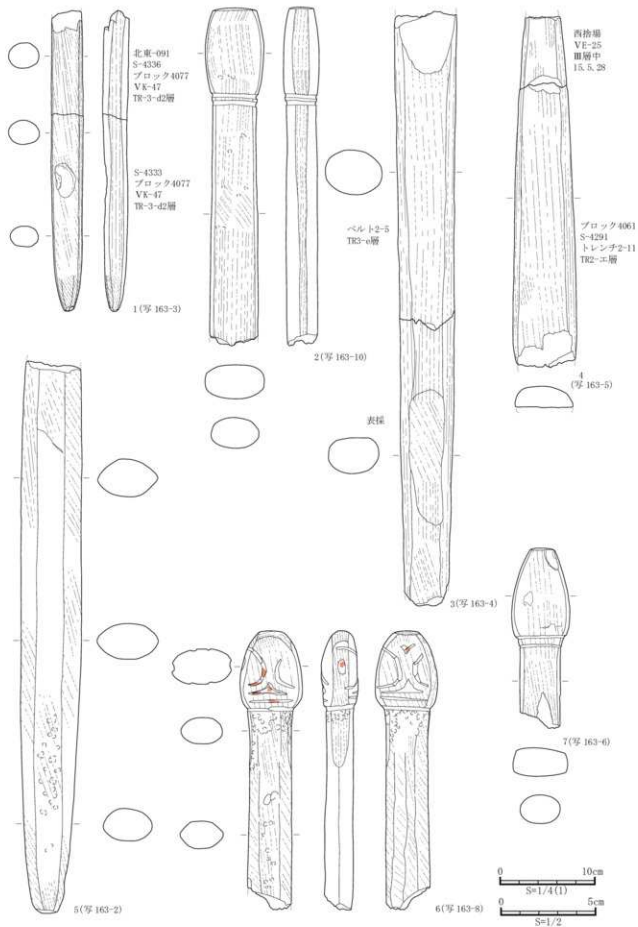


図109 北東捨場地区 石器・石製品(10)

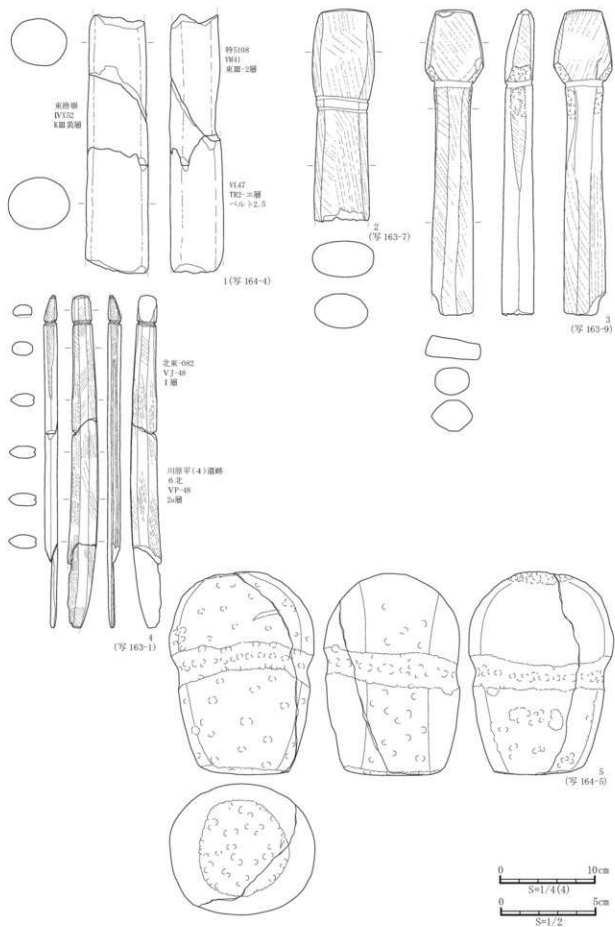


図110 北東捨場地区 石器・石製品(11)

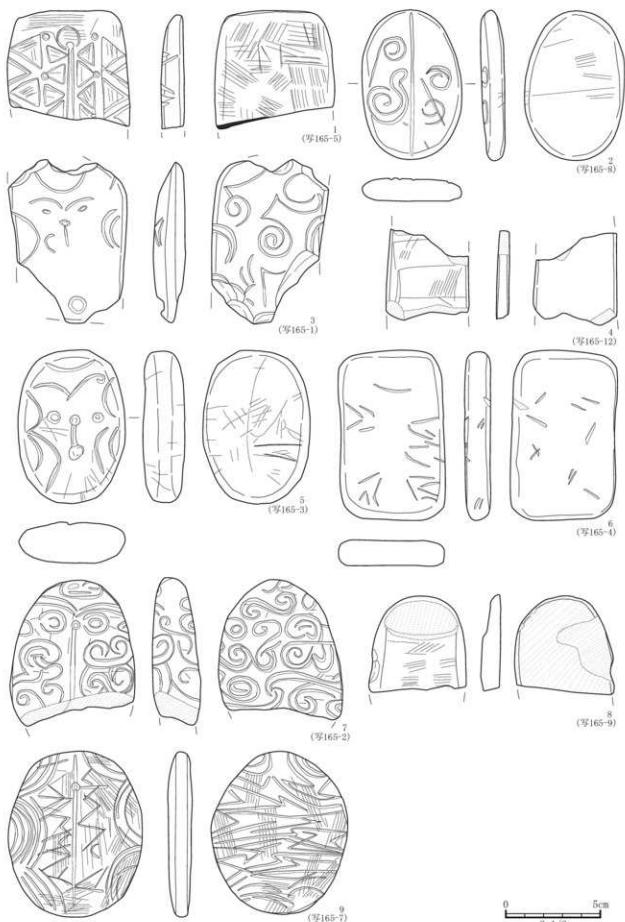


图111 北東捨場地区 石器・石製品(12)

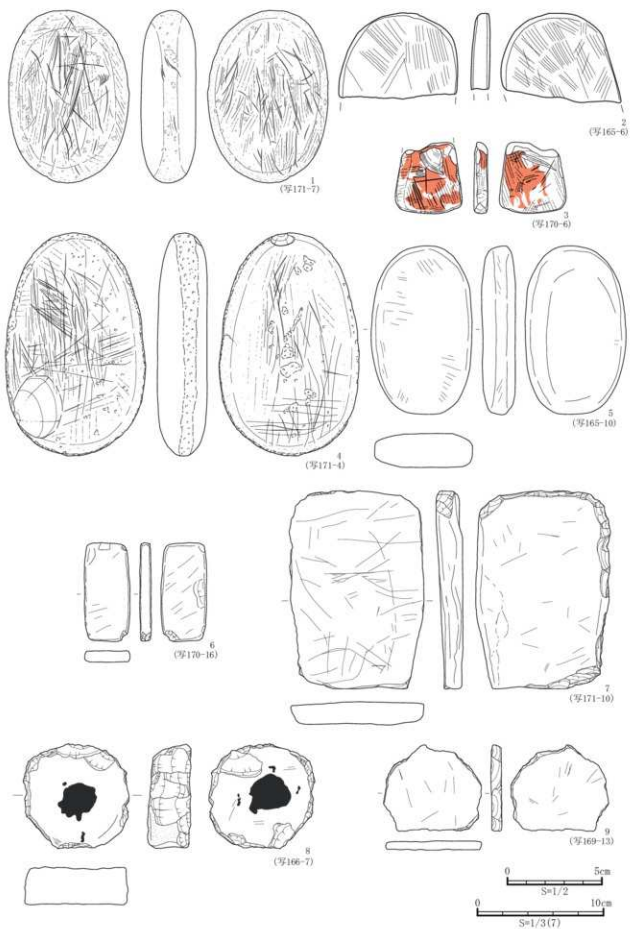


図112 北東捨場地区 石器・石製品(13)



図113 北東捨場地区 石器・石製品(14)



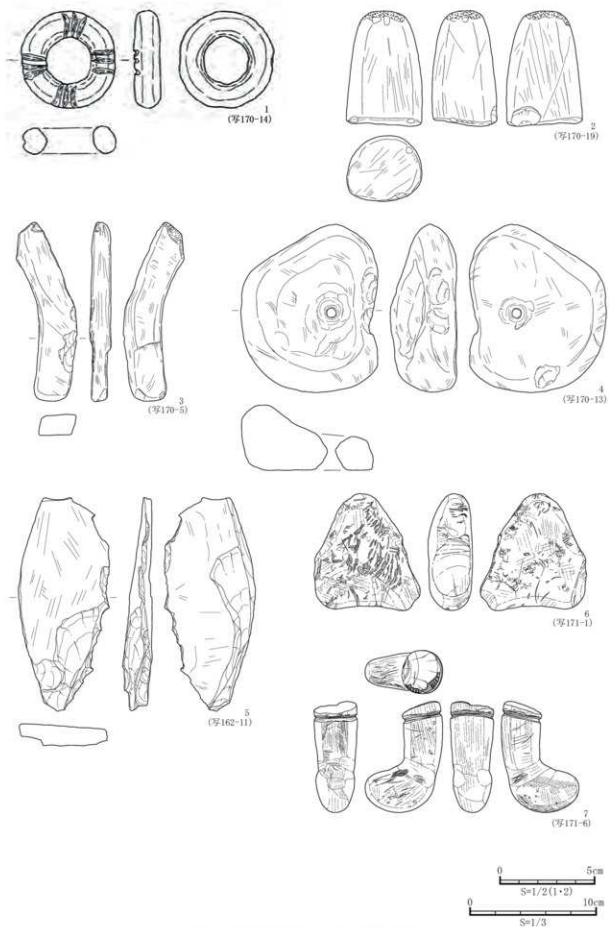


図114 北東捨場地区 石器・石製品(15)

## 第5章 まとめ

北東捨場は、北東縁辺部の滑落崖に形成されており、居住域の外周に巡る捨場群（西捨場・北捨場・[本捨場]・東捨場・南捨場）の一部を構成するものである。いわゆる「斜面捨場」の類に属し、南西から北東にかけて下る斜面に、多量の土壌と礎、遺物が廃棄されていたものである。

遺物は、縄文時代後期後葉から晩期後葉のもので占められ、型的には、甗付土器Ⅲ段階（小林2008）～大洞A式までの各型式が出土しており、量的には、段ボール箱にして634箱（土器400、石器等234）を数える。

後期後葉から晩期後葉というこの時間幅は、土壌（礎含む）や遺物の長期にわたる廃棄活動の継続を示し、634箱という遺物量は、無数の廃棄単位が累積した結果そのものである。このように、本捨場はその名のとおり、捨場として機能した部分が大いことは当然としても、堆積層（遺物包含層）の中に検出された配石遺構（1基：晩期中葉）と焼土遺構（2基：ともに晩期中葉）は、短時間ながらも、ここが廃棄の場所ではない別機能をもっていた可能性を示唆している。

捨場という空間がもつ性格を多面的に捉えるためには、廃棄という行為の中に「送り」的な観念を含めた、複層的な分析視点が必要であることは言うまでもないが、ここでは紙幅の都合もあることから、調査で得られたいくつかの事項を簡単にふり返る中で、そこから見いだされる課題等にも若干言及し、北東捨場に関するまとめとしたい。

**【捨場堆積層（遺物包含層）】**特徴的な層についていくつか前述したが、特にTR3-ア層とTR3-c層、TR3-b層の3つの層は、小規模ながらも本捨場においては独特であり、重視される（第4章第2節）。

層位	特徴	出土遺物の時期	備考
TR3-ア層	竪穴建物などの構築に伴う一括性の高い掘削土か	大洞C1式むずかみに包含	遺物少 堆積時期はC2式期の古段階か
TR3-c層	一括廃棄の可能性がある地山起源土壌	大洞C2式の略完形が希に出土	遺物少 堆積時期はC2式期の新段階か
TR3-b層	炭化物類 消火部屋等の廃棄部材の可能性がある	大洞A式を含む	遺物少

**【炭素年代測定】**土層の形成時期と遺物との時間的関係を推定するため、上位層から5点、中位層から5点、下位層から4点を分析した（下表：分析の原報は第580集『川原平(1)遺跡Ⅱ』に掲載）。

層の位置	土層番号	主体となる土器の時期	yrBP (全て±2σ)	備考
上位	TR3-b層	晩期後葉	2470 2490 2530 2620	
	TR3-2層	晩期後葉	2520	
	TR2-b～1-4層	晩期中葉	2890	
中位	TR2-エ層(=TR2-2層)	晩期前葉	2880 (種実)	TR2-エ層は礎多く空回りか 種実は上層からの混入か
	TR2-2層(=TR2-エ層)	晩期前葉	2960 2960 2980	
下位	TR3-e層	後期後葉	3000 (種子) 3040	
	TR3-f層	後期後葉	3000 3150	

**【土器集中域（ブロック）】**捨場堆積層の中に100単位の土器集中域を認定し、うち、45単位の土器集中域（ブロック）に関する時期と多寡、時期毎の分布傾向について述べた（第4章第3節 0061-1, 2）。

土器集中域（ブロック）の分布中心 (平面：グリッド、垂直：層位)				土壌の推定 形成時期	本書の 時期区分	備考
TR1-c層	V M-46	TR3-b層	V M-47	大洞A式期	晩期5期	認定数僅少
TR1-4層	V M-46	TR2-b層	V K-47	大洞2式期	晩期4期	
	V L-46・V M-46			大洞1式期	晩期3期	活発な廃棄活動期か 大洞C1式期の実際時間幅の絞り込み必要
TR1-5層	V L-45			大洞C式期	晩期2期	認定数僅少 大洞C式期の実際時間幅の絞り込み必要
	V L-45・46			大洞2式期	晩期1b期	活発な廃棄活動期か 大洞2式期の実際時間幅の絞り込み必要
TR2-2層	V L-46			大洞1式期	晩期1a期	
TR3-e層	V K-47・48			甗付土器Ⅲ段階 ～大洞2式期	後期7-8期 ～晩期1b期	「甗付土器Ⅲ段階」は小林(2008) 「～大洞2式期」にはB1式とB2式が含まれる(上の2行と一部並行)

【北東捨場の推移】捨場堆積層、炭素年代測定、土器集中域の結果を総合させ、北東捨場の推移を時系列で整理すると、概ね下記のようにまとめられる。なお、隣接するクラック地区や北東捨場延長地区との比較検討は、今後の課題として保留し、ここでは簡単に触れる程度とする。

**後期7-4期～晩期2期** (図115-左) 北東捨場における土壌や遺物類の廃棄行為は、後期後葉(後期7-4期)から開始される。この頃の廃棄行為は、滑落崖の冠頂部分(土堆付近)からの投棄が多かったようである(図61-2)、斜面の途中で静止したもの(写真97-7)や、斜面を転がり落ちていったもの(VK-47グリッド辺り)も少なくなかったようである。こうした廃棄行為の連続により、晩期前葉の段階に至っては、ほぼ半分位の深さまで埋没する<sup>1)</sup>。この状態に達するまでの時間は、意外に短かったようで、AMSの年代値を参考にすれば、およそ100年間程度<sup>2)</sup>であったと推定される。この背景には、集落形成の早い段階における、掘削土などの頻繁な廃棄行為があったものと考えられる<sup>3)</sup>。勿論、後期後葉～晩期前葉にかけては、日常的に用いた土器の廃棄活動も継続的に行われ、時には儀礼的行為に伴う廃棄活動もあった可能性が推察される<sup>4)</sup>。

晩期前葉段階における本捨場は、土壌の堆積がかなり進行したことによって、「きつい傾斜(第4章第2節参照)」では既になくなっており、広く歩行できる緩い傾斜地になっていたようである。このことは、図61-2に示した土器集中域(ブロック)の変遷図にもよく表れている。ただし、「晩期前葉」という時間幅の中において、本捨場における晩期2期(大洞B2式期)の土器は、他の時期に比べて極端に少なく、それまで安定的だった廃棄活動が、この段階で一気に低調になったかのようにみえる<sup>5)</sup>。

**晩期3期** (図115-右) 大洞C1式期に至って、廃棄行為は再び安定的となる。下図および図61-2で分かる通り、広く満遍なく廃棄されていった様子が見て取れる。ただし、廃棄場所の中心的な部分は、先の晩期1b期(大洞B2式期)と同じVL-46グリッドであり、時間的な隔たりがあったはずではあるものの、なぜか同じ場所が選択されている点は留意される<sup>6)</sup>。この晩期3期(大洞C1式期)における遺物廃棄量は、他の時期に比べ最多である<sup>7)</sup>。この現象は、北東捨場に限ったことではなく、川原平(1)遺跡の各地区に概ね共通する傾向と思われる。なお、この頃は配石遺構(SQ33)の構築や焼土遺構(VL-46グリッド焼土・トレンチ2内焼土)の形成がみられる。配石遺構とトレンチ2内焼土は、本捨場の傾斜変換点から下ってまもなくの場所が選ばれ、遺物廃棄の範囲とは重ならない位置に構築されている点に注意したい(図115右)。

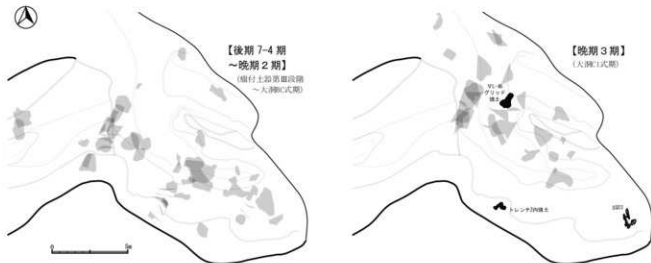


図115 後期7-4期～晩期2期・晩期3期の様相

**晩期4期** (図116-左) 大洞C2式期に至り、これまでとは状況が異なりはじめる。トレンチ3を中心に分布するTR3-ア層とTR3-c層は、一括性の高い掘削土であり、一斉廃棄されたものとみられる。掘削時期は晩期4期(大洞C2式期)頃と推定される。竪穴建物などの構築に伴ったかどうかは別としても、相当な土量であることから、これまでとは異なる、規模の大きい土木作業のあったことが推察される。これによって、3期の配石遺構などは完全に埋まりきり、当時は、「黄褐色を呈す土壌=排土」が少し盛り上がるような景観を呈していた可能性がうかがわれる。遺物の廃棄場所は、トレンチ1と2の間の辺りが主に選ばれるようになるが、これはトレンチ3のあたりに廃棄したこの「排土」が影響した可能性が高い。

**晩期5期** (図116-右) 最後の段階である大洞A式期になると、土器集中域はかなり少なくなるが、先の晩期4期(大洞C2式期)における廃棄の中心は引き継がれる。この地点は、北東捨場延長地区にかなり接近しており、巨視的には、廃棄場所が徐々に川原平(4)遺跡に近づいていった状況とみることもできる。この段階で注目される土層は、炭化物を顕著に含むTR3-b層である。茅状のものも微量に混入することから、消失家屋等の廃棄部材が主体である可能性がある<sup>9)</sup>。この炭化材も一斉廃棄されたような状況であり、先の晩期4期(大洞C2式期)におけるTR3-ア層の一斉廃棄を彷彿とさせる<sup>9)</sup>。これらの炭化物のAMSによる年代値は、2500年頃(yrBP)<sup>10)</sup>とみられることから、本捨場が利用開始され、完全に埋没するまでに要した期間は、約580年間くらいであったようである<sup>11)</sup>。

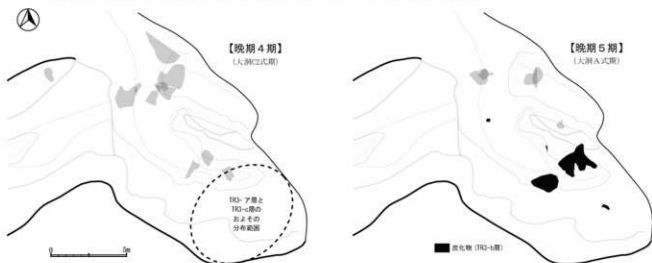


図116 晩期4期・晩期5期の様相

**【その他】** 特記しておきたい遺物について、いくつか触れておく。

**外来系土器** 図89(写114-5 ブロック4041・4047)の深鉢は、胎土分析(Na030)により、在地生産と推定されたものであるが、これに施されている網目状燃糸文(短軸絡条体5類)は、福島県域周辺資料との比較を促すものである。AMSによる推定時期は2930±20 yrBP(KAWA(1)-143)であり、晩期前葉頃の可能性があるが、同ブロック内の土器との対比では、晩期2期～3期頃と推定される。土器そのものの搬入ではないにせよ、外部情報の発信源を適度に暗示する好資料と言える。なお、外来系とすべきかどうかは検討が必要だが、聖山式も数点出土しており、これらについては他の地区の資料とまとめて今後の検討対象としたい。

**発泡土器** 写136-6~10に示したこれら発泡土器の成因については、未だ明らかにはなっていない。近畿地方における弥生時代遺跡の事例によれば、焼成遺構等の土器生産に関わる施設の付近に出土する傾向があるようである。本資料は二次焼成による発泡であるが、相当な高温被熱とみられることから、偶然的産物として片付けることなく、今後も継続的に注視したい資料である。なお、写136-11の粘土塊や図98-16の棒状の土製品、数点出土した焼成粘土塊なども、土器生産関連の遺物として積極的に捉え、総合的観点でこれらをまとめて重視したい。

**縦走気味の縄文** 本捨場の土器破片の分類中に気づいた事であるが、大洞C1式期の台付鉢に施される縄文は、縦走気味に施されているものが安定的に認められる。他の器種では同時期の中～小型の鉢・壺にも認められ、斜行縄文がまだ主体的なこの時期において、極めて特徴的な傾向と言える。これらは、炭化物の付着や著しい摩滅の影響により、施文単位の不明確なものが多いが、1回あたりの施文は縦方向にある程度長く、縄文の重複をなるべく避ける配慮もうかがわれることから、少なくともこれら縦走気味の縄文は、以前にはなかった効率的技術の開始を示している可能性がある。

縦走気味で長い縄文は、器体に対して原体を斜めに配置し、配置角度を保持したまま指圧の位置をスライドさせながら、器体に対し垂直に長く回転させる必要がある。このような施文は、峰山巖が「帯縄文」の説明中で述べている(峰山 1968)が、ここでの指圧の幅は、峰山が示したような指1本くらいの狭い幅ではなく、指2~3本くらいの幅で回転させているものと観察される<sup>12)</sup>。

本県域出土の中期弥生土器にみられる縦走縄文に比べれば、まだ幾分は斜めに施されており、垂直な縦走までには至っていないが、大洞C1式以降の資料にこの縄文が継続・増加していくことからすれば、後の弥生土器で主体となる技術の祖形は、この時期に遡る可能性は十分に考えられよう<sup>13)</sup>。

(木村)

## 註

- 1) 後期後葉～後期前葉までの約100年間は、植林状の沼み(上半部よりも面積が小さい)に対する産廃であることから、半分レベルまで埋没するために想定期間として、約100年間は概ね妥当かともれない。
- 2) (C900+3150)/2 = C2950+2950/2 = 2075年(後期後葉TR3-1層の平均年代) - 2967年(後期前葉TR2-2層の平均年代) = 108年。
- 3) 図みに、3150年(後期後葉TR3-1層の最古年代) - 2960年(後期前葉TR2-2層の最古年代) = 190年。
- 4) 後期前葉の遺物が多量に出土するのは、TR3-1層とTR3-2層の域であり、捨場としての機能開始期に相当するTR3-1層に含まれる遺物は僅少である。即ち、TR3-1層は、下層のTR3-1層と産土層との混合土が主体と想定され、この層の形成期間内における遺物の発露はほとんどなかったと考えられる。よって、①土層の発露(TR3-2層の形成) - ②遺物の発露 - ③TR3-1層の形成 - という流れが想定され、①は、集落形成初期の建物構築による併土等が含まれている可能性がある。
- 5) 出土土器3点を含む土器集中域(プロット4003-2 後期16期: 大洞C2式期 写真76上段)などがその典型と考えられる。
- 6) 単に、大洞C2式の産廃場所に北条捨場が認められなかった可能性はあるが、隣接するクラック地区から検出されている大洞C2式の整定建物跡の存在がこの現象を説明している可能性をうかがわせる。あてはまるならば、複数の成員によって共同利用されていた本捨場の近辺距離に、整定建物があったために、それまでの利用者は、この捨場として利用しなくなった(してはよかった)など、単純ではあるがこうした一時的な事情の変化はあってもおかしくない。しかし一方で、土器編年の問題として、川原平(1)遺跡においては、平塚式文の施される典型的な大洞C2式の使用期間が短かった。あるいは、平塚式文の施される典型的な大洞C2式の単層存在の期間が短く、大洞C2式の前期や大洞C2式の古相との差期間が長かった等の想定も必要かもしれない。いずれにしても、本捨場において大洞C2が相繼に少ない現象は、捨場としての利用状況の変化、他の捨場における大洞C2の出土状況、大洞C2をめぐる編年の問題等を含めて、多面的に考察する必要がある。(全ての地区から得られたC1層を見る限り、本捨場は後期後葉～後期前葉まで、ほぼ断絶なく継続したと考えられる。第58集「川原平(1)遺跡H」参照)。
- 7) 小林健一(2008)と小林生一(2010)は、土器付着層の年代を大洞C2式の存続期間を概ね100年間と考えているが、北条捨場において、後期16期(大洞C2式期)の後、100年間の後行きの低層部はほとんど、後期3期(大洞C1式期)の段階で、後期16期(大洞C2式期)の産廃中心部が再び置かれる可能性は低いように考えられる。
- 8) ここで留意したいのは、後期3期(大洞C1式期)の存続期間の問題である。仮にこの時間帯が他の整式の存続期間よりも長期であった場合、土器の絶対数が多くなることから、見かた上、非常に活発な産廃活動、と映ってしまう。活発かどうかについては、大洞C1式期の実年代における存続期間が明確になった段階ではじめて判断が可能になる。
- 9) 本書に掲載した分布図は、豊産の大部分であり、現場ではもっと広い分布を示していた。
- 10) このような一帯の活動は、川原平(1)遺跡における前期(集落の分府・川原平(4)遺跡の一期部群)の構成要素である可能性がある。また、縄文文化が大きく変容する時期に相当しているとも考え得ない。
- 11) 年代が大きく小しな層は2030年を以て、2470年、2490年、2530年の3点の年代値の平均(約2497年)。
- 12) (C900+3150)/2 - 後期後葉TR3-1層の平均年代) - (C1470+2490+2530)/3 後期後葉TR3-1層の平均年代) = 3075年 - 2497年 = 578年。図みに、TR3-1層の最古年代 - TR3-1層の最古年代 = 3150年 - 2470年 = 680年。
- 13) 変遷における縄文施文単位として、川原平(1)遺跡Hに示されており、本県の施文単位ではない点に注意いただきたい。なお、この縄文について山内清房(1979[1961])は、「(津丹方面の)後期新石器(大洞C2式、A2式)には部面を能くする発を有する縄文が見られる。」と述べている。
- 14) この施文技術・発想は、多くの地域において、即時的に生ずるものでなく、どこどこ特定の地域から始まり、拡散していった技術である可能性がある。縦走縄文は、北条捨場がその主体的な地場であるとイメージされがたであり、既に後期中期の北条遺跡出土資料にも認められるものであるが、本県域の縄文の時間的前後関係の追究は今後の重要課題とされる。



圖 117 北東捨場 胎土分析實施資料 (S=1/6)

### 第3編 東捨場延長地区・北東捨場延長地区

# 第1章 調査方法

## 第1節 調査方法

### 1 東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲

本編で扱う「東捨場延長地区」・「北東捨場延長地区」は、本遺跡と隣接する「川原平(4)遺跡B区西端の一部範囲」を指す。そのため、本項では、川原平(4)遺跡B区の一部を東捨場延長地区・北東捨場延長地区として報告するに至った経緯、報告の範囲、取り扱う内容等について触れる。なお、本遺跡と川原平(4)遺跡B区の境界は、旧村道により開削されているものの、基本的には地形の連続性が認められ、また、遺構・遺物の時期も重なる部分が多いことから、両遺跡を一つの集落として考えつつ発掘調査を行った。

#### 【報告の経緯】

本遺跡と川原平(4)遺跡の発掘調査は、ともに津軽ダム建設事業に伴い、ほぼ同年度に実施されてきた。中でも、東捨場地区、北東捨場地区、川原平(4)遺跡B区西端部については、平成26年度に発掘調査が実施された。この調査の結果、東捨場および北東捨場の範囲は、川原平(4)遺跡B区側に広がることが確認された。そのため、東捨場および北東捨場の形成過程や性格、出土遺物の内容等を検討する上では、延長地区を含めて総合的に把握することが不可欠であり、本編を設けるに至った。

#### 【報告の範囲・内容】

東捨場延長・北東捨場延長地区の範囲は、便宜的にグリッドに沿って区分した。地区区分は、川原平(4)遺跡B区内、東捨場延長地区がIVT~IVY-56~65グリッド、北東捨場延長地区がV0~VR-46~53グリッドである(図②)。区分に際しては、東捨場・北東捨場に類する堆積土の分布状況や遺物の出土状況等から判断した。報告の内容については、各延長地区から出土した遺物のみを扱うこととする。なお、延長地区内に分布する遺構については、東捨場延長地区で土器埋設遺構1基、ビット9基が検出されているが、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)で報告済みである。

### 2 発掘作業の方法

東捨場延長・北東捨場延長地区では、既に発掘作業に着手していた東捨場および北東捨場の発掘作業も踏まえ、遺物包含層の堆積状況や遺構の有無等を確認するためのトレンチ調査を先行させ、特に遺物の層位的な取り上げに留意しながら調査を進めた。なお、調査の経過、測量基準点・水準点の設置、写真撮影の方法等については、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)を参照されたい。

#### 【グリッドの設定】

グリッドの設定方法および名称については、本遺跡と共通しており、『川原平(1)遺跡II』(青森県教委2016)に詳しい。

#### 【基本層序】

基本層序については、表土から順にローマ数字を付して呼称した。ただし、本遺跡と川原平(4)遺



跡における基本層序は、層名が同じであっても、指し示す層が異なる点で留意される。

#### 【表土等の調査】

表土の除去は、遺物包含層の広がりを確認した上で、部分的に重機を用いて掘削の省力化を図った。出土遺物は、グリッド単位で取り上げた。

#### 【遺物包含層の調査】

遺物包含層は、層位毎に人力で掘削した。出土遺物は、グリッド・層位毎の取り上げを基本とした。また、必要に応じて、出土状況の写真撮影やドットマップ図の作成を行った。

(最上)

### 3 整理・報告書作成作業の方法

東捨場延長地区並びに北東捨場延長地区の整理作業は、平成27年4月1日から平成29年3月31日まで実施した。

【図面類の整理】発掘作業の過程で作成した平面図は主にトータルステーションを用いて作成したため、整理作業時に簡易測り方測量で作成した堆積土層断面図等との図面調整を行い、発掘作業時の所見等を整理した。

【写真類の整理】写真等の記録類については、写真台帳を作成するとともに、35mmモノクロームフィルムは撮影順にネガアルバムに整理収納し、35mmカラーリバーサルフィルムは発掘作業状況や遺構毎に整理してスライドファイルに収納した。デジタルカメラのデータについては、遺構毎のフォルダに整理し、ポータブルハードディスクドライブおよびDVD-Rに保存した。

【遺物の洗浄・注記・接合・復元】遺物の洗浄後、接合・復元作業を進めた。遺物の注記は、遺物取り上げ時の遺物カードをもとに、調査年度、遺跡名、出土地区・グリッド名、遺構名、出土層位、取上番号等を略記した。出土地区の注記は川原平(4)遺跡の調査地点名(「5」:東捨場延長、「6」:北東捨場延長)とした。土器細片や剥片石器等、直接注記できない遺物については、収納袋に注記した。

【報告書掲載遺物の選別】出土遺物は台帳を作成して登録し、遺存状態がよく時期・型式等がわかる資料を報告書に掲載した。

【遺物の観察・図化】個々の遺物を目視及びルーペで観察し、遺物の特徴を適切にわかりやすく表現するように図化した。掲載遺物については、種類毎に法量・特徴等を記載した遺物台帳・観察表・計測表を作成した。

【遺構と遺物のトレース・版下作成】遺構・遺物の実測図やその他の挿図のトレース作業は、(株)CUBIC製「遺構実測支援システム」及び同「トレースくん」、Adobe社製 illustrator CS4・CS6を用いてデジタルトレースを行った。

【遺物の写真撮影】実測図では表現しがたい、質感・雰囲気・製作技法・文様表現等を伝えられるように留意した。写真撮影は業者に委託して行った。

【調査成果の検討】遺物の検討結果を踏まえ、過去の調査成果や周辺地域の状況等も考慮しながら、遺跡の時期・構造・変遷等について検討・整理した。

(中澤)

## 第2章 東捨場延長地区

### 第1節 東捨場延長の調査方法と堆積層について

#### 1 東捨場延長の調査方法

東捨場延長地区は、川原平(4)遺跡B区の西端部、IVT~IVY-56~65グリッドの範囲に相当する(図②)。東捨場延長地区の地形は、旧村道を挟んで東捨場と同一の段丘平坦面が広がり、標高203.5m~203.2mの地点に位置する。

平成26年7月中旬、川原平(4)遺跡B区西端部においてトレンチ調査を開始した。トレンチは、東西方向に長く設け、約8m間隔で5ヶ所に設定した。トレンチ調査の結果、表土直下で遺物を多く包含する堆積層を検出し、その分布は、特に、東捨場の範囲と接するIVYライン以南で明瞭に確認されたことから、当該範囲が東捨場の連続部分に相当するものと判断した。トレンチ間には、適宜、土層観察用ベルトを残しながら掘り進め、東西ベルトをB-B'とC-C'、これに直行する南北ベルトをA-A'とした(図1)。出土遺物は、グリッド・層位毎の取り上げを基本とした。また、遺存状態が良好な遺物や、特徴的な遺物が出土した場合は、適宜、出土状況の写真撮影やドットマップ図の作成を行った。

#### 2 堆積層について

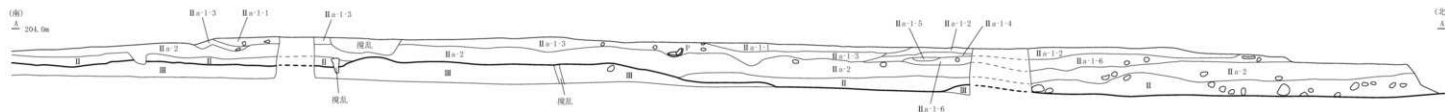
東捨場延長は、IVYライン以南において、遺物を多く包含する黒色ないし黒褐色土の広がりとして確認された。この堆積層は、南北約15m、旧村道から東方向へ約25mの範囲で広がり、基本的には東捨場から連続するものと考えられる。ただし、東捨場延長と東捨場の層位については、明確な対比はできなかった。また、同様の堆積層は、VAライン以北においても分布が認められたが、旧村道の縁に沿って比較的薄く堆積しており、東捨場延長の堆積層と確実な連続性を捉えることができなかった。VAライン以北の基本層序および出土遺物、東捨場延長地区内で検出された遺構については、『川原平(4)遺跡IV』(青森県教委2016)で報告済みである。

東捨場延長地区の土層断面図は、図118に示した。図は表土除去後の土層断面である。第IIa層と第II層が遺物包含層、第III層が地山に相当する。この内、第IIa層が東捨場の堆積層と類似し、遺物出土量も多い。

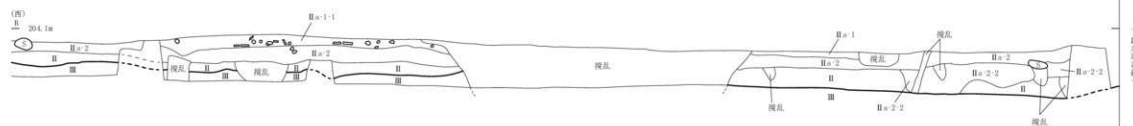
第IIa層は、上位層の第IIa-1層と下位層の第IIa-2層に二大別できる。また、土色や混入物の違いにより、さらに細別される。第IIa層の堆積状況としては、概ね東側に向かうほど、層下面が緩やかに低く傾斜しており、層厚も薄くなる傾向がある。B-B'土層断面では、第IIa-2層の下面の標高値が、西端で203.8m、東端で203.4mを示す。第IIa-1層は厚さ20cm前後で、黒色ないし黒褐色シルトを主体とし、小礫が比較的多く混入する。中でも、第IIa-1-1層では炭化物、第IIa-1-5層では焼土粒の混入が目立つ。第IIa-2層は厚さ約30cmで、暗褐色シルトを主体とし、比較的均質である。第II層は厚さ20cm前後で、暗褐色シルトを主体とし、遺物量は第IIa層と比較して極めて少ない。

遺物の出土状況としては、同一層中でも遺物量に多寡が認められ、特に第IIa-1層下位から第IIa-2

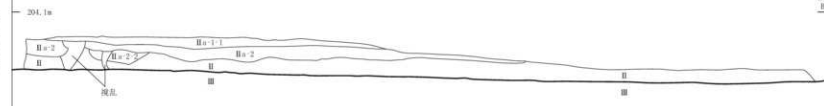
東捨場延長A-A'



東捨場延長B-B'



上段左端から終る



- 東捨場延長(A-A'・B-B'・C-C')
- IIa-1-1層 黄 色 土(09E2/3) 脱化的多量
  - IIa-1-2層 赤褐色土(09E2/2)
  - IIa-1-3層 黄 色 土(09E2/3)
  - IIa-1-4層 赤褐色土(09E3/1)
  - IIa-1-5層 暗褐色土(2,3)(09E4)
  - IIa-1-6層 黄 色 土(09E2/1)
  - IIa-2層 赤褐色土(09E2/2)
  - IIa-2-1層 暗褐色土(09E3/2)
  - IIa-2-2層 暗褐色土(09E3/3)
  - IIa層 黄 色 土(09E4/4) 川原平(1)遺跡におけるIV層相当

東捨場延長C-C'



図118 東捨場延長地区 セクション図



層上面にかけての遺物量が多い。土器については多くが破碎しており、完形で出土が極めて少ない点で、東捨場の主体部と様相をやや異にする。また、第Ⅱa層中からは、主に縄文時代晩期中葉から晩期後葉の遺物が出土しており、東捨場の出土遺物と概ね呼応するが、縄文時代後期後葉から晩期前葉のものが少ない点で異なり、東捨場の東端部における特徴を示すものと思われる。

(最上)

## 第2節 出土遺物

### 1 土器 (図119～121、写真179～183、表19)

東捨場延長地区出土土器の総重量は約280kgである。晩期中葉から後葉の土器がみられ、東捨場の堆積層と類似するⅡa層では晩期4～5期の土器がまとまって出土した。

#### I層

晩期中葉の鉢・ミニチュアの台付鉢が出土した(写179-1・2)。

#### Ⅱa-1下層

晩期中葉から後葉の深鉢・鉢・台付鉢・台付片口鉢・浅鉢・皿・壺・ミニチュア土器が出土した。写179-3は正面にB突起をもつ鉢である。写179-4・5の鉢は口縁直下に3条の横位沈線がある。写179-6・10は外面に3条の横位沈線が施され、2個一組の突起をもつ深鉢である。写179-7は口縁直下に3条の横位沈線を施した鉢である。写179-8の深鉢の口縁端部には粘土紐接合痕が残存する。写179-9は体部から底部にかけてLR/RL非結束羽状縄文を施した鉢、写179-11は沈線による雲形文のある鉢である。写179-12は台付鉢で、肩部から立ち上がる大突起があり、上部は欠損する。写179-13は口唇部に一山突起と二山突起を交互に配置した台付鉢である。写179-14は台付片口鉢である。写180-1は彫去による雲形文が施された浅鉢である。写180-2は沈線による雲形文が施された浅鉢である。外面体部下半に赤彩が施され、内底面に褐色～黒色膜状付着物、外底面に黒色膜状付着物が認められる。写180-3は口縁にB突起を持つ皿である。写180-4は正面に一山突起1単位、二山突起3単位のある壺である。写180-6は晩期4期に相当する壺である。正面に突起を1単位もち、口唇は隆帯の添付により外側に肥厚する。外面に黒斑が認められる。

#### Ⅱa-1層

晩期中葉から後葉の深鉢・鉢・台付鉢・浅鉢・皿・蓋・壺が出土した。

写181-1～4は口縁部直下に横位沈線をもつ深鉢・鉢である。写181-5・7は粗製深鉢である。写181-6は口縁部から体部にかけて条痕文を施した深鉢である。写181-8・9は口唇に刻み目を有し、口縁直下あるいは体部に横位沈線を巡らせた鉢である。写181-10は沈線による雲形文のある鉢である。写181-11は口縁部に沈線を施した鉢で、内外面には炭化物が付着する。写181-12は口縁直下に沈線文のある鉢で、口縁付近に赤色顔料が付着している。写181-14・15・17は台付鉢、写181-16・写182-1～2は台付浅鉢である。写181-14・182-11は口縁直下あるいは体部に横位沈線をもち、体部に2個一組の突起をもつ。写181-13・182-4は外面に横位沈線を4～5条ある浅鉢である。写182-5は内外面に赤

彩された皿である。写182-6は口唇に三叉状の刻目を連続的に入れ、外面に沈線による雲形文のある皿である。写182-7～10は晩期4～5期の壺である。写182-11は台形状の掴みをもち、外面に沈線文・隆帯を伴う蓋である。

## II a-2上層

晩期中葉の深鉢・台付鉢・皿が出土した。

写182-13は半精製の鉢であり、体部に2個一組の楕円形状の突起をもつ。写182-14は装飾的な口縁を呈し、外面に横位沈線と沈線間に刻目・突起を伴う台付鉢である。写182-15は台付鉢である。台内部分は炭化している。写182-16は外面に横位沈線と沈線文を施した鉢で、内外面が赤彩されている。写182-17は彫去による雲形文のある浅鉢で、内外面に褐色膜状付着物が認められる。

## II a-2層

晩期中葉から後葉の鉢・台付鉢・浅鉢・壺が出土した。

写183-1は口縁にB突起、外面に刺突・短沈線列・横位沈線・入組文を施した鉢である。写183-2は口縁にB突起と二山突起が交互に配置され、外面に工字文のある台付鉢である。写183-3は口縁部にB突起、外面に沈線による雲形文のある浅鉢である。写183-4は正面に二山状台形突起をもつ壺である。外面の口縁部～肩部と体部下半に少量の赤色顔料が付着し、内面は全面に赤色顔料が付着しているため、赤色顔料の貯蔵・保管容器と推定される。写183-5は正面に5個の一山突起（残存4個）のある壺である。内面がヘラミガキ後に黒色処理され、光沢を有する。写183-6は注口と推定され、外面に刺突を充填した入組文がみられる。

## 炭素・窒素安定同位体比分析

II a-1層から出土した晩期4期と推定される鉢（写181-11、試料⑧）の外面付着炭化物を分析し、主にC<sub>3</sub>植物の堅果類に由来する炭化物と推定されている（報告書Ⅶ第7章第5節）。

（中澤）

## 2 土製品（図119～121、写真179～183、表20・21）

土偶2点、亀形土偶1点、円盤状土製品7点、ミニチュア・小型土器5点の計15点が出土した。

**土偶**（写183-10・11） 写183-10は中空土偶の右足部で、指先部を沈線で表現している。膝には縄文施文後に入組み文を施文している。写183-11は左足部が欠損している中実土偶である。顔面は横長の円形で目は横楕円の中央部に横位の沈線を施文し遮光器を、鼻部は二孔で鼻孔を表現している。口部の両脇は弧状文を施文している。体部の中央には縦位の沈線で区画し、区画内部に刺突を充填している。文様は全体的に簡略した施文である。

**亀形土偶**（写183-12）は、側縁の突起部であり、突起部の下位に縦位に沈線を施している。

**円盤状土製品**（図121-1、写183-13～18） 写183-13～18は粗製の鉢の体部破片を用いており、写183-13は周縁の一部に擦りがみられる。図121-1は鉢の底部破片を整形している。

**ミニチュア・小型土器**（写179-2・180-5・182-12・183-7・8） 写179-2は台付浅鉢、写180-5は鉢、

写182-12は平口縁の鉢である。写183-7は香炉と推定される土器片である。写183-8は平口縁の皿で無文である。

(成田)

### 3 石器・石製品 (図122～124、写真184～190、表22)

#### 剥片石器

写185-31は黒曜石製の異形の石鏃といえるが、石偶のような形状のため、異形石器とした。写185-8の黒曜石製石鏃とともに青森県の木造出来島群である。写185-9～23は削器としたが小形のもは、石鏃未製品の可能性がある。写185-11・12は、一側縁にアスファルトが付着しており、その側を上方とした。

(齋藤)

#### 磨製石斧

磨製石斧は図122-15に掲載した。石材は緑色凝灰岩の完形品である。刃部に微小剥離痕が見られる。基部には敲打痕が見られる。

#### 石棒類

石棒類は写真188 (図122、123) に掲載した。石材は粘板岩が大半である。

写188-14は、石刀の刃先部分である。擦切技法で折り取ったと思われる。石材は粘板岩である。

写188-12は、男根状の形状をした自然礫である。

石棒1点のみ写真で掲載した(26)。

図123-1は、長大な石棒である。柄部が欠損している。X字状と平行沈線文と敲打帯が見られる。

(高橋)

#### 岩版

図123-3はパンツ状文様があり、土偶のパンツ文様と類似性が強い。図123-5には正中線が表現されている。

(成田)

#### その他の石製品等

写189は石製円盤である。6は裏面側からの打撃により上下に決りを持ち、紐ずれ等の痕跡がない。通常の石錘のように両面に剥離がはいらず、石製円盤とした。24は上面にのみ正面側と裏面側からの挟み打ちで、剥離加工が行われている。石製円盤の観察表では、このような表裏からの両極打法等による加工を「縦剥離」、23のように側面からの剥離加工を「横剥離」としたので留意されたい。26は、左上と右下に打撃による窪まりを持つが剥離方向は対向しない。27は珪質頁岩製であるが、剥離加工は円形の形状を意図して施されており、本類においた。写188-8は、両面の中央に凹があるが、通常の凹痕と異なり、敲打痕の上に、磨面が形成されている石製品である。同10・11は有孔の自然礫である。写188-17は素材が整形されず写190-1・13は素材が整形されているが刻線が細く線刻礫とした。

(齋藤)

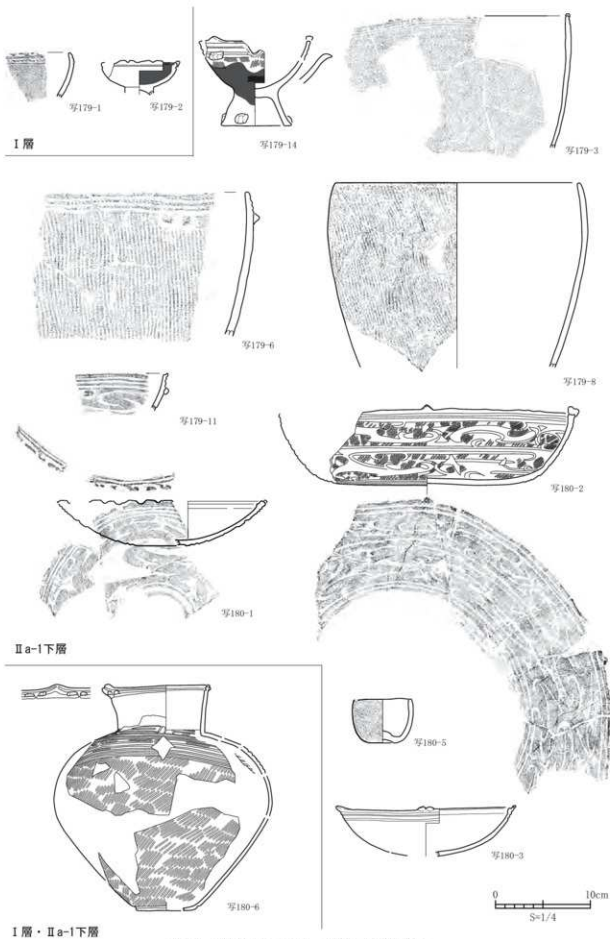
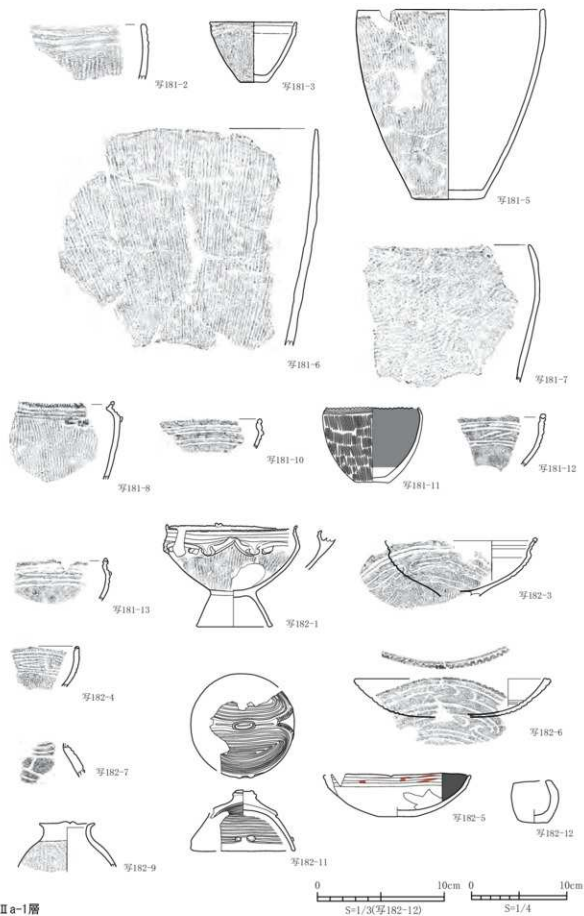


図119 東捨場延長地区 土器・土製品(1)





II a-1層

図120 東捨場延長地区 土器・土製品(2)

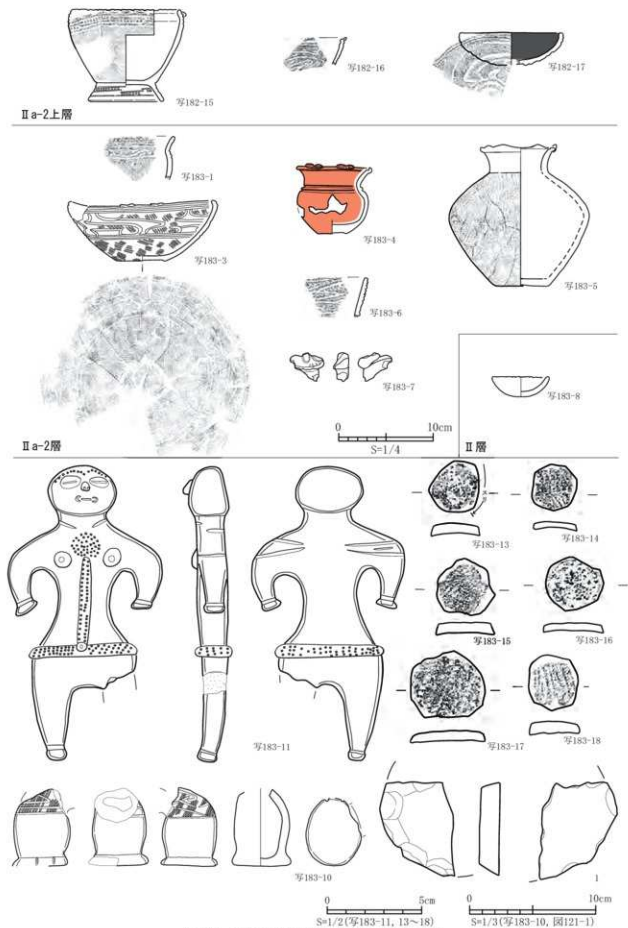


图121 東捨場延長地区 土器・土製品(3)

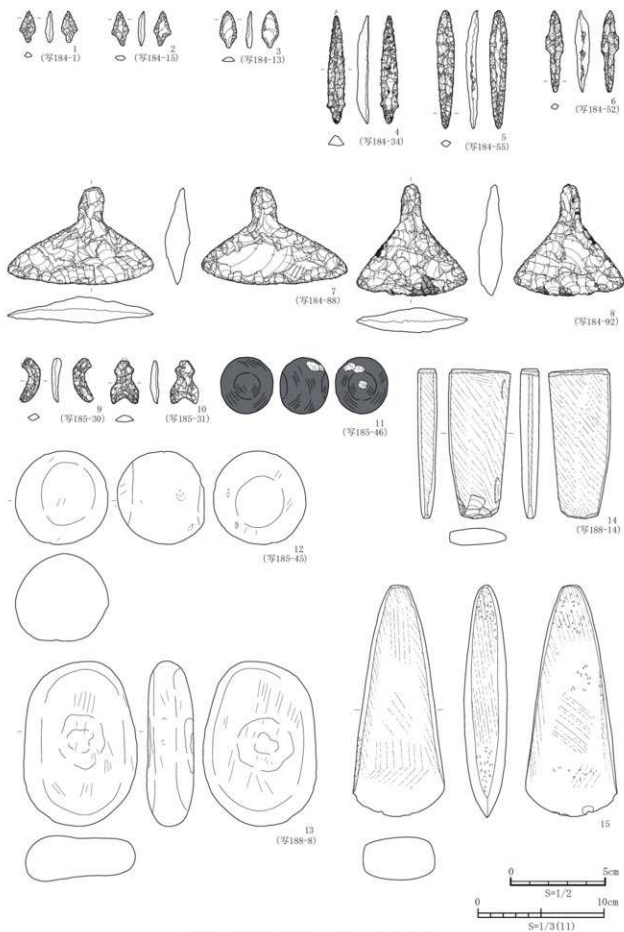


図122 東捨場延長地区 石器・石製品(1)

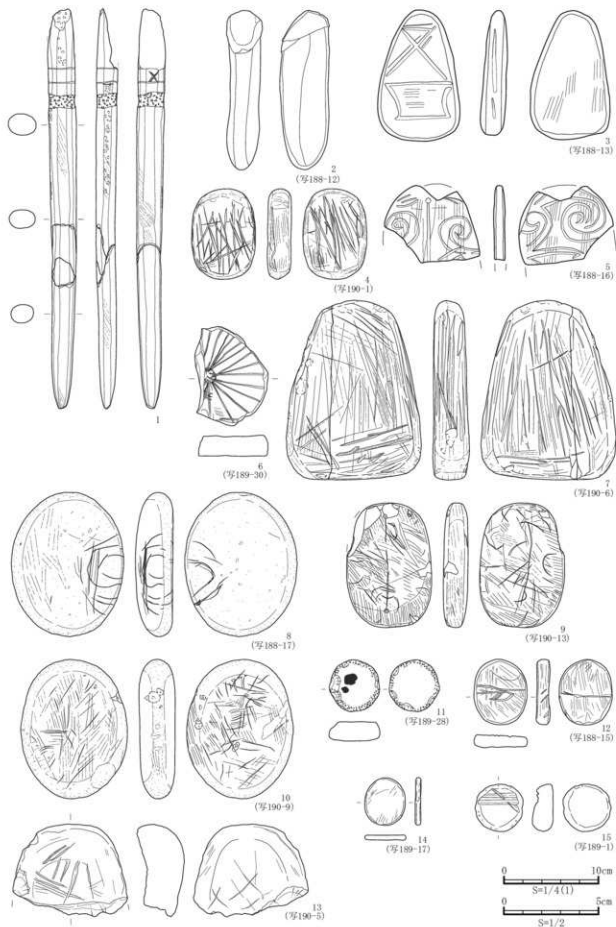


图123 東捨場延長地区 石器・石製品(2)

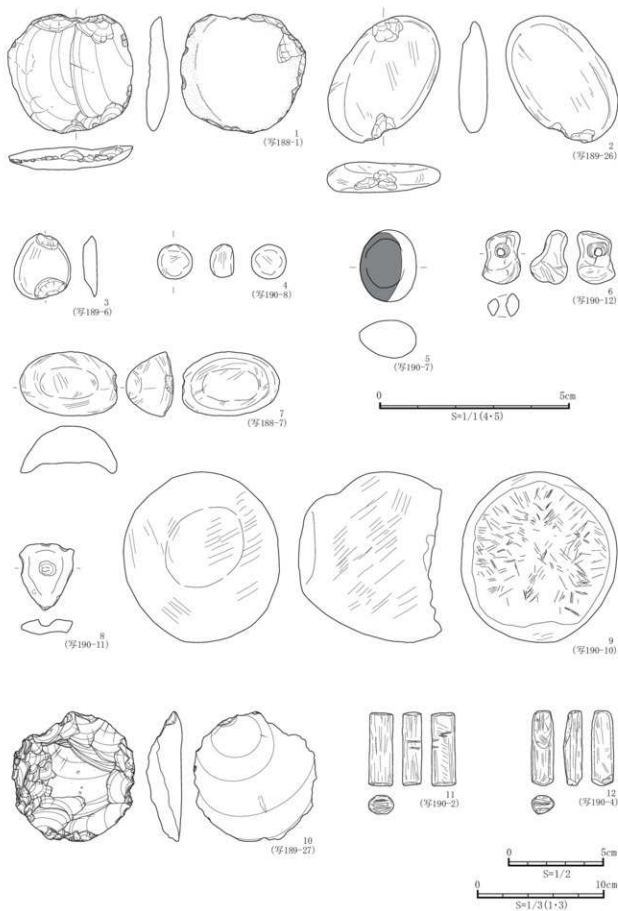


図124 東捨場延長地区 石器・石製品(3)

## 第3章 北東捨場延長地区

### 第1節 北東捨場延長の調査方法と堆積層について

#### 1 北東捨場延長の調査方法

北東捨場延長地区は、川原平(4)遺跡B区の北西部、V0～VR-46～53グリッドの範囲に相当する(図②)。一体の地形は、旧村道を挟んで北東捨場地区から連続する斜面が認められる。北東捨場地区における斜面の傾斜変換点は地山標高202m付近で、そこから北東捨場延長地区の194m付近まで北東方向へ傾斜が続く。なお、川原平(4)遺跡B区の北西部においても、標高202m付近から北西方向へ下る斜面がみられるが、この地点での捨場の形成は認められない。

平成26年9月下旬にトレンチ調査を開始し、同年10月の重機による表土除去後、発掘調査を本格化させた。トレンチは、北東捨場地区トレンチ2の延長上に設定した(図53)。トレンチ調査の結果、表土直下で遺物を多く包含する堆積層を検出し、その分布は、地形的に北東捨場地区との連続性が高いV0ライン以北で確認されたことから、当該範囲が北東捨場の連続部分に相当するものと判断した。トレンチに沿って土層観察用ベルトを残しながら掘り進め、出土した遺物は、基本的にグリッド・層位毎に取り上げた。なお、調査期間の時間的制約により、トータルステーションでの出土位置の記録、写真撮影等は必要最小限に留めている。

#### 2 堆積層について

北東捨場延長は、V0ライン以北において、遺物を多く包含する黒褐色ないし暗褐色土の広がりとして確認された。この堆積層は南北約15m、東西約10mの範囲に分布し、北東末端部は傾斜が緩やかになる地点で終息する。北東捨場延長の堆積層については、基本的には北東捨場から連続するものと考えられるが、北東捨場の層位との明確な対比はできなかった。

北東捨場延長の堆積層は、大きく3層に分層した(図125)。第1層は厚さ約30cmで、黒褐色シルトを主体とし、北東端に小礫の混入がみられる。第2層は厚さ約50cmで、他層と比較して礫や炭化物の混入が目立ち、遺物量も多い。また、土色や混入物の違いから細分され、黒色・黒褐色シルトと暗褐色シルトとが概ね互層状に堆積する状況が認められた。第3層は厚さ20cm前後で、暗褐色シルトを主体とし、第1層と同様に北東端ほど礫の混入がみられる。地山の大部分は黄褐色粘質土と砂礫であるが、VP-Q-46グリッド付近では、一部に岩盤の露出が確認された(写真191-7)。堆積土中からは、縄文時代後期後葉から晩期中葉の遺物が出土しており、北東捨場から出土した遺物の時期と概ね呼応する。

(最上)

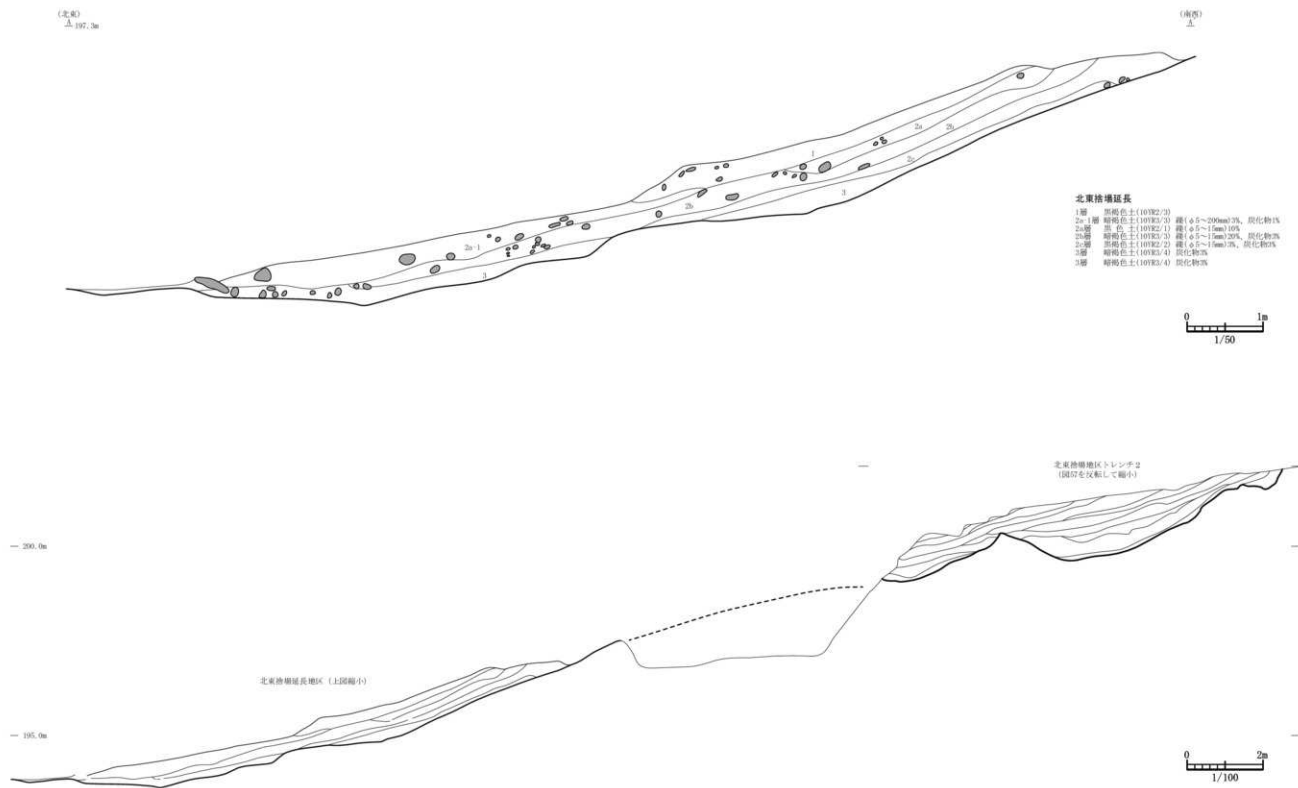


図125 北東捨場延長地区 セクション図





## 第2節 出土遺物

### 1 土器 (図126、写真192、表23)

北東捨場延長地区出土土器の総重量は約150kgである。トレンチが設定されたV0～VQ-48～49グリッドで30kgを超えるが、それ以外のグリッドでは10kg未満となる。1～2a層では晩期3～4期、2b～3層で後期後葉から晩期前葉の土器がみられる。

#### I層

写192-1は口縁直下2条の沈線間に刻目列を伴い、体部に彫去による雲形文のある皿である。外面に赤色顔料が付着する。晩期3期に相当する。

#### 1～2a層

写192-2は丸底の浅鉢で、外面に沈線文がみられる。晩期4期に相当する。

#### 2a層

浅鉢・台付皿・壺・注口土器が出土した。雲形文のある浅鉢(写192-3)・台付皿(写192-4)・壺(写192-7)がある。写192-3は内外面に赤彩を施し、内面に黒色付着物がみられる。写192-4は内外面に赤彩されている。写192-6は頸部に沈線文のある壺、写192-8は沈線文のある注口である。外面にわずかに赤色顔料が付着する。

#### 2b～2c層

後期後葉～晩期前葉の壺形のミニチュア土器が出土した(写192-9)。

#### 2～3層

写192-10は頸部と肩部の境目の隆帯上に短沈線、円形の突起をもつ壺である。晩期1a～1b期のものと思われる。

#### 3層

写192-11は沈線文の壺である。外面に赤色顔料が付着する。晩期1b～2期に相当する。

(中澤)

### 2 土製品 (図126、写真192、表24・25)

土偶2点、ミニチュア土器2点が出土した。

土偶(写192-12・13)は、中空の頭部破片で、頭頂部は王冠状を呈する。2点共に目部は弧状と横位の沈線により遮光器を表現している。写192-12は鼻部を粘土、写192-13は刺突で表現した小形の遮光器土偶である。

ミニチュア土器(写192-5・9) 写192-5・9は体部が張りだす壺である。

(成田)



图126 北東捨場延長地区 土器・土製品

### 3 石器・石製品 (図127~128、写真193~198、表26)

報告書Ⅴの地区毎の石器組成の表に記載したように、出土数量は比較的少ない。

#### 剥片石器

写193~194-3は剥片石器である。石鎌・石錐・石匙の出土点数が多いが、写193-9~21に形状変化のある石匙を多く掲載した。同22~24は、その形状から、一側縁にアスファルトが付着することの多い削器と考えられる。同26は異形石器である。同27以降は珪質頁岩製の石核であり大きさや形状の変化、敲石への転用などの変形を示すものを掲載した。

#### 磨製石斧

磨製石斧は写真194 (図127) に掲載した。石材は緑色岩、凝灰岩である。

写194-4は刃部欠損、他の2点は基部欠損である。

#### 礫石器

写194-7~197-13に掲載した。写194-22、195-7・8は、端部に平坦な敲打痕が形成されている。写197-12は石錐とした。

#### 石製品

写197-14は、半球状の石製品の裏面が窪みを持つものの変異と考えられる。正面から側面にかけて、段差と線刻を設けている。写198-1は小形の皿状の石製品で、裏面には弧状の線刻がある。同21は研磨加工が加えられた半球状の石製品の変異として考えられる。裏面に窪みの作り出しは無い。

(齋藤)

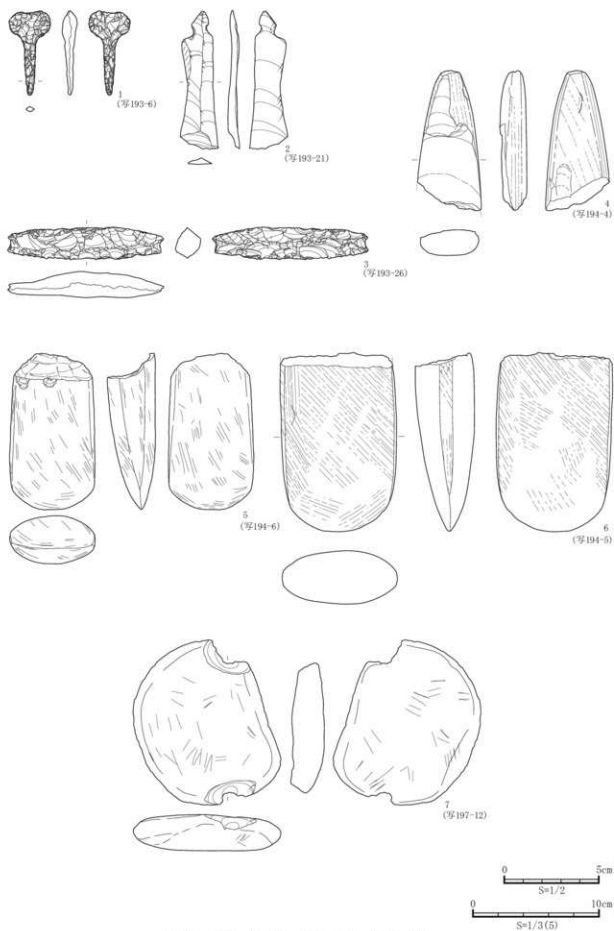


図127 北東捨場延長地区 石器・石製品(1)

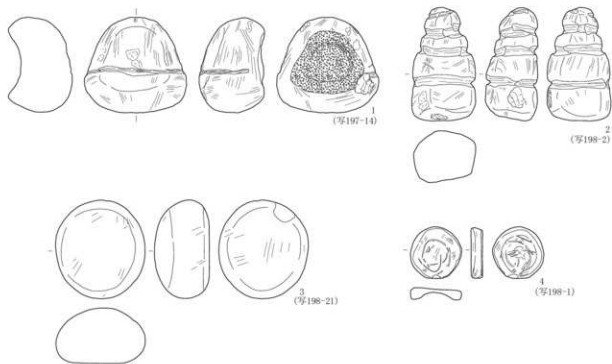
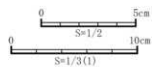


図128 北東捨場延長地区 石器・石製品(2)



## 第4章 まとめ

東捨場延長地区、北東捨場延長地区は、本遺跡の東側に接する川原平(4)遺跡の一部範囲を指す。本遺跡と川原平(4)遺跡は、旧村道を挟んで基本的に地形の連続性が認められ、さらには遺構・遺物の時期も重なる部分が多い。川原平(4)遺跡では、縄文時代晩期中葉から一部晩期後葉にかけての墓域が確認されており、本遺跡の集落構造・変遷を考える上でも重要な遺跡である。

この両遺跡の境界付近における発掘調査の結果、本遺跡の東捨場と北東捨場の範囲は、川原平(4)遺跡側に広がる事が確認された。そのため、川原平(4)遺跡側に連続する捨場堆積層とその出土遺物について、「東捨場延長地区」、「北東捨場延長地区」として今回報告した次第である。なお、東捨場は段丘平坦面、北東捨場は斜面部に形成されている。

遺構は、東捨場延長地区の範囲内に土器埋設遺構1基、ビット9基が確認されている(青森県教委2016『川原平(4)遺跡Ⅳ』)。ビットはいずれも小規模なもので、規則的な配列は認められない。土器埋設遺構については、第27号土器埋設遺構として報告されたもので、粗製深鉢が倒立状態で認められ、口縁部はⅡa-2層上面に接する。遺構周囲が掘り下がっていたため、掘方は確認されていない。本遺跡でも掘方を伴わずに倒立状態に土器を設置した事例が、東捨場で多数確認されている。また、土器の口縁部が堆積層の境界に接する点についても、共通する特徴として留意され、このような遺構が東捨場地区を中心に一部延長地区まで広がっていたことがわかる。

遺物は、東捨場延長地区で縄文時代晩期中葉から晩期後葉、北東捨場延長地区で縄文時代後期後葉から晩期中葉のものが出土している。

東捨場延長地区については、出土土器の多くが押し潰れた状態もしくは破片で出土し、完形個体での出土例が極めて少ない点で、東捨場の主体部とは様相がやや異なる。この様相の違いには、捨場縁辺部としての性格が反映されている可能性がある。また、東捨場の堆積層に含まれる後期後葉から晩期前葉の遺物は、東捨場延長地区ではほとんど出土していない。よって、後期後葉から形成され始めた東捨場は、晩期中葉以降にその範囲を東捨場延長地区まで拡大したと考えられる。

北東捨場延長地区は、本遺跡の北東斜面末端部に相当し、川原平(4)遺跡側からの廃棄行為は認められない。遺物は斜面上方からの流れ込みによって時期的に新旧が混在するものと予想されたが、上層と下層の出土遺物にはある程度の時期差が認められた。上層からは主に晩期中葉、下層からは後期後葉から晩期前葉の遺物が出土している。北東捨場でも同様に、堆積層による出土遺物の時期差が確認されているが、最も上位の堆積層を中心に北東捨場延長地区には含まれない晩期5期の土器が出土している。このことから、北東捨場延長地区は北東捨場の形成に合わせて後期後葉から晩期中葉まで廃棄域として使用され、その後、晩期後葉の晩期5期には北東捨場の廃棄域が縮小したものと考えられる。

(最上)

## 引用文献

- 青森県教育委員会 2016『川原平(4)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第566集。
- 市原市教育委員会 2007『市原市西広貝塚Ⅲ』市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第2集。
- 市原市文化財センター 1995『能満上小貝塚』財団法人市原市文化財センター調査報告書第55集。
- 大八木規夫 1982「地すべりの構造」『URBAN KUBOTA No.20(特集=地すべり)』(株)クボタ
- 小林圭一 2010『亀ヶ岡式土器成立期の研究—東北地方における縄文時代晩期前葉の土器型式—』早稲田大学総合研究機構 先史考古学研究所。
- 小林謙一 2008「縄文時代の暦年代」『縄文時代の考古学2 歴史のものさし—縄文時代研究の編年体系—』同成社。
- 柴 正敏 2016「第4節 地形と地質」青森県教育委員会 2016『川原平(4)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第566集。
- 栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1999『藤岡神社遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告第197集。
- 階上町教育委員会 2000『滝端遺跡発掘調査報告書』
- 藤村東男 1985『九年橋遺跡第8次調査報告書』北上市文化財調査報告第39集。
- 峰山 巖 1968「恵山式土器」『北海道考古学』第4輯 北海道考古学会。
- 武藤康弘 2016「民族事例からみる多様な住居の様相—平地式住居の実態—」『縄文時代の食と住まい』ものが語る歴史32 同成社。
- 山内清男 1979[1961]『日本先史土器の縄紋』先史考古学会、pp.44～45。

表5 東捨場地区 遺構計測表

遺構名	グラッド	遺構時期	遺構名変更	備考	平面形	90度 番号	写真図収 番号	開口部/長さ×幅(直柱) 底/長さ×幅(土柱/穴)	深さ	
SQ15	IV-50	晩期中室 ～後室		壁方なし		6	9	3.01×0.98m	—	
SQ24	IV-54	晩期Ⅲ				6	9	0.76×0.66m	—	
SQ48	IV-54+ 55	晩期Ⅲ		旧ブロックⅠ	不整形	7	10～11	3.92×2.46m	—	
SQ49	IV-52	晩期前室 1/2		ブロック6の範囲に位置		6	9	1.45×0.42m	—	
SR37	IV-52	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	8	14	壁方なし	壁方なし	
SR38	IV-52	後期後室 ～晩期前 室		土器埋設遺構?	壁方なし	—	—	壁方なし	壁方なし	
SR39	IV-52	後期後室 ～晩期前 室		土器埋設遺構?	壁方なし	—	14	壁方なし	壁方なし	
SR40	IV-52	晩期1/6		土器埋設遺構?	壁方なし	—	14	壁方なし	壁方なし	
SR41	IV-54	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	8	14	壁方なし	壁方なし	
SR42	IV-54	晩期Ⅲ		伏せ置かれた状態	壁方なし	8	14	壁方なし	壁方なし	
SR43	IV-54	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	8	14	壁方なし	壁方なし	
SR44	IV-54	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	8	15	壁方なし	壁方なし	
SR45	IV-53	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	8	15	壁方なし	壁方なし	
SR46	IV-53	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	9	15	壁方なし	壁方なし	
SR47	IV-53	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	9	15	壁方なし	壁方なし	
SR48	IV-53	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	10	15	壁方なし	壁方なし	
SR49	IV-53	晩期中室 小		伏せ置かれた状態	壁方なし	10	—	壁方なし	壁方なし	
SR77	IV-52	晩期前室	P-263B + P-263C		壁方なし	9	—	壁方なし	壁方なし	
SR78	IV-52	晩期前室	P-267B	伏せ置かれた状態	壁方なし	9	—	壁方なし	壁方なし	
SR79	IV-52	晩期前室	P-267C	伏せ置かれた状態	壁方なし	9	—	壁方なし	壁方なし	
SR80	IV-55	晩期Ⅲ	SR伊-2112D	伏せ置かれた状態	壁方なし	9	—	壁方なし	壁方なし	
SR81	IV-54	晩期中室 小	SR伊-2107, P-210A, P-210B	伏せ置かれた状態	壁方なし	9	—	壁方なし	壁方なし	
SR82	IV-54	晩期中室 小	P-231A, P-231A, P-231B	伏せ置かれた状態	壁方なし	7	—	壁方なし	壁方なし	
SN58	IV-52	晩期前室		年代測定あり	13	6	1.75×1.12m	—	15.7cm	
SN59	IV-52	晩期前室		年代測定あり	13	6	—	0.63m	—	15.1cm
SN60	IV-52	晩期前室		年代測定あり	13	8	—	0.55×0.41m	—	8.4
SN61	VA-53	晩期前室		年代測定あり	14	7+8	—	0.59×0.58m	—	22.3
SN62	VA-53	晩期前室		年代測定あり	14	7+8	—	0.54×0.25m	—	9.6cm
SN63	VA-53	晩期前室		年代測定あり	14	8	—	0.31m	—	25.5cm
SN64	VA-53	晩期前室		年代測定あり	15	9	—	1.05×1.65m	—	10.7cm
SN65	IV-52	晩期前室			15	9	—	0.32m	—	—
SN66	IV-52	晩期前室			15	9	—	0.39×0.24m	—	—
P11029	IV-56	不明			2	—	—	28×18	柱版なし	壁方 18.4cm
P11032	IV-56- 57	不明			2	—	—	28×20	柱版なし 前面壁と柱版203.072m	壁方 前面壁と柱版203.736m

表6 北東捨場地区 遺構計測表

遺構名	グラッド	遺構時期	遺構名変更	備考	平面形	90度 番号	写真図収 番号	開口部/長さ×幅(直柱) 底/長さ×幅(土柱/穴)	深さ
SQ23	VJ～VK -1B	後期後室 ～晩期前 室				55	83	1.30×0.76m	—
VI-46 グッド 掘土	VI-46	晩期中室				55	76	1.13×0.77m	—
VI-47 内掘土	VK-46	晩期中室				55	79	0.81×0.65m	—



表7 東捨場地区 土器観察表(1)

調査 番号	調査 年度	調査 番号	出土状況 (出土層等)	原形	形状	形制	胎土・外装文様など	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
6	19	1	IV19 P-X 5015	厚土	器底6~7	底面6~7	外装: 灰褐色文、紅土肌層家科調染文表装。	十才	赤胎(外面)	遺物番号10 付付同・別紙	—	—	—	東土器 2519
6	19	2	IV19 P-X 5016	厚土	底面4~5	底面4~5	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	—	—	—	東土器 2520
—	20	1	PV16 P-X 5018	紅土層	底面中層	底面中層	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	11.0	—	—	東土器 2211
—	20	2	IV16 P-X 5019	紅土層	底面	底面	外装: 体部以下に赤土、表面無文。	十才	赤胎(外面)	—	—	—	—	東土器 2210
7	20	3	IV16 P-X 5018	紅土層	底面3	底面3	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	七才	赤胎(外面)	—	08.0	06.0	6.0	東土器 2212
—	20	4	PV16 P-X 5019	紅土層	底面中層	底面中層	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	08.0	—	—	東土器 2088
—	20	5	PV16 P-X 5019	紅土層	底面3	底面3	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	—	—	—	東土器 2103
—	20	6	PV16 P-X 5019	紅土層	底面2~3	底面2~3	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	—	—	—	東土器 2091
—	20	7	IV16 P-X 5019	紅土層	底面	底面	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	13.0	6.2	—	東土器 2028
—	20	8	IV16 P-X 5019	紅土層	底面	底面	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	09.0	6.0	—	東土器 2091
—	20	9	PV16 P-X 5019	紅土層	底面中層	底面中層	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	11.0	—	—	東土器 2081
11	21	—	P-X 5208	赤土層	底面中層~ 底面	底面中層~ 底面	外装: 紅褐色文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	出土: 赤土	—	30.5	—	東土器 2332
11	21	1	P-X 5209	赤土層	底面中層~ 底面	底面中層~ 底面	外装: 紅褐色文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	—	9.4	—	東土器 2331
11	21	2	P-X 5210	赤土層	底面中層	底面中層	小底状口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。	十才	赤胎(外面)	—	—	—	—	東土器 2330
11	21	3	P-X 5211	赤土層	底面	底面	平口縁、底面1単位(口唇~口縁)。外装: 顔位に赤土、文様無文。	十才	赤胎(外面)	—	32.6	—	16.0	東土器 2027
11	21	4	SV12 SV12	付付物	底面3	底面3	器底に赤土肌層(以下)を有する器底。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	七才	赤胎(外面)	—	15.0	7.5	10.3	東土器 2376
11	21	6	IV16 SV13	紅土層	底面2~3	底面2~3	平口縁、口唇: 面取なし。外装: 顔位に赤土、文様無文。文、赤土肌層。	十才	赤胎(外面)	—	16.4	—	16.0	東土器 2066
11	21	7	IV16 SV14	紅土層	底面	底面	外装: 体部以下に赤土、表面無文。	十才	赤胎(外面)	—	—	—	—	東土器 2082

表7 東拾場地区 土器観察表(2)

器種 番号	器種 名称	器種 番号	器種 名称	時期	形制・外観的特徴	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	器種 番号
11-2	—	IV153 P215 S415・45-2	灰褐色滑石 R311層	縄文後葉-晩葉	平口鉢。口唇：直取。口唇部外反。外面：口縁部-体部上半に直線文。	ナナ	灰化物(内・外面)	—	47.5	—	—	東土器 2179
11-3	—	IV153 S415	灰褐色滑石 R311層	縄文前中葉	平口鉢。口唇：押し出された唇口小。外面：口縁部-体部上半に直線文。	ナナ	灰化物(外面)	同条坑立縁-縁	45.0	—	—	東土器 2200
11-4	—	IV153 S415	灰褐色滑石 R311層	晩葉	外面：体部に直線文。	ナナ	灰化物(外面・底面・底縁部) 灰土(口縁部)	—	—	—	—	東土器 2281
11-5	—	IV153 P215 S415	灰褐色滑石 R311層	晩葉	平口鉢。口唇：部分の直取。口縁部-体部上半に直線文。体部外反直線文。	ナナ	灰化物(内・外面)	縁上：小縁	47.5	—	—	東土器 2274
12	21	8 P-X S416	灰林 R311層	縄文後葉-晩葉	平口鉢。口唇：直取。口唇部外反。外面：直線文。口縁部部に直線部の残存の認められ。	ナナ	灰化物(内)	—	26.0	—	—	東土器 2181
12	21	9 P-X	灰林 R311層	晩葉2-2/3	平口鉢。口唇：部分の直取(平取)。外面：直線文。	ナナ 口縁部直取部	灰化物(内)	—	15.0	—	—	東土器 2170
12	21	10 P215 P177 S417	灰林 R311層	晩葉2-2/3	外面：ナナ。器底：直線文。	ナナ	赤漆(外面)	—	4.5	—	—	東土器 2173
12	21	11 P-X S418	灰林 R311層	晩葉	平口鉢。突反1単位(2斜一組)。口唇：直取(平取)。直線文。	ナナ	灰化物(外)	—	26.0	—	—	東土器 2025
12	21	13 P-X S419	付 R311層	晩葉2-2/3	外面：体部と下部の間に直取部2条。器底：台(直取部)。器底に直線文。	ナナ	—	7.8	—	—	東土器 2175	
12-1	—	IV153 P215 S419	付 R311層	晩葉	外面：ナナ。器底：平直(直取部-縁部のよう台縁部3箇所)。	ナナ	灰化物(外)	—	9.4	—	—	東土器 2176
12	21	14 P155 P213 S400	付 R311層	晩葉2-2/3	平口鉢。器底直取部。口唇：直取。外面：直線文。直線部は直線部と直線部との間に直取部2条。立ち上り小突起(付行間に小突起)。文部直取文。体部上半に直線文。	ナナ 口縁部直取部1条	灰化物(外面)	—	43.0	—	—	東土器 2271
16	22	1 P-X S358	付 R311層	晩葉1/6小	小底吹口鉢。口唇：直取(平取)。外面：直線文。直線部に直線部1条。直線部直取文。直線文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2209
16	22	2 P-X S359	付 R311層	晩葉2小	平口鉢。口唇：直取。外面：直線部直取部5(上から1・2条目直取部3・4条目直取部2条)。直線部直取部直取部。文部直取部直取部。直線文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2210
16	22	3 P-X S360	付 R311層	晩葉直取部	平口鉢。口唇：直取(平取)。外面：直線部直取部5条。文部直取部直取部。直線文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2315
16	22	4 P-X S359	付 R311層	晩葉	平口鉢。口唇：直取(平取)。外面：直線文。	ナナ	灰化物(内)	—	—	—	—	東土器 2310
16	22	5 P-X S359	付 R311層	晩葉1/6小	平口鉢。口唇：直取。外面：直線部直取部。増文なし。	ナナ	灰化物(内)	—	—	—	—	東土器 2341
16	22	6 P-X S359	付 R311層	晩葉1/6小	外面：直線部直取部2条。文部直取部直取部。増文なし。	ナナ	灰化物(内)	—	—	—	—	東土器 2341
16	22	7 P2003 S400	付 R311層	晩葉直取部-晩葉直取部	外面：ナナ。器底：直線文。	ナナ	灰化物(付部内面)	—	—	—	—	東土器 2335
16	22	10 P-X S401	付 R311層	晩葉	小底吹口鉢。口唇：直取なし。外面：口縁部-体部上半に直線文。	ナナ ナナ(体部直取部)	灰化物(内)	—	17.5	—	—	東土器 2062
16	22	11 P-X S401	付 R311層	晩葉	小底吹口鉢。外面：直線文(直線文が下部の部分が多し)。器底：直線部直取部。	ナナ ナナ	灰化物(内)	—	16.0	6.5	17.4	東土器 2298

表7 東拾場地区 土器観察表(3)

調査 番号	調査 区画	調査 番号	土器 種類	原形	時期	形状・外装文様など	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
16	22	12	Ⅱ-Ⅲ	甲体	弥生	腹文H(底部付近は横文文なし)、底部：平足	文字	弥化物(内外)		—	8.0	125.0	東-土器 20561
16	22	13	Ⅱ-Ⅲ	1脚	弥生1b	小底状口縁、口唇：部分的に重なり、外面：波線文(底部付近に2本の波線)、 脚部上体部は縦文1条、横文2条、山脚文、山脚文	文字	弥化物(外)		13.0	—	—	東-土器 2337
16	22	15	Ⅱ-Ⅲ	Ⅱ	弥生1b-Ⅱ	平底鉢、口唇：直縁(平明)、外面：波線文	文字	弥化物(外)		24.0	—	—	東-土器 2180
21	23	1	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生1b	平底鉢、内面(外面に3支の脚付)と1山突起(内面)、外面に波状の 波線文(外)と交互に配置、口唇：直縁(平明)、外面：波線文(波線間1条、 波線間2条)	文字	弥化物(外)		—	—	—	東-土器 2330
21	23	2	Ⅱ-Ⅲ	Ⅱ脚	弥生1b	平底鉢、突起取付1脚、外面：口縁部直上1本の縦文(脚部)、3支文、入底文、 2本の波線部(1本は縦文、横文2条)、体部上1本の縦文	文字	弥化物(内外)		—	—	—	東-土器 2335
21	23	3	Ⅱ-Ⅲ	Ⅱ脚	弥生	平底鉢、口唇：直縁(平明)、外面：口縁部一帯直上平に波線文	文字	弥化物(外)		34.0	—	—	東-土器 2246
21	23	4	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生3	外面：短波線列、横文1条、2条、支線部文なし、山脚文	文字	赤土(内・外面)		—	—	—	東-土器 2273
21	23	5	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生3	平底鉢、口唇：直縁なし、波線部：直上1条(口縁直下)、外面：横文1条、 2条、体部上1条直文、波線間2条	文字	—		—	—	—	東-土器 2115
—	23	6	Ⅱ-Ⅲ	Ⅱ脚	弥生1b	外面：上部に赤土部が張り出した突起状の平明、山脚文	文字	—		—	—	—	東-土器2099
21	23	7	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生1-Ⅱ	平底鉢、口唇：直縁(平明)、外面：波線部(直上1条、横文なし)	文字	弥化物(外)		—	—	—	東-土器 2298
21	23	8	Ⅱ-Ⅲ	Ⅱ脚	弥生1b-Ⅱ	平底鉢、山突起取付1脚付、口唇：直縁(平明)、外面：口縁部一帯直上平 に波線文、波線間2条	文字	弥化物(外)	粘土・小砂	—	—	—	東-土器 2235
21	23	9	Ⅱ-Ⅲ	Ⅱ脚	弥生1b-Ⅱ	平底鉢、突起(取付波線)、口唇：直縁なし、外面：横文1条、口縁部部 に波線文	文字	弥化物(外)		—	—	—	東-土器 2240
21	23	10	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生3	平底鉢、口唇：直縁なし、外面：直上1条、横文1条、体部上平に波線文	文字	—		—	—	—	東-土器 2255
—	23	11	Ⅱ-Ⅲ	Ⅱ脚	弥生1-Ⅱ	平底鉢、口唇：直縁なし、外面：直上1条、波線(入底文なし)、波線間2条	文字	弥化物(内外)		—	—	—	東-土器 2296
21	23	12	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生1b	平底鉢、口唇：直縁(平明)、外面：横文1条、入底文、横文2条	文字	弥化物(外)		26.0	—	—	東-土器 2233
21	23	13	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生2-Ⅱ-3	平底鉢、口唇：直上1条、外面：波線部(波線間2条、支線部文なし)、体部 上平に波線文	文字	弥化物(内外)		16.2	—	—	東-土器 2231
21	23	14	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生1-Ⅱ	平底鉢、口唇：直縁、外面：直上1本の波線部(口縁直下)、入底文、 横文(山脚文)	文字	弥化物(外)		—	—	—	東-土器 2311
21	23	15	Ⅱ-Ⅲ	覆土	弥生1b-Ⅱ	平底鉢、山突起、口唇：直縁、外面：横文1条、横文2条、波線文、 山脚文	文字	弥化物(外)		—	—	—	東-土器 2308

表7 東拾遺地区 土器観察表(4)

調査 番号	調査 年度	調査 場所	出土状況 (出土層等)	層名	時期	形状・外観等について	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号	
21	23	16	Ⅱ-X フロッタ6	6	晩期4	平口鉢、口唇直上、外面、顔位直線3条、文様無出文なし、体部は平口直線文、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外面)		—	—	—	東土器 2338	
21	23	17	Ⅱ-X2 フロッタ5	7	晩期4小	突縁、唇直、外面；突縁の唇直に点つて目線文、	平口直線に沈線1条			—	—	—	東土器 2391	
22	24	1	Ⅱ-X2 フロッタ6	7	晩期4	平口鉢、顔位平口唇突縁(即ち唇直3~4条)、口唇(直縁、平口)、外面； 2条の沈線間に入文(突縁)、顔直突縁文、目線文、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)		32.0	—	—	東土器 2059	
22	24	2	Ⅱ-X2 フロッタ6	8	晩期4小	小突縁口鉢、口唇(平口)、外面；沈線文(口唇突縁に対応した上唇直 の顔直文)、入文、顔位直線1条、唇直、体部は目線文、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)		32.8	—	—	東土器 2077	
22	24	3	Ⅱ-X2 フロッタ6	8	晩期4小	小突縁口鉢、口唇(直縁なし)、外面；入直文、唇直、体部は目線文、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)		18.0	—	—	東土器 2270	
22	24	4	Ⅱ-X2 フロッタ6	8	晩期4小	小突縁口鉢、一面突縁、外面；入直文(入直部に突縁)、沈線による3本文(入 直文に突縁)、入文、顔位直線1条、唇直、目線文、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)		—	—	—	東土器 2083	
22	24	5	Ⅱ-X2 フロッタ6	8	晩期4小	平口鉢、口唇(直縁、平口)、外面；目線文(顔直突縁に点つた)、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)		38.0	—	—	東土器 2115	
22	24	6	Ⅱ-X3 フロッタ6	9	晩期4小	平口鉢、口唇長平口唇突縁、口唇(平口)、外面；顔位直線3条(上唇直2条の 顔直突縁に点つた平口唇突縁)、唇直に突縁の顔直文、唇直に唇直、文様 無出文なし、顔直、唇直、1条の沈線に突縁なし、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)		18.4	9.2	22.9	東土器 2046	
22	24	7	Ⅱ-X2 フロッタ6	8	晩期4小	平口鉢、唇直突縁より唇直(唇直7条)、口唇(直縁なし)、 外面；体部は平口直線文、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外面)		16.7	—	—	東土器 2107	
—	24	8	Ⅱ-X2 フロッタ6	8	晩期4小	平口鉢、唇直突縁より唇直、口唇長平口唇突縁、唇直、入直 3本文、2条の沈線 間に突縁の唇直文、目線文(唇直)、口唇突縁に突縁なし、体部無出文、目線文、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外面)		—	—	—	東土器 2106	
22	25	1	Ⅱ-X3 フロッタ6	8	晩期4小	外面；突縁文、唇直(唇直平口唇直)、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)	軸上；唇直	—	2.0	—	—	東土器 2171
22	25	2	Ⅱ-X フロッタ6	8	晩期4小	平口鉢、顔位平口唇突縁より唇直、口唇(直縁、外面；顔位直線2条、沈線 による唇直文、突縁なし、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外面)		—	—	—	東土器 2281	
—	25	3	Ⅱ-X3 フロッタ7	8	晩期4小	小突縁口鉢、突縁1単位唇直、口唇(直縁、突縁1個)、口唇(直縁なし)、外面； 口唇直上へ顔位直線3条、入直文、顔位直線3条、文様無出文なし、唇直上 平口直線文、口唇突縁なし、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外面)		20.0	—	—	東土器 2058	
23	25	4	Ⅱ-X3 フロッタ7	8	晩期4小	平口鉢、顔位平口唇突縁、口唇(直縁なし)、外面；口唇突縁下に突縁、顔位 に突縁する3本文、突縁突縁(小・外)、口唇(直縁なし)、唇直、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)		20.6	—	—	東土器 2109	
23	25	5	Ⅱ-X3 フロッタ7	8	晩期4小	小突縁口鉢、突縁(小・外)、口唇(直縁なし)、唇直(突縁の突縁の唇直、 突縁の唇直なし)、唇直上平口直線文、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外面)		—	—	—	東土器 2111	
23	25	6	Ⅱ-X3 フロッタ7	8	晩期4小	平口鉢、顔位平口唇突縁、口唇(直縁、外面；2条の沈線間に入直3本文、 口唇直線3条、目線文、文様無出文なし、	平口直線に沈線1条	顔位物(小・外)		18.2	—	—	東土器 2139	







表7 東揚南地区 土器観察表(8)

調査 番号	調査 区画	調査 層位	土器 種類 (出土層位)	原形	時期	形状・外装文様など	内装特徴	付随物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
—	29	6	V165 P262	深鉢	晩器3	三叉の縁りによる器縁の口縁。外装:横文1条。底面:黒目1条。肩に1条の肩筋。文様無文文土。黒目1口縁文。底筋:平直。	黒化物(内・外)			11.8	5.0	13.7	東土器 1090
—	29	7	V165 P263	鉢	晩器2~3	平口縁。器底残存1単位。口唇:黒目。外面:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字 口縁に1区画1条		26.6	—	(17.5)	2065
—	29	8	V165 P264	鉢	晩器2~3	平口縁。器底残存1単位。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字 口縁に1区画1条		19.4	—	—	東土器 2071
—	29	9	V165 P265	鉢小	晩器2~3	平口縁。口唇:黒目。外面:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		23.8	—	—	東土器 2092
—	29	10	V165 P266	深鉢	晩器2~3	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		28.2	—	—	東土器 2092
—	30	1	V164 P-X	鉢	晩器2小	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字	東203と結合	19.6	18.0	18.2	2073
26	30	2	V164 P-X	深鉢	晩器4~5	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字	土:砂質	—	—	—	—
—	30	3	V165 P267	鉢	晩器前儀	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		(16.0)	(5.0)	8.9	東土器 2177
26	30	4	V165 P268	鉢	晩器中儀	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		19.0	6.4	15.8	東土器 2199
26	30	5	V165 P269	鉢	晩器中儀	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字	土:砂質	18.0	6.0	15.5	東土器 2110
—	30	6	V174 P284	鉢小	晩器	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		18.0	—	—	東土器 2078
26	30	7	V174 P-X	深鉢	晩器	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		—	7.2	—	東土器 2132
26	30	8	V174 P286	深鉢	晩器	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		—	6.0	—	東土器 2053
—	30	9	V165 P266	深鉢	晩器	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		—	—	—	東土器 2168
26	30	10	V165 P-X	鉢	晩器	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字	土:黒目筋が土上	23.4	—	—	東土器 2172
26	31	1	V163 P-X	鉢	晩器1~2	小須次口縁。外面:口唇筋1条。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		12.0	—	—	東土器 2203
—	31	2	V164 P-X	鉢	晩器2	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		(12.0)	(6.0)	5.1	東土器 2232
—	31	3	V174 P-X	鉢	晩器2~3	平口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		(16.0)	—	—	東土器 2271
26	31	4	V162 P-X	鉢	晩器2小	小須次口縁。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		—	—	—	東土器 2270
—	31	5	V174 P285	鉢	晩器3	三叉の縁りによる器縁の口縁。口唇:黒目。器底に2条。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		12.7	—	—	東土器 2136
—	31	6	V165 P269	鉢	晩器3	平口縁。器底残存1単位。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		11.2	—	—	東土器 2222
—	31	7	V165 P277	鉢	晩器2~3	平口縁。器底残存1単位。口唇:黒目。器底に1条の黒目。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		11.0	—	—	東土器 2085
—	31	8	V207 P207	鉢	晩器2~3	三叉の縁りによる器縁の口縁。口唇:黒目。器底に2条。外装:横文1条。土底に2条の黒目筋。肩筋に2条の平直文土。肩筋に2条の黒目。体上半部は黒化文土。	黒化物(内・外)	十字		11.6	—	—	東土器 2114







表7 東捨場地区 土器観察表(11)

器種 番号	器種 名称	器種 分類	器種 形状	時期	形跡・外形・文様・色	内装特徴	付物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	器種 番号
29	24	9	IV51 P-X	器	底面3小 器	平口鉢。口管・面取なし。口縁に横文。外面・面取に横文。器底上に縦文と 横文の目尻交互に配置(4単位)。縦文3条。ミガキ。面取に横線。底 文跡に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	—	7.5	4.0	18.0	東土器 2033
—	24	10	IV53 P-X	器	底面3小 器	平口鉢。口管・面取なし。外面・口縁に横文。面取に横文と縦文の 交互に配置(4単位)。口管・面取なし。口縁に横文。器底上に縦文と 横文の目尻交互に配置(4単位)。縦文3条。ミガキ。面取に横線。底 文跡に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	—	8.5	—	(18.3)	東土器 2107
—	24	11	IV52 P-X	器	底面3小 器	外面・面取に横文。器底上に横文と縦文2条。体部・面取ミガキ。器底に 凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取面取付物 の口縁に横文 と縦文の目尻 交互に配置(4単位)	—	—	—	東土器 2125
—	24	12	IV54 P-X	器	底面3小 器	平口鉢。器底1単位(口管・面取なし)。口管・面取なし。外面・口縁に横文と 縦文の目尻交互に配置(4単位)。口管・面取なし。口縁に横文。器底に 凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	9.4	—	—	東土器 2118
29	25	1	IV55 P-X	器	底面3小 器	外面・面取に横文。器底上に横文と縦文2条。体部・面取ミガキ。器底に 凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	—	—	—	東土器 2135
—	25	2	IV54 P-X	器	底面3小 器	平口鉢。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。体部・面取ミガキ。 器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	7.2	4.2	18.2	東土器 2110
29	26	3	IV54 P-X	器	底面4~5 器	平口鉢。二山型底面有1単位。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。 体部・面取なし。ミガキ。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	(14.0)	—	—	東土器 2046②
29	25	4	IV54 P-X	器	底面3小 器	外面・口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。体部・面取ミガキ。 器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	—	—	—	東土器 2096①
—	25	5	IV55 P-X	器	底面前部一中 部	平口鉢。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。体部・面取ミガキ。 器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	7.3	—	16.4	東土器 2011
—	25	6	IV55 P-X	器	底面中葉 器	平口鉢。器底1単位(口管・面取なし)。口管・面取なし。外面・口縁に横文と 縦文の目尻交互に配置(4単位)。口管・面取なし。口縁に横文。器底に 凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	(16.0)	6.8	17.2	東土器 2034
—	25	7	IV54 P-X	器	底面中葉 器	平口鉢。器底前部2単位。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。 体部・面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	10.0	—	(16.0)	東土器 2121
—	25	8	IV55 P-X	器	底面中葉小 器	平口鉢。器底1単位。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。体部・ 面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	10.5	—	15.5	東土器 2098
29	25	9	IV55 P-X	器	底面中葉小 器	平口鉢。器底1単位。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。体部・ 面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	6.2	11.1	5.4	東土器 2091
—	25	10	IV54 P-X	器	底面中葉小 器	平口鉢。器底1単位。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。体部・ 面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	9.0	—	—	東土器 2041
—	25	11	IV55 P-X	器	底面中葉小 器	平口鉢。器底前部前部2単位(口管・面取なし)。口管・面取なし。外面・口 縁に横文と縦文2条。体部・面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	25.5	—	—	東土器 2108
27	25	12	IV53 P-X	器	底面前部 器	外面・面取に横文と縦文2条。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。 体部・面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	3.6	2.8	—	東土器 2201
29	25	13	IV52 P-X	器	底面3小 器	外面・面取に横文と縦文2条。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。 体部・面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	—	—	—	東土器 2130
29	25	14	IV56 P-X	器	底面3小 器	外面・面取に横文と縦文2条。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。 体部・面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	—	3.8	—	東土器 2126
29	25	15	IV53 P-X	器	底面前部 器	外面・面取に横文と縦文2条。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。 体部・面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	—	—	—	東土器 2123
—	26	1	IV53 P-X	器	底面7~1 器	外面・面取に横文と縦文2条。口管・面取なし。外面・口縁に横文と縦文2条。 体部・面取ミガキ。器底に凹線。	面取(横・内面) 口縁(横・面取)	面取に横文と縦 文の目尻交互 に配置(4単位)	(7.0)	2.0	16.2	東土器 2148

表7 東揚南地区 土器観察表(12)

観察番号	発掘区画	発掘層位	出土品名(出土層位)	原形	時期	形状・外装文様など	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	体積 (cm)	重量 (g)	観察番号
—	36	2	IV43a P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	内径3.5cm 内径0.5cm	—	—	—	—	東土器 2217
25	36	3	IV44 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2216
25	36	4	IV42 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2214
29	36	5	IV52 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2116
29	36	6	IV133 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2226
—	36	7	IV44 P2082	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2006
—	36	8	IV44 P2086	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2009
29	36	9	IV43 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2011
—	37	1	IV43 P2086	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2059
29	37	2	IV43 P2082	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2102
29	37	3	IV43 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2217
—	37	4	IV43 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2221
—	37	5	IV42 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2056
29	37	6	V 0218 P2078 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2272・2270
29	37	7	IV133 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2003
29	37	8	IV133 P2082	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2001
29	37	9	IV43 P2083	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2109
29	37	10	IV43 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2045
29	37	11	IV43 P-N	深鉢3	縄文3	外底：指に施文。横紋1線1条。体は直線的に自然収束の深鉢3単位。横紋1条。体部下小底部に裏面に上向き筋文、横筋横文文、且上1筋文。裏面に上向き筋文、筋文、筋文。	ナナ	—	—	—	—	—	東土器 2204

表7 東拾場地区 土器観察表(13)

器種番号	窯場 器種	窯場 器種	器種 (出土層番号)	原形	器種	時期	形状・外観的特徴など	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	径長 (cm)	高さ (cm)	重量 (g)	器種 番号
—	32	12	V453 P-X	Ⅲ2層	底	徳重浅鉢	外面：口縁部十字。体は口縁文。腹に縦筋。流注：流注。 平口縁。口管：面取(平口)。外面：面取に流筋。流筋上に流筋4筋位。口縁部 文。体取に口縁文(柳葉形)。口縁部十字。流筋：流注。	十字	外面流筋	無土・小横	—	4.0	—	18.0	東-土器 2707
—	32	13	V452 P-X	Ⅲ2層	底	徳重白→白	平口縁。口管：面取(平口)。外面：面取に流筋。流筋上に流筋4筋位。口縁部 文。体取に口縁文(柳葉形)。口縁部十字。流筋：流注。	十字	外面流筋	無土・小横	—	3.4	11.3	—	東-土器 2051
—	32	14	V452 P208	Ⅲ3層	底	徳重7-4	外面：流筋(凹形柳葉)。口管：口縁部十字。注口文。流筋： 流注。	十字	外面に流筋	注口内径0.5cm	—	2.6	13.2	—	東-土器 2173
39	39	1	V452 P208	Ⅲ3層上層	付付鉢	徳重白	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	16.0	—	—	—	東-土器 2105-①-2
39	39	2	V453 P-X	Ⅲ3層上層	鉢	徳重19	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	12.5	—	—	—	東-土器 2144
—	39	3	V452 P207	Ⅲ3層上層	付付鉢	徳重流筋	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	15.8	4.2	8.9	—	東-土器 2026
39	39	4	V452 P206	Ⅲ3層上層	付付鉢	徳重流筋	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	22.0	—	16.3	—	東-土器 2100
—	39	5	V452 P-X	Ⅲ3層上層	注口	徳重7-4	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	—	—	6.6	2.5	13.3	—	東-土器 2156
—	39	6	V452 P210	Ⅲ3層上層	注鉢	徳重7-4	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	—	—	—	3.0	11.0	—	東-土器 2164
—	39	7	V453 P207	Ⅲ3層上層	台	徳重1→2	外面：台取十字。流筋：台(横筋に十字十字)。	十字	外面スス	無土・小横	—	12.0	—	—	東-土器 2017
—	39	8	V453 P-X	Ⅲ3層上層	蓋	徳重3-2	外面：口管：面取。外面：口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	外面に彩色顔料	彩色部付部部小	—	3.8	17.3	—	東-土器 2103
—	39	9	V453 P-X	Ⅲ3層上層	注口	徳重7-4	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	外面に流筋	注口内径0.5cm	7.8	—	(14.7)	—	東-土器 2026
—	39	10	V452 P206	Ⅲ3層上層	注口	徳重7-4	外面：流筋(凹形柳葉)。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。 外面に流筋。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。	十字	—	—	—	3.2	(14.2)	—	東-土器 2026
—	39	11	V452 P208	Ⅲ3層上層	注口	徳重7-4	外面：流筋(凹形柳葉)。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。 外面に流筋。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。	十字	無土・小横	注口内径0.5cm	7.0	2.0	10.7	—	東-土器 2102
—	39	12	V453 P-X	Ⅲ3層上層	注口	徳重7-4	外面：流筋(凹形柳葉)。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。 外面に流筋。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。	十字	無土・小横	注口内径0.5cm	13.0	2.0	13.1	—	東-土器 2040
39	39	13	V453 P210	Ⅲ3層上層	付付鉢	徳重19	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	16.6	2.0	16.0	—	東-土器 2017
39	39	14	V453 P-X	Ⅲ3層上層	鉢	徳重19	外面：流筋(凹形柳葉)。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。 外面に流筋。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。	十字	外面スス	—	—	—	—	—	東-土器 2102
—	39	15	V454 P-X	Ⅲ3層上層	台	徳重19	外面：流筋(凹形柳葉)。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。 外面に流筋。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	—	—	—	—	東-土器 2105
—	39	1	V454 P-X	Ⅲ3層上層	蓋	徳重中層3	外面：流筋(凹形柳葉)。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。 外面に流筋。口管：口縁部十字。注口文。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	—	—	—	—	東-土器 2037
39	39	2	V454 P211	Ⅲ3層下層	付付鉢	徳重3	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	11.4	(8.0)	11.1	—	東-土器 2066
—	39	3	V454 P210	Ⅲ3層下層	皿	徳重3	平口縁。口管：面取(口管1筋位。口管口周12条)。外面：口縁部流筋に流筋 筋5条。口縁部十字。流筋：流注。	十字	面取部(内外)	—	(18.0)	(8.0)	(8.0)	—	東-土器 2066





表8 東捨場地区 土製品観察表(2)

図号番号	写真 番号	分類	出土 位置	層位	出土 部分	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	重量 (g)	備考
34-49	43-49	中国製土製品	V104	A2層		42	45	5	13.6	麻土器片の割片。打腫文。
34-50	43-50	中国製土製品	V103	A2層上層		40	38	4	12.2	麻土器片の割片。打腫文。文字あり。スス灰化焼付痕。
34-51	43-51	中国製土製品(有孔)	V104	A2層		34	26	6	7.8	麻土器片の割片。中央に有孔。一次穿孔裏のみ。黒文。
35-52	43-52	中国製土製品	V103	A2層		42	50	5	20.9	麻土器片の割片。火痕。
35-53	43-53	中国製土製品	V102	A2層		72	71	5	40.1	麻土器片の割片。黒文。文字あり。スス灰化焼付痕。
35-54	43-54	中国製土製品	V102 ゾウノツケ	A2層		46	42	5	11.8	麻土器片の割片。黒文。スス灰化焼付痕。
35-55	43-55	中国製土製品	V104	A2層		51	55	5	17.4	麻土器片の割片。打腫文。器表面にスス灰化焼付痕。

表9 東捨場地区 Ⅲ ニチュア・小型土器観察表(1)

図号番号	写真 番号	器種	出土位置	層位	出土 部分	長さ (cm)	直径 (cm)	口径 (cm)	高さ (cm)	重量 (g)	時期	備考
35-57	43-57	鉢	V106	A2層		-	9.6	9.6	5.0	40.0	外面：体部～底部平。黒文。底面：丸底。内面：平。外面：体部～底部平。黒文。底面：丸底。内面：平。	
35-58	43-58	鉢	V103	A2層下層		3.4	5.6	5.0	2.9	10.0	外面：体部～底部平。黒文。底面：丸底。内面：平。	
35-59	43-59	鉢	V104	A2層		3.3	1.2	1.7	1.7	10.0	外面：口縁部～底部平。打腫文。底面：丸底。内面：平。	
35-60	43-60	甌	V102 5c-1	A2層		-	(0.1)	(2.2)	2.0	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-61	43-61	甌	V103	A2層上層		-	1.4	13.8	3.0	10.0	外面：口縁部～底部平。底面：凹底。内面：平。	
35-62	43-62	甌	V103	A2層上層	f-209	(2.2)	4.9	2.5	2.3	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-63	43-63	甌	ゾウノツケ	A2層上層	f-209	(2.2)	7.8	4.2	3.2	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-64	43-64	甌	V104	A2層	f-209	2.0	(4.5)	2.0	2.0	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-65	43-65	甌	V104	I層	f-209	0.2	0.2	0.2	0.2	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-66	43-66	甌	V103	A2層	f-209	6.2	3.6	4.4	4.4	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-67	-	甌	V102	II層	f-209	-	3.1	(4.2)	4.0	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-68	-	甌	V103	A2層	f-209	4.9	2.0	3.0	3.0	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-69	43-69	付随品	V104	A2層	f-209	6.6	-	(4.8)	4.0	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-70	41-20	鉢	V104	A2層下層	f-216	7.5	-	(4.8)	4.0	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	
35-72	43-72	付随品	V104 ゾウノツケ	A2層下層	f-210	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	10.0	外面：口縁部～底部平。黒文。底面：凹底。内面：平。	





表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(1)

探検 番号	番号	国産 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5区・特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
19	2		2652	東拾場	9Q15	層土	5-3	面石		117.8	71.7	33.0	272.3	凝灰岩	
19	4		2652	東拾場	9Q15	層土	5-3	面石		91.2	71.0	47.4	405.3	凝灰岩	
19	5	6	2660	東拾場	9Q15	層土	5-3	面石		110.0	75.0	36.0	324.0	凝灰岩	
19	6		2651	東拾場	IV30 9Q15	層土	5-3	面石		131.2	56.4	43.8	382.0	凝灰岩	
19	7		2651	東拾場	9Q15	層土	5-3	凝石		66.4	60.1	34.1	152.8	凝灰岩	
19	8		2656	東拾場	9Q15	層土	5-3	凝石		70.7	53.2	35.7	192.0	火山岩	
19	9		2658	東拾場	IV30 9Q15	層土	5-3	面石		93.1	79.5	36.9	379.4	凝灰岩	
19	10	6	4321	東拾場	IV49 9Q15	層土	5-3	石製品		331.0	217.9	710.0	6600.0	凝灰岩/砂岩	磨面に溝状の痕あり
19	11		1264	東拾場	9Q15	層土	5-3	石製内磨		89.0	72.4	33.0	309.4	アズファルト	
19	12	6	8719	東拾場	9Q15	層土	5-3	磨製石斧		84.0	66.2	35.7	192.0	凝灰岩/砂岩	磨面に溝状の痕あり
19	13	6	4255	14 東拾場	IV54 9Q21	A層1層	5-5	石製		262.0	161.0	86.0	2700.0	凝灰岩	表面に細かい凹みに磨面
21	5		9455	東拾場	9842/9	A層下層	5-3	石製		37.0	18.4	8.9	5.6	砂質頁岩	右部が石磨?
21	12	12	7279	東拾場	IV53 9846/9	層土	5-3	石製内磨		51.0	46.0	16.0	25.8	凝灰岩	凝石?
22	8	36	4247	14 東拾場	5M1	伊石	5-2	石製		225.0	248.0	28.0	2360.0	緑色凝灰岩	
22	9		4252	14 東拾場	5M1	伊石	5-1	石製		308.0	200.9	64.0	4300.0	緑色凝灰岩	扁平面あり。質軟。両面使用
22	14		4350	15 東拾場	5M4	伊石	5-1	石製		337.0	320.0	60.0	4820.0	花崗岩	
43	1		1344	14 東拾場	IV35	1層	5-3	石製		27.8	15.1	6.4	2.5	砂質頁岩	
43	2		1346	14 東拾場	IV35	1層	5-3	石製		129.7	15.2	5.9	12.4	砂質頁岩	
43	3		1040	14 東拾場	不明	不明	不明	不明		36.9	12.3	4.4	1.5	砂質頁岩	磨面加工部分少
43	4		1042	14 東拾場	不明	不明	不明	不明		33.9	18.4	4.2	1.6	砂質頁岩	アズファルト
43	5		1047	14 東拾場	IV35	1層	5-3	石製		53.1	22.8	8.3	7.2	砂質頁岩	本製法?先磨かの丸磨
43	6		1046	14 東拾場	IV36	1層	5-3	石製		51.1	16.2	6.0	2.6	砂質頁岩	
43	7		4763	14 東拾場	IV36	1層	5-3	石製		56.1	15.3	7.4	5.5	砂質頁岩	
43	8		4748	13 東拾場	IV34	磨石	5-3	石製		69.4	13.4	6.7	2.9	本製法?砂質頁岩	
43	9		5471	13 東拾場	IV39	A層1層	5-3	石製		19.9	8.9	5.3	0.7	砂質頁岩	
43	10		3288	14 東拾場	IV32	A層1層	5-3	石製		32.9	16.7	8.7	6.7	砂質頁岩	アズファルト
43	11		1044	14 東拾場	IV35	A層1層	5-3	石製		36.9	12.5	5.3	1.6	石製	
43	12		1236	14 東拾場	IV54	A層1層	5-3	石製		36.0	11.0	3.2	0.7	砂質頁岩	アズファルト
43	13		4723	14 東拾場	IV36	A層1層	5-3	石製		33.4	8.1	3.2	0.8	砂質頁岩	
43	14		1047	14 東拾場	VA33	A層1層	5-3	石製		37.0	15.1	5.4	1.8	砂質頁岩	
43	15		1339	14 東拾場	IV34	A層1層	5-3	石製		34.7	14.9	4.2	1.9	砂質頁岩	アズファルト
43	16		1345	14 東拾場	IV35	A層1層	5-3	石製		36.8	15.9	3.9	1.5	砂質頁岩	
43	17		717	14 東拾場	IV36	A層1層	5-3	石製		42.1	12.9	4.4	1.9	砂質頁岩	アズファルト
43	18		5467	14 東拾場	IV35	A層1層	5-3	石製		40.8	13.9	8.1	3.9	砂質頁岩	
43	19		1343	14 東拾場	IV34	A層1層	5-3	石製		43.0	14.8	6.8	2.9	砂質頁岩	アズファルト
43	20		5466	14 東拾場	IV35	A層1層	5-3	石製		44.2	12.8	5.1	3.0	砂質頁岩	両面磨削。右磨削面欠
43	21		1341	14 東拾場	IV34	A層1層	5-3	石製		142.5	13.0	5.1	12.7	砂質頁岩	先磨かの丸磨
43	22		1862	14 東拾場	IV35	A層1層	5-3	石製		56.2	16.9	16.2	5.2	砂質頁岩	
43	23	2	1050	14 東拾場	IV33	A層1層	5-3	石製		55.5	14.7	6.7	3.2	砂質頁岩	
43	24		4746	14 東拾場	IV35	A層1層	5-3	石製		11.9	10.9	4.9	2.7	砂質頁岩	アズファルト
43	25		1043	14 東拾場	IV32	A層1層	5-3	石製		38.9	16.7	2.8	0.8	砂質頁岩	
43	26		1380	15 東拾場	VA32	A層1層	5-3	石製		22.0	12.4	5.2	0.7	砂質頁岩	本製法?
43	27		1042	14 東拾場	VA34	A層1層	5-3	石製		30.5	12.6	3.9	1.1	砂質頁岩	アズファルト
43	28		1340	14 東拾場	IV33	A層1層	5-3	石製		36.0	11.8	5.7	1.9	砂質頁岩	アズファルト
43	29		1335	14 東拾場	IV32	A層1層	5-3	石製		40.4	14.7	5.6	3.0	砂質頁岩	アズファルト
43	30		5460	14 東拾場	IV33 アゾフ1	1層(4~5層)	P-2526	石製		33.4	18.1	5.8	1.9	砂質頁岩	アズファルト
43	31		1042	14 東拾場	IV32	A層2層	5-3	石製		39.4	9.4	3.0	0.6	砂質頁岩	
43	32		1342	14 東拾場	VA32	A層2層	5-3	石製		27.1	9.1	3.3	0.6	砂質頁岩	
43	33		1041	14 東拾場	VA32	A層2層	5-3	石製		25.9	14.6	3.9	1.0	砂質頁岩	アズファルト
43	34		4668	14 東拾場	IV36	A層2層	5-3	石製		29.4	14.0	4.7	1.6	砂質頁岩	
43	35		1337	14 東拾場	VA32	A層2層	5-3	石製		27.5	16.0	3.0	0.9	砂質頁岩	アズファルト
43	36		1894	14 東拾場	VA33	A層2層	5-3	石製		35.8	15.5	4.3	1.7	砂質頁岩	アズファルト
43	37		1191	15 東拾場	VA34	A層2層	5-3	石製		33.4	18.1	6.5	3.7	砂質頁岩	本製法?
43	38	2	2023	東拾場1区	不明	不明	5-3	石製		35.9	17.0	4.8	8.9	砂質頁岩	アズファルト
43	39		2226	14 東拾場	不明	不明	5-3	石製		35.6	15.5	6.8	2.5	砂質頁岩	
43	40		2751	15 東拾場	IV55 ボツン4	1層	5-3	石製		53.4	28.1	12.4	15.8	砂質頁岩	本製法?
43	41		1891	14 東拾場	IV35	1層	5-3	石製		25.3	9.0	3.3	0.6	砂質頁岩	本製法?
43	42		1866	14 東拾場	IV34	1層	5-3	石製		27.9	6.2	5.3	1.6	砂質頁岩	両面磨削
43	43		9909	14 東拾場	IV35	1層	5-3	石製		26.1	16.6	6.5	2.7	砂質頁岩	
43	44		1047	14 東拾場	VA33	1層	5-3	石製		23.4	17.9	5.9	2.7	砂質頁岩	
43	45		9909	14 東拾場	IV35	1層	5-3	石製		11.9	26.5	12.2	9.7	砂質頁岩	
43	46		1042	14 東拾場	VA32	1層	5-3	石製		51.2	32.3	8.6	9.5	砂質頁岩	
43	47		1883	14 東拾場	IV34	1層	5-3	石製		56.5	19.4	10.6	7.7	砂質頁岩	片削加工
43	48		995	14 東拾場	IV34	A層1層	5-3	石製		27.2	8.5	6.3	1.3	砂質頁岩	両面磨削
43	49		994	14 東拾場	IV32	不明	5-3	石製		30.3	7.1	5.2	1.2	砂質頁岩	両面磨削
43	50		995	14 東拾場	IV32	不明	5-3	石製		38.3	8.9	6.3	2.3	砂質頁岩	
43	51		1043	14 東拾場	IV34	A層1層	5-3	石製		27.6	8.8	5.7	1.2	砂質頁岩	右磨?
43	52		1048	14 東拾場	IV32	A層1層	5-3	石製		23.1	11.9	11.5	3.2	砂質頁岩	
43	53		1048	14 東拾場	IV36	A層1層	5-3	石製		36.8	13.0	6.1	1.9	砂質頁岩	
43	54		5457	14 東拾場	IV34	A層1層	5-3	石製		37.3	8.2	5.1	1.1	砂質頁岩	両面磨削
43	55	38	5	1865	14 東拾場	IV34	A層1層	5-3	石製	46.0	9.6	7.8	3.0	砂質頁岩	
43	56		1872	14 東拾場	IV33	A層1層	5-3	石製		47.7	10.9	6.0	2.7	砂質頁岩	
43	57		1430	14 東拾場	IV34	A層1層	5-3	石製		56.7	11.1	8.9	4.0	砂質頁岩	

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(2)

探検年度	番号	国産品番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	分類・特徴	部類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考
56	38	3	1978	14 東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	石鏃	61.0	12.1	10.2	7.2	性質良好	
57	59	38	6	998	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	59.8	10.5	8.6	4.1	性質良好	
58	60		4716	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	58.1	15.7	10.4	8.7	性質良好		
59	61	38	4	1051	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	62.3	16.7	6.3	4.1	性質良好	
62	62		5456	14 東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	62.2	18.2	4.9	2.1	未鑑定		
63	63		1973	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	53.4	16.0	8.9	5.1	性質良好		
64	64		1973	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	123.7	24.3	5.3	12.5	性質良好		
65	65		1975	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	61.7	22.8	6.7	5.3	性質良好		
66	66		2325	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	41.2	27.8	14.7	8.4	性質良好	丸面磨削	
67	67		1889	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	56.6	42.1	8.3	13.0	性質良好		
68	68		1876	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	49.1	14.6	9.1	3.8	性質良好		
69	69		1864	14 東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	58.4	17.2	10.5	5.2	性質良好		
70	70		1888	14 東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	131.7	28.3	12.1	19.9	性質良好		
71	71		1886	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	54.1	25.3	14.1	10.8	性質良好	アスファルト	
72	72		1887	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	67.8	28.0	15.8	19.1	性質良好		
73	73		4754	14 東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	134.2	18.3	6.2	12.8	性質良好	アスファルト、丸面から割れ	
74	74		4721	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	96.9	16.2	7.0	2.8	性質良好		
75	75		3996	14 東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	11.5	21.9	9.1	6.9	性質良好	石鏃?石製未製品?	
76	76		1990	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	64.0	34.2	10.2	11.8	性質良好		
77	77		1967	14 東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	42.9	19.6	10.6	6.3	性質良好		
78	78		1877	14 東拾場	V452	A層1層	S-X	石製	53.6	44.9	8.6	7.0	性質良好		
79	79		1870	14 東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	88.3	21.6	6.4	2.9	性質良好		
80	80		1884	14 東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	149.0	26.6	12.7	11.0	性質良好		
81	81		2052	14 東拾場	V452	A層1層	S-X	石製	63.7	23.7	13.7	17.1	性質良好	未製品?	
82	1		1319	14 東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	39.4	33.5	16.1	13.6	性質良好	表面再加工	
83	2		1885	14 東拾場	不明	不明	S-X	石製	147.8	12.5	7.1	13.4	性質良好		
84	3		1885	14 東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	54.7	29.3	14.7	16.1	性質良好		
85	4		2324	14 東拾場	V454	1層	S-X	石製	56.2	16.6	13.3	10.4	性質良好	アスファルト	
86	5		2516	13 東拾場	東西セブ ション	A層下層	S-X	石製	66.2	41.9	14.0	30.1	性質良好		
86	6		4747	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	39.5	36.5	14.0	24.9	性質良好		
86	7		4740	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	94.2	36.2	18.6	20.7	性質良好	お杉軸用磨石?	
86	8		4758	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	80.3	49.2	12.9	14.4	性質良好	下層方面未検出?	
86	9		4786	13 東拾場	V454	A層1層	S-200	石製	97.0	49.2	14.6	63.0	性質良好		
86	10	38	14	2394	13 東拾場	V452 ブロック	障土	S-X	石製	43.6	61.0	31.0	18.6	性質良好	
86	11		2464	14 東拾場	V453	1層	S-X	石製	54.8	46.6	11.2	27.8	性質良好		
86	12		4710	14 東拾場	不明	1層	S-X	石製	75.1	36.7	13.8	34.2	性質良好		
86	13		5087	14 東拾場	V455	1層	S-X	石製	36.5	54.9	13.0	15.2	性質良好	アスファルト	
86	14		4714	14 東拾場	V454	1層	S-X	石製	38.2	20.0	9.0	4.2	性質良好	近裏下層アスファルト	
86	15		1325	14 東拾場	V455	1層	S-X	石製	63.2	68.4	13.5	32.9	性質良好	アスファルト、丸面光表	
86	16		4715	14 東拾場	V456	1層	S-X	石製	47.9	70.0	14.7	31.6	性質良好		
86	17	38	8	1324	14 東拾場	V455	1層	S-X	石製	43.2	45.1	13.4	25.1	性質良好	アスファルト
86	18		991	14 東拾場	V456	1層	S-X	石製	39.4	63.2	15.3	30.9	性質良好	アスファルト	
86	19		2519	13 東拾場	東西セブ ション	A層下層	S-X	石製	27.5	32.6	7.2	4.8	性質良好		
86	20		4719	13 東拾場	V455 (92442内 出土)	A層1層	S-X	石製	60.4	66.5	8.5	19.7	性質良好	アスファルト、丸面光表	
86	21		4976	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	39.5	50.8	5.0	9.2	性質良好		
86	22		1433	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	90.4	62.1	10.1	20.7	性質良好	アスファルト	
86	23		4712	14 東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	43.3	73.1	8.1	18.7	性質良好	アスファルト	
86	24	38	11	6551	東拾場	V453	A層1層	S-X	石製	49.3	77.7	11.2	32.2	性質良好	
86	25		4757	14 東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	47.7	62.4	12.6	26.7	性質良好	アスファルト、丸面光表	
86	26	38	12	6514	東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	53.5	60.0	14.0	32.5	性質良好	
86	27		2310	13 東拾場	V452 セブション4	1層	S-X	石製	46.8	15.5	6.7	5.2	性質良好		
47	1		1322	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	43.2	56.7	8.9	17.9	性質良好	アスファルト、丸面光表	
47	2		1323	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	52.5	77.2	17.1	29.6	性質良好	アスファルト	
47	3		1315	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	54.2	72.2	11.0	35.6	性質良好	アスファルト	
47	4		1321	14 東拾場	V452	A層1層	S-X	石製	29.5	65.2	11.8	22.0	性質良好	アスファルト	
47	5		5082	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	49.2	52.9	10.5	11.4	性質良好		
47	6		1432	14 東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	43.1	49.6	11.2	17.8	性質良好	アスファルト	
47	7		4718	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	45.0	15.0	5.7	2.0	性質良好		
47	8		4738	13 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	55.3	17.6	9.8	3.8	性質良好		
47	9		5085	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	62.7	33.6	9.9	39.4	性質良好	丸面光表	
47	10	38	10	5086	14 東拾場	V455	A層1層	S-X	石製	86.1	33.5	16.3	32.7	性質良好	
47	11		1326	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	99.5	33.2	15.3	39.6	性質良好		
47	12		2683	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	58.0	26.6	4.2	8.5	性質良好		
47	13		2520	13 東拾場	V459 セブション4	A層1層	S-X	石製	77.9	80.0	22.0	60.8	性質良好	石製未製品?	
47	14		4977	14 東拾場	V454	A層1層	S-X	石製	68.1	55.1	9.0	18.4	性質良好	アスファルト	
47	15	38	13	7042	東拾場	V456	A層1層	S-X	石製	44.0	60.0	18.0	27.1	性質良好	

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(3)

探検年度	番号	図説番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5S-特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考	
47	16		989	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	石製	38.2	40.4	8.0	9.1	積層頁岩		
47	17		1041	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	石製	56.6	21.6	4.4	4.6	積層頁岩		
47	18		4444	14 東拾場	IV152	A層10層	5-X	石製	54.4	52.2	16.1	30.4	積層頁岩	アスファルト	
47	19		992	14 東拾場	IV153	A層10層	5-X	石製	54.2	50.8	14.1	29.5	積層頁岩		
47	20		4705	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	石製	47.7	63.2	16.4	28.7	積層頁岩	刃部欠損	
47	21		4704	14 東拾場	IV152	A層1層	5-X	石製	46.0	55.9	9.4	16.0	積層頁岩	刃部欠損	
47	22		4721	13 東拾場	IV152	A層1層	5-X	石製	22.2	33.3	5.0	3.9	積層頁岩	西出部あり	
47	23		4745	13 東拾場	IV152	A層1層	5-X	石製	47.3	40.4	13.5	31.8	積層頁岩		
47	24		4744	12 東拾場	IV155	A層下層	5-X	石製	49.7	72.4	11.7	34.7	積層頁岩	刃部欠損	
47	25		4702	13 東拾場	IV150	A層1層	5-X	石製	66.1	60.3	14.3	34.7	積層頁岩	アスファルト+積層頁岩	
47	26	38	9	6513 東拾場	IV155	1層	5-X	石製	37.0	61.0	14.9	36.9	積層頁岩		
47	27		4700	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	石製	50.5	78.5	11.4	29.4	積層頁岩	アスファルト。刃部欠損→再加工	
47	28		5213	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	石製	45.1	68.5	11.0	22.2	積層頁岩		
47	29		4709	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	石製	29.9	13.3	2.0	0.9	積層頁岩		
47	30	38	15	1431 14 東拾場	IV153	A層1下層	5-X	石製	45.0	18.0	4.0	3.0	積層頁岩		
47	31		4749	13 東拾場	IV151	A層1層	5-X	石製	63.5	22.0	7.3	6.6	木輪重積頁岩		
47	32		996	14 東拾場	不明	不明	5-X	石製	47.6	27.3	9.4	13.2	積層頁岩		
47	33		5080	東拾場	IV154 ジャンプ4	1層	5-X	石製	37.7	26.2	11.3	12.0	積層頁岩		
48	1		4720	13 東拾場	IV152 プロット6	層土	5-X	石製	39.5	55.5	16.5	25.1	積層頁岩		
48	2		4726	13 東拾場	IV156 ジャンプ4	A層2層	5-X	石製	48.1	84.8	13.7	32.6	積層頁岩		
48	3		4750	14 東拾場	VA15	A層2層	5-X	石製	53.3	83.1	14.1	46.2	積層頁岩		
48	4		4701	14 東拾場	VA15	A層2層	5-X	石製	52.5	40.3	16.2	23.3	積層頁岩	磨石	
48	5		4753	14 東拾場	IV152	A層2層	5-X	石製	31.4	42.1	8.9	8.3	積層頁岩		
48	6		5509	14 東拾場	IV152	A層2層	5-X	石製	48.8	73.4	11.7	31.7	積層頁岩	アスファルト	
48	7		4743	14 東拾場	IV153	A層2層	5-X	石製	47.4	18.4	5.5	5.4	積層頁岩		
48	8		2336	14 東拾場	IV154 ジャンプ2	不明	5-X	石製	58.1	25.7	8.5	9.5	積層頁岩		
48	9		2609	14 東拾場	不明	1層	5-X	磨製	85.0	73.4	26.7	134.2	積層頁岩		
48	10		2455	14 東拾場	VA15	1層	5-X	磨製	73.8	36.1	18.4	47.6	積層頁岩		
48	11		2461	14 東拾場	不明	1層	5-X	磨製	65.1	44.9	18.0	60.0	積層頁岩		
48	12		2453	14 東拾場	不明	1層	5-X	磨製	47.4	37.3	14.1	34.3	積層頁岩		
48	13		2450	14 東拾場	不明	1層	5-X	磨製	47.6	28.9	16.5	14.2	積層頁岩		
48	14		1347	14 東拾場	IV153	1層	5-X	磨製	46.5	25.7	8.9	11.4	積層頁岩	石製木製品?	
48	15		1949	14 東拾場	IV153	1層	5-X	磨製	41.6	18.9	7.5	3.5	積層頁岩	石製木製品?	
48	16		4708	13 東拾場	IV152	A層1層	5-X	磨製	53.1	28.1	12.1	12.6	積層頁岩	磨石のある興味深いアスファルト	
48	17		4764	13 東拾場	IV153	A層1下層	5-X	石製	121.4	12.2	5.2	11.4	積層頁岩		
48	18		6040	13 東拾場	IV151 ジャンプ4	A層1層	5-X	磨製	19.8	20.8	6.1	2.3	磨石	付帯物 石製に於て磨製。本道出土最前	
48	19		4464	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨製	127.9	13.3	6.3	11.8	木輪重積頁岩	下部磨製で欠損	
48	20		6077	東拾場	VA15	A層1層	5-X	磨製	25.5	23.1	8.7	5.4	磨石	本道出土最前	
48	21		2451	14 東拾場	IV156	A層1層	5-X	磨製	47.6	30.5	10.0	13.3	積層頁岩		
48	22		2449	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨製	41.6	30.7	11.9	21.7	積層頁岩		
48	23		2454	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨製	49.3	40.9	12.3	32.4	積層頁岩		
48	24		2460	14 東拾場	IV156	A層1層	5-X	磨製	35.6	40.2	8.5	22.6	積層頁岩		
48	25		2462	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨製	43.6	41.5	14.4	34.9	積層頁岩		
48	26	38	18	2601	13 東拾場	IV152 プロット6	層土	5-X	異形石製	68.6	16.1	10.5	7.0	積層頁岩	
48	27		2459	14 東拾場	IV152	A層10層	5-X	磨製	87.4	41.7	13.8	41.2	積層頁岩		
48	28		2211	14 東拾場	VA14	A層10層	5-X	磨製	43.0	26.2	8.6	8.8	積層頁岩		
48	29		4711	14 東拾場	IV153 ジャンプ6	A層1層	5-X	磨製	36.3	127.5	6.3	13.8	積層頁岩	アスファルト	
48	30		1093	14 東拾場	不明	不明	5-X	磨製	33.4	12.0	6.6	3.6	積層頁岩	木製品?	
48	31		2517	13 東拾場	IV155	1層	5-X	磨製	53.7	34.1	10.2	33.8	積層頁岩		
48	32		2516	14 東拾場	IV154	A層下層	5-X	二次加工断片	79.2	28.9	9.9	15.0	積層頁岩	磨石中心にアスファルト	
48	33		2456	14 東拾場	IV153	A層10層上層	5-X	磨製	44.4	25.0	6.5	5.3	積層頁岩		
48	34		2458	14 東拾場	VA15	A層10層	5-X	磨製	59.7	30.2	15.3	23.8	積層頁岩		
48	35		2459	14 東拾場	VA15	A層10層	5-X	磨製	41.3	34.1	14.8	25.8	積層頁岩		
48	36		5453	14 東拾場	VA15	A層10層	5-X	磨製	71.6	44.2	10.7	32.1	積層頁岩		
48	37		4733	13 東拾場	IV151 東倉セクシオン	A層1層	5-X	二次加工断片	44.0	53.9	28.7	103.3	積層頁岩	石製?	
48	38		6660	13 東拾場	IV154	A層1層	5-X	石製断片	135.8	135.4	9.1	113.0	積層頁岩		
48	39		2322	13 東拾場	IV151 ジャンプ4	1層	5-X	異形石製	24.3	19.1	8.2	2.3	積層頁岩	石製断片再加工?	
48	40		2320	13 東拾場	IV151 ジャンプ4	1層	5-X	磨製	42.9	48.1	10.0	13.7	積層頁岩		
49	1		4765	14 東拾場	IV156	A層1層	5-X	異形石製	17.0	8.0	3.0	0.3	磨石		
49	2	38	17	2210	14 東拾場	IV156	1層	5-X	異形石製	20.5	8.9	4.3	0.6	磨石	
49	3		4774	13 東拾場	IV153	A層1層	5-X	異形石製	4.0	8.1	4.0	0.5	磨石		
49	4	38	16	1090	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	異形石製	27.9	31.2	6.9	3.5	磨石	
49	5		4722	14 東拾場	VA15	1層	5-X	石製	44.8	36.9	36.1	42.8	積層頁岩		
49	6		4741	14 東拾場	VA15	1層	5-X	石製	42.3	70.9	26.1	23.1	積層頁岩		
49	7		4727	14 東拾場	IV153	A層1下層	5-X	石製	105.7	94.7	62.4	499.4	積層頁岩		
49	8		2602	14 東拾場	IV156	A層1層	5-X	石製	100.0	48.6	23.8	113.0	積層頁岩	異形石製	
49	9	38	19	5559	14 東拾場	IV151	A層1層	5-X	磨石断片	51.0	38.0	12.0	13.4	積層頁岩	磨石 2片接合

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(4)

探検隊番号	番号	図説番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5S-特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
09	10		4751	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	石核	62.6	29.6	26.9	94.6	性質良好		
09	11		5719	14 東拾場	VA53	A層1層	5-X	石核	146.4	57.5	20.7	227.6	性質良好		
09	12		4736	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	石核	63.0	45.7	26.0	53.6	性質良好		
09	13		4757	14 東拾場	IV105	A層1層	5-X	石核	33.3	35.4	29.2	41.2	性質良好		
09	14		4728	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	石核	65.3	46.8	45.9	94.5	性質良好		
09	15		4731	14 東拾場	VA52	A層1層	5-X	石核	65.7	56.9	26.1	133.1	性質良好		
09	16		2063	14 東拾場	IV105	A層1層	IV-204	石核(剥離石)	49.9	33.9	18.7	37.4	同上		
09	17		4742	14 東拾場	IV102	A層1層	5-X	石核	97.8	118.1	66.0	777.9	性質良好		
09	18		4729	14 東拾場	IV102	A層1層	5-X	石核	64.6	70.4	47.6	210.1	性質良好		
09	19		4735	15 東拾場	IV103	A層1層	5-X	石核(剥離石)	56.1	48.8	27.6	87.6	性質良好		
09	20		5351	14 東拾場	VA52	A層2層	5-X	石核(剥離石)	39.7	26.3	37.6	85.3	性質良好		
09	21		4739	14 東拾場	IV104	A層2層	5-X	石核	57.2	48.7	32.4	123.9	性質良好		
09	22		4738	14 東拾場	IV102	A層1層	5-X	石核	65.2	42.6	42.5	96.7	性質良好		
09	23		4730	14 東拾場	VA53	A層2層	5-X	石核	82.3	95.7	26.8	228.0	性質良好		
50	1	39	6	2262	14 東拾場	IV103	A層1下層	5-X	磨製石斧	54.9	35.4	25.0	83.4	緑色凝灰岩	刃部欠損面を再加工、側面の磨製。磨打痕。アスファルト
50	2		11945	14 東拾場	IV104-55 トランプ2	不明	5-X	磨製石斧	82.4	28.9	11.8	36.0	緑色凝灰岩		
50	3	39	4	2266	14 東拾場	IV106	A層1層	5-X	磨製石斧	90.2	42.1	20.6	121.7	凝灰岩	刃部欠損面を再加工、側面の磨製
50	4	39	1	900	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨製石斧	104.6	45.8	25.0	205.5	角閃岩	刃部欠損、再削面再加工、側面の磨製。磨打痕。
50	5	39	5	2267	14 東拾場	IV105	A層1層	5-209	磨製石斧	63.0	46.2	24.6	116.2	粗粒玄武岩	刃部欠損、側面の磨製
50	6	40	1	7062	東拾場	VA54	A層2層	5-273	磨製石斧	110.6	48.0	16.0	130.9	緑色凝灰岩	扁平な形状の磨製石斧、側面不明
50	7	39	3	7668	東拾場	IV103	A層1層	5-X	磨製石斧	99.0	49.8	28.0	232.8	緑色凝灰岩	
50	8	39	2	2264	14 東拾場	IV103	A層1層	5-X	磨製石斧	88.9	45.6	25.0	168.1	緑色凝灰岩	基部再加工、側面の磨製。磨打痕。
50	9	40	2	2265	14 東拾場	IV105	A層2層	5-X	磨製石斧	82.2	45.6	25.9	138.2	粗粒玄武岩	基部欠損、側面の磨製
50	10	39	7	2263	14 東拾場	IV103	A層1下層	5-X	磨製石斧	63.0	42.1	21.8	98.1	粗粒玄武岩	基部欠損、側面の磨製。磨打痕。
50	11		2610	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	石製品	56.6	30.0	8.8	19.2	凝灰岩	石核片一筋打	
50	12	40	3	5593	13 東拾場	IV-09 セリソウ4	A層1層	5-X	磨製石斧	30.2	17.2	7.2	7.2	緑色岩	小形磨製石斧、側面の磨製
50	13		5446	13 東拾場	IV109	A層1層	5-X	磨石	80.2	64.4	37.8	223.0	凝灰岩		
50	14		2019	14 東拾場	IV106	1層	5-X	磨石	72.7	68.2	39.8	265.8	火成岩	磨打痕	
50	15		9259	14 平塚	VK38	1層	5-X	磨石	82.3	76.5	71.1	365.6	粗粒玄武岩	報告書巻第1編第2章第1節参照	
50	16		8269	14 東拾場	IV103	1層	5-X	磨石	99.3	83.0	75.4	498.9	花崗岩		
50	17		5451	13 東拾場	IV102 ゾウソウ2	覆土	5-X	磨石	132.4	92.5	65.9	1239.2	粗粒玄武岩		
50	18		5450	13 東拾場	IV102	A層1層	5-X	磨石	199.7	87.0	76.3	941.2	安山岩		
50	19		5449	13 東拾場	IV100 セリソウ4	A層4層	5-X	磨石	101.6	71.9	53.6	362.8	安山岩		
50	20		8271	14 東拾場	IV103	A層1層	5-X	磨石	994.9	95.4	86.6	975.1	凝灰岩		
50	21		5445	13 東拾場	IV101 東西セリソウ	A層下層	5-X	磨石	72.9	67.3	47.4	303.5	安山岩		
50	22		8279	14 東拾場	IV105	A層1層	5-X	磨石	79.0	73.7	62.4	515.5	花崗岩		
50	23		8278	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨石	92.9	78.8	58.1	564.3	安山岩		
50	24		8265	14 東拾場	VA52	A層1層	5-X	磨石	77.8	61.8	52.8	346.0	粗粒玄武岩		
50	25		8270	14 東拾場	IV103	A層1層	5-X	磨石	95.3	83.8	54.7	609.2	花崗岩		
50	26		8273	14 東拾場	IV105	A層1層	5-X	磨石	100.3	87.9	55.8	758.4	安山岩		
50	27		8266	14 東拾場	VA53	A層1層	5-X	磨石	81.6	68.5	56.8	493.7	安山岩		
51	1		8275	14 東拾場	IV106	A層1層	5-X	磨石	157.0	94.3	65.6	833.3	凝灰岩		
51	2		8260	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨石	152.0	62.8	45.0	346.9	緑色凝灰岩		
51	3		8264	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨石	114.2	62.5	53.1	522.6	安山岩		
51	4		8276	14 東拾場	VA53	A層1層	5-X	磨石	128.4	85.8	68.6	1532.7	安山岩		
51	5		8263	14 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨石	134.8	85.3	61.7	1091.4	安山岩		
51	6		8263	14 東拾場	IV102	A層1層	5-X	磨石	104.2	85.7	65.1	828.3	安山岩		
51	7		8267	14 東拾場	IV103 セリソウ17	A層1層	5-X	磨石	106.2	101.8	56.2	716.6	安山岩		
51	8		8272	14 東拾場	IV102	A層1層	5-X	磨石	118.1	83.5	56.0	947.5	花崗岩		
51	9		8261	14 東拾場	VA52	A層2層	5-X	磨石	130.0	99.3	60.4	1283.9	粗粒玄武岩		
51	10		8277	14 東拾場	V103	A層1層	5-X	磨石	82.3	73.6	61.5	463.2	粗粒玄武岩		
51	11		5432	13 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨石	103.6	73.4	34.9	329.5	凝灰岩		
51	12		5435	13 東拾場	IV-09 セリソウ4	A層1層	5-X	磨石	115.7	88.6	72.4	996.2	凝灰岩	磨面	
51	13		5429	13 東拾場	IV104	A層1層	5-X	磨石	80.1	55.2	16.3	55.6	凝灰岩		
51	14		5434	IIの補遺	IV106 セリソウ5	磨石	5-X	磨石	136.5	97.3	57.3	692.8	緑色凝灰岩	報告書巻第1編第2章第1節参照	
51	15		5438	IIの補遺	IV106 セリソウ5	磨石	5-X	磨石	146.9	14.1	35.3	345.9	凝灰岩	報告書巻第1編第2章第1節参照	
51	16		5433	13 東拾場	IV102 セリソウ4	A層1層	5-X	磨石	106.0	72.2	26.6	337.2	凝灰岩		
51	17		5663	13 東拾場	IV105	A層1層	5-X	磨石	91.1	65.1	39.1	271.1	凝灰岩	石製円盤?	
51	18		5441	13 平塚	P11027	覆土	5-X	磨石	132.2	57.5	33.3	352.3	緑色凝灰岩	報告書巻第1編第2章第1節参照	
51	19		5447	13 東拾場	IV104 セリソウ4	A層1層	5-X	磨石	87.6	81.3	38.4	398.6	凝灰岩		
51	20		5438	13 東拾場	IV102 セリソウ4	A層1層	5-X	磨石	111.3	86.0	28.0	338.5	凝灰岩	黄色の帯状の欠損、磨打痕	

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(5)

青埋報 集録番号	番号	図録 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5S-特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考		
	21		5428	13 東拾場	IV154	A層2層	5-X	磨石	74.1	52.3	13.8	47.3	緑色凝灰岩	右製内製?		
	52	1	5666	14 東拾場	IV154	1層	5-X	石製門釦	52.6	56.0	13.9	42.8	緑色凝灰岩	彩色色料		
	52	2	5662	13 東拾場	IV152 ブロック2	層土	5-X	磨石	71.3	62.7	16.5	60.7	緑色凝灰岩			
	52	3	5661	13 東拾場	IV151 ブロック3	層土	5-X	磨石	82.8	77.8	16.8	117.6	緑色凝灰岩			
	52	4	5531	13 東拾場	IV151 ブロック4	層土	5-X	磨石	131.5	34.6	31.7	196.7	緑色凝灰岩			
	52	5	8309	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	118.6	65.4	32.7	305.6	緑色凝灰岩			
	52	6	8271	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	104.9	91.9	62.8	809.2	緑色凝灰岩	粗粒石灰岩		
	52	7	8274	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	63.3	77.6	55.1	336.3	緑色凝灰岩			
	52	8	3353	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	96.0	45.9	44.0	118.0	性質異常	表面微細石?		
	52	9	5454	13 東拾場	IV151 ブロック4	層土	5-X	砥石	203.5	81.9	32.1	111.4	緑色凝灰岩			
	52	10	8296	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	103.9	94.9	26.7	291.2	緑色凝灰岩			
	52	11	7565	東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	94.0	83.0	54.0	363.0	緑色凝灰岩	彩色色料、裏に磨痕あり		
	52	12	8337	14 東拾場	IV156	A層1層	5-X	磨石	110.2	69.7	26.7	270.4	緑色凝灰岩			
	52	13	8367	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	137.1	96.2	44.0	717.7	緑色凝灰岩			
	52	14	8342	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	133.3	57.3	62.7	413.2	緑色凝灰岩			
	52	15	58	7	5327	14 東拾場	IV155	1層	5-X	石製品?	164.5	86.0	80.0	1431.0	緑色凝灰岩	前後連続、表面研削で面数あり、石製品と成品か?
	52	16	8268	14 東拾場	IV152	A層2上層	5-X	磨石	124.5	86.3	55.3	602.9	緑色凝灰岩			
	52	17	8343	14 東拾場	IV155	A層2層	5-X	磨石	99.9	49.4	33.4	368.2	緑色凝灰岩			
	52	18	3016	13 東拾場	IV155 ブロック4	A層2層	5-X	石製棒?	78.0	41.3	41.0	218.6	グライツ?	断片		
	52	19	58	6	5332	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	52.0	48.0	38.0	138.3	緑色凝灰岩	
	52	20	8290	14 東拾場	IV153	A層2層	5-X	磨石	78.1	60.5	55.0	313.3	緑色凝灰岩			
	52	21	5437	13 東拾場	IV152 ブロック2	層土	5-X	磨石	112.0	68.6	28.2	325.0	緑色凝灰岩			
	52	22	5444	13 東拾場	IV152 ブロック4	A層1層	5-X	磨石	135.9	81.7	37.0	539.3	緑色凝灰岩			
	53	1	8298	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	84.4	66.1	46.2	287.0	緑色凝灰岩			
	53	2	8285	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	73.0	69.8	36.8	317.1	緑色凝灰岩			
	53	3	8299	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	103.0	88.0	27.1	273.3	緑色凝灰岩			
	53	4	8324	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	97.4	77.4	43.2	302.1	緑色凝灰岩			
	53	5	41	2	8290	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	65.3	90.0	31.0	174.1	緑色凝灰岩	
	53	6	8333	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	101.1	69.0	23.5	195.3	緑色凝灰岩			
	53	7	8281	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	111.2	85.5	26.2	439.2	緑色凝灰岩			
	53	8	8286	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	81.3	73.9	28.7	187.7	緑色凝灰岩			
	53	9	8317	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	103.3	90.5	35.0	410.3	緑色凝灰岩			
	53	10	8288	14 東拾場	IV156	A層1層	5-X	磨石	97.3	75.6	42.2	360.9	緑色凝灰岩			
	53	11	8323	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	109.2	71.6	43.8	391.6	緑色凝灰岩			
	53	12	8297	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	123.0	85.0	40.2	556.9	緑色凝灰岩			
	53	13	8284	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	100.4	57.7	47.3	338.5	緑色凝灰岩			
	53	14	8326	14 東拾場	V A32	A層1層	5-X	磨石	118.2	66.4	34.6	362.1	緑色凝灰岩			
	53	15	8328	14 東拾場	V A32	A層1層	5-X	磨石	125.9	96.4	20.5	316.9	緑色凝灰岩			
	53	16	8259	14 東拾場	V A32	A層1層	5-X	磨石	150.1	62.6	36.7	449.7	緑色凝灰岩			
	53	17	8282	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	135.7	82.1	37.4	450.0	緑色凝灰岩			
	53	18	8321	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	141.2	66.6	22.7	290.4	緑色凝灰岩			
	53	19	8320	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	127.7	75.4	27.8	339.6	緑色凝灰岩			
	53	20	8283	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	119.3	78.5	41.1	430.4	緑色凝灰岩			
	53	21	8332	14 東拾場	IV154	A層1層	5-263	磨石	149.3	129.4	64.3	1148.8	緑色凝灰岩			
	53	22	8291	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	132.1	86.9	37.3	615.1	緑色凝灰岩			
	53	23	5170	13 東拾場	IV152 ブロック4	A層1層	5-X	磨石	161.2	79.4	38.6	780.0	緑色凝灰岩	磨痕に磨打痕		
	53	24	8295	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	176.6	71.0	34.1	636.6	緑色凝灰岩			
	54	1	30	6	7500	東拾場	IV156	A層1層	5-X	磨石	64.0	52.0	51.0	158.9	緑色凝灰岩	
	54	2	8340	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	81.8	57.9	34.1	182.3	緑色凝灰岩			
	54	3	8339	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	92.0	75.3	47.6	414.2	緑色凝灰岩			
	54	4	8313	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	89.8	68.2	44.3	291.1	緑色凝灰岩			
	54	5	8335	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	115.3	54.8	41.5	263.2	緑色凝灰岩			
	54	6	8318	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	122.0	83.8	46.1	371.4	緑色凝灰岩			
	54	7	8284	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	131.0	80.0	30.2	470.2	緑色凝灰岩			
	54	8	8314	14 東拾場	IV154	A層1層	5-X	磨石	117.9	48.3	31.0	253.5	緑色凝灰岩			
	54	9	8303	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	115.9	96.8	26.2	239.1	緑色凝灰岩			
	54	10	8344	14 東拾場	V A32	A層1層	5-X	磨石	111.6	47.3	35.9	316.7	緑色凝灰岩			
	54	11	8331	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	93.9	67.5	64.1	438.0	緑色凝灰岩			
	54	12	8325	14 東拾場	IV156	A層1層	5-X	磨石	127.2	78.2	25.1	297.0	緑色凝灰岩			
	54	13	8329	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	133.0	74.9	41.7	465.0	緑色凝灰岩			
	54	14	8348	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	143.3	69.8	32.3	522.7	緑色凝灰岩			
	54	15	8345	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	150.4	64.9	38.5	325.0	緑色凝灰岩			
	54	16	8322	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	148.7	63.4	41.0	528.5	緑色凝灰岩			
	54	17	8306	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	140.5	64.4	32.3	380.8	緑色凝灰岩			
	54	18	8346	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	191.7	78.5	29.1	442.9	緑色凝灰岩			
	54	19	5325	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	156.6	42.9	35.3	335.1	緑色凝灰岩			
	54	20	8339	14 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	113.7	74.9	41.7	469.0	緑色凝灰岩			
	54	21	5142	13 東拾場	IV149	A層1層	5-X	磨石	92.6	88.9	61.5	626.3	緑色凝灰岩			
	54	22	5166	13 東拾場	IV155	A層1層	5-X	磨石	103.3	74.6	43.6	322.0	緑色凝灰岩			
	54	23	8319	14 東拾場	IV152	A層1層	5-X	磨石	102.7	75.4	37.8	372.9	緑色凝灰岩			
	54	24	8308	14 東拾場	IV152	A層1層	5-X	磨石	108.1	57.9	46.4	357.0	緑色凝灰岩			
	54	25	8334	14 東拾場	IV152	A層1層	5-X	磨石	123.0	87.2	26.0	439.2	緑色凝灰岩			
	54	26	8304	14 東拾場	IV153	A層1層	5-X	磨石	137.9	83.5	38.9	387.3	緑色凝灰岩			

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(6)

探検隊番号	番号	図説番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5区・特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考		
51	1		8316	14 東拾場	IV325	A層1下層	5-X	面石	92.8	63.8	36.6	225.9	緑色凝灰岩			
51	2		8328	14 東拾場	IV325	A層1下層	5-X	面石	108.6	65.9	50.9	372.2	凝灰岩			
51	3		8315	14 東拾場	IV325	A層1下層	5-X	面石	116.3	79.2	25.6	238.3	緑色凝灰岩			
51	4		8327	14 東拾場	IV325	A層1下層	5-X	面石	125.2	71.6	31.6	329.5	緑色凝灰岩			
51	5		8300	14 東拾場	V425	A層2層	5-X	面石	114.0	59.4	24.5	303.9	凝灰岩			
51	6		8292	14 東拾場	V425	A層2層	5-X	面石	107.9	52.3	24.3	218.8	緑色凝灰岩			
51	7		8289	14 東拾場	V425	A層2層	5-X	面石	127.0	83.4	38.1	281.8	凝灰岩			
51	8		8347	14 東拾場	IV325	A層2層	5-X	面石	141.8	60.3	52.6	632.0	緑色凝灰岩			
51	9		8287	14 東拾場	IV325	A層2層	5-X	面石	103.7	74.1	31.9	233.7	凝灰岩			
51	10		8305	14 東拾場	V425	A層2層	5-X	面石	93.4	88.8	24.3	311.4	緑色凝灰岩			
51	11		5440	13 東拾場	IV134	A層2層	5-X	面石	107.0	75.8	37.4	623.5	凝灰岩			
51	12		8312	14 東拾場	IV133	A層2層	5-X	面石	81.1	86.8	24.4	260.0	凝灰岩			
51	13		8293	14 東拾場	IV132	A層2上層	5-X	面石	81.4	86.8	24.4	291.8	緑色凝灰岩			
51	14		8341	14 東拾場	IV132	A層2上層	5-X	面石	75.4	72.5	27.8	252.0	凝灰岩			
51	15		4221	14 東拾場	V424	1層	5-X	石鏢	175.0	115.0	64.0	1360.9	河原岩	器部中に薄らした磨痕あり		
51	16	42	3	8305	13 東拾場	IV109 セリソコ	A層C層	5-X	磨削具	147.0	70.0	96.0	448.3	凝灰岩		
51	17	41	4	4161	14 東拾場	V424	1層	5-X	石鏢	214.0	199.0	84.0	1960.9	砂質凝灰岩	片面平頭。片面縁付	
51	18		4221	14 東拾場	V424	1層	5-X	石鏢	116.0	353.0	111.0	16500.0	緑色凝灰岩			
51	19		4311	14 東拾場	IV133	A層2層	5-X	石鏢	467.0	392.0	65.0	2720.0	河馬安山岩	表面磨痕		
51	20		4256	14 東拾場	IV133	A層2上層	5-X	石鏢	226.0	201.0	85.0	3080.0	河馬安山岩	新材継ぎの浅い凹部と 凹部に磨痕形成		
51	21		4073	14 東拾場	IV134	A層2層	5-X	石鏢	400.0	397.0	129.0	20200.0	松山岩			
51	22	42	1	4169	14 東拾場	V425	A層2上層	5-205	石鏢	388.0	300.0	130.0	11920.0	緑色凝灰岩		
51	23		4167	14 東拾場	IV132	A層2層	5-X	石鏢	319.0	485.0	36.0	1312.0	河馬安山岩	磨痕。7月に削れる		
51	24		4203	13 東拾場	IV109	A層7下層	5-206	石鏢	400.0	338.0	90.0	14000.0	松山岩	表面磨痕。正面赤色磨料		
51	25		4024	13 東拾場	IV101 ブコツツ	層土	5-X	石鏢	332.0	336.0	96.0	15800.0	河馬岩	両面磨削・磨痕		
51	26		4316	13 東拾場	IV109 セリソコ	A層C層	5-223	石鏢	378.0	270.0	94.0	11200.0	松山岩	正面にざらつた表面の 磨痕。両面に滑らかな 磨痕		
51	27		4059	14 東拾場	IV134	A層1層	5-X	石鏢	322.0	425.0	172.0	23020.0	松山岩	中央部より部分を中心 磨削		
51	28		4253	14 東拾場	IV132	A層1下層	5-X	石鏢	233.0	193.0	61.0	3380.0	緑色凝灰岩	扁平磨痕		
51	29		4050	13 東拾場	IV134	A層1層	5-X	石鏢	252.0	231.0	77.0	4660.0	河馬安山岩	磨痕に上り赤色化		
51	30		5207	14 東拾場	V425	A層1層	5-X	自然産	87.6	58.8	28.0	137.5	凝灰岩	石孔		
51	31		2018	14 東拾場	IV325	A層1層	5-X	自然産	59.1	43.9	33.2	110.1	メノウ	磨石		
51	32		2662	14 東拾場	IV135	A層1層	5-X	自然産	52.6	28.2	26.8	78.5	火曜岩	自然の磨痕		
51	33		4206	14 東拾場	IV325	A層1層	5-X	自然産	73.4	21.6	36.4	29.2	凝灰岩	棒状。磨削		
51	34		4265	14 東拾場	IV325	A層1層	5-X	自然産	68.3	97.4	26.7	481.3	凝灰岩	中央に凹		
51	35		2020	14 東拾場	IV325	A層1層	5-X	自然産	103.8	66.9	18.6	207.8	岩片	打ち高付		
51	36		4245	13 東拾場	IV134	A層1層	5-X	石鏢	353.2	182.2	41.7	2000.0	河馬安山岩	表面磨痕。正面赤色磨料		
51	37		4248	14 東拾場	IV135	A層1層	5-X	石鏢	278.0	296.0	68.0	6380.0	凝灰岩	中央部に若干滑り。滑 らかな磨痕。赤色磨料		
51	38	42	4	2627	15 東拾場	IV135	A層1層	5-X	自然産	122.2	93.1	25.7	417.1	凝灰岩	磨熟後の黒色部に白い 残り残りあり	
51	39		4204	14 東拾場	IV134	A層1層	5-X	石鏢	227.0	117.0	46.0	1900.0	松山岩	磨痕により赤色化		
51	40		4249	14 東拾場	IV325	A層1層	5-X	石鏢	145.0	120.0	65.0	1300.0	緑色凝灰岩			
51	41		4251	14 東拾場	IV135	A層1層	5-X	石鏢	163.0	156.0	28.0	680.0	緑色凝灰岩	河原岩の磨痕あり 河原岩の磨痕あり		
51	42	43	1	3141	14 東拾場	IV134	A層C層	特-254	石鏢	129.0	36.0	21.5	340.6	粘板岩	アスファルトで接合し ている。整理番号152 で東原集。朝原に王 字文とチーフ	
51	43	43	5	3138	14 東拾場	IV325	A層1層	5-X	石鏢	94.4	26.2	19.4	56.7	河原岩	磨痕のみ。武蔵がら ん状に2層あり	
51	44	43	2	3025	14 東拾場	IV325	A層1層	5-X	石刀	161.8	30.6	136.6	138.7	粘板岩	磨削に加工	
51	45	44	4	3147	14 東拾場	IV326	A層1層	5-203	石鏢	208.7	21.0	11.0	193.0	粘板岩	5層部	
51	46	43	3	3137	14 東拾場	IV135	A層1層	5-267	石鏢	178.0	29.0	16.0	138.0	粘板岩	朝原に三五文刻の沈 黙文	
51	47	43	4	3136	14 東拾場	IV134	A層1層	5-261	石鏢	83.6	34.3	26.0	62.2	凝灰岩	体部半軸に彫って溝。 朝原に沈黙文	
51	48	44	6	3145	14 東拾場	IV132	A層2上層	特-257	石鏢	106.0	23.8	17.0	61.6	粘板岩	朝原に三五文刻の沈 黙文	
51	49	44	1	3142	14 東拾場	IV134	A層1層	特-272	石鏢	163.2	28.0	27.0	67.9	粘板岩	先端部にのみ。鑑打 痕による文。鑑打	
51	50	41	3	3146	14 東拾場	V424	A層1層	5-X	石鏢	127.0	32.0	18.0	99.4	粘板岩	三角形の朝原。丸磨 痕	
51	51	43	6	3144	14 東拾場	IV134	A層1層	特-243	石鏢	74.6	28.0	17.0	58.4	粘板岩	朝原部のみ。文様なし	
51	52	44	7	3140	14 東拾場	IV136	A層2層	5-X	石鏢	58.4	34.5	10.4	36.3	粘板岩	朝原部のみ。文様あり	
51	53	43	5	3026	14 東拾場	IV135-54	A層1+2層	5-X	石鏢	229.0	33.0	15.0	191.7	粘板岩	粘板岩粘板岩	
51	54	43	7	816	14 東拾場	IV132	A層1層	5-X	石製品	69.6	8.8	8.6	7.2	粘板岩	朝原部のみ。文様なし	
51	55	41	3	2021	14 東拾場	V425	A層2層	特-219-20	石鏢	190.0	25.0	10.1	90.7	河原岩	粘板岩	
51	56	2	46	1	697	14 東拾場	IV136	A層1層	5-258	岩片	130.0	100.0	12.0	202.9	凝灰岩	朝原部
51	57	43	6	6165	14 東拾場	IV136	A層1層	5-257	岩片	41.3	67.2	23.5	88.8	凝灰岩	朝原部	
51	58	4	45	6106	14 東拾場	IV325	A層1層	特-262	岩片	103.0	72.0	18.0	84.1	凝灰岩	朝原部	
51	59	45	5	696 696	14 東拾場	IV451-55	A層1層	5-X	岩片	37.0	48.0	5.0	17.7	凝灰岩	朝原部	
51	60	4	45	6104	13 東拾場	IV134	A層1層	5-X	岩片	37.0	32.0	8.0	11.4	緑色凝灰岩	朝原部	
51	61	7	45	6111	14 東拾場	IV325	A層2上層	特-271	岩片	58.0	22.0	13.0	17.7	凝灰岩	朝原部	

表10 東捨場地区 石器・石製品観察表(7)

探検 層号	番号	図面 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特番	部類	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考	
60	8		4763	14 東捨場	不明	1層	S-3	打削	49.0	26.7	5.9	7.2	60.6	緑閃石		
60	9	45	4	6109	14 東捨場	IV355	S層1層	特212	打削	49.0	56.0	16.0	26.0	60.6	緑閃石	
60	10	45	2	6113	14 東捨場	IV355	S層1層	S-260	打削	42.0	45.0	11.0	26.0	60.6	緑閃石	
60	11	45	16	6114	14 東捨場	IV353	S層1層	特218	打削	61.0	52.0	17.0	29.0	60.6	砂岩凝灰岩	
61	1	46	3	6103	14 東捨場	IV352	S層1層	S-3	打削	78.0	150.0	12.0	226.5	60.6	緑閃石	
61	2	46	4	6102	14 東捨場	IV355	S層1層	S-3	打削	116.0	112.0	32.0	309.9	60.6	砂岩凝灰岩	
61	3	45	8	6110	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	打削	47.0	28.0	5.0	4.1	60.6	緑閃石	
61	4	46	2	6101	14 東捨場	IV355	S層1層	S-3	石製品	42.0	35.0	2.0	17.1	60.6	緑閃石	
61	5	47	5	1553	14 東捨場	旧行違分	1層	S-3	打削	105.0	36.7	22.1	98.3	60.6	緑閃石	
61	6	48	3	4777	13 東捨場	IV304	S層1層	S-3	石製品	91.0	57.0	23.0	144.1	60.6	緑閃石	
61	7	50	5	5652	14 東捨場	IV352	S層1層	S-3	石製品	67.0	66.0	22.0	224.9	60.6	相馬玄武岩	
61	8	47	7	896	14 東捨場	IV154-55 西側トレン シテ	不明	S-3	鎌形鏃	91.9	62.5	34.3	218.3	60.6	緑色輝石質	下部を焼削
62	1	45	3	6107	13 東捨場	IV154	S層1層	S-3	打削	45.0	75.0	7.0	36.4	60.6	緑閃石	
62	2		8051	14 東捨場	IV355	S層1層	S-3	打削	—	—	—	—	—	60.6	緑閃石	
62	3	49	6	862	14 東捨場	IV355	1層	S-3	石製内籠	26.0	18.0	7.0	3.3	60.6	緑閃石	
62	4		424	東捨場	IV355	S層1層	S-265	打削	73.0	65.0	26.0	61.4	60.6	緑閃石	縁部部分を剥離	
62	5	49	7	11974	東捨場	IV352 ポイント	層上	S-3	石製内籠	34.0	34.0	9.0	14.7	60.6	緑閃石	
62	6	4208	14 東捨場	IV354	1層	S-3	石製内籠	17.5	42.2	18.1	39.5	15.0	34.0	60.6	アイオライト	アスファルト
62	7	4194	14 東捨場	IV355	1層	S-3	石製内籠	52.0	41.0	10.1	36.4	60.6	緑閃石			
62	8	3668	14 東捨場	IV355	1層	S-3	石製内籠	68.0	30.8	14.6	30.2	60.6	緑閃石			
62	9	412	14 東捨場	IV352	1層	S-3	石製内籠	29.0	28.7	16.4	11.6	60.6	緑閃石			
62	10	410	14 東捨場	V433	1層	S-3	石製内籠	38.8	36.2	8.1	23.8	60.6	緑閃石			
62	11	4368	14 東捨場	V433	1層	S-3	石製内籠	55.6	35.4	16.4	37.9	60.6	緑閃石			
62	12	4328	14 東捨場	IV353	1層	S-3	石製内籠	52.0	60.0	17.8	68.2	60.6	緑閃石	アスファルト		
62	13	4196	14 東捨場	S層	1層	S-3	石製内籠	56.1	41.9	22.7	71.6	60.6	アイオライト			
62	14	4670	14 東捨場	V434	1層	S-3	石製内籠	89.1	49.2	9.2	53.9	60.6	緑閃石			
62	15	4241	14 東捨場	不明	1層	S-3	石製内籠	62.0	57.0	16.8	47.4	60.6	アイオライト			
62	16	4667	14 東捨場	IV314	1層	S-3	石製内籠	71.6	66.2	26.8	213.6	60.6	相馬玄武岩			
62	17	4214	14 東捨場	IV355	1層	S-3	石製内籠	72.7	67.8	26.1	64.2	60.6	相馬玄武岩	アスファルト		
62	18	4410	14 東捨場	IV353	1層	S-3	石製内籠	75.9	70.6	36.3	207.1	60.6	緑閃石			
62	19	4644	14 東捨場	V433	1層	S-3	石製内籠	59.9	46.5	17.0	45.3	60.6	緑閃石			
62	20	4243	14 東捨場	V353	1層	S-3	石製内籠	58.2	50.1	21.1	84.1	60.6	アイオライト			
62	21	4065	14 東捨場	S層	1層	S-3	石製内籠	119.1	91.8	24.3	292.8	60.6	緑閃石			
62	22	40	10	2627	東捨場	IV314	S層	S-3	石製内籠	36.0	47.0	14.0	49.4	60.6	砂岩凝灰岩	石鏃?
63	1	4638	13 東捨場	IV300	S層1層	S-3	石製内籠	66.8	44.1	7.4	17.1	60.6	頁岩			
63	2	4309	東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	54.7	53.2	15.7	39.9	60.6	緑閃石			
63	3	4507	東捨場	IV355	S層1層	S-225	石製内籠	79.3	91.8	20.8	294.5	60.6	白山岩			
63	4	4308	東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	97.4	75.7	27.5	469.5	60.6	アイオライト			
63	5	4357	14 東捨場	IV352	S層1層	S-3	石製内籠	95.5	94.2	38.9	527.0	60.6	木炭			
63	6	4659	13 東捨場	IV314	S層1層	S-3	石製内籠	67.6	61.1	15.8	86.0	60.6	頁岩			
63	7	49	4	1365	13 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	65.7	62.7	31.6	149.0	60.6	性質異常	性質異常を剥離後、縁部を磨削
63	8	49	5	7749	東捨場	IV355	S層1層	S-3	石製内籠	43.5	45.0	11.0	24.2	60.6	緑閃石	
63	9	4228	14 東捨場	V434	S層1層	S-3	石製内籠	88.6	45.1	15.0	46.7	60.6	緑閃石			
63	10	4227	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	51.2	49.6	11.5	29.2	60.6	アイオライト			
63	11	4466	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	58.7	44.3	12.7	57.0	60.6	相馬玄武岩			
63	12	4498	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	59.7	54.8	22.1	107.2	60.6	相馬玄武岩			
63	13	4506	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	79.1	70.5	19.8	132.0	60.6	緑閃石			
63	14	4205	14 東捨場	IV356	S層1層	S-3	石製内籠	66.3	60.4	19.5	105.7	60.6	緑閃石	アスファルト		
63	15	4282	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	64.7	56.7	21.5	122.3	60.6	アイオライト	アスファルト		
63	16	4223	14 東捨場	IV304	S層1層	S-3	石製内籠	53.1	48.4	7.4	25.3	60.6	緑閃石			
63	17	4288	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	44.4	40.2	19.9	53.2	60.6	緑閃石			
63	18	44	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	56.7	36.6	7.7	15.8	60.6	緑閃石			
63	19	4314	14 東捨場	IV355	S層1層	S-3	石製内籠	34.0	30.5	3.4	5.1	60.6	緑閃石			
63	20	4264	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	89.0	79.3	12.4	103.2	60.6	緑閃石			
63	21	4258	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	92.6	90.5	34.6	332.4	60.6	緑閃石			
63	22	4380	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	88.8	71.3	15.4	165.7	60.6	木炭			
63	1	4386	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	68.0	43.2	13.4	29.6	60.6	流石			
63	2	4232	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	86.2	41.4	15.1	49.2	60.6	砂岩凝灰岩	アスファルト		
64	3	4223	15 西捨場	V3-28	層上	S-3	石製内籠	45.3	46.9	16.6	55.9	60.6	北流石	アスファルト、奥部を磨削 番号1編第2章第1節参照		
64	4	4351	14 東捨場	V434	S層1層	S-3	石製内籠	52.5	48.6	15.2	64.7	60.6	北流石	アスファルト		
64	5	4358	14 東捨場	V434	S層1層	S-3	石製内籠	55.5	45.9	18.0	72.1	60.6	緑閃石	表面アスファルト		
64	6	4465	14 東捨場	IV356	S層1層	S-3	石製内籠	41.2	48.7	16.3	26.2	60.6	緑閃石			
64	7	4464	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	51.4	46.7	15.4	45.5	60.6	木炭			
64	8	4272	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	59.7	52.2	11.7	56.4	60.6	頁岩	アスファルト?		
64	9	4280	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	56.4	50.9	26.0	95.3	60.6	北流石	アスファルト		
64	10	4500	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	59.0	55.6	26.3	113.2	60.6	アイオライト			
64	11	4221	14 東捨場	IV355	S層1層	S-3	石製内籠	57.6	55.0	16.5	77.1	60.6	流石			
64	12	4209	15 東捨場	IV355	S層1層	S-3	石製内籠	61.1	56.6	21.2	119.6	60.6	相馬玄武岩	アスファルト		
64	13	4193	14 東捨場	IV304	S層1層	S-3	石製内籠	69.6	68.1	21.8	148.3	60.6	緑閃石	アスファルト		
64	14	4384	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	63.9	56.7	19.3	79.2	60.6	木炭			
64	15	4402	14 東捨場	IV353	S層1層	S-3	石製内籠	66.5	61.6	12.1	15.1	60.6	アイオライト	アスファルト		
64	16	4281	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	60.7	60.4	14.6	89.3	60.6	相馬玄武岩			
64	17	4503	14 東捨場	IV350	S層1層	S-3	石製内籠	62.1	62.1	17.7	90.8	60.6	緑閃石			
64	18	4243	14 東捨場	IV354	S層1層	S-3	石製内籠	69.4	66.0	41.5	233.1	60.6	木炭			
64	19	4206	14 東捨場	IV304	S層1層	S-3	石製内籠	66.6	66.0	33.5	123.7	60.6	木炭			
64	20	4390	14 東捨場	IV314	S層1層	S-3	石製内籠	—	—	—	117.2	60.6	緑色輝石質			



表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(8)

調査 番号	発掘 層位	図面 番号	器物番号	エリア	出土位置	層位	分類・特徴	図解	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
60	21		6246	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	71.8	68.3	31.0	192.9	褐色凝灰岩	アスファルト
61	22		6199	14 東拾	IV103	K層1層	S-X	石製内蓋	74.9	67.0	15.8	106.7	仏石	アスファルト
64	23		6217	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	81.1	76.0	24.6	230.7	仏石	
64	24		6252	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	69.1	85.4	12.9	136.1	褐色凝灰岩	
64	25		6267	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	67.8	83.5	29.5	288.0	褐色凝灰岩	
64	26		6441	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	94.6	88.4	31.3	302.3	褐色凝灰岩	
65	1		6675	14 東拾	IV103	K層1層	S-X	石製内蓋	63.1	78.2	8.6	68.4	褐色凝灰岩	
65	2		6678	14 東拾	IV106	K層1層	S-X	石製内蓋	60.7	72.3	7.7	7.4	凝灰岩	
65	3		6669	14 東拾	IV105	K層1層	S-X	石製内蓋	63.0	41.0	9.1	18.4	凝灰岩	
65	4		6238	14 東拾	IV105	K層1層	S-X	石製内蓋	56.8	47.5	11.1	31.7	凝灰岩	
65	5		6672	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	61.7	44.0	7.3	27.5	褐色凝灰岩	
65	6		6665	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	61.9	41.7	8.4	25.7	凝灰岩	
65	7		5911	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	58.3	55.0	6.4	18.1	凝灰岩	
65	8		6427	14 東拾	IV103	K層1層	S-X	石製内蓋	63.9	57.7	22.2	136.7	褐色凝灰岩	
65	9		6231	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	74.2	57.1	12.7	78.4	褐色凝灰岩	
65	10		6290	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	62.1	56.6	18.2	83.2	真石	
65	11	併	7321	東拾場	IV103 フロッパー	K層1層	S-X	石製内蓋	119.0	145.0	13.0	216.4	褐色凝灰岩	
65	12		6390	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	88.2	49.1	6.9	34.8	成沢石	
65	13		6679	14 東拾	IV106	K層1層	S-X	石製内蓋	66.8	65.7	10.2	36.2	凝灰岩	
65	14		6253	14 東拾	IV105	K層1層	S-X	石製内蓋	81.1	71.6	26.4	213.4	真石	
65	15		6369	14 東拾	IV103	K層1層	S-X	石製内蓋	71.8	52.6	18.3	41.8	凝灰岩	
65	16		5332	13 東拾場	IV104 セリノコ	K層2層	S-X	石製内蓋	62.3	34.6	8.7	19.9	凝灰岩	
65	17		5355	東拾場	VA13	K層1層	S-X	石製内蓋	66.4	79.2	14.9	61.3	褐色凝灰岩	
65	18		6279	14 東拾	IV103	K層1層	S-X	石製内蓋	58.6	55.9	25.1	61.7	褐色凝灰岩	
65	19		6278	14 東拾	IV103	K層1層	S-X	石製内蓋	53.1	56.0	18.1	63.0	アノサイト	
65	20		5250	13 東拾場	IV103	K層1層	S-X	石製内蓋	53.9	52.9	18.3	77.2	凝灰岩	
65	21	併	822	14 東拾場	VA13	K層1層	S-X	石製内蓋	61.0	39.0	14.0	31.3	凝灰岩	磁層
65	22		6331	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	60.7	33.0	9.7	14.7	褐色凝灰岩	
65	23		6475	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	52.2	46.0	11.2	44.4	褐色凝灰岩	
65	24		6415	14 東拾	IV103	K層1層	S-X	石製内蓋	58.2	49.4	21.0	102.7	褐色凝灰岩	
65	25		6414	14 東拾	IV104	K層1層	S-X	石製内蓋	62.6	60.5	26.1	135.1	褐色凝灰岩	
66	1		6343	14 東拾	不明	1層	S-X	石製内蓋	37.1	36.1	14.4	29.9	K凝定	
66	2		6259	14 東拾場	IV103-105 トランプ	不明	S-X	石製内蓋	90.0	35.0	12.3	21.8	凝灰岩	磁石
66	3		6355	14 東拾	IV102	石原層2	S-X	石製内蓋	61.2	56.7	11.9	50.1	凝灰岩	
66	4		5681	14 西拾場	VI-20	磁層中	S-X	石製内蓋	60.8	31.0	12.8	28.6	褐色凝灰岩	赤色顔料付着。報告書 巻第1編第2章第1節 参照
66	5	併	14 4729	13 東拾場	IV104	K層1層	S-X	石製品	24.0	6.5	6.0	1.4	凝灰岩	
66	6	併	13 4776	13 東拾場	IV104	K層1層	S-X	石製品	35.0	8.0	8.0	4.4	凝灰岩	
66	7		6002	14 東拾場	VA13	K層1層	S-X	石製品	141.1	71.2	60.5	1051.3	褐色凝灰岩	
66	8	併	11 7369	東拾場	IV103	K層1層	特-211	石製品	56.0	32.0	18.0	14.6	褐色凝灰岩	写玉
66	9		2576	14 東拾場	IV104	K層1層	特-216	玉素材	13.8	10.7	9.9	0.8	褐色凝灰岩	
66	10		2457	14 東拾場	IV103	K層1層	S-X	附録	41.3	37.0	16.0	17.4	伴質頁岩	
66	11	併	9 1952	14 東拾場	IV104	K層1層	S-X	玉素材	20.0	13.0	8.5	3.3	褐色凝灰岩	
66	12	併	7 7520	東拾場	IV105	K層1層	特-217	凝結産	78.0	45.9	28.0	62.8	伴質頁岩	
66	13	併	1 5561	14 東拾場	IV102	K層1層	S-X	石製品	91.7	88.2	37.0	453.2	伴質頁岩 (アノサイト)	
67	1	併	9 2579	14 東拾場	IV102	K層1層	S-X	凝結産	22.4	30.1	13.2	11.9	凝灰岩	小破片。磁石
67	2	併	8 2377	14 東拾場	IV106	K層1層	S-X	凝結産	39.5	41.9	6.9	11.7	褐色凝灰岩	
67	3	併	3 5417	14 東拾場	V433 フリップ	K層2上層	特-258	凝結産	75.9	48.6	8.2	27.4	凝灰岩	
67	4	併	2 5418	14 東拾場	IV104	K層1層	S-X	凝結産	84.3	77.4	12.9	106.0	凝灰岩	
67	5	併	1 5201	14 東拾場	IV102 フリップ	K層2上層	特-273	凝結産	76.9	57.3	24.3	123.2	凝灰岩	
67	6	併	6 5419	14 東拾場	IV102	K層2層	S-X	凝結産	67.3	76.6	13.6	120.1	凝灰岩	
67	7	併	6 5296	13 東拾場	IV104	K層1層	S-X	凝結産	77.0	42.0	40.2	29.6	凝灰岩	
67	8	併	4 7369	東拾場	IV103	K層1層	特-266	凝結産	53.0	38.0	16.0	29.2	褐色凝灰岩	
67	9	併	5 7368	東拾場	IV106	K層1層	S-X	石製品	61.0	33.0	9.0	17.1	凝灰岩	
67	10	併	4 5647	14 東拾場	IV104	K層1層	S-X	石製品	84.0	69.0	30.0	320.9	凝灰岩	
67	11	併	1 898	14 東拾場	IV103	K層1層	特-211	凝結産	56.8	73.8	17.1	69.1	凝灰岩	
67	12	併	8 899	14 東拾場	IV104	K層1層	S-X	凝結産	74.2	56.3	16.0	103.5	凝灰岩	磨みの痕の磨削
67	13	併	4 2108	東拾場	IV106	不明	S-X	凝結産	116.2	88.2	28.7	342.0	褐色凝灰岩	孔。亀裂。敲打音。ツ リイネ
70	1	併	7 5617	15 村道	IV108	磁層	S-X	石質	49.7	28.3	13.6	37.2	伴質頁岩	
70	2		1057	15 村道	IV102	磁層	S-X	石質	53.9	31.9	10.9	7.6	伴質頁岩	
70	3		5505	15 村道	IV109	磁層	S-X	石質	50.0	34.3	11.8	16.2	伴質頁岩	器体表面磨耗
70	4		11046	15 村道	IV106	磁層	S-X	石質	45.0	47.2	12.6	21.7	伴質頁岩	
70	5		11048	15 村道	IV102	磁層	S-X	石質	60.3	65.8	10.1	31.6	伴質頁岩	
70	6		1179	15 村道	IV109	磁層	S-X	附録	60.2	42.6	8.2	16.9	伴質頁岩	
70	7		2862	15 村道	IV108	磁層	S-X	附録	65.0	65.7	13.1	44.8	伴質頁岩	赤褐色製品片
70	8		1177	15 村道	IV109	磁層	S-X	附録	24.1	52.9	8.0	2.4	伴質頁岩	
70	9		1178	15 村道	IV102	磁層	S-X	附録	64.1	29.3	9.5	19.8	伴質頁岩	
70	10		1973	15 村道	IV106	不明	S-X	附録	55.2	28.2	11.0	14.2	伴質頁岩	
70	11		2000	15 村道	IV109	磁層	S-X	厚石	34.7	30.4	18.3	16.5	凝結石	
70	12	併	4 5 1307	15 村道	IV108	磁層	S-X	磨製石片	52.1	24.6	10.0	21.4	褐色凝灰岩	小形磨製石片。側面磨 不明
70	13	併	4 7732	15 村道	IV109	磁層	S-X	磨製石片	85.0	45.5	23.0	202.8	褐色凝灰岩	
70	14	併	2 7369	東拾場	IV103	K層1層	特-279	石片	63.8	54.7	12.3	107.7	褐色凝灰岩	刃部切っ先に磨み
70	15	併	1 7754	15 村道	IV102	磁層	S-X	石製内蓋	73.0	47.0	17.0	120.6	仏石	
70	16	併	1 5305	15 村道	IV106	磁層	S-X	石製内蓋	72.8	47.7	16.5	104.7	褐色凝灰岩	

表10 東拾場地区 石器・石製品観察表(9)

写真番号	番号	図面番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5区・特番	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
	17			0260	15 村道	IV107	埋層	5-X	石製円盤	75.1	73.0	22.5	134.7	段段岩	
	18	49	2	2090	15 村道	IV106	埋層	待-277	石製円盤	39.0	30.0	8.0	17.1	段段岩	
	19	50	2	2760	15 村道	IV109	1層	5-X	石製円盤	49.0	50.0	20.0	73.3	段段岩	アスファルト
	20	50	3	2746	15 村道	IV106	埋層	5-X	石製円盤	55.0	52.0	14.0	64.4	段段岩	
	21	50	4	2647	15 村道	IV106	埋層	待-278	石製品	52.0	54.0	35.0	107.3	段段岩	
	22	49	12	2061	15 村道	IV107	埋層	5-X	石製品	34.0	34.0	9.0	7.0	段段岩	部分欠損
	23	49	13	2061	15 村道	IV106	埋層	5-X	石製品	376.0	138.0	103.0	4020.0	段段岩	
		49	2	2762	東拾場	IV105	1層1層	待-263	石製品	43.0	37.0	8.0	9.0	段段岩	
		49	8	4773	14 東拾場	不明	埋層等	5-X	石製品	30.0	22.0	8.0	5.4	段段岩	
		49	10	4769	13 東拾場	IV106 V454+4	6層1層	5-X	石製品	15.0	15.0	5.0	0.7	氷結定	
写真1	1			8350	東拾場	V454	1層	5-X	圓石	112.0	62.0	35.6	217.4	段段岩	

表11 東拾場地区 石製円盤集合写真観察表(1)

写真番号	番号	整理番号	出土地点	層・備考	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質
写真1	1								
写真2	1	2017	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真3	1	217	IV103	埋層1層	119.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真4	1	113	IV103	埋層1層	119.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真5	1	202	IV103	埋層1層	119.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真6	1	120	IV103	埋層1層	136.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真7	1	202	IV103	埋層1層	109.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真8	1	26	IV103	東拾場・東1層	113.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真9	1	116	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真10	1	202	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真11	1	202	V454	埋層1層	113.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真12	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真13	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真14	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真15	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真16	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真17	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真18	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真19	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真20	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真21	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真22	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真23	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真24	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真25	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真26	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真27	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真28	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真29	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真30	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真31	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真32	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真33	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真34	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真35	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真36	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真37	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真38	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真39	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真40	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真41	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真42	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真43	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真44	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真45	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真46	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真47	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真48	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真49	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真50	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真51	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真52	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真53	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真54	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真55	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真56	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真57	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真58	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真59	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真60	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真61	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真62	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真63	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真64	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真65	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真66	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真67	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真68	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真69	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真70	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真71	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真72	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真73	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真74	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真75	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真76	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真77	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真78	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真79	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真80	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真81	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真82	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真83	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真84	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真85	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真86	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真87	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真88	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真89	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真90	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真91	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真92	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真93	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真94	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真95	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真96	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真97	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真98	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真99	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩
写真100	1	203	IV103	埋層1層	117.0	71.0	22.0	141.0	段段岩

表11 東拾場地区 石製円盤集合写真観察表(2)

写真	番号	説明	出土地点	層・備考	写真
P17					
480-1	1-101	石製円盤	1層	119.0	
480-2	1-102	石製円盤	1層	120.1	
480-3	1-103	石製円盤	1層	120.2	
480-4	1-104	石製円盤	1層	120.3	
480-5	1-105	石製円盤	1層	120.4	
480-6	1-106	石製円盤	1層	120.5	
480-7	1-107	石製円盤	1層	120.6	
480-8	1-108	石製円盤	1層	120.7	
480-9	1-109	石製円盤	1層	120.8	
480-10	1-110	石製円盤	1層	120.9	
480-11	1-111	石製円盤	1層	121.0	
480-12	1-112	石製円盤	1層	121.1	
480-13	1-113	石製円盤	1層	121.2	
480-14	1-114	石製円盤	1層	121.3	
480-15	1-115	石製円盤	1層	121.4	
480-16	1-116	石製円盤	1層	121.5	
480-17	1-117	石製円盤	1層	121.6	
480-18	1-118	石製円盤	1層	121.7	
480-19	1-119	石製円盤	1層	121.8	
480-20	1-120	石製円盤	1層	121.9	
480-21	1-121	石製円盤	1層	122.0	
480-22	1-122	石製円盤	1層	122.1	
480-23	1-123	石製円盤	1層	122.2	
480-24	1-124	石製円盤	1層	122.3	
480-25	1-125	石製円盤	1層	122.4	
480-26	1-126	石製円盤	1層	122.5	
480-27	1-127	石製円盤	1層	122.6	
480-28	1-128	石製円盤	1層	122.7	
480-29	1-129	石製円盤	1層	122.8	
480-30	1-130	石製円盤	1層	122.9	
480-31	1-131	石製円盤	1層	123.0	
480-32	1-132	石製円盤	1層	123.1	
480-33	1-133	石製円盤	1層	123.2	
480-34	1-134	石製円盤	1層	123.3	
480-35	1-135	石製円盤	1層	123.4	
480-36	1-136	石製円盤	1層	123.5	
480-37	1-137	石製円盤	1層	123.6	
480-38	1-138	石製円盤	1層	123.7	
480-39	1-139	石製円盤	1層	123.8	
480-40	1-140	石製円盤	1層	123.9	
480-41	1-141	石製円盤	1層	124.0	
480-42	1-142	石製円盤	1層	124.1	
480-43	1-143	石製円盤	1層	124.2	
480-44	1-144	石製円盤	1層	124.3	
480-45	1-145	石製円盤	1層	124.4	
480-46	1-146	石製円盤	1層	124.5	
480-47	1-147	石製円盤	1層	124.6	
480-48	1-148	石製円盤	1層	124.7	
480-49	1-149	石製円盤	1層	124.8	
480-50	1-150	石製円盤	1層	124.9	
480-51	1-151	石製円盤	1層	125.0	
480-52	1-152	石製円盤	1層	125.1	
480-53	1-153	石製円盤	1層	125.2	
480-54	1-154	石製円盤	1層	125.3	
480-55	1-155	石製円盤	1層	125.4	
480-56	1-156	石製円盤	1層	125.5	
480-57	1-157	石製円盤	1層	125.6	
480-58	1-158	石製円盤	1層	125.7	
480-59	1-159	石製円盤	1層	125.8	
480-60	1-160	石製円盤	1層	125.9	
480-61	1-161	石製円盤	1層	126.0	
480-62	1-162	石製円盤	1層	126.1	
480-63	1-163	石製円盤	1層	126.2	
480-64	1-164	石製円盤	1層	126.3	
480-65	1-165	石製円盤	1層	126.4	
480-66	1-166	石製円盤	1層	126.5	
480-67	1-167	石製円盤	1層	126.6	
480-68	1-168	石製円盤	1層	126.7	
480-69	1-169	石製円盤	1層	126.8	
480-70	1-170	石製円盤	1層	126.9	
480-71	1-171	石製円盤	1層	127.0	
480-72	1-172	石製円盤	1層	127.1	
480-73	1-173	石製円盤	1層	127.2	
480-74	1-174	石製円盤	1層	127.3	
480-75	1-175	石製円盤	1層	127.4	
480-76	1-176	石製円盤	1層	127.5	
480-77	1-177	石製円盤	1層	127.6	
480-78	1-178	石製円盤	1層	127.7	
480-79	1-179	石製円盤	1層	127.8	
480-80	1-180	石製円盤	1層	127.9	
480-81	1-181	石製円盤	1層	128.0	
480-82	1-182	石製円盤	1層	128.1	
480-83	1-183	石製円盤	1層	128.2	
480-84	1-184	石製円盤	1層	128.3	
480-85	1-185	石製円盤	1層	128.4	
480-86	1-186	石製円盤	1層	128.5	
480-87	1-187	石製円盤	1層	128.6	
480-88	1-188	石製円盤	1層	128.7	
480-89	1-189	石製円盤	1層	128.8	
480-90	1-190	石製円盤	1層	128.9	
480-91	1-191	石製円盤	1層	129.0	
480-92	1-192	石製円盤	1層	129.1	
480-93	1-193	石製円盤	1層	129.2	
480-94	1-194	石製円盤	1層	129.3	
480-95	1-195	石製円盤	1層	129.4	
480-96	1-196	石製円盤	1層	129.5	
480-97	1-197	石製円盤	1層	129.6	
480-98	1-198	石製円盤	1層	129.7	
480-99	1-199	石製円盤	1層	129.8	
480-100	1-200	石製円盤	1層	129.9	
480-101	1-201	石製円盤	1層	130.0	
480-102	1-202	石製円盤	1層	130.1	
480-103	1-203	石製円盤	1層	130.2	
480-104	1-204	石製円盤	1層	130.3	
480-105	1-205	石製円盤	1層	130.4	
480-106	1-206	石製円盤	1層	130.5	
480-107	1-207	石製円盤	1層	130.6	
480-108	1-208	石製円盤	1層	130.7	
480-109	1-209	石製円盤	1層	130.8	
480-110	1-210	石製円盤	1層	130.9	
480-111	1-211	石製円盤	1層	131.0	
480-112	1-212	石製円盤	1層	131.1	
480-113	1-213	石製円盤	1層	131.2	
480-114	1-214	石製円盤	1層	131.3	
480-115	1-215	石製円盤	1層	131.4	
480-116	1-216	石製円盤	1層	131.5	
480-117	1-217	石製円盤	1層	131.6	
480-118	1-218	石製円盤	1層	131.7	
480-119	1-219	石製円盤	1層	131.8	
480-120	1-220	石製円盤	1層	131.9	
480-121	1-221	石製円盤	1層	132.0	
480-122	1-222	石製円盤	1層	132.1	
480-123	1-223	石製円盤	1層	132.2	
480-124	1-224	石製円盤	1層	132.3	
480-125	1-225	石製円盤	1層	132.4	
480-126	1-226	石製円盤	1層	132.5	
480-127	1-227	石製円盤	1層	132.6	
480-128	1-228	石製円盤	1層	132.7	
480-129	1-229	石製円盤	1層	132.8	
480-130	1-230	石製円盤	1層	132.9	
480-131	1-231	石製円盤	1層	133.0	
480-132	1-232	石製円盤	1層	133.1	
480-133	1-233	石製円盤	1層	133.2	
480-134	1-234	石製円盤	1層	133.3	
480-135	1-235	石製円盤	1層	133.4	
480-136	1-236	石製円盤	1層	133.5	
480-137	1-237	石製円盤	1層	133.6	
480-138	1-238	石製円盤	1層	133.7	
480-139	1-239	石製円盤	1層	133.8	
480-140	1-240	石製円盤	1層	133.9	
480-141	1-241	石製円盤	1層	134.0	
480-142	1-242	石製円盤	1層	134.1	
480-143	1-243	石製円盤	1層	134.2	
480-144	1-244	石製円盤	1層	134.3	
480-145	1-245	石製円盤	1層	134.4	
480-146	1-246	石製円盤	1層	134.5	
480-147	1-247	石製円盤	1層	134.6	
480-148	1-248	石製円盤	1層	134.7	
480-149	1-249	石製円盤	1層	134.8	
480-150	1-250	石製円盤	1層	134.9	
480-151	1-251	石製円盤	1層	135.0	
480-152	1-252	石製円盤	1層	135.1	
480-153	1-253	石製円盤	1層	135.2	
480-154	1-254	石製円盤	1層	135.3	
480-155	1-255	石製円盤	1層	135.4	
480-156	1-256	石製円盤	1層	135.5	
480-157	1-257	石製円盤	1層	135.6	
480-158	1-258	石製円盤	1層	135.7	
480-159	1-259	石製円盤	1層	135.8	
480-160	1-260	石製円盤	1層	135.9	
480-161	1-261	石製円盤	1層	136.0	
480-162	1-262	石製円盤	1層	136.1	
480-163	1-263	石製円盤	1層	136.2	
480-164	1-264	石製円盤	1層	136.3	
480-165	1-265	石製円盤	1層	136.4	
480-166	1-266	石製円盤	1層	136.5	
480-167	1-267	石製円盤	1層	136.6	
480-168	1-268	石製円盤	1層	136.7	
480-169	1-269	石製円盤	1層	136.8	
480-170	1-270	石製円盤	1層	136.9	
480-171	1-271	石製円盤	1層	137.0	
480-172	1-272	石製円盤	1層	137.1	
480-173	1-273	石製円盤	1層	137.2	
480-174	1-274	石製円盤	1層	137.3	
480-175	1-275	石製円盤	1層	137.4	
480-176	1-276	石製円盤	1層	137.5	
480-177	1-277	石製円盤	1層	137.6	
480-178	1-278	石製円盤	1層	137.7	
480-179	1-279	石製円盤	1層	137.8	
480-180	1-280	石製円盤	1層	137.9	
480-181	1-281	石製円盤	1層	138.0	
480-182	1-282	石製円盤	1層	138.1	
480-183	1-283	石製円盤	1層	138.2	
480-184	1-284	石製円盤	1層	138.3	
480-185	1-285	石製円盤	1層	138.4	
480-186	1-286	石製円盤	1層	138.5	
480-187	1-287	石製円盤	1層	138.6	
480-188	1-288	石製円盤	1層	138.7	
480-189	1-289	石製円盤	1層	138.8	
480-190	1-290	石製円盤	1層	138.9	
480-191	1-291	石製円盤	1層	139.0	
480-192	1-292	石製円盤	1層	139.1	
480-193	1-293	石製円盤	1層	139.2	
480-194	1-294	石製円盤	1層	139.3	
480-195	1-295	石製円盤	1層	139.4	
480-196	1-296	石製円盤	1層	139.5	
480-197	1-297	石製円盤	1層	139.6	
480-198	1-298	石製円盤	1層	139.7	
480-199	1-299	石製円盤	1層	139.8	
480-200	1-300	石製円盤	1層	139.9	

写真	番号	説明	出土地点	層・備考	写真
P18					
480-1	1-301	石製円盤	1層	140.0	
480-2	1-302	石製円盤	1層	140.1	
480-3	1-303	石製円盤	1層	140.2	
480-4	1-304	石製円盤	1層	140.3	
480-5	1-305	石製円盤	1層	140.4	
480-6	1-306	石製円盤	1層	140.5	
480-7	1-307	石製円盤	1層	140.6	
480-8	1-308	石製円盤	1層	140.7	
480-9	1-309	石製円盤	1層	140.8	
480-10	1-310	石製円盤	1層	140.9	
480-11	1-311	石製円盤	1層	141.0	
480-12	1-312	石製円盤	1層	141.1	
480-13	1-313	石製円盤	1層	141.2	
480-14	1-314	石製円盤	1層		

表12 東捨場地区 その他遺物観察表

写真 順順	写真 番号	出土地点	部位	品類	時期	産出層・加工層・取捨等	備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	埋藏 番号
—	—	IV356 モリスン4	瓦目層	滑製品	佐野塚遺構へ取捨	埋藏層	—	—	—	—	—
—	—	IV321 IV324	瓦目上層	滑製品 轆	佐野塚遺構へ取捨	埋藏層	佐野塚遺構平代集.602± 201BP, KAR(1) 1303	(1.76)	(1.49)	—	IV40181
17	—	IV353	瓦目上層	滑製品 轆	佐野塚遺構へ取捨	埋藏層	佐野塚遺構平代集.650± 201BP, KAR(1) 1393	—	—	—	IV40182
20	24	IV353	瓦目上層	アスファルト	佐野塚遺構へ取捨	—	—	3.57	3.55	1.85	IV40183
20	25	IV356	1層	アスファルト	佐野塚遺構へ取捨	—	—	4.03	2.79	1.30	IV3811
20	26	IV355	瓦目1層	アスファルト	佐野塚遺構へ取捨	—	—	3.41	3.42	1.35	IV3810





表13 北直捨地区 土器観察表(3)

観察番号	窯場番号	窯場形状	窯場位置(段上層等)	層名	土質	時期	形制・外観文様化之	内装特徴	付随物	備考	口径(mm)	底径(mm)	高さ(mm)	観察番号
—	107	3	V106 F109 フロッグ019	T01-4層	段林	晩期	平口縁、二山突起1単位。口唇・底径なし。外面：口縁部～底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内・外面)		10.5	—	(18.8)	北東-土器 1011
—	107	4	V106 F109・F100 フロッグ019	T01-4層	林	晩期4	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内・外面)		11.0	—	(8.7)	北東-土器 1171
—	107	5	V106 F109・F100 フロッグ019	T01-4層	林	晩期3	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内・外面)		—	—	—	北東-土器 1009
—	107	6	V106 F109・F100 フロッグ019	T01-4層	段林	晩期3	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内・外面)		14.0	—	—	北東-土器 1166
—	107	7	V107 F107 フロッグ019	T01-4層	段林	晩期3	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	赤土(内・外面)		(15.6)	—	4.0	北東-土器 1170
86	107	8	V106 F109 フロッグ019	T01-4層	段林	晩期中葉	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	赤土(内・外面)		18.5	8.2	6.3	北東-土器 1172
—	107	9	V105 F105 フロッグ020	T01-4層	付付段林 →原形直置	晩期後葉 →原形直置	小窓状口縁。口唇：底径なし。外面：口縁部～底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	赤土(内・外面)	軸上：斜紋付付	21.2	—	(8.1)	北東-土器 1173
86	108	1	V145 F123 フロッグ021	T01-4層	林	晩期7-4	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内)		22.0	—	—	北東-土器 1033
—	108	2	V145 F123 フロッグ022	T01-4層	付付林	晩期2～3	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内・外面)		(11.0)	6.8	10.0	北東-土器 1235
—	108	3	V146 F120 フロッグ021	T01-4層	段林	晩期	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内)		(23.8)	8.0	(28.0)	北東-土器 1231
—	108	4	V146 F120 フロッグ021	T01-4層	段林	晩期	外面：底径なし。底径に口縁溝文。底径：平直。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	赤土(内・外面)		—	7.0	(7.0)	北東-土器 1260
86	108	5	V146 F121 フロッグ021	T01-4層	段林	晩期4	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	赤土(内・外面)		(23.0)	—	—	北東-土器 1231
86	108	6	V146 F121 フロッグ021	T01-4層	林	晩期	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	赤土(内・外面)		26.5	8.8	25.5	北東-土器 1261
86	108	7	V145 F122・F123 フロッグ021	T01-4層	段林	晩期	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内)赤土(内)赤土(内)		28.0	8.5	31.1	北東-土器 1270
—	109	1	V146 F126 フロッグ021	T01-4層	段林中葉少	晩期	小窓状口縁。口唇：底径なし。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内)		(25.0)	—	(12.7)	北東-土器 1233
—	109	2	V146 F126 フロッグ021	T01-4層	段林	晩期	平口縁、口唇1単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 口唇：頂部7.5単位。外面：口縁部2.5単位。底径に口縁溝文。 文なし。口縁部～底径上半平。	平口。平口縁。	炭化物(内・外面)		(22.0)	—	(13.0)	北東-土器 1238





表13 北東拾得地区 土器観察表(5)

調査 番号	調査 区画	調査 番号	出土 層位(土層番号)	層名	形状	時期	形制・外観文様など	内装特徴	付着物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
87	110	10	V106 F012 F027a030	T01-1層	浅鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：横位文様2条。体部上1/4、底沿：面取。底沿：面取なし。外面：横位文様2条。体部上1/4、底沿：面取。	古文字	赤土・赤面	胎土分層017	12.2	4.0	4.2	北東-土器 1013
88	111	1	V105 F025 F027a031	T01-3層	浅鉢	前期弥生	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	30.4	—	—	北東-土器 1017
88	111	2	V105 F032 F027a031	T01-3層	浅鉢	晩古	平口鉢。口沿：部分的に面取。外面：口縁部・体部上半に横文。	古文字	赤土・赤面・赤土	胎土：砂層	30.0	—	—	北東-土器 1014
88	111	3	V105 F032 F027a031	T01-3層	浅鉢	晩古	小形平口鉢。口沿：面取なし。外面：横文(面取)・横位文様2条。底沿：面取。底沿：面取なし。外面：横位文様2条。底沿：面取。	古文字	赤土	胎土：砂層	17.5	6.6	10.3	北東-土器 1025
88	111	4	V106 F033 F027a031	T01-1層	浅鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	19.0	6.8	10.3	北東-土器 1041
88	111	5	V106 F031・F032 F027a031	T01-1層	浅鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。	古文字	赤土	胎土：砂層	30.0	—	127.0	北東-土器 1045
—	111	6	V105 F030・F031 F027a031	T01-1層	鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	114.0	—	106.3	北東-土器 1049
88	112	1	V106 F036 F027a032	T01-1層	浅鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	30.0	7.0	22.2	北東-土器 1075
89	112	2	V105 F030・F031 F027a031	T01-1層	浅鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	32.0	—	—	北東-土器 1091
—	112	3	V106 F030 F027a031	T01-1層	鉢	前期弥生	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	9.2 49.0(分本)	—	106.3	北東-土器 1095
89	112	4	V105 F032・F036 F027a031	T01-1層	浅鉢	前期中葉	小形平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	17.2	6.0	20.6	北東-土器 1317
—	112	5	V106 F029 F027a031	T01-1層	付付鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：横文(面取)。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	10.5	6.2	9.3	北東-土器 1336
89	112	6	V104 F030 F027a031	T01-1層	鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	10.0	5.6	13.9	北東-土器 1335
—	112	7	V105 F032 F027a031	T01-1層	鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：口縁部・体部上半に横文。	古文字	赤土	胎土：砂層	32.0	—	321.2	北東-土器 1346
—	113	1	V104 F030 F027a033	T00-2層	鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：横文(面取)。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	32.0	—	—	北東-土器 1405
—	113	2	V104 F030 F027a033	T00-2層	鉢	晩古	平口鉢。口沿：面取なし。外面：横文(面取)。底沿：面取	古文字	赤土	胎土：砂層	30.0	—	—	北東-土器 1407

表13 北草治埜地区 土器観察表(6)

器種 番号	器種 名称	器種 番号	器種 名称	時期	形状・外観と文様化之	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	器種 番号
—	113	3	V144 F0386 フロッタ0033	林	横型1a 器底は、前部縮み出し、斜形足子。	平口縁、口唇に直交し、外面に直交溝2条、底面に土名瓦敷文と項目列で半周状の土名瓦敷文を抽出。此溝文、且口に直線、外面。	灰化物(内/外面)	器口内径:3cm 器口一断面。	12.4(0)	—	—	北草-土器 1411
—	113	4	V145 F0387 フロッタ0033	付付林	横型1a 器底は浅型	外面: 体部下半部に直線文、底面: 台、斜形足子。 平口縁、口唇: 直交(平型)、外面: 体部以直線文、口縁部平子。	灰化物(外面) 内面土名	器口内径:3cm 器口一断面。	—	6.2	(8.5)	北草-土器 1412
—	113	5	V144 F0388 フロッタ0033	器	横型1a 器底は浅型	平口縁、口唇: 直交(平型)、外面: 体部以直線文、口縁部平子。	—	—	9.5	—	12.0	北草-土器 1421
—	113	6	V146 F0389 フロッタ0033	器口	横型2	平口縁、口唇: 直交なし、外面: 横交溝2条、底面に土名瓦敷文と項目列で半周状の土名瓦敷文を抽出。此溝文、且口に直線、外面。	—	—	(7.0)	9.6	(10.0)	北草-土器 1422
—	113	7	V147 F0407 フロッタ0036	付付林	横型3	口唇に直線的に土名瓦敷文の飾りを入れた直線的な口縁部を抽出。外面: 横交溝3条、上記2条の直線的に同じ目立、又横断直交なし、体部以直線文、直線と平子。底面: 台(直交)土名瓦敷文と直線と平子(直交)を抽出。直線部と平子。	土名瓦	—	(15.0)	8.4	6.8	北草-土器 1431
—	113	8	V146 F0409 フロッタ0036	付付林	横型3	口唇に直線的な直線文、口唇に直線的に直線と平子、横交溝2条、又横断直交なし、体部以直線文、直線と平子。底面: 台(土名瓦敷文と直線と平子)を抽出。直線と平子。	外面土名	—	12.0	6.0	6.6	北草-土器 1432
89	113	9	V146 F0410 フロッタ0037	付付林	横型2~4	外面: 体部下半部に直線文、直線と平子。底面: 台(横断直交文、直線と平子)を抽出。直線と平子。	灰化物(内/外面)	—	—	2.5	(12.0)	北草-土器 1433
89	113	10	V146 F0411 フロッタ0037	成林	横型3	平口縁、口唇: 直交なし、外面: 直線部に項目列1条(項目は土名瓦敷一断面、項目の短辺に平行して下部直線部を抽出)。横交溝1条、直線と土名瓦敷文、斜形縮み出し、斜形足子等、底面直線と平子、直線直線と土名瓦敷文。	—	—	(17.0)	4.7	3.5	北草-土器 1434
—	113	11	V146 F0412 フロッタ0037	成林	横型3	平口縁、口唇: 直交なし、外面: 直線部に項目列1条、直線と土名瓦敷文、斜形縮み出し、斜形足子等、底面直線と平子、直線直線と土名瓦敷文。	直線(内/外面)	—	18.4	8.0	6.0	北草-土器 1436
—	113	12	V146 F0413 フロッタ0037	成林	横型3	平口縁、口唇: 直交なし、外面: 直線部に項目列1条、横交溝1条、直線と土名瓦敷文、斜形縮み出し、斜形足子等、底面直線と平子、直線直線と土名瓦敷文。	—	—	(18.0)	(4.5)	3.6	北草-土器 1438
89	111	1	V136 F0414 フロッタ0038	林	横型中層	平口縁、口唇: 直交(平型)、外面: 直線部縮み出し直線文。	灰化物(内/外面)	—	—	—	—	北草-土器 1439
—	111	2	V146 F0420 フロッタ0038	林	横型3	平口縁、口唇: 直交(平型)、口唇: 直交した直線部文、横交溝1条、直線と土名瓦敷文、斜形縮み出し、斜形足子等、底面直線と平子、直線直線と土名瓦敷文。	灰化物(内/外面)	—	(20.0)	—	(12.0)	北草-土器 1440
—	111	3	V146 F0421 フロッタ0038	林	横型	平口縁、口唇: 直交なし、外面: 直線部縮み出し直線と平子(直交)。	灰化物(内面) 外面土名	—	18.8	6.0	11.7	北草-土器 1447
—	111	4	V147 F0422 フロッタ0038	成林	横型	平口縁、口唇: 直交なし、外面: 直線部縮み出し直線と平子(直交)。	内/外面土名	—	(20.0)	9.0	20.8	北草-土器 1451
89	111	5	V147 F0423 フロッタ0038	成林	横型	平口縁、口唇: 直交なし、外面: 直線部縮み出し直線と平子(直交)。	外面土名	器口内径:10cm 平口縁部直線と直線と平子(直交)。	30.0	(8.2)	35.5	北草-土器 1456
—	111	6	V147 F0424 フロッタ0038	器口	横型後層	平口縁、口唇: 直交なし、外面: 直線部縮み出し直線と平子(直交)。	灰化物(平型)	器口内径:8cm	(8.0)	2.5	12.5	北草-土器 1458

















表13 北東拾地区 土器観察表(14)

調査 番号	調査 区画	調査 層位	発見 層位	器名	形状	時期	特徴・外観文様化之点	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	器種 番号
—	129	7	V16 F062 F070	底鉢 F070・F062 F070・F062	注口 底鉢1a小 底鉢1a中	前期	平口鉢、口筒に垂直な外縁、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ		注口内径0.8cm	15.27	8.6	11.2	北東-土器 1011
—	129	8	V17 F063 F070	底鉢 F063・F062 F070・F062	底鉢7-1 底鉢7-1 底鉢7-1	前期	外縁：口筒に動物頭部を模した突起がつけ、裏面A1面縁、通小孔。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ			—	—	—	北東-土器 1334
94	130	1	V17 F066 F065	底鉢 F066・F065 F066・F065	底鉢 底鉢7-4 底鉢7-4	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		31.2	7.4	31.5	北東-土器 9057
—	130	2	V17 F069 F066	底鉢 F069・F066 F069・F066	底鉢6 底鉢6	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	内・外底穴ス		26.0	9.4	26.7	北東-土器 5071
—	130	3	V17 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢8 底鉢8	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		17.8	—	—	北東-土器 9073
—	130	4	V17 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢9 底鉢9	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(内・外)		—	—	—	北東-土器 5028
—	130	5	V17 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢10 底鉢10	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		—	—	—	北東-土器 9075
94	130	6	V17 F066 F065	底鉢 F066・F065 F066・F065	底鉢7-4 底鉢7-4	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	小底少量欠		9.2	—	—	北東-土器 5071
—	130	7	V17 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢9 底鉢9	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		—	—	—	北東-土器 5065
—	130	8	V17 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	注口 底鉢7-4	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		—	—	—	北東-土器 5028
94	131	1	V18 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢7-4 底鉢7-4	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		—	—	—	北東-土器 5064
94	131	2	V18 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢7-4 底鉢7-4	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	内・外底穴ス 軸上分厚0.6		26.0	8.6	18.4	北東-土器 5064
—	131	3	V18 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	注口 底鉢7-4	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	軸上分厚0.6		—	—	—	北東-土器 5069
94	131	4	V17 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	注口 底鉢7-4	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(内・外)		—	—	—	北東-土器 5022
—	132	1	V18 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢中要 底鉢中要	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		—	—	—	北東-土器 5010
—	132	2	V18 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢中 底鉢中	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		—	—	—	北東-土器 5332
—	132	3	V18 F070 F065	底鉢 F070・F065 F070・F065	底鉢10 底鉢10	前期	平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。 平口鉢、口筒に突起(平口)、外縁に口縁部を有する。注口穴部、底径：丸底。	ナナ	底鉢(小)		—	—	—	北東-土器 1011





表13 北東治場地区 土器観察表(17)

調査 番号	調査 原簿 番号	調査 番号	出土場所 (出土層等)	原形	時期	形状・外観と種名	内装特徴	付属物	備考	口径 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	調査 番号
96	136	6	V145	TH-4→4(層)段林	弥生	平口鉢、外面：紅褐色。	ナナ		和土・和灰 貫通土器 東岳土器	—	—	—	北東-土器 15171
—	136	7	V14・X16	TH-9→9(層)不明	弥生	外面：不明。	ナナ		和土土器	—	—	—	北東-土器 15178
96	136	8	V1・R15・46	層位不明	弥生	外面：紅褐色。	ナナ		東岳土器	—	—	—	北東-土器 15176
—	136	9	V1・R15・46	TH-9→9(層)不明	弥生	外面：紅褐色。	ナナ		東岳土器	—	—	—	北東-土器 15200
—	136	10	V17	層位不明	弥生	外面：不明。	ナナ		和土土器	—	—	—	北東-土器 15208
—	136	12	V112	TH-4,5→3→4(層)段林	土師古	平口鉢、口唇：後部段付により口縁部が肥厚。肥厚部に溝状に横走し、前後部のみ土師古付。外面：和土細器付。黒文地盤文(山)	ナナ		和土土器	—	—	—	北東-土器 15210
—	136	13	V112	TH-4,5→3→4(層)段林	土師古	段状口縁、口唇：後部段付により口縁部が肥厚。外面：段状部のみ現。和土細器付。黒文地盤文。	ナナ	同化物(内)		—	—	—	北東-土器 15211

表14 北東捨場地区 土製品観察表

図面番号	写真番号	分類	出土位置	部位	取上番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	器物番号
95-1	137-1	土塊	トレンチ2-9	不明	特-807	66	121	3	17.6	中央、側面、口縁面。	北東土-807
95-2	137-2	土塊	トレンチ1	口縁・口縁	特-807	160	130	2	22.1	中央、平たい土塊、側面、口縁。	北東土-807a
95-3	137-3	土塊	トレンチ3-1	口縁・口縁	特-8012	62	143	21.2	中央、不足部自然変色、底打痕。	北東土-802a	
95-4	137-4	土塊	トレンチ1-9	口縁	特-801	128	130	30	26.1	中央、側面、口縁、側面部にアスファルト付着。	北東土-802b
95-5	137-5	土塊	5-6-3ト	口縁・口縁	土塊-X	128	67	16	35.6	中央、ワッパ土塊、断面欠け、底面上。	北東土-802c
95-6	137-6	土塊	V166 1.5-6ト	口縁・口縁	特-8032	103	97	4	111.8	中央、裏表土塊、右側面、傾斜底面縁部破折。	北東土-8018
95-7	137-7	土塊	V166	口縁・口縁	特-8028	128	15	14	6.9	側面、上部欠損、穿孔、底面自然。	北東土-8038
95-8	137-8	土製品	プロトタイプ804内	口縁・口縁	特-8033	16	16	12	3.8	側面、口縁に欠け、非色顔料付着。	北東土-8039
95-9	137-9	土製品	V166	口縁・口縁	特-8029	20	16	15	4.7	側面、口縁・側面の浅溝、全面非色顔料付着。	北東土-8035
95-10	137-10	土塊	V166	口縁・口縁	特-8021	60	130	17	20.8	中央、側面、口縁面。	北東土-8036
95-11	137-11	土塊	5-6-1-3-7	口縁・口縁	特-8031	122	150	26	122.5	中央、右側面、口縁面、着色顔料付着、アスファルト付着。	北東土-8019
95-12	137-12	土製品	V167	口縁・口縁	特-8003	20	31	20	29.0	側面、側面縁部、口縁面、非色顔料付着。	北東土-8040
95-13	137-13	土塊	トレンチ2内	口縁・口縁	特-8002	36	31	10	17.4	口縁上表面、非色顔料付着。	北東土-8006
95-14	137-14	土塊	V167	口縁・口縁	特-8034	21	29	17	8.2	側面。	北東土-8032
95-15	137-15	土製品	写135-4上部内土塊	口縁・口縁	特-8031	15	14	11	1.2	傾斜底面、非色顔料付着、写135-4上部内土塊上。	北東土-8035
95-16	137-16	土製品	プロトタイプ802-1	口縁・口縁	特-8016	120	6	6	1.5	側面、片方だけ欠損、側面。	北東土-8037
95-17	137-17	着色土塊	V167 5-6-1-3-3	口縁・口縁	特-8015	41	20	17	12.7	側面。	北東土-8017
95-18	137-18	土塊	V167	口縁・口縁	特-8030	97	145	25	150.2	中央、側面、側面、非色顔料の上面に非色顔料付着。	北東土-8020
95-19	137-19	着色土塊	V167 5-6-1-2-5	口縁・口縁	特-8	67	52	6	116.4	側面、側面。	北東土-8013
95-20	137-20	着色土塊	トレンチ2-7	口縁・口縁	特-X	41	43	26	19.1	側面、側面。	北東土-8016
95-21	137-21	着色土塊	5-6-1-2-5-9	口縁・口縁	特-X	21	12	11	2.3	側面、側面。	北東土-8011
95-22	137-22	着色土製品	V166	口縁・口縁	特-X	42	50	8	19.0	側面土塊の側面、口縁面、スス灰化付着。	北東土-8027
95-23	137-23	着色土製品	V167	口縁・口縁	特-X	45	47	7	15.5	側面土塊の側面、口縁面、スス灰化付着。	北東土-8028
95-24	137-24	着色土製品	V167	口縁・口縁	特-X	40	42	5	13.6	側面土塊の側面、口縁面、スス灰化付着。	北東土-8010
95-25	138-25	着色土製品	5-6-1-3-7	口縁・口縁	特-X	35	35	4	8.5	側面土塊の側面、口縁面、スス灰化付着。	北東土-8030
95-26	137-26	着色土製品	プロトタイプ802-6	口縁・口縁	特-8017	28	50	4	12.8	側面土塊の側面、口縁面、スス灰化付着。	北東土-8032
95-27	137-27	着色土製品	V165	口縁・口縁	特-8	31	33	6	8.1	側面土塊の側面、口縁面、スス灰化付着。	北東土-8017
-	136-31	着色土塊	V166	不明	-	6.1	6.0	3.6	36.0	側面。	北東土-8029
-	139-44	土塊	側面	不明	-	46	30	25	14.4	側面、側面。	北東土-8025

表15 北東捨場地区 ミニチュア・小型土器総覧表

編年 番号	瓦器 図号	図様	出土位置	部位	取上番号	口縁 (cm)	底径 (cm)	高さ (cm)	時期	備考	管理番号
86-28	138-28	柱口	Ⅰ区 E-3(6)	Ⅱ1-5-3-4層	P-X	-	5.0	4.5	晩期前葉	外面：平足、底面：平足、内面：平足、注口部欠損。	北東土-4002
86-29	138-29	柱口	Ⅰ区 E-6(1)	Ⅱ1-4層	特4033	3.3	2.0	4.5	晩期前葉	外面：平口縁、平足、底面：丸底平高、内面：平足、注口部欠損。	北東土-4003
86-30	138-30	鉢	V146 プロット0100	Ⅱ1-4層	P309	10.0	6.9	6.3	晩期前葉	外面：平口縁、外面：頸部と体部の間に横位式溝2条、体部：加溝溝1条、底面：内面：平足、口縁に注溝1条、横溝、最大径10.0cm。	北東土-4009
86-31	138-31	鉢	V146	Ⅱ1-2-2-4層	P146	9.7	6.1	9.4	晩期	外面：平口縁、外面：口縁部～底面に注溝2条、底面：平足、内面：平足、横溝。	北東土-4003
86-32	138-32	付付鉢	V147 プロット0177	Ⅱ3-2層	P873	16.2	2.8	7.7	晩期前葉	外面：小袋状口縁、外面：口縁部～体部に注溝2条、底面：高足、内面：平足、横溝。	北東土-4002
86-33	138-33	笠鉢	V147 プロット0115	Ⅱ2-5層	P161	16.0	-	10.2	晩期前葉	外面：平口縁に3条の條より多量に横溝し、且中央部縁の縁部を有し、外面：横位注溝1条、横溝外縁（口部取付口）、体部に注溝2条、内面：平足、底面に注溝1条、灰化物（内・外面）、横溝。	北東土-4008
86-34	138-34	付付鉢	V145	Ⅱ1-5-4層	P-X	8.8	5.0	7.6	晩期B	外面：高袋口縁に横溝、底面：山形底平高、外面：内面：2文文、横位注溝溝、体部に注溝2条、底面：注、台座：平足、内面：平足。	北東土-4004
86-35	138-35	付付鉢	V146 プロット0352-3	Ⅱ1-4層	P457	13.7	5.5	8.0	晩期B	外面：平口縁、一山形底平高1単位、口唇：横溝字の単位、口縁部取付（内）、外面：体部に注溝2条、底面：注、台座：平足、内面：平足。	北東土-4006
86-36	-	付付鉢	ト1-1-2	Ⅱ1-3層	P-X	4.0	4.0	5.8	晩期	外面：平口縁、高文。	北東土-4011
86-37	138-37	鉢	V146 プロット0066	Ⅱ1-4層	P611	7.4	2.9	3.5	晩期前葉～ 晩期	外面：平口縁、口唇：高足平高、外面：口縁部～底面平足、底面：平足、内面：平足、横溝。	北東土-4014
86-38	138-38	蓋	V145 プロット015	Ⅱ1-4層	P437	6.7	4.5	7.2	晩期B	外面：縦長底平高1単位（口部取付口）、体部～底面に注溝1条、体部～底面に注溝2条、底面：丸底、内面：平足、灰化物（内面）、胎土：粘土質・横位注溝、横溝、最大径6.6cm。	北東土-4015
86-39	138-39	蓋	V147-V148	Ⅱ1-2-1-7層	P-X	3.8	3.8	7.4	晩期前葉	外面：縦長底平高1単位（口部取付口）、体部～底面に注溝1条、体部～底面に注溝2条、底面：丸底、内面：平足、横溝、最大径7.5cm。	北東土-4019
86-40	138-40	蓋	V146 プロット0100	Ⅱ1-4層	P412	6.7	5.0	8.6	晩期B	外面：平口縁、外面：頸部と体部の間に横位注溝2条、縦長底平高（口部取付口）、横溝、底面：丸底、内面：平足、底面：丸底平高、内面：平足、横溝、最大径10.5cm、胎土：粘り付。	北東土-4015
86-41	138-41	蓋	ベムト2-4 1E-6	Ⅱ3-2層	P4716	-	5.3	16.4	晩期B1～16	外面：横位注溝（横溝）、体部～底面に注溝2条、底面：平足、内面：平足、胎土：細砂多量、横溝、最大径7.5cm。	北東土-4022
86-42	138-42	蓋	V146 プロット0152-1	Ⅱ1-4層	P456-2	-	2.5	17.4	晩期B	外面：頸部と体部の間に横位注溝2条、体部平高～底面平高、底面：高足、内面：平足、外面に赤色顔料付着、最大径6.6cm。	北東土-4027
86-43	138-43	柱口	V147 プロット0064	Ⅱ3-2-4層	P630	8.0	3.5	9.6	晩期	外面：平口縁、外面：平足、注口欠損、底面：丸底、内面：平足、口部欠損、横溝。	北東土-4001

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(1)

発掘 順番号	番号	図面 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考	
130	3		4894	14 北東	31055	遺層	5-X	石蓋	(139.4)	135.9	16.0	(242.4)	灰山岩	報告書備考1編第2号 第1巻巻頭	
130	1		1081	14 北東	V815	遺層	5-X	石蓋	26.3	9.7	4.3	10.80	珉質頁岩	経熟表面剥落	
130	2		1083	14 北東	V816	TR1-6層	5-X	石蓋	24.6	14.7	4.9	1.2	珉質頁岩		
130	3		1521	14 北東	V815	TR1-5層	5-X	石蓋	21.9	10.8	4.9	1.2	珉質頁岩	アスファルト	
130	4		1548	14 北東	TR1-7層	TR1-6層	5-X	石蓋	(15.4)	9.9	3.8	16.90	珉質頁岩	アスファルト、基部に灰	
130	5		1087	14 北東	V166	TR1-4層	5-X	石蓋	27.4	15.5	4.0	1.5	珉質頁岩		
130	6		1088	14 北東	TR1-7層	TR1-6層	5-X	石蓋	40.7	12.1	6.2	2.3	珉質頁岩		
130	7		1530	14 北東	TR1-7層	TR1-5層	5-X	石蓋	23.3	14.0	4.7	2.0	珉質頁岩	アスファルト	
130	8	100	6	1091	14 北東	V816	TR1-4層	5-X	石蓋	25.6	16.5	4.2	2.0	珉質頁岩	アスファルト
130	9		1530	14 北東	TR1-5層 1-3-5 プロット 4053-2	TR1-5層	5-X	石蓋	25.2	13.0	4.9	1.2	玉髄	アスファルト	
130	10		1348	14 北東	TR1-7層	TR1-5層	5-X	石蓋	(29.9)	11.9	4.0	(1.5)	玉髄	アスファルト	
130	11		1522	14 北東	TR1-7層	TR1-5層	5-X	石蓋	35.0	13.0	4.4	1.4	珉質頁岩	アスファルト	
130	12		1526	14 北東	TR1-5層 1-3-5 プロット 4053-1	TR1-5層	5-4274	石蓋	37.4	16.9	6.7	3.3	珉質頁岩		
130	13		1550	14 北東	TR1-5層 1-3-5 プロット 4053-2	TR1-5層	5-4276	石蓋	(37.5)	14.7	5.0	(1.9)	珉質頁岩	アスファルト	
130	14	100	1	1090	14 北東	TR1-5層 1-2-3 プロット 4053-1	5-X	石蓋	37.9	16.6	5.3	2.0	珉質頁岩		
130	15		1525	14 北東	TR1-7層 プロット 4073	TR1-4層	5-4320	石蓋	39.4	17.9	5.3	2.4	珉質頁岩	表面加工少ない	
130	16		1080	14 北東	TR1-7層	TR1-7層	5-X	石蓋	22.0	11.3	3.2	0.6	珉質頁岩		
130	17		1527	14 北東	TR1-7層	TR1-6層	5-X	石蓋	26.8	4.1	4.1	0.9	珉質頁岩	アスファルト	
130	18		1081	14 北東	TR1-7層	TR1-5層	5-X	石蓋	33.1	14.6	5.0	2.3	珉質頁岩		
130	19		1430	14 北東	TR1-7層	TR1-6層	5-X	石蓋	46.8	12.6	5.3	2.2	珉質頁岩	アスファルト	
130	20		1541	14 北東	TR1-9層	TR1-6層	5-X	石蓋	29.3	9.4	4.7	1.0	珉質頁岩	アスファルト	
130	21		1079	14 北東	V816	TR1-5層	5-X	石蓋	24.1	16.8	9.4	6.8	珉質頁岩	アスファルト	
130	22		4889	14 北東	TR1-5層	TR1-5層	5-X	石蓋	17.7	14.4	4.5	1.6	珉質頁岩	アスファルト	
130	23		1528	14 北東	V817	TR1-5層	5-X	石蓋	34.1	15.0	4.5	1.4	珉質頁岩	アスファルト	
130	24		1533	14 北東	V166	TR2-1層 2-2層	5-X	石蓋	39.3	16.0	5.5	1.9	珉質頁岩	アスファルト	
130	25		1527	14 北東	TR1-7層	TR2-2層	5-X	石蓋	33.1	10.9	4.3	1.2	珉質頁岩	アスファルト	
130	26	100	3	1541	14 北東	V817	TR2-3層	5-X	石蓋	19.5	10.9	4.0	0.6	珉質頁岩	アスファルト
130	27		1535	14 北東	V166	TR2-3層	5-X	石蓋	31.1	14.2	4.8	1.3	珉質頁岩	アスファルト	
130	28		1549	14 北東	TR1-7層	TR2-3層	5-8012	石蓋	(32.1)	15.0	5.2	(1.5)	珉質頁岩	アスファルト、基部に灰	
130	29		4360	14 北東	TR1-7層	TR2-3層	5-X	石蓋	35.1	18.9	4.1	2.2	珉質頁岩	アスファルト	
130	30		1086	14 北東	V817	TR2-3層	5-X	石蓋	37.2	13.0	4.7	1.4	珉質頁岩		
130	31		1534	14 北東	TR1-7層	TR2-3層	5-X	石蓋	27.1	8.2	3.6	0.7	珉質頁岩	アスファルト	
130	32		1531	14 北東	V816	TR3-3層	5-4221	石蓋	23.4	10.4	4.1	0.7	珉質頁岩		
130	33		1082	14 北東	V817	TR3-4層	5-X	石蓋	29.7	9.6	4.9	1.0	珉質頁岩		
130	34		1523	14 北東	V816	TR3-4層	5-X	石蓋	29.3	9.7	5.1	1.2	珉質頁岩	アスファルト	
130	35		248	14 北東	TR1-7層	TR3-4層	5-X	石蓋	32.3	10.6	4.6	0.7	珉質頁岩		
130	36		1543	14 北東	TR1-7層	TR3-4層	5-X	石蓋	22.8	8.9	4.9	0.8	珉質頁岩	アスファルト	
130	37		1529	14 北東	V147	TR3-4層	5-X	石蓋	33.9	13.4	4.1	1.7	珉質頁岩	アスファルト、基部に灰	
130	38		4490	14 北東	V148	TR3-4層	5-X	石蓋	30.0	14.1	4.0	1.9	珉質頁岩		
130	39	100	4	1543	14 北東	V147	TR3-4層	5-X	石蓋	19.0	10.9	4.0	0.4	珉質頁岩	アスファルト
130	40		1547	14 北東	V147	TR3-4層	5-X	石蓋	24.8	10.2	5.2	1.0	珉質頁岩	アスファルト	
130	41	100	2	1540	14 北東	V817	TR3-4層	5-X	石蓋	43.2	22.6	5.2	3.8	珉質頁岩	アスファルト
130	42		1096	14 北東	TR1-7層	TR3-4層	5-X	石蓋	33.8	13.1	10.2	2.6	珉質頁岩		
130	43		1532	14 北東	V818	TR3-4層	5-X	石蓋	36.0	14.1	4.1	1.4	珉質頁岩	アスファルト	
130	44		1542	14 北東	TR1-7層	TR3-4層	5-X	石蓋	33.3	11.7	5.0	1.3	珉質頁岩	アスファルト	
130	45		1095	14 北東	V166	TR3-4層	5-X	石蓋	30.8	20.9	9.0	5.1	珉質頁岩		
130	46		1080	14 北東	V815	TR3-4層	5-X	石蓋	35.0	27.0	7.2	4.9	珉質頁岩	灰製品	
130	47		1349	14 北東	TR1-7層	TR3-4層	5-X	石蓋	21.8	14.8	4.9	0.9	珉質頁岩	先端から剥離	
130	48		1536	14 北東	TR1-7層	TR3-4層	5-X	石蓋	30.4	13.0	3.9	1.1	珉質頁岩	アスファルト	
130	49		1538	14 北東	TR1-7層	TR3-4層	5-X	石蓋	30.3	10.7	4.8	1.1	珉質頁岩	アスファルト	
130	50		1546	14 北東	TR1-7層	不明	5-X	石蓋	36.3	11.6	5.8	1.6	珉質頁岩	アスファルト	
130	51		1073	14 北東	TR1-7層	TR1-5層	5-X	石蓋	37.1	(7.5)	5.5	(1.7)	珉質頁岩	形状により一側縁に灰	
130	52		1076	14 北東	TR1-7層	TR1-5層	5-X	石蓋	54.9	10.9	8.1	4.0	珉質頁岩		
130	53		1954	14 北東	TR1-7層	TR1-5層	5-X	石蓋	36.0	11.5	6.6	2.0	珉質頁岩		
130	54		1077	14 北東	TR1-7層	TR1-5層	5-X	石蓋	46.2	16.7	7.8	3.7	珉質頁岩		



表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(2)

発掘層 番号	調査 番号	図面 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	分類・特徴	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考
130	55			1073	14 北東捨	トランプ4	TR1-08	S-X	石製	68.0	16.1	6.6	3.9	柱質頁岩	
130	56			1455	14 北東捨	トランプ4	TR1-08	S-X	石製	59.9	20.9	10.5	6.3	柱質頁岩	
130	57			1465	14 北東捨	V806	TR1-08	S-X	石製	96.0	11.4	7.5	3.8	柱質頁岩	
130	58			1496	14 北東捨	トランプ4 トランプ5	TR1-08	S-X	石製	41.1	8.2	6.9	3.1	柱質頁岩	
130	59			1551	14 北東捨	トランプ4 2ホ-9 ブロック 8064	TR2-08	S-8025	石製	41.1	18.4	5.7	2.1	柱質頁岩	
130	60			1074	14 北東捨	V186	TR2-10	S-X	石製	47.9	12.4	8.0	3.5	柱質頁岩	
130	61			1072	14 北東捨	V1575-1	TR2-09	S-X	石製	41.8	13.2	8.1	3.2	柱質頁岩	
130	62			1552	14 北東捨	トランプ4	TR2-09	S-4303	石製	98.6	30.3	12.7	7.1	柱質頁岩	
130	63			1416	14 北東捨	V6-32-5	TR3-05	S-X	石製	55.3	21.3	16.3	5.3	柱質頁岩	
130	64	100	8	1078	14 北東捨	V1313-1	TR3-09	S-X	石製	41.8	14.9	6.3	3.3	柱質頁岩	
130	65			1085	14 北東捨	V145	TR3-26	S-X	石製	56.7	8.6	5.6	1.2	柱質頁岩	
130	66			1071	14 北東捨	V143	TR3-26	S-X	石製	56.9	10.1	5.6	2.2	柱質頁岩	
130	67			1089	14 北東捨	V145	TR3-19	S-X	石製	42.7	9.2	4.1	1.4	柱質頁岩	
130	68	100	7	1094	14 北東捨	V143	TR3-26	S-X	石製	41.8	15.9	5.2	2.6	柱質頁岩	アスファルト、左側磨削
130	69			1061	14 北東捨	V139 トランプ5	TR3-26	S-X	石製	47.2	23.5	9.4	8.4	柱質頁岩	削跡?
130	70			1402	14 北東捨	V186	TR1-4 V-23	S-X	石製	43.6	50.1	16.8	20.8	柱質頁岩	
130	71			1098	14 北東捨	V6-1 トランプ8	TR1-1 1-3	S-X	石製	75.6	32.9	11.2	28.3	柱質頁岩	
130	72			1439	(14 北東捨)	ブロック 1013-1 V-11-2	TR1-08	S-4270	石製	103.4	44.1	18.9	66.1	柱質頁岩	
130	73	100	5	1099	14 北東捨	トランプ4	TR1-6 1-7	S-X	石製	96.1	29.8	16.1	47.8	柱質頁岩	
130	74			1554	14 北東捨	不明	TR3-26	S-X	石製	105.0	36.7	22.1	73.5	柱質頁岩	正面面中央部磨削、鋭 角状
130	75			2727	14 北東捨	V143	TR3-26	S-X	石製	46.8	37.8	15.4	42.9	柱質頁岩	
140	1			1420	14 北東捨	V145	1層	S-X	石製	41.6	27.5	12.3	16.6	柱質頁岩	
140	2			1063	14 北東捨	トランプ4	1層	S-X	石製	45.7	58.5	18.4	25.1	柱質頁岩	アスファルト、刃部欠損
140	3			1431	14 北東捨	不明	TR1-1 1-3	S-X	石製	53.9	73.5	17.2	39.1	柱質頁岩	
140	4			1061	14 北東捨	V6-1 1-5	TR1-1 1-3	S-X	石製	49.1	46.4	12.4	16.5	柱質頁岩	アスファルト
140	5			1437	14 北東捨	V6-1 1-5	TR1-1 1-3	S-X	石製	56.5	43.1	16.5	14.1	柱質頁岩	
140	6			1059	14 北東捨	V6-1 1-5	TR1-1 1-3	S-X	石製	56.2	64.5	8.2	11.6	柱質頁岩	アスファルト、刃部欠損
140	7			1433	14 北東捨	V186 ブロック 8032-1	TR1-08	S-0139	石製	53.6	57.6	13.5	34.2	柱質頁岩	アスファルト
140	8			1412	14 北東捨	V143	TR1-08	S-X	石製	56.8	26.4	9.3	7.1	柱質頁岩	
140	9			1430	14 北東捨	V6-1 1-2	TR1-1 1-4	S-X	石製	64.7	30.2	15.1	21.0	柱質頁岩	
140	10			1426	14 北東捨	V6-1 1-4	TR1-1 1-4	S-X	石製	31.4	57.9	16.4	9.6	柱質頁岩	
140	11			1427	14 北東捨	V6-1 1-4	TR1-1 1-4	S-X	石製	44.0	51.8	9.8	23.5	柱質頁岩	
140	12			1423	14 北東捨	トランプ4	TR1-4 1-7	S-X	石製	43.6	48.9	10.0	13.7	柱質頁岩	
140	13			1411	14 北東捨	ブロック 1072	TR1-08	S-0314	石製	60.2	56.8	8.4	14.9	柱質頁岩	
140	14			1407	14 北東捨	ブロック 1072	TR1-08	S-X	石製	55.2	73.6	14.0	36.3	柱質頁岩	
140	15			1424	14 北東捨	ブロック 1072	TR1-08	S-0315	石製	60.5	35.6	6.7	14.1	柱質頁岩	
140	16			1327	14 北東捨	トランプ4 1ホ-5 ブロック 8032-1	TR1-08	S-X	石製	59.0	23.6	5.6	5.1	柱質頁岩	
140	17			1415	14 北東捨	トランプ4	TR1-5 1-7	S-X	石製	52.2	24.6	9.1	6.7	柱質頁岩	
140	18			1404	14 北東捨	トランプ4	TR1-5 1-7	S-X	石製	60.6	66.5	11.2	14.9	柱質頁岩	
140	19			1417	14 北東捨	V187	TR1-5 1-6	S-X	石製	59.2	66.9	6.6	10.2	柱質頁岩	
140	20			1440	14 北東捨	V187	TR1-5 1-6	S-X	石製	62.3	41.6	12.2	22.3	柱質頁岩	
140	21			1441	14 北東捨	V187	TR1-5 1-6	S-X	石製	25.6	52.0	6.8	5.9	柱質頁岩	
140	22			1425	14 北東捨	トランプ4 ブロック 1073	TR1-6 1-7	S-0321	石製	74.4	28.7	9.2	12.3	柱質頁岩	
140	23			1438	14 北東捨	V186	TR1-6 1-8	S-X	石製	50.0	24.1	4.9	1.6	柱質頁岩	
140	24			1401	14 北東捨	V186	TR1-7 1-9	S-X	石製	41.8	30.3	11.0	9.7	柱質頁岩	
140	25			1058	14 北東捨	トランプ4 ブロック 1061	TR2-10	S-X	石製	36.2	47.3	9.7	13.3	柱質頁岩	アスファルト
140	26			1400	14 北東捨	トランプ4	TR2-10	S-X	石製	96.9	67.4	11.8	30.7	柱質頁岩	
140	27			1061	14 北東捨	トランプ4	TR2-10	S-X	石製	60.0	54.2	15.2	31.4	柱質頁岩	アスファルト、左側面 磨削加工

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(3)

発掘調査番号	番号	図録番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特命	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考	
140	28		4109	14 北東捨	トロンプ1 4	TR-1層	S-X	石鏃	44.0	19.4	6.9	3.1	珸質頁岩		
140	29		4116	14 北東捨	5-4-124	TR-1層	S-X	石鏃	85.3	28.8	10.6	18.8	珸質頁岩	素材確認調査?石刀状 削片	
140	30		4113	14 北東捨	V47 5-4-12.5	TR-2層	S-X	石鏃	73.8	33.4	16.7	25.4	珸質頁岩		
140	31		1067	14 北東捨	トロンプ4	TR-5層	S-X	石鏃	57.8	36.4	12.1	29.8	珸質頁岩	アスファルト	
140	32	100	1068	14 北東捨	V415	TR-5層	S-X	石鏃	54.0	44.5	11.0	30.7	珸質頁岩		
140	33		1069	14 北東捨	V186	TR-5層	S-X	石鏃	47.7	30.7	11.5	14.7	珸質頁岩	アスファルト	
140	34		4126	14 北東捨	V186	TR-2層	S-X	石鏃	55.5	50.5	12.0	20.2	珸質頁岩		
140	35		4127	14 北東捨	V186	TR-2層	S-X	石鏃	52.4	40.2	9.1	7.8	珸質頁岩		
141	1		1060	14 北東捨	V47	TR-5層	S-X	石鏃	55.3	52.4	8.9	13.7	珸質頁岩		
141	2		4129	14 北東捨	V186	TR-5層	S-X	石鏃	43.2	50.7	9.0	14.2	珸質頁岩	刀部欠失	
141	3		4110	14 北東捨	トロンプ1 ブロック 409	TR-5層	S-X	石鏃	40.5	31.2	8.1	8.2	珸質頁岩	石鏃?	
141	4		4134	14 北東捨	ペルト 3	TR-5層	S-X	石鏃	29.3	62.5	8.3	7.7	珸質頁岩		
141	5		1062	14 北東捨	ペルト 3	TR-5層	S-X	石鏃	32.1	61.6	12.9	12.9	珸質頁岩	アスファルト	
141	6		4103	14 北東捨	V186 ブロック 605	TR-4層	S-X	石鏃	45.0	28.7	6.0	5.1	珸質頁岩		
141	7		4132	14 北東捨	トロンプ 2-5-1	TR-4層	S-X	石鏃	50.0	79.1	12.5	29.3	珸質頁岩		
141	8		4111	14 北東捨	5-4-12.5	TR-5層	S-X	石鏃	57.2	33.4	6.3	3.8	珸質頁岩		
141	9		4124	14 北東捨	V186	TR-5層	S-X	石鏃	50.4	55.5	10.5	11.2	珸質頁岩		
141	10		1065	14 北東捨	V145	5-1層	S-X	石鏃	42.6	57.7	13.0	40.7	珸質頁岩	アスファルト、好景 表、凸出部有	
141	11		4121	14 北東捨	5-4-12.1	TR-5層	S-X	石鏃	47.0	61.8	12.1	29.6	珸質頁岩		
141	12		4108	14 北東捨	V415	TR-5層	S-X	石鏃	41.4	15.7	5.1	2.3	珸質頁岩		
141	13	100	1066	14 北東捨	トロンプ4	TR-5層	S-X	石鏃	49.1	49.7	13.3	31.9	珸質頁岩	アスファルト	
141	14		4122	14 北東捨	V144	TR-5層	S-X	石鏃	52.2	50.1	7.0	13.4	珸質頁岩		
141	15		1070	14 北東捨	トロンプ4	不明	S-X	石鏃	46.8	42.2	14.4	39.9	珸質頁岩	アスファルト	
141	16		4118	14 北東捨	トロンプ 7-2層	TR-5層	S-X	石鏃	48.5	24.3	11.4	10.4	珸質頁岩		
141	17		4106	14 北東捨	V41 ブロック 4035	確認層	S-472	石鏃	106.8	53.2	33.6	316.0	珸質頁岩	二次加工削片?	
141	18		4152	14 北東捨	トロンプ1	TR-5層	S-X	石鏃	43.7	20.7	7.0	7.5	珸質頁岩	石鏃未熟品?	
141	19		1097	14 北東捨	5-4-114	TR-4層	S-X	石鏃	58.2	26.8	9.0	12.8	珸質頁岩		
141	20		1419	14 北東捨	V47 5-4-12.5	TR-5層	S-X	石鏃	41.2	24.7	9.1	7.0	珸質頁岩	石鏃?	
141	21		1351	14 北東捨	V147 5-4-12.5	TR-5層	S-X	石鏃	37.2	20.3	10.1	5.5	珸質頁岩		
141	22		1093	14 北東捨	V147 5-4-12.5	TR-5層	S-X	石鏃	44.5	21.4	4.0	3.4	珸質頁岩		
141	23	100	11	4047	14 北東捨	V146	1層	黒石石鏃	28.4	37.4	10.5	8.4	燧石	本居出葉路	
141	24		4163	14 北東捨	V466	2層	S-X	石鏃(燧石)	44.1	76.5	27.1	96.8	珸質頁岩		
141	25		2471	14 北東捨	V415	2層	S-X	石鏃	40.2	20.0	10.3	13.3	珸質頁岩		
141	26		4449	14 北東捨	V414	1-1層	S-X	石鏃	93.6	77.7	36.8	321.5	珸質頁岩		
141	27	100	13	3501	14 北東捨	TR-1層	S-X	黒石石鏃	30.3	49.0	11.1	7.1	珸質頁岩		
141	28		4159	14 北東捨	V186	TR-1層	S-X	石鏃	46.0	37.7	42.3	303.9	珸質頁岩		
141	29		2098	14 北東捨	V186	TR-1層	S-X	黒石石鏃	155.5	114.3	16.40	17.0	珸質頁岩		
141	30		5728	14 北東捨	トロンプ7 ブロック 36	TR-1層	S-X	石鏃	169.2	126.8	42.1	700.5	珸質頁岩		
141	31	100	15	1056	14 北東捨	トロンプ2	TR-1層	S-X	黒石石鏃	28.0	22.0	6.3	2.4	燧石	
141	32		4152	14 北東捨	トロンプ4	TR-1層	S-X	石鏃(燧石)	55.5	42.2	31.4	112.3	珸質頁岩		
141	33		4447	14 北東捨	ペルト 1-9	TR-1層	S-X	石鏃(燧石)	48.2	53.9	42.1	113.9	珸質頁岩		
141	34		4157	14 北東捨	V47	TR-1.5 -2層	S-X	石鏃(燧石)	90.4	65.8	86.3	329.7	珸質頁岩		
142	1		4485	14 北東捨	V186	TR-1.5 層	S-X	石鏃	78.6	86.4	37.4	224.7	珸質頁岩		
142	2		4154	14 北東捨	V146	TR-1.5 層	S-X	石鏃	102.3	66.4	47.9	274.1	珸質頁岩		
142	3		4460	14 北東捨	V186	TR-1.5 層	S-X	石鏃	61.1	51.4	27.8	76.7	珸質頁岩		
142	4		2165	14 北東捨	V146	TR-1層	S-X	石鏃	82.9	50.6	21.1	43.2	珸質頁岩		
142	5		3713	14 北東捨	トロンプ2	TR-5層	S-X	石鏃	162.0	56.5	52.4	437.3	珸質頁岩		
142	6		3726	14 北東捨	トロンプ2	TR-5層	S-X	石鏃	122.5	64.9	54.2	359.0	珸質頁岩		
142	7		2467	14 北東捨	5-4-114	TR-5層	S-X	石鏃	71.5	46.3	1.9	37.0	珸質頁岩		
142	8		4155	14 北東捨	V467	TR-5層 2層	S-X	石鏃(燧石)	51.5	48.1	40.0	191.3	珸質頁岩		
142	9		4153	14 北東捨	トロンプ4	TR-5層	S-X	石鏃	54.0	54.4	38.9	90.9	珸質頁岩		
142	10		2468	14 北東捨	V186	TR-6層 1-7層	S-X	石鏃	47.0	32.3	15.3	32.1	珸質頁岩		
142	11		3181	14 北東捨	トロンプ2	TR-5層	S-X	黒石石鏃	30.8	8.7	3.0	1.3	燧石		
142	12		2166	14 北東捨	5-4-12.9 2層	TR-1層	S-X	石鏃	48.7	37.1	11.8	21.4	珸質頁岩		
142	13		4448	14 北東捨	トロンプ 2-5-1	TR-1層	S-X	石鏃	56.8	53.1	36.2	114.4	珸質頁岩		

表16 北東拾場地区 石器・石製品観察表(4)

発掘 層番号	番号	図録 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	分類・特徴	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考
142	14		2172	14 北東拾場	V6-32-4	TR2-2層	S-3	石鏃		83.1	61.8	19.6	68.9	性質良好	
142	15		4151	14 北東拾場	V166	TR2-2層	S-3	石鏃		51.3	57.2	40.3	94.9	性質良好	
142	16		4149	14 北東拾場	V117	TR2-2層	S-3	石鏃		36.6	35.2	14.0	15.5	性質良好	石鏃?
142	17		2170	14 北東拾場	VK17	TR2-2層	S-3	石鏃		33.3	26.1	6.1	6.2	性質良好	
142	18		4162	14 北東拾場	トロンプ9	TR2-2層	S-3	石鏃		15.0	19.2	8.6	2.2	剛硬石	厚薄不均山脈、両縁石鏃
142	19	309	14	2827	14 北東拾場	トロンプ11	TR2-2層	S-3	磨石(石鏃)	23.1	16.9	4.0	1.3	性質良好	
142	20	306	12	1100	14 北東拾場	トロンプ27	TR2-4層	S-3	磨石(石鏃)	39.5	94.0	16.0	41.4	石鏃	
142	21		2174	14 北東拾場	VK18	TR3-1層	S-3	石鏃		36.7	42.4	17.6	49.8	性質良好	
142	22		2169	14 北東拾場	V6-32-8	TR2-1(ウ1) U1(石鏃)	S-3	石鏃		66.5	30.9	16.4	48.4	性質良好	
142	23		2051	14 北東拾場	VK19	TR2-1層	S-3	粗面磨石		43.2	73.2	54.0	476.4	不動	
143	1		2175	14 北東拾場	VK19	TR3-4層	S-3	石鏃		66.9	30.6	17.1	33.1	性質良好	
143	2		4161	14 北東拾場	V147	TR3-3層	S-3	石鏃		64.5	56.8	35.2	207.3	性質良好	
143	3		4166	14 北東拾場	V147	TR3-4層	S-3	石鏃		125.1	102.4	68.5	717.5	性質良好	
143	4		2173	14 北東拾場	VK17	TR3-4層	S-3	石鏃		40.3	34.0	14.9	34.2	性質良好	
143	5		2220	14 北東拾場	トロンプ9	TR3-4層	S-3	石鏃		108.7	70.9	15.2	132.0	性質良好	
143	6		2175	14 北東拾場	VK18	TR3-4層	S-3	石鏃		94.1	67.4	16.7	79.7	性質良好	
143	7		4167	14 北東拾場	トロンプ12	TR3-4層	S-3	石鏃		33.0	25.5	22.5	23.2	剛硬石	
143	8		41152	14 北東拾場	VK15	TR3-2層	S-3	石鏃(片)		71.8	66.3	42.5	295.5	性質良好	石鏃?動?
143	9		4125	14 北東拾場	VK16	TR3-2層	S-3	石鏃(片)		74.9	72.3	54.5	321.5	性質良好	
143	10		4150	14 北東拾場	VK15	TR3-2層	S-3	石鏃(片)		79.2	56.7	45.7	338.0	性質良好	
143	11		4181	14 北東拾場	VK15	TR3-2層	S-3	銅片		22.6	17.6	6.1	2.4	剛硬石	木造出来品動
143	12		1892	14 北東拾場	V145	TR3-2層	S-3	石鏃		31.9	23.9	5.0	3.2	性質良好	石鏃(木製品?)
143	13		4158	14 北東拾場	VK15	TR3-2層	S-3	石鏃(片)		56.0	36.4	53.0	104.2	性質良好	
143	14		4161	14 北東拾場	V145	TR3-2層	S-3	石鏃		46.3	48.9	33.3	213.2	性質良好	
143	15		4179	日川原平(北)番 北	V98 V6-4-3-1	20層	S-3	石鏃		35.7	31.5	22.0	23.7	剛硬石	木造出来品動 報告書補遺1編第1章第 1節参照
143	16		4156	14 北東拾場	V144	編置層 TR3-2層	S-3	粗面磨石		37.1	47.4	33.1	118.3	不動	
143	17		4164	14 北東拾場	トロンプ27	TR3-2層	S-3	石鏃		85.3	41.5	28.4	131.0	性質良好	
143	18		4165	14 北東拾場	トロンプ9	TR3-2層	S-3	石鏃		71.0	55.5	30.2	161.1	性質良好	
143	19		3709	14 北東拾場	トロンプ6	TR3-2層	S-3	石鏃		158.9	45.0	40.2	266.1	性質良好	磨石(石鏃?)
143	20	394	2	2209	14 北東拾場	トロンプ9	TR1-4層	S-3	磨製石鏃	142.2	54.1	20.0	200.5	磨製石鏃	局部的に研磨痕あり、磨 面様々不明
143	21	394	1	1555	14 北東拾場	VK15	TR3-2層	S-3	磨製石鏃	91.6	46.8	22.1	118.4	長山岩	磨面不明
143	22	304	3	2268	14 北東拾場	V147 V6-32-5 の重層	TR2-1層	S-1396	磨製石鏃	47.8	38.0	22.7	119.5	褐色石	北東-102、基部欠損、磨 面の様々不明、磨製痕
143	23		4180	14 北東拾場	V6-32-7	TR2-1層	S-3	石鏃		35.5	47.3	20.2	31.6	剛硬石	木造出来品動
144	1	301	1	A	14 北東拾場	割片集中1	不明	特4005	接合資料	141.1	131.5	101.9	846.7	性質良好	割片・石鏃3点接合 A~D上同一個体
145	1	303	3	B	14 北東拾場	割片集中1	不明	特4005	接合資料	110.7	115.9	86.2	243.7	性質良好	割片7点接合 A~D上同一個体
145	2	303	4	C	14 北東拾場	割片集中1	不明	特4005	接合資料	91.7	88.3	36.3	118.3	性質良好	割片3点接合、正面・ 側面・背面
146	1	303	5	D	14 北東拾場	割片集中1	不明	特4005	接合資料	94.9	65.2	26.1	107.4	性質良好	割片3点接合、正面・ 側面・背面
147	1	E-1			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	接合資料	57.3	57.8	32.4	64.6	性質良好	割片2点接合 A~D上同一個体
147	2	E-2			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	接合資料	52.5	84.4	23.1	71.1	性質良好	割片2点接合 A~D上同一個体
147	3	E-3			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	接合資料	47.5	51.1	18.0	17.6	性質良好	割片2点接合 A~D上同一個体
147	4	E-3			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	接合資料	56.1	49.5	19.0	36.6	性質良好	割片2点接合 A~D上同一個体
147	5	E-4			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	接合資料	62.4	53.8	18.7	33.1	性質良好	割片6点接合 A~D上同一個体
147	6	E-2			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	56.2	46.6	22.5	71.2	性質良好	A~D上同一個体
147	7	E-2			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	53.7	41.9	12.6	42.1	性質良好	A~D上同一個体
147	8	E-3			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	51.3	45.8	12.9	39.9	性質良好	A~D上同一個体
147	9	E-8			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	45.3	70.5	18.5	35.2	性質良好	A~D上同一個体
147	10	E-3			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	56.6	65.9	12.9	36.6	性質良好	A~D上同一個体
147	11	E-10			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	61.4	33.8	16.2	31.6	性質良好	A~D上同一個体
147	12	E-3			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	36.3	40.2	9.0	11.9	性質良好	A~D上同一個体
147	13	E-6			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	68.1	28.5	11.2	15.7	性質良好	A~D上同一個体
147	14	E-1			北東拾場	割片集中1	不明	S-3	割片	58.9	68.2	12.5	33.6	性質良好	A~D上同一個体
148	1	8039	14	北東拾場	トロンプ11(ウ1)~3層	TR1-3層	S-8	磨石		84.6	68.1	48.6	395.9	木鏃定	
148	2	8052	14	北東拾場	VK13	1層	S-3	磨石		93.4	78.4	51.9	642.9	花崗岩	
148	3	8050	14	北東拾場	V145	2層	S-3	磨石		90.2	80.3	58.6	461.5	木鏃定	
148	4	3728	14	北東拾場	V145	5-1層	S-3	磨石		111.2	97.9	62.5	698.9	磁器片	
148	5		8031	14 北東拾場	V6-32-5 ブロック 8050	TR2-10層	S-4230	磨石		127.2	99.3	68.2	1206.1	磁器片	赤色顔料
148	6		8016	14 北東拾場	V98 ブロック 1062-2	TR1-4層	S-4294	磨石		122.0	92.3	61.6	1018.3	長山岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(5)

発掘調査番号	番号	図例番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	石質	備考
148	7		8060	14 北東捨	トレンチ 1-3-5 ブロック 0059	III-1-5層	S-8039	礫石	194.0	101.9	68.3	134.3	花崗岩	
148	8		8046	14 北東捨	V1.06	III-1-3層	S-X	礫石	103.9	85.7	66.3	845.9	緑色凝灰岩	
148	9		8044	14 北東捨	V.066	III-1-6層	S-X	礫石	107.0	78.4	32.3	711.5	粗粒玄武岩	
148	10		8020	14 北東捨	トレンチ4	III-5- 1-7層	S-X	礫石	116.3	84.6	68.8	1007.4	火山岩	
148	11		8019	14 北東捨	べら1-1-1	III-5- 1-8層	S-X	礫石	108.1	97.4	71.5	1074.5	粗粒玄武岩	
148	12		8044	14 北東捨	べら1-1-3	III-5- 1-8層	S-X	礫石	99.2	78.5	54.9	632.2	花崗岩	
148	13		8018	14 北東捨	トレンチ 1-10 ブロック 0036	III-1層	S-8190	礫石	75.7	56.4	38.5	302.9	花崗岩	赤色顔料
148	14		8012	14 北東捨	トレンチ 1-10	III-1- 1-7層	S-X	礫石	128.9	63.3	43.3	405.7	凝灰岩	
148	15		8045	14 北東捨	トレンチ 2-6-7	III-2-1層	S-X	礫石	79.1	64.8	34.3	323.7	粗粒玄武岩	
148	16		8026	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-1層	S-X	礫石	103.7	95.7	66.7	924.5	凝灰岩	
148	17		8034	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-2層	S-X	礫石	73.5	69.5	63.7	321.8	凝灰岩	
148	18		8048	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-2層	S-X	礫石	99.8	73.8	63.3	454.2	花崗岩	
148	19		8038	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-2層	S-X	礫石	86.7	80.9	67.1	730.1	粗粒玄武岩	
148	20		8028	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-2層	S-X	礫石	143.0	83.9	54.1	1059.3	凝灰岩	
148	21		8042	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-2層	S-X	礫石	123.8	81.1	67.6	908.3	凝灰岩	
148	22		8043	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-2層	S-X	礫石	85.7	84.9	58.2	737.3	花崗岩	
148	23		8037	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-2層	S-X	礫石	93.6	64.7	54.8	331.2	花崗岩	
148	24		8022	14 北東捨	V.047 べら1-2.5 ブロック 0046	III-2-7層	S-X	礫石	96.2	77.2	55.2	597.0	花崗岩	
149	1		8035	14 北東捨	ブロック 0020	III-1層	S-8096	礫石	74.0	62.3	62.5	438.0	木炭炭	
149	2		8029	14 北東捨	V.046 べら1-2.5	III-2-2層	S-X	礫石	120.2	86.9	68.2	1069.3	凝灰岩	
149	3		8011	14 北東捨	べら1-2.5.9	III-2-4層	S-X	礫石	99.7	84.7	54.3	520.2	凝灰岩	
149	4		8047	14 北東捨	べら1-2.5.6 ブロック 0020	III-2-9層	S-8241	礫石	121.6	119.2	88.4	908.3	花崗岩	
149	5		5747	14 北東捨	V.047 べら1-2.5.6 ブロック 0020	III-2-9層	S-8242	礫石	91.7	86.7	55.1	488.1	凝灰岩	
149	6		8026	14 北東捨	V.047 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	142.0	78.9	62.8	1036.4	粗粒玄武岩	
149	7		8054	14 北東捨	トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	104.9	83.1	66.9	626.6	凝灰岩	
149	8		8055	14 北東捨	V.047 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	108.0	95.8	60.0	830.3	花崗岩	
149	9		8051	14 北東捨	V.048 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	79.2	60.3	38.3	245.9	花崗岩	
149	10		8015	14 北東捨	V.048 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	111.9	80.9	60.8	812.2	火山岩	
149	11		5749	14 北東捨	V.047 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	136.1	70.5	52.5	265.7	粗粒玄武岩	
149	12		8041	14 北東捨	V.047 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	126.7	90.8	67.9	1010.9	粗粒玄武岩	
149	13		8027	14 北東捨	V.047 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	116.3	73.7	36.5	740.6	火山岩	
149	14		8061	14 北東捨	べら1-3-6	III-2-9層	S-X	礫石	105.0	79.5	62.1	730.2	凝灰岩	
149	15		8040	14 北東捨	V.047 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	100.5	75.8	36.5	369.6	花崗岩	
149	16		8021	14 北東捨	V.047 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	83.7	86.8	43.8	472.4	凝灰岩	
149	17		5741	14 北東捨	V.048 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	105.2	98.3	86.9	719.7	木炭炭	
149	18		8023	14 北東捨	V.047 べら1-2.5	III-2-9層	S-X	礫石	106.8	71.6	54.8	398.6	粗粒玄武岩	
149	19		8025	14 北東捨	トレンチ5	III-2-4層	S-X	礫石	95.1	90.7	68.9	847.8	火山岩	
149	20		8010	14 北東捨	トレンチ4	III-2- 1-7層	S-X	礫石	92.1	71.6	63.7	5078.8	花崗岩	
149	21		8032	14 北東捨	V.047 トレンチ5	III-2-4層	S-X	礫石	110.9	86.1	61.1	582.0	木炭炭	
149	22		8030	14 北東捨	V.047 トレンチ5	III-2-4層	S-X	礫石	91.4	84.6	68.2	638.6	凝灰岩	
149	23		8095	14 北東捨	べら1-3-6 ブロック 0081	III-2-9層 土層 底	S-8236	礫石	85.4	62.3	60.9	300.8	凝灰岩	
149	24		8058	14 北東捨	V.048 トレンチ 2-10	III-2-7層	S-X	礫石	74.7	68.6	45.3	305.5	粗粒玄武岩	
149	25		8047	14 北東捨	不明	III-2-7層	S-8157	礫石	122.8	90.7	66.8	1421.9	花崗岩	赤色顔料
150	1		5761	14 北東捨	V.047 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	126.7	60.0	34.7	436.6	花崗岩	赤色顔料
150	2		8026	14 北東捨	V.048 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	81.2	85.5	68.8	225.5	凝灰岩	
150	3		8013	14 北東捨	S-80 トレンチ 2-10	III-2-6層	S-X	礫石	132.8	79.8	64.9	753.7	花崗岩	
150	4		8033	14 北東捨	V.045 トレンチ5	III-2-6層	S-X	礫石	109.3	101.0	64.9	1080.2	花崗岩	
150	5		8059	14 北東捨	トレンチ5 1-6層	III-2-6層	S-X	礫石	151.2	83.0	56.9	96.5	木炭炭	
150	6		8024	14 北東捨	ブロック 0042	III-2-3- 1-6層	S-8214	礫石	109.9	85.3	51.6	496.7	木炭炭	
150	7		8049	14 北東捨	再調査ト レンチ4	不明	S-X	礫石	91.8	81.4	68.1	700.9	木炭炭	
150	8		8101	14 北東捨	トレンチ7	不明	S-X	同石	112.4	68.7	31.4	285.5	凝灰岩	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(6)

探検隊 番号	番号	探検 番号	番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特命	説明	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考
150	9		2053	14	北東捨	へら12-6	IIIc-IIIb	S-X	磁石	58.0	69.1	29.5	396.3	灰山岩	石製刀型?
150	10		8001	14	北東捨	V167	IIIc-IIIb	S-X	磁石	99.9	59.4	24.2	195.5	磁石	
150	11		5765	14	北東捨	トランプ1-6	IIIc-IIIb	S-X	磁石	100.3	81.6	66.7	572.3	緑色凝灰岩	
150	12		5729	14	北東捨	トランプ1-5	IIIc-IIIb	S-X	磁石	115.0	96.2	69.1	607.0	花崗岩	
150	13		5742	14	北東捨	V136	IIIc-IIIb	S-X	磁石	110.3	100.5	56.7	626.1	灰山岩	
150	14		107-0739	14	北東捨	V1-080	IIIc-IIIb	S-X	磁石	202.0	62.8	54.1	853.1	磁石	1層位0739, 手掘り0739
150	15		8090	14	北東捨	へら10-1 1-6	IIIc-IIIb	S-X	磁石	109.9	67.5	36.4	376.3	磁石	
150	16		8005	14	北東捨	V167	IIIc-IIIb 5a層	S-X	磁石	84.1	64.8	36.0	421.7	磁石	
150	17		5738	14	北東捨	トランプ1-1	IIIc-IIIb	S-X	磁石	87.8	60.4	26.6	107.0	磁石	
150	18		8112	14	北東捨	V166 トランプ1-4	IIIc-IIIb	S-X	磁石	102.4	72.1	36.5	347.0	磁石	
150	19		5723	14	北東捨	トランプ1-7	IIIc-IIIb	S-X	磁石	97.2	57.7	33.7	297.3	灰山岩	
150	20		5752	14	北東捨	トランプ1-3 1-7a-b	IIIc-IIIb	S-X	磁石	100.6	74.6	66.2	430.6	磁石	
150	21	153	7743	14	北東捨	トランプ1-9	IIIc-IIIb 1-7層	S-X	磁石	78.0	57.0	13.0	61.9	磁石	石製刀型?
150	22		5739	15	北東捨	V147 へら12-5	IIIc-IIIb	S-X	磁石	190.4	74.2	26.3	236.3	緑色凝灰岩	石製刀型?
150	23		8085	14	北東捨	V147 ブロック 1079	IIIc-IIIb	S-X	磁石	69.4	77.0	21.0	183.8	磁石	
150	24		8007	14	北東捨	トランプ2-4 a-b	IIIc-IIIb	S-X	磁石	194.3	69.8	66.7	883.7	磁石	
150	25		5731	14	北東捨	トランプ1-9	IIIc-IIIb	S-X	磁石	116.0	51.9	27.1	120.4	灰山岩	
151	1		5732	14	北東捨	V147 へら12-5	IIIc-IIIb	S-X	磁石	130.5	70.6	23.4	365.0	磁石	
151	2	104	5768	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	109.0	104.0	36.0	431.6	磁石	石製刀型?
151	3		5740	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	98.5	86.3	68.5	843.5	粗粒玄武岩	
151	4		8000	14	北東捨	V147 へら12-5	IIIc-IIIb	S-X	磁石	194.1	84.8	62.1	796.9	粗粒玄武岩	
151	5		8009	14	北東捨	V147 へら12-5	IIIc-IIIb	S-X	磁石	103.7	89.8	55.4	743.2	木炭	
151	6		5762	14	北東捨	トランプ1-7	IIIc-IIIb	S-X	磁石	99.4	80.6	27.6	221.7	磁石	
151	7		5743	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	112.6	69.4	34.9	299.2	磁石	
151	8		2015	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	128.2	52.7	24.2	265.6	磁石	
151	9		8008	14	北東捨	トランプ1-1	IIIc-IIIb	S-X	磁石	150.9	52.3	41.7	626.1	磁石	
151	10		5766	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	159.0	88.6	73.4	1566.4	緑色凝灰岩	
151	11		5760	14	北東捨	V138	IIIc-IIIb	S-X	磁石	105.3	55.0	46.7	480.5	花崗岩	
151	12	104	6	10132	14	北東捨	V147 へら13-7	S-X	磁石	75.0	61.0	33.0	215.4	磁石	赤色顔料
151	13		5727	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	101.4	71.2	66.1	536.2	磁石	
151	14		5750	14	北東捨	へら13-9	IIIc-IIIb	S-X	磁石	103.4	69.1	46.7	369.7	磁石	
151	15		5761	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	100.0	82.4	24.3	437.6	磁石	
151	16		5721	14	北東捨	V148	IIIc-IIIb	S-X	磁石	100.3	66.6	69.7	591.2	磁石	
151	17		5763	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	85.4	73.7	66.6	363.0	磁石	
151	18		8087	14	北東捨	5-8	IIIc-IIIb	S-X	磁石	112.7	106.3	62.0	1034.3	磁石	
151	19		5738	14	北東捨	へら13-5	IIIc-IIIb	S-076	磁石	147.4	100.6	51.7	899.1	磁石	赤色顔料
151	20		5754	14	北東捨	へら12-9	IIIc-IIIb	S-X	磁石	168.6	69.4	63.1	1360.3	磁石	
151	21		5767	14	北東捨	V147	IIIc-IIIb	S-X	磁石	136.0	68.1	55.7	894.6	磁石	
151	22		2659	14	北東捨	へら13-1	IIIc-IIIb	S-X	磁石	130.4	64.9	18.9	248.2	磁石	
151	23		5746	14	北東捨	トランプ1-4	IIIc-IIIb	S-X	磁石	104.8	77.6	49.7	488.0	磁石	
151	24		5741	14	北東捨	V148	IIIc-IIIb	S-X	磁石	68.0	92.1	58.0	628.8	磁石	
152	1		8006	14	北東捨	V166	IIIc-IIIb	S-X	磁石	83.0	73.9	73.2	373.0	磁石	
152	2		5756	14	北東捨	トランプ1-9	IIIc-IIIb	S-X	磁石	118.3	96.0	27.5	407.0	磁石	
152	3		2032	14	北東捨	V144 IIIc-IIIb 1-6層	S-0213	磁石	76.9	72.0	18.2	156.0	粗粒玄武岩		
152	4		8107	14	北東捨	トランプ1-1	6層	S-X	磁石	81.8	72.7	43.0	269.3	磁石	
152	5		5459	14	北東捨	トランプ1-1	1層	S-X	磁石	112.9	74.7	52.5	319.3	磁石	
152	6	106	1	8080	14	北東捨	5-8	1層	S-X	117.0	57.0	44.0	278.0	磁石	
152	7		4304	14	北東捨	V167 へら11-5 1-6層	IIIc-IIIb	S-X	磁石	105.4	82.2	86.3	511.5	灰山岩	
152	8		8091	14	北東捨	V145 11-2層	IIIc-IIIb	S-X	磁石	87.1	61.5	36.1	228.1	磁石	
152	9		8096	14	北東捨	V146	IIIc-IIIb	S-X	磁石	103.0	97.2	41.6	375.6	磁石	
152	10		8128	14	北東捨	V145	IIIc-IIIb	S-X	磁石	69.9	69.4	39.0	256.7	磁石	
152	11		8127	14	北東捨	V167	IIIc-IIIb	S-X	磁石	101.2	92.9	32.0	363.3	磁石	
152	12		8128	14	北東捨	V146 ブロック 8022-2	IIIc-IIIb	S-0130	磁石	135.0	69.6	34.7	116.0	磁石	
152	13	106	4	8005	14	北東捨	トランプ1-7	IIIc-IIIb	磁石	102.0	73.9	42.8	376.3	磁石	
152	14		8099	14	北東捨	V146	IIIc-IIIb	S-X	磁石	136.0	84.5	57.3	671.7	磁石	
152	15		8102	14	北東捨	トランプ1-4	IIIc-IIIb	S-X	磁石	110.0	63.8	35.4	407.1	磁石	
152	16		8092	14	北東捨	へら13-1 1-6層	IIIc-IIIb	S-X	磁石	68.2	69.4	33.0	285.2	磁石	
152	17	105	5	6078	14	北東捨	へら11-8 1-6層	S-X	磁石	137.0	52.0	34.0	300.2	磁石	
152	18		61343	14	北東捨	トランプ1-10	IIIc-IIIb	S-X	磁石	121.4	107.7	22.6	335.6	磁石	石製刀型?
152	19		5721	14	北東捨	トランプ1-6	IIIc-IIIb	S-X	磁石	94.1	71.0	35.5	267.7	磁石	
152	20		8122	14	北東捨	トランプ1-9	IIIc-IIIb	S-X	磁石	118.3	75.2	34.9	389.2	磁石	
152	21	105	3	7704	14	北東捨	トランプ1-7 ブロック10	S-8009	磁石	105.0	92.0	25.0	285.6	磁石	円盤状に磨削
152	22		8053	14	北東捨	トランプ1-7	IIIc-IIIb	S-X	磁石	97.1	81.1	52.0	636.0	磁石	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(7)

発掘調査年度	番号	調査年度	整理番号	エリア	出土位置	層位	分類/特命	図様	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考	
152	23	196	3	8064	14 北東捨	ペルト 2-5-9	TK2-1層	5-X	顕石	91.0	77.0	42.0	144.7	褐色玄武岩	
153	1			8105	14 北東捨	Vk47	TK2-1層	5-X	顕石	47.0	43.6	41.5	206.5	緑色燧石	
153	2			8153	14 北東捨	トロンパ 1	TK2-1層	5-X	顕石	93.8	62.2	32.7	311.1	燧石	
153	3			8121	14 北東捨	トロンパ 1 ブロッ 4011	TK2-1層	5-80BT	顕石	86.4	62.0	36.0	344.9	燧石	
153	4	196	2	8075	14 北東捨	V106	TK2-1層	5-X	顕石	122.2	116.0	86.0	459.9	燧石	
153	5			8117	14 北東捨	トロンパ 2	TK2-1層	5-X	顕石	113.1	80.4	46.0	328.1	燧石	
153	6			8104	14 北東捨	ペルト 2-5-7	TK2-1層	5-X	顕石	111.8	40.9	38.8	311.3	燧石	
153	7	105	6	8062	14 北東捨	Vk47	TK2-2層	5-X	顕石	133.0	46.0	35.0	303.2	燧石	
153	8			8088	14 北東捨	Vk47	TK2-2層	5-X	顕石	118.4	47.1	30.4	318.1	燧石	
153	9			8080	14 北東捨	V106	TK2-2層	5-X	顕石	110.0	83.0	27.9	305.5	燧石	
153	10			8096	14 北東捨	Vk47	TK2-2層	5-X	顕石	112.6	95.6	54.7	504.2	燧石	
153	11			8084	14 北東捨	Vk46	TK2-2層	5-X	顕石	78.0	72.9	40.0	459.0	燧石	
153	12			8087	14 北東捨	V147	TK2-2 層	5-X	顕石	137.2	63.9	27.9	376.6	燧石	
153	13			8108	14 北東捨	Vk47	TK2-2層 (山の 上)	5-X	顕石	132.1	84.8	37.4	455.5	燧石	
153	14			8089	14 北東捨	Vk47	TK2-2層 (山の 上)	5-X	顕石	107.7	72.6	45.6	409.0	燧石	
153	15			8123	14 北東捨	トロンパ 4	TK2-6層	5-X	顕石	93.2	76.6	38.5	324.6	燧石	
153	16			8730	14 北東捨	Vk47	TK2-6層	5-X	顕石	93.0	81.1	32.5	338.5	燧石	
153	17			8116	14 北東捨	Vk47	TK2-1層	5-X	顕石	88.1	72.9	36.3	402.2	燧石	
153	18			8114	14 北東捨	Vk47	TK2-1層	5-X	顕石	113.1	85.0	32.1	422.0	燧石	
153	19			8119	14 北東捨	トロンパ 4	TK2-3層	5-X	顕石	126.3	66.2	42.4	446.6	燧石	
153	20			8110	14 北東捨	Vk47	TK2-9層	5-X	顕石	88.3	68.7	55.4	482.3	燧石	
153	21			8071	14 北東捨	ペルト 2-5-10	TK2-7層	5-X	顕石	155.2	95.7	48.3	680.8	燧石	
153	22			8077	14 北東捨	Vk46	TK2-8層	5-X	顕石	138.0	43.5	32.4	315.0	燧石	
153	23	105	4	8072	14 北東捨	Vk48	TK2-8層	5-X	顕石	141.0	75.0	36.0	415.3	燧石	
153	24			8063	14 北東捨	Vk47	TK2-8層	5-X	顕石	109.8	84.7	30.1	399.6	燧石	
153	25	196	8	8069	14 北東捨	Vk47	TK2-8層	5-X	顕石	102.0	88.0	40.0	412.7	不確定	
153	26			8093	14 北東捨	V147	TK2-8層	5-X	顕石	109.4	72.2	37.8	339.7	燧石	
153	27			8092	14 北東捨	V146	TK2-8層 トロン パ	5-X	顕石	120.6	78.9	37.7	471.1	燧石	
154	1			8756	14 北東捨	トロンパ 1 ブロッ 4019	TK2-6層	5-X	顕石	123.2	58.1	54.0	430.7	燧石	
154	2	196	7	8070	14 北東捨	トロンパ 2	TK2-6層	5-X	顕石	130.0	42.9	41.0	431.2	不確定	
154	3			8113	14 北東捨	V108	TK2-6層	5-X	顕石	92.0	66.7	34.2	259.0	燧石	
154	4	194	4	8074	14 北東捨	トロンパ 1 3-5-6	TK2-6層	5-X	顕石	92.0	85.0	43.0	354.2	燧石	
154	5			8068	14 北東捨	ペルト 3	TK2-6層	5-X	顕石	94.9	99.2	32.5	328.0	燧石	
154	6			8118	14 北東捨	ペルト 3-1	TK2-6層	5-X	顕石	84.5	71.3	42.1	301.7	燧石	
154	7	107	1	8079	14 北東捨	V108	TK2-6層	5-X	顕石	112.0	107.0	44.0	394.6	燧石	
154	8			8735	14 北東捨	トロンパ 1 3-7	TK2-6層	5-X	顕石	103.3	87.1	44.1	412.6	燧石	
154	9	196	5	8073	14 北東捨	Vk47	TK2-6層	5-X	顕石	105.0	62.0	40.0	372.5	燧石	
154	11			8120	14 北東捨	ペルト 3-7	TK2-7層	5-X	顕石	129.2	86.6	45.2	612.2	燧石	
154	12			8115	14 北東捨	Vk48	TK2-7層	5-X	顕石	128.8	66.3	44.4	379.3	燧石	
154	13			8061	14 北東捨	V146	TK2-7層	5-X	顕石	121.5	74.4	35.5	630.6	燧石	
154	14			8097	14 北東捨	V145	TK2-7層	5-X	顕石	84.2	62.5	38.4	193.2	燧石	
154	15			8076	14 北東捨	V146	不明	5-X	顕石	77.0	92.5	20.1	113.0	燧石	
154	16			8111	14 北東捨	V805	TK2-7層	5-X	顕石	104.5	75.5	25.0	286.6	燧石	
154	17			8083	14 北東捨	V805	TK2-7層	5-X	顕石	125.5	106.9	33.6	735.0	燧石	
154	18	107	2	8067	14 北東捨	V145	TK2-7層	5-X	顕石	117.0	62.9	31.0	266.2	燧石	
154	19			8125	14 北東捨	トロンパ 1 5-7	TK2-1層	5-X	顕石	113.4	74.9	61.4	809.7	燧石	
154	20			8100	14 北東捨	トロンパ 6-3	TK2-1層	5-X	顕石	104.1	68.4	35.1	322.0	燧石	
154	21			8103	14 北東捨	トロンパ 6-3	TK2-1層	5-X	顕石	131.9	63.7	43.1	319.7	燧石	
154	22	105	2	8086	14 北東捨	V144	TK2-3層	5-X	顕石	309.0	48.0	36.0	289.0	燧石	
154	23			8190	14 北東捨	V144	TK2-3層	5-4272	顕石	138.1	83.7	36.0	677.5	燧石	
154	24			8094	14 北東捨	V144 ブロッ 4012	TK2-3層	5-X	顕石	122.5	74.6	46.6	309.9	燧石	
154	25			2014	14 北東捨	トロンパ 1-4	不明	5-X	顕石	140.4	89.2	51.6	839.4	燧石	
155	1	105	1	5307	14 北東捨	トロンパ 1 2層	TK2-6層	5-X	顕石	129.0	109.0	27.0	492.4	燧石	表面とも、中央に縦線

表16 北東拾場地区 石器・石製品観察表(8)

発掘調査年度	番号	図例番号	図例番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	S番号・特命	記録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	石質	備考
133	2			4222	14 北東部	トレンチ1-1 1-7層	S-3	石蓋		190.0	154.0	86.0	2280.0	緑色凝灰岩	新井氏の壁面に面出しが 表面、着色物付着	
133	3			7780	14 北拾	V406 セツ交点	表土	S-3	石鏃	86.0	123.0	64.0		凝灰岩	石製品7 報告書番号1編第2巻 第1部第3頁	
133	4			2030	14 北東部	トレンチ1-1 1-7層	S-3	石鏃		73.8	68.7	26.3	141.1	凝灰岩		
133	5			4249	14 東拾場	V453	8層1層	S-3	石蓋	145.0	120.0	65.0	1300.0	緑色凝灰岩	報告書番号1編第2巻 第1部第3頁	
133	6			4295	14 北東部	V146 ペルト 1-5	TR1-4層 1-4.5層	S-3	石蓋	325.0	185.0	61.0	2920.0	凝灰岩	両面磨面、一部に磨灰面	
133	7			4193	14 北東拾場	トレンチ1-1 1-7層	S-3	鏃頭		171.0	128.3	27.2	863.4	緑色凝灰岩		
136	1			4194	14 北東部	トレンチ5-1 1層	S-3	石蓋		127.0	146.0	27.0	300.0	凝灰岩	新井氏の壁面から面出し に磨面	
136	2			4221	14 北東拾場	V447	北東拾場 埋没層	S-3	石蓋	230.0	177.0	47.0	2000.0	花岩	両面磨面	
136	3			4197	14 北東部	V147	1層	S-3	石蓋	302.0	204.0	32.0	2540.0	凝灰岩		
136	4			4227	14 北東部	V145	1層	S-3	石蓋	273.2	188.3	34.1	3400.0	緑色凝灰岩	強い磨面、面いすまじと 類似、購入自然石立	
136	5			4213	14 北東部	V145	1-2層	S-3	石蓋	242.0	218.0	33.0	4980.0	緑色凝灰岩	魚状の灰白色、両面 磨面	
136	6			4147	14 北東部	V1新 ブロック 4032-2	TR1-8層	S-4132	石蓋	480.0	410.0	120.0	16680.0	グライテ	縁付、被熱着色化	
136	7	108	1	4365	14 北東部	V406	TR1-4.5 層	S-4341	石蓋	223.0	152.0	86.0	3229.7	緑色凝灰岩	平高	
136	8	108	2	4366	15 北東部	東側トレン チ2-3	不明	S-4002	石蓋	233.0	163.0	82.0	3246.5	凝灰岩	平高	
137	1			4284	14 北東部	V405	TR1-8層	S-3	石蓋	240.0	278.0	36.0	2140.0	相馬安山岩	両面に磨面と赤色顔料、 表面は磨面跡で大きく剥離	
137	2			4160	14 北東部	V407 ブロック 4052-3	TR1-8層	S-4283	石蓋	340.0	200.0	78.0	3000.0	凝灰岩	磨面により赤色・着色 化	
137	3			4149	14 北東部	V406 ペルト 1.5	TR1-4.5 層	S-3	石蓋	204.7	94.9	35.6	860.0	緑色凝灰岩		
137	4			4183	14 北東部	トレンチ1-6 1層	TR1-C2層	S-3	石蓋	140.0	96.0	23.0	3000.0	凝灰岩	赤色顔料付着、磨面 磨灰面	
137	5			4185	14 北東部	トレンチ1-6 1層	TR1-2層	S-3	石蓋	178.4	153.2	17.2	780.0	相馬安山岩		
137	6			4209	14 北東部	V406	TR1-4層 1-4.5層	S-3	石蓋	234.0	293.0	36.0	12080.0	緑色凝灰岩	新井氏の中央部に面出 しを伴った磨面	
138	1			4326	14 北東部	V145	2層	S-3	石蓋	492.0	257.0	111.0	14060.0	花岩		
138	2			4094	14 北東部	V406 ペルト 1.5	TR1-5層 1-5層	S-3	石蓋	325.0	425.0	40.0	17840.0	相馬安山岩	両面に磨らぬ磨面	
138	3			4308	14 北東部	V407 ブロック 4018	TR2-3層	S-4075	石蓋	298.0	172.0	68.0	2860.0	緑色凝灰岩	正面縁付き	
138	4			4175	14 北東部	ペルト 2-8 1-4.5層	TR2-ウ (下) 1-4.5層	S-3	石蓋	225.0	208.0	26.0	640.0	凝灰岩		
138	5			4157	14 北東部	V146	TR1-8層	S-4311	石蓋	—	—	—	6300.0	緑色凝灰岩	両面磨面、正面に5層 の灰面と磨面	
138	6			4329	14 北東部	V407 ペルト 1.5	TR2-1層	S-4254	石蓋	328.0	224.0	28.0	1740.0	凝灰岩	両面磨面	
138	7			4328	14 北東部	V407 ペルト 1.5	TR2-2層 上面	S-4245	石蓋	340.0	172.0	28.0	2020.0	緑色凝灰岩	両面磨面	
138	8			4297	14 北東部	V147 ブロック 4050	TR2-1層	S-4288	石蓋	299.0	376.0	113.0	94200.0	凝灰岩	赤色顔料多量付着のため 未測長で写真	
138	9			4219	14 北東部	トレンチ2-4 2-4層	TR2-3層	S-3	石蓋	257.0	200.0	700.0	4060.0	緑色凝灰岩	磨面による赤色・着色 化、表面剥離	
138	10			4196	14 北東部	V406	TR2-1層 2-2層	S-3	石蓋	244.0	240.0	14.0	620.0	相馬安山岩	4片接合	
138	11			4310	14 北東部	トレンチ4 ブロック 4005	TR2-4層	S-4045	石蓋	412.0	273.0	68.0	8020.0	緑色凝灰岩	縁付き、中央の構面磨 面は磨らぬ、縁付に成形 跡の磨灰面が認められ て残る	
139	1			4191	14 北東部	トレンチ1 1-1層	TR1-4層	S-3	石蓋	200.0	151.0	24.0	1380.0	相馬安山岩	両面磨面	
139	2			4189	14 北東部	トレンチ1 1-1層	TR2-1層	S-3	石蓋	184.0	98.0	21.0	300.0	凝灰岩	3片接合、両面に磨面	
139	3			4195	14 北東部	V407 ペルト 1.5	TR2-1層	S-3	石蓋	200.0	137.4	36.4	940.0	緑色凝灰岩	縁付、磨灰の痕より凝 灰石として使用か	
139	4			4184	14 北東部	V407 ペルト 1.5	TR2-2層	S-3	石蓋	150.0	161.0	15.0	300.0	凝灰岩	両面に赤色顔料	
139	5			4192	14 北東部	ペルト 1.5	TR2-ウ層	S-3	石蓋	180.0	120.0	33.0	400.0	相馬安山岩	赤色顔料	
139	6			4210	14 北東部	トレンチ4 1-2層	TR1-8層	S-3	石蓋	178.0	147.0	38.0	1120.0	緑色凝灰岩	両面磨面	
139	7			4200	14 北東部	V147 ペルト 1.5	TR27層	S-3	石蓋	196.0	90.0	12.0	120.0	相馬安山岩	石製刀筥?	
139	8			4218	14 北東部	V148 ペルト 1.5	TR2-2層 1-5層	S-3	石蓋	225.0	134.0	45.0	1900.0	緑色凝灰岩	器体中央部を中心に磨面	
139	9			4212	14 北東部	V407	TR2-4層	S-3	石蓋	233.0	145.0	31.0	860.0	凝灰岩	正面磨面、表面磨面	

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(9)

発掘調査番号	番号	図録番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番/特番	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	石質	備考	
139	10		4217	14 北東捨	ベレト2.5 東端付石	TR-4層	S-4204	石蓋	302.0	97.0	36.0	1250.0	凝灰岩	両面磨面	両面磨面	
140	1		4305	14 北東捨	ベレト3-1	TR-4層	S-3	石蓋	234.0	179.0	76.0	2760.0	砂質凝灰岩	両面磨面	両面磨面	
140	2		4188	14 北東捨	ベレト3-1	TR-4層	S-3	石蓋	212.0	130.0	25.0	8300.0	相馬安山岩	両面磨面	両面磨面	
140	3		4186	14 北東捨	V18	TR-4層	S-3	石蓋	220.0	158.0	13.0	780.0	相馬安山岩		一面磨面・磨面。一部磨面・磨面化	
140	4		4211	14 北東捨	V45	TR-2層	S-3	石蓋	158.0	182.0	40.0	360.0	凝灰岩	縁付	縁付・磨面	
140	5		4213	14 北東捨	V47	TR-4層	S-3	石蓋	290.0	233.0	45.0	2760.0	凝灰岩	縁付	縁付・磨面	
140	6		4159	14 北東捨	V145	TR-2層	S-3	石蓋	181.0	189.0	78.0	1800.0	凝灰岩	縁付	縁付・磨面・磨面化	
140	7		4199	14 北東捨	側面トロンナ	不明	S-3	石蓋	83.0	62.0	16.0	300.0	凝灰岩	小破片		
140	8		4187	14 北東捨	ベレト9	不明	S-3	石蓋	158.0	119.0	20.0	3000.0	相馬安山岩	磨面	磨面	
141	1		4215	14 北東捨	V47	TR-2層	S-4206	石蓋	300.0	314.0	58.0	6300.0	凝灰岩	両面磨面	両面磨面	
141	2		4172	14 北東捨	ベレト2-3	TR-2層	S-4205-1	石蓋	485.0	450.0	130.0	19600.0	松山岩	両面磨面	両面磨面	
141	3		4171	14 北東捨	ベレト2-3	TR-2層	S-4205-2	石蓋	425.0	242.0	133.0	3960.0	松山岩			
141	4		4298	14 北東捨	ベレト2-2	TR-2層	S-4205	石蓋	450.0	340.0	104.0	12760.0	凝灰岩	縁付	中央部付石に磨らぬ磨面	
141	5		4331	14 北東捨	V147 ブロック 011	TR-4層	S-4056	石蓋	369.0	294.0	98.0	13000.0	凝灰岩			
141	6		4155	14 北東捨	V48 ブロック 018	TR-4層	S-4074	石蓋	(220.0)	(160.0)	55.0	2860.0	緑色凝灰岩	縁付	縁付	
141	7		4150	14 北東捨	ブロック 017	TR-4層	S-4072	石蓋	298.0	380.0	105.0	6800.0	緑色凝灰岩	縁付	縁付	
141	8		4060	14 北東捨	不明	TR-4層	S-4220	石蓋	553.0	463.0	49.0	10220.0	相馬安山岩			
142	1		4158	14 北東捨	トロンナ3 ブロック 073	TR-4層	S-4223	磁石	290.5	159.4	60.3	3460.0	緑色凝灰岩	両面磨面	両面磨面	
142	2		4220	14 北東捨	トロンナ3 ブロック 074	TR-4層	S-3	石蓋	318.0	204.0	56.0	3340.0	凝灰岩	磨面	磨面・磨面・赤色化・磨らぬ磨面	
142	3		4225	14 北東捨	トロンナ3 ブロック 075	TR-2層	S-4178	石蓋	363.0	390.0	82.0	13440.0	凝灰岩	縁付	縁付・磨らぬ磨面・磨面	
142	4		4309	14 北東捨	トロンナ3	不明	S-3	石蓋	456.0	296.0	109.0	10660.0	松山岩	縁付	縁付・磨らぬ磨面・磨面	
142	5		4199	14 北東捨	トロンナ3 4-5層	TR-4層	S-3	石蓋	170.0	130.0	25.0	460.0	相馬安山岩	縁付	縁付・磨面・磨面	
142	6		4230	14 北東捨	V144	埋蔵層 TR-1(2層)	S-4175	石蓋	464.0	338.0	43.0	7100.0	相馬安山岩	両面磨面	両面磨面	
142	7		4232	14 北東捨	V150 両面トロンナ3	不明	S-3	石蓋	194.0	178.0	25.0	880.0	凝灰岩	両面	両面に磨面及び縁付・磨面	
142	8		4223	14 北東捨	トロンナ3 ブロック	TR-1(2層)	S-3	石蓋	262.0	250.0	58.0	4760.0	緑色凝灰岩	石種キアスファルト		
142	9	107	4	7730	14 北東捨	V47 ベレト2.5	TR-4層	S-3	石蓋	152.0	169.0	24.0	1952.0	凝灰岩	石種?	石種?
142	10	107	3	7741	14 北東捨	V47 ベレト2.5	TR-1層	S-3	石蓋	182.0	196.0	45.0	1807.5	凝灰岩	石種?	石種?
142	11	114	5	7737	14 北東捨	トロンナ3 2-4層	TR-1層	S-3	石蓋	169.0	72.5	24.0	362.0	相馬安山岩	破片	石製円盤?
143	1	130	4	3042	14 北東捨 川原平10 赤土	V1-2層	S-208 S-3	石刀	351.9	32.8	14.6	198.2	凝灰岩	磨面	磨面・磨らぬ磨面・沈没。刀のミキに磨らぬ磨面。内面も	
143	2	109	5	3135	14 北東捨	V47 TR-3層	S-4048	石製	292.0	31.0	18.0	305.0	点紋凝灰岩	磨面	磨面	
143	3	109	1	3043	14 北東捨	V47 ブロック 077	TR-2層	S-4233 S-4236	石製	314.0	34.0	27.0	478.8	点紋凝灰岩	磨面	磨面
143	4	109	3	3128	14 北東捨	ベレト2.5 表面	TR-4層	S-3	石製	314.7	33.0	24.2	412.9	点紋凝灰岩	磨面	磨面
143	5	109	4	3009	14 北東捨 15 高捨場	V125 トロンナ3 ブロック 061	TR-1層 磨面	S-4291 S-3	石製	185.9	33.2	18.5	106.1	相馬安山岩	磨面	磨面・磨らぬ磨面・手磨
143	6	109	7	3133	14 北東捨	トロンナ3 ブロック 062	TR-4層	S-4100	石製	95.0	30.2	15.3	49.9	凝灰岩	磨面	両面と体部の間に2条文線
143	7	110	2	3131	14 北東捨	トロンナ3	TR-1(2層)	S-4098	112.6	32.0	18.3	117.3	相馬安山岩	磨面	両面と体部の間に2条文線	
143	8	109	6	3106	14 北東捨	V45 磨面	TR-1層	S-4078	147.1	32.0	18.0	107.5	点紋凝灰岩	磨面	磨面・磨らぬ磨面・赤土	
143	9	110	3	3120	14 北東捨	トロンナ3	TR-4層	S-3	石製	161.5	30.0	16.0	103.5	点紋凝灰岩	磨面	両面と体部の間に1条文線
143	10	109	2	3132	14 北東捨	ベレト1-4	TR-1層	S-3	石製	178.0	30.1	18.0	100.1	相馬安山岩	磨面	両面と体部の間に2条文線
144	1		3014	14 北東捨	V145	TR-1層	S-4163	石製	165.0	28.4	14.3	91.0	相馬安山岩	磨面	磨面・磨らぬ磨面	
144	2		3129	14 北東捨	ベレト3-1	TR-2層	S-4202	石製	162.0	27.6	16.5	104.7	相馬安山岩	磨面	磨面	
144	3		3131	14 北東捨	V46	TR-2層	S-3	石製	132.0	27.0	21.0	97.4	相馬安山岩	磨面	磨面	
144	4	110	1	3005	14 北東捨 14 東捨場 14 北東捨	V147-40 磨面トロンナ3 磨面	TR-1層 埋蔵層 TR-2層	S-3 S-3 S-4108	石製	136.7	32.5	27.4	107.0	点紋凝灰岩	磨面	磨面
144	5	110	5	2102	14 北東捨	V147-40 磨面トロンナ3	不明	S-3	107.0	77.0	70.0	832.1	松山岩	磨面	縁付で沈没した磨面	
144	6		823	14 北東捨	V147	TR-4層	S-3	石製品	49.4	60.7	12.2	30.1	凝灰岩	磨面	正磨面・赤土磨面	



表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(10)

探検 回数	番号	探検 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	分類・特命	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考	
161	7	962	14 北東捨	V147	TR2-3層	S-X	石製圧	112.3	83.4	26.2	247.0	64.0g	緑色凝灰岩		
161	7	111	3	G119	14 北東捨	トロンパ7	TR2-1層	S-X	石版	87.0	58.0	17.0	82.6	緑色凝灰岩	
161	7	111	7	G123	14 北東捨	V815	TR5-2層	S-X5327	石版	78.0	67.0	25.0	150.5	緑色凝灰岩	
161	7	111	5	G123	14 北東捨	V145	雑草田	S-4091	石版	80.6	56.0	22.0	138.3	緑色凝灰岩	
161	7	111	6	G120	14 北東捨	V136 プロット 0221-1	TR1-4層	S-4134	石版	89.0	57.0	14.0	88.6	緑色凝灰岩	
161	7	111	1	G121	14 北東捨	ベルト1-7 1-3層	TR2-2層	S-4158	石版	61.0	65.0	12.0	64.3	緑色凝灰岩	
161	6	112	2	G126	14 北東捨	トロンパ1 プロット 8019	TR1-4層	S-4096	石版	96.0	56.0	16.0	80.6	緑色凝灰岩	
161	7	111	9	G124	14 北東捨	V068	1層	S-X	石版	87.0	72.0	12.0	121.1	緑色凝灰岩	
161	8	111	2	G117	14 北東捨	トロンパ6	TR1-6層	S-X	石版	79.0	53.0	13.0	61.7	緑色凝灰岩	
161	9	111	8	G122	14 北東捨	トロンパ6	TR1-4層	S-X	石版	31.0	51.0	16.0	29.6	緑色凝灰岩	
161	10	112	5	G127	14 北東捨	トロンパ6	TR1-6層	S-X	石版	89.0	53.0	18.0	113.0	緑色凝灰岩	
161	11			G118	14 北東捨	ベルト1-5	TR2-4層	S-X	緑面凝	89.7	38.6	6.0	18.9	緑色凝灰岩	
161	12	111	4	G116	14 北東捨	V136	TR1-4,5 層	S-X	石版	89.0	44.0	7.0	26.9	緑色凝灰岩	
161	1	h179	14 北東捨	V814	1層	S-X	石製円盤	54.6	48.0	21.0	77.2	木製定	整理番号赤色		
161	2	h125	14 北東捨	トロンパ0	1層	S-X	石製円盤	67.7	59.6	22.6	121.7	相馬山山岩	アスファルト		
161	3	2049	14 北東捨	V816	1層	S-X	石製円盤	65.1	44.0	12.2	29.6	グライサイト			
161	4	S250	14 北東捨	V116	1層	S-X	石製円盤	69.9	61.0	24.3	154.0	緑色凝灰岩			
161	5	h148	14 北東捨	V147	1層	S-X	石製円盤	91.0	78.0	12.6	101.7	緑色凝灰岩			
161	6	h177	14 北東捨	トロンパ0	1層	S-X	石製円盤	142.0	124.6	33.1	701.3	グライサイト			
161	7	112	8	h133	14 北東捨	V147	8層	S-X	石製円盤	65.0	55.0	23.0	112.8	木製定	アスファルト
161	8	h174	14 北東捨	トロンパ2	不明	S-X	石製円盤	44.1	41.5	16.6	24.2	木製定			
161	9	h183	14 北東捨	V145	1-2層	S-X	石製円盤	50.9	46.7	13.1	54.2	緑色凝灰岩			
161	10	h173	14 北東捨	トロンパ4	TR1-2層	S-X	石製円盤	87.9	63.8	12.4	135.3	緑色凝灰岩			
161	11	2055	14 北東捨	ベルト2-6	TR2-6層	S-X	石製円盤	80.7	47.1	19.5	162.0	相馬山山岩			
161	12	113	3	7718	14 北東捨	ベルト1-7 1-3層	TR1-4層	S-X	石製円盤	77.0	74.0	26.0	211.7	グライサイト	初産品用
161	13			h123	14 北東捨	トロンパ 1-3層	TR1-4層	S-4054	石製円盤	85.0	75.1	32.6	293.8	緑色凝灰岩	
161	14			h102	14 北東捨	ベルト1-5	TR1-1層 1-3層	S-X	石製円盤	54.5	42.8	16.0	49.7	木製定	
161	15			h141	14 北東捨	トロンパ 1-3層	TR1-4層	S-X	石製円盤	71.0	63.0	9.1	66.8	相馬山山岩	
161	16			h144	14 北東捨	トロンパ10 プロット 8066	TR1-4層	S-X	石製円盤	73.0	66.7	15.0	105.9	木製定	
161	17	113	1	7722	14 北東捨	V136	TR1-4層	S-X	石製円盤	64.0	55.0	15.0	75.4	緑色凝灰岩	
161	18			h111	14 北東捨	V817 プロット 0252	TR1-4層	S-4260	石製円盤	31.7	42.4	6.6	21.4	グライサイト	
161	19	113	5	796	14 北東捨	V136	TR1-4層	S-X	石製円盤	34.7	35.2	12.8	18.3	緑色凝灰岩	緑面
161	20			h143	14 北東捨	ベルト1-7 1-3層	TR1-4層	S-X	石製円盤	64.2	60.8	16.1	86.4	木製定	
161	21			h1204	14 北東捨	V816 プロット 0252-1	TR1-4層	S-4256	石製円盤	54.8	52.4	20.5	85.9	木製定	
161	22			h140	14 北東捨	V816	TR1-5層	S-X	石製円盤	59.9	48.1	15.4	46.1	グライサイト	
161	23			h128	14 北東捨	V136	TR1-5層	S-X	石製円盤	65.0	61.2	18.8	90.8	緑色凝灰岩	
161	24			h170	14 北東捨	V136	TR1-5層	S-X	石製円盤	83.6	75.0	28.3	236.5	グライサイト	
161	1	789	14 北東捨	V136	TR1-7層	S-X	石製円盤	58.2	62.1	22.7	120.6	木製定	緑色凝灰岩		
161	2	h168	14 北東捨	V816	TR1-6層	S-X	石製円盤	63.5	49.6	15.4	61.3	緑色凝灰岩	緑色凝灰岩		
161	3	h1398	14 北東捨	トロンパ 1-7層	TR1-6層	S-X	石製円盤	59.6	59.4	13.6	73.4	相馬山山岩			
161	4	113	4	7660	14 北東捨	トロンパ2	TR1-6層	S-X	石製円盤	34.0	32.0	15.0	16.5	緑色凝灰岩	
161	5	h113	14 北東捨	トロンパ2	TR1-6層	S-X	石製円盤	64.5	55.5	12.4	66.6	相馬山山岩			
161	6	h1209	14 北東捨	プロット トロンパ 1-7層	TR1-4層	S-X	石製円盤	54.6	51.5	15.5	40.0	緑色凝灰岩			
161	7	4488	14 北東捨	トロンパ0	TR1-4層	S-X	石製円盤	43.1	43.4	17.2	11.1	緑色凝灰岩			
161	8	h1209	14 北東捨	トロンパ 1-7層	TR1-6層	S-X	石製円盤	68.3	63.7	21.0	133.1	木製定			
161	9	h148	14 北東捨	V136	TR1-7層	S-X	石製円盤	85.0	62.9	19.7	131.1	緑色凝灰岩			
161	10	h131	14 北東捨	トロンパ 1-6層	TR1-6層	S-X	石製円盤	77.9	67.8	26.9	107.6	緑色凝灰岩			
161	11	h1380	14 北東捨	トロンパ 1層	TR1-6層	S-X	石製円盤	72.5	63.1	17.4	99.7	緑色凝灰岩			
161	12	h1252	14 北東捨	トロンパ 2層	TR2-1層	S-X	石製円盤	66.5	62.8	21.2	110.9	緑色凝灰岩			
161	13	S338	15 北東捨	トロンパ 2層	TR2-1層	S-X	石製円盤	114.2	94.7	13.4	184.0	相馬山山岩			
161	14	h17	14 北東捨	トロンパ 2層	TR2-1層	S-X	石製円盤	32.8	28.4	10.9	12.4	緑色凝灰岩			
161	15	h177	14 北東捨	V136	TR2-1層	S-X	石製円盤	45.2	43.5	8.7	24.9	相馬山山岩			
161	16	h127	14 北東捨	V147	TR2-1層	S-X	石製円盤	53.4	51.0	18.3	62.5	緑色凝灰岩			
161	17	S368	14 北東捨	トロンパ 2層	TR2-2層	S-X	石製円盤	96.9	73.8	10.9	89.2	グライサイト	手摺6角形、1口縁部、 縦溝刻線、整理番号刻 線		
161	18	S385	14 北東捨	トロンパ 2層	TR2-2層	S-X	石製円盤	58.2	54.2	13.8	54.1	相馬山山岩	手摺6角形、縦刻線、 整理番号刻線		
161	19	S337	14 北東捨	ベルト 2層	TR2-6層	S-X	石製円盤	107.9	84.9	23.8	194.2	相馬山山岩	手摺6角形、縦刻線、 整理番号刻線		

表16 北東捨場地区 石器・石製品観察表(11)

探検 調査年	番号	図面 番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5番・特命	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考
197	20		h135	14 北東捨	V147	702-0 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	72.4	65.2	23.8	136.4	ゲイサイト	
197	21		h192	14 北東捨	トレンツ 2-4	702-9層	5-X	石製円盤	50.1	44.9	15.9	52.9	灰山岩	黄色灰着物
197	22		h165	14 北東捨	V147	702-0 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	63.8	60.5	15.0	78.4	相馬安山岩	アスファルト
197	23		h1303	14 北東捨	トレンツ 2-6	702-9層	5-X	石製円盤	59.4	55.2	12.1	47.7	凝灰岩	
197	24		h1660	14 北東捨	ペルト 2-2	702-1 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	77.2	65.2	23.8	147.1	凝灰岩	
197	25		h1188	14 北東捨	ペルト 2-3	702-1 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	72.4	62.2	27.9	140.7	ゲイサイト	
197	26		h1193	14 北東捨	ペルト 2-7	702-4層	5-X	石製円盤	56.4	71.4	24.3	101.3	緑色凝灰岩	
198	1		h1209	14 北東捨	V147	702-9層	5-X	石製円盤	53.1	52.4	16.0	43.0	相模志武岩	
198	2		h1292	14 北東捨	トレンツ 2-5	702-9層	5-X	石製円盤	62.5	57.8	16.5	73.4	凝灰岩	
198	3		h1155	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	702-9層	5-X	石製円盤	60.7	46.1	15.2	70.1	ゲイサイト	
198	4		2046	14 北東捨	V146	702-9 <sup>+</sup> 1層	5-X	石製円盤	32.6	28.5	7.1	8.8	凝灰岩	
198	5		h1120	14 北東捨	トレンツ 2-4	702-9層	5-X	石製円盤	73.4	60.3	25.4	143.3	灰山岩	
198	6	113	7328	14 北東捨	702-7 <sup>+</sup> a2層	702-7 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	23.0	22.0	9.0	5.9	凝灰岩	
198	7		h1162	14 北東捨	V147	702-9 <sup>+</sup> 1層	5-X	石製円盤	47.0	47.3	13.9	39.8	木藏定	
198	8		h1330	14 北東捨	トレンツ 1-2	702-9 <sup>+</sup> 1層	5-X	石製円盤	63.0	40.8	17.2	37.1	凝灰岩	
198	9		5394	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	702-9層	5-X	石製円盤	103.4	95.3	36.4	139.3	凝灰岩	不整円形、3ヶ所で割 離加工。異常
198	10		5681	14 北東捨	ペルト 2-10	702-ウ (1-1)層	5-X	石製円盤	69.8	43.9	9.3	24.7	凝灰岩	
198	11		h161	14 北東捨	V147 2-6	702-イ層	5-X	石製円盤	68.2	58.2	25.3	136.3	灰山岩	アスファルト
198	12		h1232	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	702-9層	5-X	石製円盤	99.6	92.7	26.2	217.4	凝灰岩	
198	13		2298	14 北東捨	V146	702-9層	5-X	石製円盤	134.8	89.5	26.2	294.8	凝灰岩	素材7粒石加工部分 少ない
198	14		h1257	14 北東捨	トレンツ 2-11	702-ウ層	5-X	石製円盤	98.2	88.7	21.2	333.7	灰山岩	
198	15		h115	14 北東捨	V147 ペルト 2-3	702-9層	5-X	石製円盤	75.6	68.2	24.3	192.4	灰山岩	
198	16		h1219	14 北東捨	V147	702-0 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	47.8	42.3	22.6	137.1	灰山岩	
198	17		h121	14 北東捨	V147	702-9層	5-X	石製円盤	53.7	52.9	23.0	40.4	緑色凝灰岩	
198	18		h1327	14 北東捨	V147	不明	5-X	石製円盤	53.4	51.1	17.5	63.3	ゲイサイト	アスファルト剥離部分 にも
198	19		h197	14 北東捨	V147	702-0 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	48.0	43.3	12.2	36.9	木藏定	アスファルト
198	20		h1298	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	702-9層	5-X	石製円盤	58.1	54.9	20.3	144.2	木藏定	
198	21		h1110	14 北東捨	V147 ペルト 2-5	702-9層	5-X	石製円盤	60.5	38.5	14.9	37.0	ゲイサイト	
198	22		h1227	14 北東捨	ブロッ ク027	702-9層	99-0013	石製円盤	43.8	44.5	17.4	37.7	凝灰岩	
198	23		h1189	14 北東捨	V147	702-9層	5-X	石製円盤	51.8	42.9	24.4	36.7	灰山岩	
198	24		h1190	14 北東捨	トレンツ 1-4	702-9 <sup>+</sup> 1層	5-X	石製円盤	73.9	60.8	37.5	349.1	木藏定	
198	25		h151	14 北東捨	ペルト 2-6	702-9層	5-X	石製円盤	74.8	71.4	17.1	130.1	緑色凝灰岩	
198	26		h1117	14 北東捨	ペルト 2-7	702-9層	5-X	石製円盤	69.3	63.7	21.3	163.3	灰山岩	
198	27		h1170	14 北東捨	ペルト 2-6	702-9層	5-X	石製円盤	60.6	56.4	5.6	25.8	凝灰岩	
198	28		h1310	14 北東捨	V148	702-9層	5-X	石製円盤	44.6	41.9	11.9	32.4	ゲイサイト	
198	29		h127	14 北東捨	V146	702-9層	5-X	石製円盤	47.4	43.4	18.6	301.9	灰山岩	
198	3	113	h1158	14 北東捨	1-1-7 1-2	702-1 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	47.0	43.0	12.0	34.1	凝灰岩	磨削
198	2		h186	14 北東捨	V145	702-2層	5-X	石製円盤	54.0	48.7	7.9	25.1	ゲイサイト	
198	4	113	h1167	14 北東捨	V145	702-2層	5-X	石製円盤	42.0	43.0	13.0	38.0	緑色凝灰岩	
198	5		h1208	14 北東捨	ペルト 2-6	702-9層	5-X	石製円盤	84.6	82.5	25.0	251.2	ゲイサイト	
198	6		h1217	14 北東捨	ペルト 2-6	702-9層	5-X	石製円盤	83.2	77.2	18.5	151.6	凝灰岩	
198	7		h1251	14 北東捨	V145	702-2層	5-X	石製円盤	64.5	58.5	23.1	115.0	緑色凝灰岩	
198	8		h1315	14 北東捨	V145	702-2層	5-X	石製円盤	64.5	60.2	36.4	104.7	相馬安山岩	
198	9		h146	14 北東捨	トレンツ 1-6	702-9層	5-X	石製円盤	64.7	55.8	12.2	96.8	相馬安山岩	赤色顔料付着。右端部 折断
198	10		h1239	14 北東捨	V144	702-1層	5-X	石製円盤	44.0	38.7	8.6	25.1	凝灰岩	
198	11		2057	14 北東捨	ペルト 2-6	702-9層	5-X	石製円盤	82.9	47.8	16.5	139.4	凝灰岩	
198	12		h1149	14 北東捨	トレンツ 1-4	702-1 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	78.8	55.1	34.1	122.4	凝灰岩	
198	13	112	9 7744	14 北東捨	トレンツ 1-2	702-1 <sup>+</sup> a2層	5-X	石製円盤	45.0	52.0	35.0	17.9	相馬安山岩	
198	14		2048	14 北東捨	トレンツ 1-1	702-2層	5-X	石製円盤	59.0	51.9	20.3	72.9	凝灰岩	
198	15		h176	14 北東捨	トレンツ 1-4	702-2層	5-X	石製円盤	62.1	56.4	13.1	66.0	相馬安山岩	赤色顔料付着。右端部 折断

表16 北東拾場地区 石器・石製品観察表(12)

発掘調査番号	番号	図録番号	整理番号	エリア	出土位置	層位	5条・特命	図録	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量	材質	備考	
109	16		h134	14 北東捨	トランプ1	TR6-2層	S-X	石製内盤	101.1	94.5	20.7	300.0	緑閃岩		
109	17		2016	14 北東捨	トランプ2	不明	S-X	石製内盤	93.0	92.3	25.3	330.1	緑閃岩		
109	18		2200	14 北東捨	トランプ1	不明	S-X	石製内盤	81.4	77.3	23.1	100.4	緑閃岩	不整6角形、風化	
109	19		h1204	14 北東捨	斜面トレンチ全土	不明	S-X	石製内盤	100.8	92.6	23.2	338.5	グレイサイト		
109	20		h1336	14 北東捨	トランプ2	不明	S-X	石製内盤	87.3	50.5	9.0	86.1	グレイサイト		
109	21		h171	14 北東捨	斜面トレンチ	不明	S-X	石製内盤	87.4	66.7	16.0	83.3	黒色安山岩		
109	22		286	14 北東捨	トランプ1	不明	S-X	石製内盤	109.0	59.7	28.7	303.0	木炭定		
170	1		h1865	14 北東捨	トランプ1	不明	S-X	石製内盤	84.0	52.2	13.4	51.6	緑質頁岩		
170	2		h138	14 北東捨	斜面トレンチ全土	不明	S-X	石製内盤	87.1	61.8	18.6	104.9	グレイサイト	アスファルト	
170	3		h1336	14 北東捨	V068	不明	S-X	石製内盤	68.2	57.5	23.0	136.7	緑閃岩	報告書備考1編第2巻第1巻巻頭	
170	4		10239	14 北東捨	V106	TR26~1-4層	S-8000	自然産	126.3	120.4	65.4	1142.3	緑閃岩		
170	5	114	3	7719	14 北東捨	トランプ1P4021付	TR3-0層	S-X	石製品	142.0	49.0	17.0	125.4	砂質緑閃岩	棒状で割跡あり
170	6	112	3	2045	14 北東捨	トランプ2	不明	S-X	石製品	37.8	35.5	7.3	7.6	緑閃岩	破片、縁部、未割
170	7		2609	14 北東捨	V145	TR3-3層	S-X	石製品	15.6	10.2	10.6	7.0	シルト岩		
170	8		810	14 北東捨	V45	1層	S-X	石製品	45.6	14.0	6.1	10.2	緑閃岩		
170	9		4707	14 北東捨	NV56	R1層1層	TR-267	自然産	61.7	22.0	13.4	10.0	木炭定	報告書備考1編第2巻第1巻巻頭	
170	10		2623	14 北東捨	V146	ブロック4022-1	TR1-4層	S-X	玉磨材	22.3	19.5	16.4	6.4	緑色緑閃岩	
170	11		805	14 北東捨	V107	確認層	S-X	玉磨材	13.3	12.0	7.0	1.0	緑色緑閃岩		
170	12		6355	14 北東捨	V109	10	TR-5064	玉磨材	14.3	16.0	8.0	1.8	緑色緑閃岩	報告書備考1編第2巻第1巻巻頭	
170	13	114	4	7776	14 北東捨	V145	TR3-3層	S-X	石製品	133.0	109.0	53.0	776.7	灰山岩	有孔
170	14	114	1	7520	14 北東捨	トレンチ3層-4	TR3-0層	S-4238	石製品	51.0	50.0	14.0	26.2	緑閃岩	
170	15	106	6	2053	14 北東捨	V417	TR2-ウ層	S-X	石製品	58.0	56.0	26.0	130.8	緑閃岩	
170	16	112	6	2047	14 北東捨	V415	1層	P-X	緑閃岩	52.0	24.0	20.3	12.8	緑閃岩	
170	17	113	6	7721	14 北東捨	トランプ1	不明	S-X	緑閃岩	54.0	48.0	16.0	31.9	緑閃岩	
170	18	113	2	2054	14 北東捨	V417	TR3-4層	S-4068	石製内盤	47.6	59.7	11.9	51.8	緑色緑閃岩	縁部、アスファルト
170	19	114	2	2061	14 北東捨	トランプ1ブロック8	TR1-4層	S-X	石製品	60.0	40.0	35.0	106.9	緑色緑閃岩	縁部
171	1	114	6	2209	14 北東捨	V146	縁部	S-X	緑閃岩	92.8	81.5	25.4	128.2	緑閃岩	
171	2		5342	14 北東捨	トランプ2	TR3-0層	S-X	緑閃岩	56.0	51.6	18.2	34.6	緑閃岩		
171	3		5206	14 北東捨	V146	TR1-4層	S-X	緑閃岩	63.7	49.0	11.0	35.1	緑閃岩		
171	4	112	4	2056	14 北東捨	トランプ2	TR6-1~2層	S-X	緑閃岩	118.1	74.2	26.6	300.5	緑色緑閃岩	縁部
171	5		6057	14 北東捨	トランプ3	TR1-4層	S-X	石製品	81.4	94.4	23.0	205.3	灰山岩	赤粉塗料	
171	6	114	7	821	14 北東捨	トランプ1	TR3-2層	S-0381	石製品	88.2	61.7	34.4	115.1	緑色緑閃岩	底状の割
171	7	112	1	5343	14 北東捨	トランプ1	TR3-1層	S-X	緑閃岩	91.1	63.9	26.2	106.2	緑閃岩	縁部
171	8		4492	14 北東捨	トランプ5	TR1-4層	S-X	緑閃岩	56.0	55.5	11.8	47.2	緑閃岩		
171	9		2731	14 北東捨	トランプ9	TR2-ウ層	S-X	緑閃岩	78.2	55.0	6.9	32.9	緑閃岩		
171	10	112	2	7756	14 北東捨	トランプ1	不明	S-X	緑閃岩	107.0	107.0	21.0	445.3	緑閃岩	縁部

表17 北東拾場地区 石製円盤集合写真観察表(1)

写真番号	時期	出土地点	層・備考	直径(mm)
P101				
172-1	2	172-1-1	1層	115.1
172-2	1	172-2-1	1層	174.9
172-3	1	172-3-1	1層	202.0
172-4	1	172-4-1	1層	93.4
172-5	1	172-5-1	1層	93.4
172-6	1	172-6-1	1層	84.8
172-7	2	172-7-1	1層	206.1
172-8	1	172-8-1	1層	104.2
172-9	1	172-9-1	1層	104.2
172-10	1	172-10-1	1層	104.2
172-11	1	172-11-1	1層	117.8
172-12	1	172-12-1	1層	117.8
172-13	1	172-13-1	1層	117.8
172-14	1	172-14-1	1層	117.8
172-15	1	172-15-1	1層	117.8
172-16	1	172-16-1	1層	117.8
172-17	1	172-17-1	1層	117.8
172-18	1	172-18-1	1層	117.8
172-19	1	172-19-1	1層	117.8
172-20	1	172-20-1	1層	117.8
172-21	1	172-21-1	1層	117.8
172-22	1	172-22-1	1層	117.8
172-23	1	172-23-1	1層	117.8
172-24	1	172-24-1	1層	117.8
172-25	1	172-25-1	1層	117.8
172-26	1	172-26-1	1層	117.8
172-27	1	172-27-1	1層	117.8
172-28	1	172-28-1	1層	117.8
172-29	1	172-29-1	1層	117.8
172-30	1	172-30-1	1層	117.8
172-31	1	172-31-1	1層	117.8
172-32	1	172-32-1	1層	117.8
172-33	1	172-33-1	1層	117.8
172-34	1	172-34-1	1層	117.8
172-35	1	172-35-1	1層	117.8
172-36	1	172-36-1	1層	117.8
172-37	1	172-37-1	1層	117.8
172-38	1	172-38-1	1層	117.8
172-39	1	172-39-1	1層	117.8
172-40	1	172-40-1	1層	117.8
172-41	1	172-41-1	1層	117.8
172-42	1	172-42-1	1層	117.8
172-43	1	172-43-1	1層	117.8
172-44	1	172-44-1	1層	117.8
172-45	1	172-45-1	1層	117.8
172-46	1	172-46-1	1層	117.8
172-47	1	172-47-1	1層	117.8
172-48	1	172-48-1	1層	117.8
172-49	1	172-49-1	1層	117.8
172-50	1	172-50-1	1層	117.8
172-51	1	172-51-1	1層	117.8
172-52	1	172-52-1	1層	117.8
172-53	1	172-53-1	1層	117.8
172-54	1	172-54-1	1層	117.8
172-55	1	172-55-1	1層	117.8
172-56	1	172-56-1	1層	117.8
172-57	1	172-57-1	1層	117.8
172-58	1	172-58-1	1層	117.8
172-59	1	172-59-1	1層	117.8
172-60	1	172-60-1	1層	117.8
172-61	1	172-61-1	1層	117.8
172-62	1	172-62-1	1層	117.8
172-63	1	172-63-1	1層	117.8
172-64	1	172-64-1	1層	117.8
172-65	1	172-65-1	1層	117.8
172-66	1	172-66-1	1層	117.8
172-67	1	172-67-1	1層	117.8
172-68	1	172-68-1	1層	117.8
172-69	1	172-69-1	1層	117.8
172-70	1	172-70-1	1層	117.8
172-71	1	172-71-1	1層	117.8
172-72	1	172-72-1	1層	117.8
172-73	1	172-73-1	1層	117.8
172-74	1	172-74-1	1層	117.8
172-75	1	172-75-1	1層	117.8
172-76	1	172-76-1	1層	117.8
172-77	1	172-77-1	1層	117.8
172-78	1	172-78-1	1層	117.8
172-79	1	172-79-1	1層	117.8
172-80	1	172-80-1	1層	117.8
172-81	1	172-81-1	1層	117.8
172-82	1	172-82-1	1層	117.8
172-83	1	172-83-1	1層	117.8
172-84	1	172-84-1	1層	117.8
172-85	1	172-85-1	1層	117.8
172-86	1	172-86-1	1層	117.8
172-87	1	172-87-1	1層	117.8
172-88	1	172-88-1	1層	117.8
172-89	1	172-89-1	1層	117.8
172-90	1	172-90-1	1層	117.8
172-91	1	172-91-1	1層	117.8
172-92	1	172-92-1	1層	117.8
172-93	1	172-93-1	1層	117.8
172-94	1	172-94-1	1層	117.8
172-95	1	172-95-1	1層	117.8
172-96	1	172-96-1	1層	117.8
172-97	1	172-97-1	1層	117.8
172-98	1	172-98-1	1層	117.8
172-99	1	172-99-1	1層	117.8
172-100	1	172-100-1	1層	117.8

写真番号	時期	出土地点	層・備考	直径(mm)
P102				
172-101	1	172-101-1	1層	92.1
172-102	1	172-102-1	1層	92.1
172-103	1	172-103-1	1層	92.1
172-104	1	172-104-1	1層	92.1
172-105	1	172-105-1	1層	92.1
172-106	1	172-106-1	1層	92.1
172-107	1	172-107-1	1層	92.1
172-108	1	172-108-1	1層	92.1
172-109	1	172-109-1	1層	92.1
172-110	1	172-110-1	1層	92.1
172-111	1	172-111-1	1層	92.1
172-112	1	172-112-1	1層	92.1
172-113	1	172-113-1	1層	92.1
172-114	1	172-114-1	1層	92.1
172-115	1	172-115-1	1層	92.1
172-116	1	172-116-1	1層	92.1
172-117	1	172-117-1	1層	92.1
172-118	1	172-118-1	1層	92.1
172-119	1	172-119-1	1層	92.1
172-120	1	172-120-1	1層	92.1
172-121	1	172-121-1	1層	92.1
172-122	1	172-122-1	1層	92.1
172-123	1	172-123-1	1層	92.1
172-124	1	172-124-1	1層	92.1
172-125	1	172-125-1	1層	92.1
172-126	1	172-126-1	1層	92.1
172-127	1	172-127-1	1層	92.1
172-128	1	172-128-1	1層	92.1
172-129	1	172-129-1	1層	92.1
172-130	1	172-130-1	1層	92.1
172-131	1	172-131-1	1層	92.1
172-132	1	172-132-1	1層	92.1
172-133	1	172-133-1	1層	92.1
172-134	1	172-134-1	1層	92.1
172-135	1	172-135-1	1層	92.1
172-136	1	172-136-1	1層	92.1
172-137	1	172-137-1	1層	92.1
172-138	1	172-138-1	1層	92.1
172-139	1	172-139-1	1層	92.1
172-140	1	172-140-1	1層	92.1
172-141	1	172-141-1	1層	92.1
172-142	1	172-142-1	1層	92.1
172-143	1	172-143-1	1層	92.1
172-144	1	172-144-1	1層	92.1
172-145	1	172-145-1	1層	92.1
172-146	1	172-146-1	1層	92.1
172-147	1	172-147-1	1層	92.1
172-148	1	172-148-1	1層	92.1
172-149	1	172-149-1	1層	92.1
172-150	1	172-150-1	1層	92.1
172-151	1	172-151-1	1層	92.1
172-152	1	172-152-1	1層	92.1
172-153	1	172-153-1	1層	92.1
172-154	1	172-154-1	1層	92.1
172-155	1	172-155-1	1層	92.1
172-156	1	172-156-1	1層	92.1
172-157	1	172-157-1	1層	92.1
172-158	1	172-158-1	1層	92.1
172-159	1	172-159-1	1層	92.1
172-160	1	172-160-1	1層	92.1
172-161	1	172-161-1	1層	92.1
172-162	1	172-162-1	1層	92.1
172-163	1	172-163-1	1層	92.1
172-164	1	172-164-1	1層	92.1
172-165	1	172-165-1	1層	92.1
172-166	1	172-166-1	1層	92.1
172-167	1	172-167-1	1層	92.1
172-168	1	172-168-1	1層	92.1
172-169	1	172-169-1	1層	92.1
172-170	1	172-170-1	1層	92.1
172-171	1	172-171-1	1層	92.1
172-172	1	172-172-1	1層	92.1
172-173	1	172-173-1	1層	92.1
172-174	1	172-174-1	1層	92.1
172-175	1	172-175-1	1層	92.1
172-176	1	172-176-1	1層	92.1
172-177	1	172-177-1	1層	92.1
172-178	1	172-178-1	1層	92.1
172-179	1	172-179-1	1層	92.1
172-180	1	172-180-1	1層	92.1
172-181	1	172-181-1	1層	92.1
172-182	1	172-182-1	1層	92.1
172-183	1	172-183-1	1層	92.1
172-184	1	172-184-1	1層	92.1
172-185	1	172-185-1	1層	92.1
172-186	1	172-186-1	1層	92.1
172-187	1	172-187-1	1層	92.1
172-188	1	172-188-1	1層	92.1
172-189	1	172-189-1	1層	92.1
172-190	1	172-190-1	1層	92.1
172-191	1	172-191-1	1層	92.1
172-192	1	172-192-1	1層	92.1
172-193	1	172-193-1	1層	92.1
172-194	1	172-194-1	1層	92.1
172-195	1	172-195-1	1層	92.1
172-196	1	172-196-1	1層	92.1
172-197	1	172-197-1	1層	92.1
172-198	1	172-198-1	1層	92.1
172-199	1	172-199-1	1層	92.1
172-200	1	172-200-1	1層	92.1

写真番号	時期	出土地点	層・備考	直径(mm)
P103				
172-201	1	172-201-1	1層	117.8
172-202	1	172-202-1	1層	117.8
172-203	1	172-203-1	1層	117.8
172-204	1	172-204-1	1層	117.8
172-205	1	172-205-1	1層	117.8
172-206	1	172-206-1	1層	117.8
172-207	1	172-207-1	1層	117.8
172-208	1	172-208-1	1層	117.8
172-209	1	172-209-1	1層	117.8
172-210	1	172-210-1	1層	117.8
172-211	1	172-211-1	1層	117.8
172-212	1	172-212-1	1層	117.8
172-213	1	172-213-1	1層	117.8
172-214	1	172-214-1	1層	117.8
172-215	1	172-215-1	1層	117.8
172-216	1	172-216-1	1層	117.8
172-217	1	172-217-1	1層	117.8
172-218	1	172-218-1	1層	117.8
172-219	1	172-219-1	1層	117.8
172-220	1	172-220-1	1層	117.8
172-221	1	172-221-1	1層	117.8
172-222	1	172-222-1	1層	117.8
172-223	1	172-223-1	1層	117.8
172-224	1	172-224-1	1層	117.8
172-225	1	172-225-1	1層	117.8
172-226	1	172-226-1	1層	117.8
172-227	1	172-227-1	1層	117.8

表17 北東捨場地区 石製円盤集合写真観察表(2)

写真 番号	図解 番号	出土地点	種・備考	重量 (g)	
1719	21	31	スレンゴウ1	石製	14.0
1724	26	31	スレンゴウ	石製	8.0
1724	29	31	V22	磨面中	8.0
1724	30	8	V46	不明	9.7
1724	31	8	V20	石製	13.0
1724	32	450	V21	北東屋瓦・土盤	11.0
1724	33	421	V21	北東屋瓦・土盤	24.1
1724	34	27	スレンゴウ1	不明	13.0
1724	35	450	V20	北東屋瓦・土盤	14.0
1724	36	450	V21	石製	11.0
1724	37	450	V21	北東屋瓦・土盤	22.0

写真 番号	図解 番号	出土地点	種・備考	重量 (g)	
1725	1	14	V41	不明	102.7
1725	2	31	スレンゴウ	石製	20.0
1725	3	368	スレンゴウ	北東屋瓦・土盤	240.0
1725	4	321	V21	北東屋瓦・土盤	110.0
1725	5	321	V21	石製	94.0
1725	6	31	スレンゴウ1	石製	43.0
1725	7	190	スレンゴウ	石製	60.0
1725	8	458	V41	石製	77.4
1725	9	301	スレンゴウ1	石製	47.0
1725	10	470	V20	北東屋瓦・土盤	74.0
1725	11	281	V20	石製	43.0
1725	12	300	V21	北東屋瓦・土盤	40.0
1725	13	300	V21	北東屋瓦・土盤	29.0
1725	14	301	スレンゴウ1	石製	57.4
1725	15	41	V21	石製	74.0
1725	16	41	V21	北東屋瓦・土盤	67.0
1725	17	41	V20	石製	34.0
1725	18	41	V21	石製	30.4
1725	19	31	V21	石製	95.0
1725	20	120	スレンゴウ	石製	79.0
1725	21	31	V21	不明	33.0
1725	22	358	V20・40	北東屋瓦・土盤	65.0
1725	23	41	V20	北東屋瓦・土盤	67.0
1725	24	103	V41	石製	33.0
1725	25	31	スレンゴウ	石製	54.0
1725	26	41	V21	石製	51.0
1725	27	41	V20	北東屋瓦・土盤	21.0
1725	28	110	スレンゴウ	石製	50.0
1725	29	41	V21	北東屋瓦・土盤	74.0
1725	30	101	V20	石製	14.0
1725	31	301	V21	北東屋瓦・土盤	124.0
1725	32	30	V21	石製	104.0
1725	33	41	V21	北東屋瓦・土盤	80.0
1725	34	41	V21	北東屋瓦・土盤	69.0
1725	35	361	V41	石製	124.9
1725	36	113	V21	土盤	64.0
1725	37	300	V20	北東屋瓦・土盤	111.0
1725	38	300	V21	石製	190.0
1725	39	301	V21	石製	133.0
1725	40	110	スレンゴウ	石製	100.0
1725	41	41	V41	不明	214.2
1725	42	31	V21	磨面	17.1
1725	43	41	V21	北東屋瓦・土盤	64.0

写真 番号	図解 番号	出土地点	種・備考	重量 (g)	
1726	1	113	V41	石製	124.0
1726	2	110	スレンゴウ	石製	100.0
1726	3	140	V20	石製	63.0
1726	4	141	V20	不明	112.0
1726	5	150	V41	石製	103.0
1726	6	131	スレンゴウ	石製	200.0
1726	7	301	スレンゴウ1	石製	200.0
1726	8	110	スレンゴウ1	土盤	41.0
1726	9	110	V20	石製	20.0
1726	10	40	スレンゴウ1	不明	100.0
1726	11	140	V20	不明	114.4
1726	12	31	スレンゴウ	石製	20.0
1726	13	410	V21	北東屋瓦・土盤	20.0
1726	14	101	スレンゴウ	石製	67.0
1726	15	110	スレンゴウ	石製	20.0
1726	16	111	スレンゴウ2	石製	30.0
1726	17	11	V20	石製	16.0
1726	18	301	V21	北東屋瓦・土盤	24.0
1726	19	400	V21	北東屋瓦・土盤	40.0
1726	20	40	スレンゴウ	石製	11.0
1726	21	401	V20	北東屋瓦・土盤	40.0

集合写真には北東捨場地区・北東捨場地区出土の石製円盤を  
 主として掲載した。北東捨場地区 出土の石製円盤については、  
 種・備考欄に「北東屋瓦」を記した。

表18 北東拾遺場地区 その他遺物観察表

写真 順順	写真 番号	出土地点	層位	品類	時期	説明	備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	整理 番号
174	1	VX-27 特-6006	不明	漆製品	自然陶器～弥生	漆器類。		—	—	—	6-114
174	2	VX-27 特-6007 特-6027	TIG-2層	漆製品(櫛)	自然陶器～弥生	赤漆塗り、突起と彫刻残存、端部に突起状彫。櫛歯残り部は残存(櫛歯部0.5cm)。	櫛種未決定	4.11	6.40	0.29	6-112
—	—	VX-28 特-6009	不明	漆製品	自然陶器～弥生	漆器類。		—	—	—	6-113
174	3	不明	不明	アスファルト	弥生			9.04	6.79	2.83	20112
174	4	VX-28 TIG-3層	不明	アスファルト	弥生			4.83	3.83	1.32	20119
174	5	VX-28 特-6011 特-6018	TIG-2層	アスファルト	弥生2～3	継柱		—	—	—	20118



表19 東拾陽延地区 土器観察表(2)

調査番号	家屋調査	調査者	所在地(町上番号)	層名	時期	形類・外面文様之区	内径特徴	付着物	備考	口径(mm)	底径(mm)	高さ(mm)	重量(g)
—	181	1	V137 P123	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、赤良(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、赤良長2粒(一組入り、両側突起、白線突起とは対応しない)、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、赤良(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、赤良長2粒(一組入り、両側突起、白線突起とは対応しない)、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		125.0	7.0	19.8	重量18 土器001
—	181	2	V137 P-X	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(外面)		—	—	—	重量18 土器004
—	181	3	V137 P-X	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、白線部2条、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、白線部2条、平足。	赤化物(外面)		125.0	2.8	6.3	重量18 土器005
—	181	4	V137 P123	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線1条(黒目なし)、赤良長2粒(2粒の5/5に片方入り)、白線文(10条多数)、体部3分、赤良長2粒(赤良長2単位)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線1条(黒目なし)、赤良長2粒(2粒の5/5に片方入り)、白線文(10条多数)、体部3分、赤良長2粒(赤良長2単位)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		125.0	2.4	21.8	重量18 土器006
—	181	5	V137 P123	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		125.0	2.4	19.8	重量18 土器011
—	181	6	V137 P129	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(外面)		125.0	—	—	重量18 土器016
—	181	8	V137 P-X	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、赤良長2粒(2粒の5/5に片方入り)、白線文(10条多数)、体部3分、赤良長2粒(赤良長2単位)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、赤良長2粒(2粒の5/5に片方入り)、白線文(10条多数)、体部3分、赤良長2粒(赤良長2単位)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		125.0	—	—	重量18 土器033
—	181	9	V137 P-X	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		125.0	—	(5.6)	重量18 土器039
—	181	10	V137 P-X	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		125.0	—	—	重量18 土器064
—	181	11	V137 P126	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)	規定明位係比(分)	9.5	3.4	7.5	重量18 土器061
—	181	12	V137 P-X	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、赤良長2粒(2粒の5/5に片方入り)、白線文(10条多数)、体部3分、赤良長2粒(赤良長2単位)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、赤良長2粒(2粒の5/5に片方入り)、白線文(10条多数)、体部3分、赤良長2粒(赤良長2単位)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		125.0	—	—	重量18 土器036
—	181	13	V137 P-X	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		125.0	—	—	重量18 土器051
—	181	14	V137 P123	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、白管1面直径なし、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		—	—	—	重量18 土器051
—	181	15	V137 P233	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		—	—	(16.3)	重量18 土器050
—	181	16	V137 P131	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		(17.3)	—	(6.1)	重量18 土器015
—	181	17	V137 P121	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		15.0	—	(16.2)	重量18 土器018
—	182	1	V137 P110	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		13.6	2.8	16.3	重量18 土器021
—	182	2	V137 P-X	II-a-1層	ⅡB	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	平口鉢、赤良長(焼成1単位、赤良面は黒目1本)、白管1羽目、外面：横位文線3条、2粒(一組入り)の赤良長あり、文線帯文之区1条、体部→赤良に白線文、平足。	赤化物(内・外側)		11.6	—	(7.0)	重量18 土器040







表20 東拾場延長地区 土製品 観察表

図番号	写真 図説	分類	出土位置	部位	取上番号	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	重量 (g)	備考	図番号
20-22	42-22	魚形土偶	IV137	1層		120	172	5	6.3	平片、細灰。	東延長-土004
20-27	43-27	土瓶	IV137	1層		17	120	3	4.2	中央、方眼、灰文。	東-土005
20-28	43-28	魚形土偶	IV137	1層		123	120	3	4.9	側縁部のみ欠。	東-土005
121	182-10	土瓶	IV137	II-a-1層		623	427	5	26.6	中央、側面(左右)、口縁文。	東延長-土006
121	182-11	土瓶	IV161	II-a-1層		136	82	16	118.6	中央、左足部文面、三年瀬二瓶土瓶と類似相違、口の両側に灰文。	東延長-土006
—	182-12	土瓶	IV137	II-a-1層		27	25	13	5.8	中央、細灰。	東延長-土010
121	182-13	円筒状土製品	IV138	II-a-1層		25	21	5	3.3	縁部土部割取片、口縁文。	東延長-土008
123	182-14	円筒状土製品	IV162	II-a-2層	土製品106	24	23	3	2.4	縁部土部割取片、口縁文。	東延長-土011
123	182-15	円筒状土製品	IV169	II-a-1層		27	32	5	5.3	縁部土部割取片。	東延長-土009
123	182-17	円筒状土製品	IV160	II-a-2上層		34	42	4	7.2	縁部土部割取片、口縁文(厚肉)、××取付化粧片。	東延長-土013
123	182-18	円筒状土製品	IV137	II-a-2上層		27	26	5	5.0	縁部土部割取片、口縁文(厚肉)。	東延長-土014
123-1	—	円筒状土製品	IV138	II-a-1層		160	180	10	23.1	側縁部土部割取片、側縁に付刺痕。	東延長-土012

表21 東拾場延長地区 ミニチュア・小型土器観察表

図番号	写真 図説	分類	出土位置	部位	取上番号	口径 (mm)	底径 (mm)	高さ (mm)	重量 (g)	時期	備考	図番号
119	182-2	付付瓦片	IV138	1層		0.0	—	—	—	(L) 0層4	内面：小段瓦口縁、外面：磨光土1層、灰土子。底径：付(内面)、内面(子)。取付部(付・外面)。	東延長-土003
119	182-3	鉢	IV137	II-a-1層	P-153	6.2	3.0	4.6	—	灰土器	外底：平口縁、口縁部～底部に口縁文、底面：凹底、内底：平片。	東延長-土001
120	182-12	鉢	IV169	土製品105		2.1	2.1	3.5	—	細灰器	内底：平口縁、平片、底面：瓦底、内面：平片。	東延長-土007
121	182-7	陶瓦片	IV137	II-a-2層	P-N	—	—	—	—	0層	内面：平片、平片。	東延長-土004
121	182-8	皿	IV164	II層	P-N	6.0	11.8	2.0	0.8	0層	外底：平口縁、口縁部～底面平片、平片、内底：平片。	東延長-土002

表22 東拾場延長地区 石器・石製品観察表(1)

発掘 段層	発掘 番号	図例 番号	整理 番号	グランド	層位	取上 姿勢	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	材質	備考
181	1	122	1	1807 西M1	I層	5-3	石鏃	8.5	4.9	0.4	0.1	持貫直削	
181	2			5550 西M1	I層	5-3	石鏃	19.5	9.0	3.1	0.3	持貫直削	アスファルト
181	3			1821 西M1	I層	5-3	石鏃	22.4	9.1	3.9	0.7	持貫直削	アスファルト
181	4			1813 西M1	I層	5-3	石鏃	127.3	14.0	3.0	14.33	持貫直削	撥灰、木打釘
181	5			1834 西M1	I層	5-3	石鏃	32.3	16.4	0.7	0.3	持貫直削	木製土器
181	6			1823 西M1	I層	5-3	石鏃	42.8	12.9	0.0	1.5	持貫直削	アスファルト
181	7			1819 西M1	I層	5-3	石鏃	117.0	17.1	0.8	14.31	持貫直削	アスファルト
181	8			1830 西M1	I層	5-3	石鏃	32.6	11.3	5.7	2.1	持貫直削	
181	9			6053 不明	跡上	5-3	石鏃	18.9	7.3	3.2	0.6	磨製石	出土品
181	10			1760 不明	IIa-1下層	5-3	石鏃	16.4	8.2	3.1	0.3	持貫直削	
181	11			1820 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	19.6	8.9	3.7	0.3	持貫直削	
181	12			1816 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	119.2	6.4	13.0	10.33	持貫直削	
181	13	122	3	1816 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	19.5	9.6	3.5	0.6	持貫直削	
181	14			5529 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	17.7	11.5	4.0	0.6	持貫直削	アスファルト
181	15	122	2	1811 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	9.0	3.3	0.2	0.3	持貫直削	
181	16			5523 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	26.2	9.0	3.6	0.5	持貫直削	アスファルト
181	17			5526 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	20.9	10.3	4.1	0.7	持貫直削	燐灰質粘、石鏃用材
181	18			1810 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	121.3	9.0	3.9	10.41	持貫直削	
181	19			1761 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	28.4	7.8	3.1	0.9	持貫直削	
181	20			1802 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	35.1	15.8	3.4	1.0	1層位直貫直削	アスファルト
181	21			5527 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	36.9	12.3	3.8	1.1	持貫直削	
181	22			1811 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	127.4	10.6	3.3	10.91	持貫直削	アスファルト
181	23			1812 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	30.9	10.0	4.3	1.0	持貫直削	
181	24			1817 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	28.8	9.5	3.1	0.7	持貫直削	青銅加工
181	25			5523 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	28.0	10.1	4.2	1.1	持貫直削	
181	26			5524 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	25.6	11.6	4.9	1.8	持貫直削	表面磨加工、木製土器
181	27			5528 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	28.4	11.3	4.1	1.1	持貫直削	磨製?
181	28			5532 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	33.2	10.0	4.6	1.1	持貫直削	
181	29			1824 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	37.3	11.4	4.0	1.0	持貫直削	
181	30			1829 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	130.1	11.4	5.0	11.63	持貫直削	アスファルト
181	31			1833 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	39.8	12.1	5.8	3.0	持貫直削	アスファルト
181	32			1825 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	44.3	11.3	5.2	1.8	持貫直削	
181	33			1836 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	46.0	15.9	3.9	3.6	持貫直削	
181	34	122	4	1820 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	37.2	9.7	4.5	3.0	持貫直削	
181	35			4723 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	25.6	21.7	8.2	2.1	持貫直削	
181	36			1832 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	30.0	11.3	5.7	1.7	持貫直削	
181	37			1809 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	23.2	7.8	3.9	0.6	持貫直削	
181	38			1806 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	18.4	10.0	4.1	0.5	持貫直削	アスファルト
181	39			1819 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	22.0	13.7	3.3	0.9	持貫直削	撥灰、木打釘
181	40			1810 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	121.0	10.1	4.1	10.71	持貫直削	
181	41			1808 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	31.1	11.9	4.8	1.5	持貫直削	アスファルト
181	42			1826 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	20.9	11.4	4.2	1.0	持貫直削	アスファルト
181	43			5531 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	21.5	8.7	3.3	0.9	持貫直削	アスファルト
181	44			1831 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	32.6	10.5	3.9	0.8	持貫直削	
181	45			1833 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	35.9	14.4	4.9	2.3	持貫直削	
181	46			1828 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	37.4	17.5	5.5	2.2	持貫直削	
181	47			1841 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	37.6	9.4	5.1	0.6	持貫直削	
181	48			1838 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	40.9	20.1	8.2	5.2	持貫直削	
181	49			1843 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	35.5	8.4	3.8	1.1	持貫直削	
181	50			5520 西M1	I層	5-3	石鏃	32.7	21.1	8.9	3.7	持貫直削	
181	51			5519 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	27.4	6.8	3.7	0.5	持貫直削	
181	52	122	6	1815 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	43.2	9.4	7.8	2.2	1層	
181	53			5516 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	31.8	11.7	9.2	3.8	持貫直削	
181	54			1847 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	36.7	10.9	7.2	4.1	持貫直削	石鏃?
181	55	122	5	1842 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	42.0	9.5	3.1	3.1	持貫直削	
181	56			1797 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	52.1	7.9	4.7	1.9	持貫直削	
181	57			5553 西M1	IIa-1下層	5-3	石鏃	24.6	11.0	5.1	1.2	持貫直削	アスファルト、石鏃?
181	58			5521 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	18.6	13.8	3.9	0.5	持貫直削	
181	59			5516 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	29.0	7.9	3.0	0.7	持貫直削	
181	60			5522 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	31.1	8.1	3.8	1.0	持貫直削	
181	61			5515 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	44.2	22.6	10.2	14.6	持貫直削	先端から割断
181	62			5517 西M1	II層	5-3	石鏃	23.1	31.0	8.7	5.2	持貫直削	
181	63			5512 西M1	I層	5-3	石鏃	43.9	21.6	10.3	17.1	持貫直削	
181	64			5514 西M1	I層	5-3	石鏃	48.2	27.4	14.8	18.3	持貫直削	
181	65			1803 西M1	I層	5-3	石鏃	71.5	25.1	11.4	18.5	持貫直削	
181	66			1818 西M1	I層	5-3	石鏃	47.0	31.6	11.8	19.8	持貫直削	
181	67			5513 西M1	II層	5-3	石鏃	51.3	42.2	11.9	24.3	持貫直削	アスファルト
181	68			1805 西M1	I層	5-3	石鏃	40.3	28.2	9.5	9.9	持貫直削	
181	69			1848 西M1	I層	5-3	石鏃	44.3	25.7	10.4	9.1	持貫直削	刃部変形
181	70			5519 西M1	I層	5-3	石鏃	42.2	44.1	9.3	11.1	持貫直削	アスファルト
181	71			5537 西M1	I層	5-3	石鏃	27.7	41.8	6.9	8.7	持貫直削	
181	72			5539 西M1	I層	5-3	石鏃	45.0	47.6	17.7	31.2	持貫直削	アスファルト
181	73			5549 西M1	I層	5-3	石鏃	41.0	48.1	7.1	5.0	持貫直削	
181	74			5548 西M1	I層	5-3	石鏃	44.1	17.6	10.4	4.7	持貫直削	
181	75			4443 西M1	I層	5-3	石鏃	51.3	36.6	10.8	22.1	持貫直削	アスファルト、刃部変形
181	76			5540 西M1	I層	5-3	石鏃	62.1	46.1	15.2	42.1	持貫直削	
181	77			5541 西M1	I層	5-3	石鏃	63.6	39.6	10.8	13.5	持貫直削	つまみ跡加工
181	78			1809 西M1	I層	5-3	石鏃	66.2	23.9	11.8	25.9	持貫直削	
181	79			1851 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	30.0	30.2	6.1	4.5	持貫直削	
181	80			1851 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	30.1	37.0	6.5	19.2	持貫直削	アスファルト、刃部変形
181	81			1850 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	41.5	18.2	10.9	9.8	持貫直削	
181	82			5541 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	46.2	23.9	12.2	15.0	持貫直削	
181	83			5543 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	36.2	47.7	8.8	25.2	持貫直削	アスファルト
181	84			1852 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	37.8	62.0	11.5	17.0	持貫直削	アスファルト、刃部変形
181	85			4751 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	44.9	44.0	10.6	14.2	持貫直削	アスファルト
181	86			5542 西M1	IIa-1下層	5-3	石鏃	44.9	14.7	7.8	3.3	持貫直削	素材割片でシジツラク チャーム
181	87			4752 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	79.5	34.9	9.9	27.3	持貫直削	正面下層にもアスファルト
181	88	122	7	1856 西M1	IIa-1下層	5-3	石鏃	51.7	77.3	14.2	28.3	持貫直削	
181	89			1857 西M1	IIa-1層	5-3	石鏃	61.4	64.3	15.6	39.0	持貫直削	
181	90			4759 西M1	IIa-2層	5-3	石鏃	38.6	44.1	7.2	8.2	持貫直削	アスファルト部一隅に 削って残る、刃部変形

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(2)

発掘調査年度	番号	図面番号	発掘番号	グラッド	層位	取上	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石質	備考	
1981	91		1850	IV-519	II-a-2層	5-3	石器	49.5	40.7	8.7	17.9	持首直刃	アスファルト、刀痕あり	
1981	92	122	8	1853	IV-501	II-a-2層	5-3	石器	56.1	58.7	13.2	28.3	持首直刃	
1981	93		1845	IV-535	II-a-2層	5-3	石器	46.6	15.9	6.0	5.9	持首直刃		
1981	94		1852	IV-501	II-a-2層	5-3	石器	31.4	14.1	3.2	15.0	持首直刃		
1981	95		5515	IV-161	II層	5-3	石器	26.2	26.5	8.6	6.0	持首直刃	つまみ取欠損後、正面左側に作出。刀痕あり	
1981	95		5547	石器	石器	5-3	石器	37.2	55.0	13.3	31.6	持首直刃		
1981	95		5546	石器	石器	5-3	石器	59.7	59.1	10.6	28.7	持首直刃		
1981	96		10034	IV-538	II-a-1下層	5-3	石器	20.3	20.6	6.0	5.9	持首直刃	アスファルト	
1981	97		10024	IV-539	I層	5-3	石器	27.0	19.3	7.6	4.1	持首直刃		
1981	97		10030	IV-533	I層	5-3	石器	37.6	26.7	10.2	9.1	持首直刃		
1981	97		10028	IV-535	I層	5-3	石器	39.7	28.1	12.1	13.3	持首直刃		
1981	98		10029	IV-560	I層	5-3	石器	45.8	20.6	6.7	5.5	持首直刃		
1981	98		10021	IV-538	I層	5-3	石器	20.3	14.3	16.9	48.7	持首直刃		
1981	98		10027	IV-538	I層	5-3	石器	54.4	54.9	10.9	29.0	持首直刃		
1981	98		10026	IV-560	I層	5-3	石器	61.5	52.5	9.9	36.3	持首直刃		
1981	98		6051	IV-860	II層	石器	石器	121.1	13.0	0.5	0.9	薄板石	出土品	
1981	99		10052	IV-860	II層	5-3	石器	28.2	18.1	7.6	4.2	石器		
1981	99		8846	IV-952	II層	5-3	石器	48.8	23.8	8.0	8.6	持首直刃		
1981	100		1837	IV-862	II-a-1層	5-3	石器	39.3	18.2	8.0	4.3	持首直刃	細線アスファルト	
1981	100		5536	IV-839	II-a-1層	5-3	石器	46.9	13.5	6.3	3.1	持首直刃	細線アスファルト	
1981	100		5521	IV-861	II-a-1層	5-3	石器	35.1	13.3	5.5	2.1	持首直刃	細線アスファルト	
1981	101		10019	IV-538	II-a-1層	5-3	石器	24.4	17.3	3.9	2.6	持首直刃		
1981	101		1847	IV-535	II-a-1層	5-3	石器	26.6	22.5	11.4	8.2	持首直刃		
1981	101		10020	IV-537	II-a-1層	5-3	石器	36.2	18.1	6.2	3.4	持首直刃		
1981	101		10036	IV-562	II-a-1層	5-3	石器	29.1	18.7	7.9	5.7	持首直刃		
1981	101		1841	IV-536	II-a-1層	5-3	石器	42.6	25.6	8.2	9.7	持首直刃		
1981	101		10033	IV-836	II-a-1層	5-3	石器	45.5	22.0	8.4	8.7	持首直刃		
1981	101		10037	IV-537	II-a-1層	5-3	石器	41.7	24.6	7.9	8.0	持首直刃		
1981	101		10041	IV-561	II-a-1層	5-3	石器	74.0	42.0	16.0	41.7	持首直刃		
1981	101		1843	IV-536	II-a-1層	5-3	石器	74.6	26.7	12.9	30.8	持首直刃		
1981	101		1845	IV-536	II-a-1下層	5-3	石器	41.1	24.6	8.8	7.9	持首直刃	石痕木製品?	
1981	101		10018	IV-162	II-a-1下層	5-3	石器	55.2	33.9	11.2	26.0	持首直刃		
1981	101		10023	IV-538	II-a-1下層	5-3	石器	35.4	27.7	16.9	37.7	持首直刃		
1981	101		5526	IV-860	II-a-2層	5-3	石器	22.1	19.8	8.2	4.1	持首直刃		
1981	101		10022	IV-862	II-a-2層	5-3	石器	40.0	42.9	13.2	36.8	持首直刃	石痕木製品?	
1981	101		10019	IV-836	II-a-2層	5-3	石器	56.3	35.3	13.4	23.6	持首直刃		
1981	101		10017	IV-839	II-a-1層	5-3	石器	47.6	28.1	12.4	58.1	持首直刃		
1981	101	122	9	10011	IV-861	5-3	石器	23.4	18.9	8.9	10.8	持首直刃		
1981	101	122	10	6052	IV-839	II層	石器	22.9	14.9	4.6	1.2	薄板石	石痕?	
1981	101		4767	IV-538	II-a-1層	5-3	石器	41.1	46.9	8.5	2.3	薄板石	出土品	
1981	101		6043	IV-537	II-a-1層	5-3	石器	20.4	14.4	10.3	13.6	薄板石	出土品	
1981	101		4766	IV-536	II-a-1層	5-3	石器	41.4	41.9	20.2	37.1	薄板石	出土品	
1981	101		10023	IV-862	II-a-1層	5-3	石器	47.8	38.2	13.8	25.1	持首直刃		
1981	101		10017	IV-839	II-a-1層	5-3	石器	43.6	14.3	11.9	20.4	持首直刃		
1981	101		10021	IV-537	II-a-1層	5-3	石器	63.1	68.0	13.2	47.8	持首直刃		
1981	101		10013	IV-836	II-a-1層	5-3	石器	136.1	37.6	49.9	346.9	持首直刃		
1981	101		5220	IV-538	II-a-1下層	5-3	石器	100.7	32.6	47.4	448.5	持首直刃		
1981	101		10009	IV-838	II-a-1層	5-3	石器	83.6	77.3	36.1	409.6	持首直刃	石製品?	
1981	101		10012	IV-839	II-a-1層	5-3	石器	77.6	66.6	31.1	176.6	持首直刃		
1981	101		10056	IV-836	II-a-1下層	5-3	石器	29.8	66.7	51.1	353.2	持首直刃		
1981	101		10094	IV-538	II-a-1層	5-3	石器	56.0	46.4	51.0	170.8	持首直刃		
1981	101		891	IV-564	II層	5-3	石器	36.2	33.3	27.7	38.0	持首直刃		
1981	101	122	12	885	IV-860	II層	5-3	石器	48.0	49.0	36.0	130.8	持首直刃	
1981	101	122	11	891	IV-139	II-a-2層	5-3	石器	45.0	42.0	39.0	117.0	持首直刃	木製?
1981	101		10093	IV-836	II-a-2層	5-3	石器	73.6	46.6	61.0	322.6	持首直刃		
1981	101		10096	IV-839	II-a-2層	5-3	石器	96.9	64.0	37.6	294.9	持首直刃		
1981	101		10095	IV-836	II-a-2層	5-3	石器	140.4	68.2	53.6	723.3	持首直刃		
1981	101		10092	IV-565	II層	5-3	石器	181.4	96.7	58.2	1480.1	持首直刃		
1981	101		10098	IV-564	II層	5-3	石器	181.4	96.7	58.2	1480.1	持首直刃		
1981	101		8648	IV-839	II-a-1層	5-3	薄板石	50.4	40.1	14.1	31.0	薄板石		
1981	101		10087	IV-839	II-a-1層	5-3	石器	50.7	42.2	26.3	92.6	持首直刃		
1981	101		10113	IV-537	II-a-2層	5-3	石器	106.1	86.0	73.1	1041.7	持首直刃	赤色顔料	
1981	101		10098	IV-831	II-a-1層	5-3	石器	127.2	93.1	65.5	690.3	持首直刃		
1981	101		10090	IV-836	I層	5-3	石器	59.3	55.6	44.5	200.9	持首直刃	木製?	
1981	101		10012	北東捨場・V08	I層	5-3	礫石	26.3	26.8	69.0	474.1	礫石(木製?)	報告書第1編第2章第1節参照	
1981	7		10065	IV-536	II-a-1下層	5-3	石器	54.6	43.2	36.4	116.9	木製?		
1981	7		10063	IV-862	II-a-1層	5-3	石器	47.5	40.2	36.1	165.3	持首直刃		
1981	7		9986	IV-862	II-a-1層	5-3	石器	148.4	61.5	43.7	446.2	持首直刃		
1981	7		10067	IV-163	II層	5-3	石器	165.1	98.1	53.7	1263.9	持首直刃		
1981	7		10061	IV-860	II-a-2層	5-3	石器	65.1	59.1	52.2	251.9	持首直刃		
1981	7		10096	石器	石器	5-3	石器	84.3	75.3	46.8	41.6	石器		
1981	7		9973	IV-836	I層	5-3	石器	111.8	69.7	32.9	186.8	持首直刃		
1981	7		9976	IV-838	I層	5-3	石器	115.2	77.1	31.0	273.2	持首直刃		
1981	7		9972	IV-160	II層	5-3	石器	83.2	62.9	31.8	206.2	持首直刃		
1981	7		10065	IV-161	II層	5-3	石器	97.6	63.5	28.2	223.0	持首直刃		
1981	7		9962	石アザン	II層	5-3	石器	138.9	85.3	72.8	309.5	持首直刃		
1981	7		9994	IV-160	II層	5-3	石器	130.1	68.3	52.2	443.1	持首直刃		
1981	7		9963	IV-836	II-a-1層	5-3	石器	117.2	68.6	46.4	385.5	持首直刃		
1981	7		9965	IV-836	II-a-1層	5-3	石器	87.1	58.5	24.9	163.1	持首直刃		
1981	7		10061	IV-836	II-a-1層	5-3	石器	91.4	52.7	35.0	161.8	持首直刃		
1981	7		9979	IV-161	II-a-2層	5-3	石器	106.2	60.8	44.1	543.7	持首直刃		
1981	7		9990	IV-839	II層	5-3	石器	54.1	36.7	26.4	105.4	持首直刃		
1981	7		9993	IV-836	II-a-2層	5-3	石器	105.6	52.1	43.2	265.7	持首直刃		
1981	7		9965	IV-838	II-a-2層	5-3	石器	125.7	66.9	42.7	522.9	持首直刃		
1981	7		9961	IV-160	II-a-2層	5-3	石器	106.2	106.7	67.1	1245.8	持首直刃		
1981	7		9963	IV-836	II-a-2層	5-3	石器	165.7	52.1	39.1	413.3	持首直刃		
1981	7		9997	IV-537	I層	5-3	石器	81.0	55.5	27.0	166.0	持首直刃		
1981	7		9963	IV-161	II層	5-3	石器	94.2	62.6	46.0	469.4	持首直刃		
1981	7		9973	IV-836	II層	5-3	石器	123.8	66.7	31.3	255.8	持首直刃		
1981	4		8338	東捨場・N154	I層	5-3	石器	119.1	66.0	36.7	361.4	持首直刃	報告書第1編第2章第1節参照	
1981	3		10054	IV-836	I層	5-3	石器	127.8	66.8	39.2	281.9	持首直刃		

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(3)

発掘調査年度	番号	図面番号	整理番号	グattend	層位	取上 高さ	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考	
187	7		5993	IV-556	II-a-1下層	5-3	磨石	90.0	52.7	52.5	188.8	緑灰岩		
187	7		5983	IV-562	II-a-1下層	5-3	磨石	101.8	83.1	30.0	309.6	緑灰岩		
187	8		10043	IV-563	II層	5-3	磨石	82.8	98.1	31.0	347.7	緑色凝灰岩		
187	9		5965	IV-564	II層	5-3	磨石	123.7	77.0	21.0	314.3	緑灰岩		
187	10		5980	IV-559	II層	5-3	磨石	136.4	76.0	31.5	444.0	緑灰岩		
187	11		10062	IV-564	II層	5-3	磨石	127.9	71.0	30.4	270.6	花崗岩		
187	12		5971	IV-557	II-a-1層	5-3	磨石	138.1	84.1	28.2	276.2	緑色凝灰岩		
187	13		5966	IV-558	II-a-1層	5-3	磨石	132.6	82.1	27.7	256.8	緑灰岩		
187	14		5974	IV-558	II-a-1層	5-3	磨石	61.7	46.8	19.7	98.2	緑灰岩		
187	15		5970	IV-557	II-a-1層	5-3	磨石	77.8	52.1	23.3	155.5	緑灰岩		
187	16		10038	IV-557	II-a-1層	5-3	磨石	20.4	45.3	22.3	103.6	緑色凝灰岩		
187	17		10039	IV-559	II-a-1層	5-3	磨石	30.8	55.7	32.4	185.5	緑灰岩		
187	18		5978	IV-558	II-a-1層	5-3	磨石	83.8	48.7	43.7	209.6	緑灰岩		
187	19		6000	IV-562	II-a-1層	5-3	磨石	105.5	51.0	28.5	211.2	緑灰岩		
187	20		5971	IV-557	II-a-1層	5-3	磨石	111.6	72.8	29.3	261.8	緑灰岩		
187	21		5968	IV-561	II-a-1層	5-3	磨石	103.4	78.3	26.4	315.9	緑灰岩		
187	22		5966	IV-558	II-a-1層	5-3	磨石	133.1	55.0	23.1	269.1	緑灰岩		
187	23		5972	IV-561	II-a-1層	5-3	磨石	120.0	79.7	22.2	297.9	緑灰岩		
187	24		10062	IV-562	II-a-1層	5-3	磨石	135.5	109.3	28.8	471.3	緑灰岩		
187	25		10057	IV-557	II-a-2層	5-3	磨石	74.0	44.0	27.7	110.6	緑色凝灰岩		
187	26		10064	IV-556	II-a-2層	5-3	磨石	71.3	51.0	39.9	133.8	緑灰岩		
187	27		10066	IV-558	II-a-2層	5-3	磨石	84.1	60.8	23.8	226.2	輝石玄武岩		
187	28		5978	IV-561	II-a-2層	5-3	磨石	90.6	60.0	23.1	189.2	緑色凝灰岩		
187	29		10040	IV-559	II-a-2層	5-3	磨石	88.8	77.9	42.0	328.0	緑灰岩		
187	30		5975	不明	II-a-2層	5-3	磨石	110.2	89.6	53.6	562.9	緑灰岩		
187	31		8301	東捨場・IV-554	IX層1層	5-3	磨石	147.7	66.8	23.8	250.4	緑灰岩	報告書第1編第2章第1節参照	
187	32		8310	東捨場・IV-556	IX層1層	5-3	磨石	142.5	54.5	30.2	276.2	緑灰岩	報告書第1編第2章第1節参照	
188	1	124	1	7725	IV-557	II-a-1層	5-3	石鏃	95.0	99.0	18.0	138.8	緑灰岩	石鏃?
188	2		5969	不明	II-a-2層	5-3	石鏃	118.4	47.4	47.2	231.1	緑灰岩		
188	3		5967	IV-558	II-a-2層	5-3	磨石	122.5	92.0	30.8	665.0	緑灰岩		
188	4		5964	IV-560	II-a-2層	5-3	磨石	121.8	77.8	47.9	437.4	緑灰岩		
188	5		5992	IV-558	II-a-2層	5-3	磨石	136.5	42.0	35.7	496.9	緑灰岩		
188	6		4162	V154付近の川原平(4)層の剥片	1層	5-3	石鏃	380.0	334.0	147.0	9380.0	緑色凝灰岩	標尺長さ90mm 報告書第1編第2章第1節参照	
188	7	124	2	7748	IV-560	II-a-2上層	5-3	石製品-20	34.0	51.5	25.0	33.6	緑灰岩	自然磨いた若干の研痕
188	8	124	13	4891	IV-560	II-a-2上層	5-3	石製品-20	47.4	44.4	23.9	141.7	緑色凝灰岩	直線中央に窪みあり
188	9		5999	不明	II-a-2層	5-3	石鏃	126.5	72.8	39.8	520.7	緑灰岩		
188	10		2583	IV-556	II-a-1層	5-149	自然磨	45.6	36.0	26.4	54.6	緑灰岩	有爪	
188	11		824	IV-556	II-a-1層	5-3	自然磨	26.2	30.0	26.0	38.7	緑灰岩	短丁?	
188	12	123	2	838	IV-559	II層	5-3	石鏃	63.7	26.0	18.7	47.0	緑灰岩	
188	13	123	3	6100	IV-558	II-a-1層	5-3	石鏃	69.0	43.0	14.0	29.0	緑灰岩	表面凹陥
188	14	123	14	10026	IV-557	II-a-1層	5-3	石製品-20	29.0	31.9	9.8	40.4	緑灰岩	先端凹陥、縦割痕
188	15	123	17	822	IV-560	II-a-2層	5-3	磨石	35.0	28.0	2.0	10.0	緑灰岩	
188	16	123	5	6112	IV-560	II-a-2層	5-3	石鏃	41.0	40.0	6.0	14.9	緑灰岩	
188	17	123	8	8327	IV-558	II-a-1下層	5-3	磨石	26.2	19.7	20.1	100.4	緑灰岩	磨削、一部縦線を磨削した可視凹あり
188	18		8183	IV-561	1層	5-3	石製品	26.5	21.0	11.9	7.3	木燧岩		
188	19		8143	IV-561	1層	5-3	石製品	25.8	23.7	8.7	8.9	木燧岩		
188	20		8190	IV-561	1層	5-3	石製品	24.2	23.0	9.2	7.0	緑色凝灰岩	アスファルト	
188	21		8148	IV-562	II層	5-3	石製品	37.4	33.0	11.1	25.0	木燧岩	アスファルト	
188	22		8164	IV-564	II層	5-3	石製品	31.3	49.1	13.1	42.1	緑色凝灰岩	アスファルト	
188	23		8257	IV-561	1層	5-3	石製品	47.8	44.3	13.2	17.8	輝石玄武岩	アスファルト	
188	24		8254	IV-563	II層	5-3	石製品	60.9	54.9	23.0	113.0	花崗岩	アスファルト	
188	25		8342	不明	1層	5-3	石製品	58.7	47.0	23.8	92.8	木燧岩		
188	26		2154	IV-558	II-a-1層	5(4層)	石鏃	-	-	-	107.3	点状結核質	先端削片	
189	1	123	15	830	IV-562	II-a-1層	5-3	石製品	25.0	25.5	11.0	8.0	緑灰岩	磨削
189	2		5248	IV-561	II-a-1層	5-3	石製品-18	32.3	21.2	24.1	21.0	緑灰岩		
189	3		5249	IV-558	II-a-1層	5-3	石製品-20	34.7	24.5	11.3	20.5	緑灰岩		
189	4		5671	IV-558	II-a-1層	5-3	石製品	45.1	38.0	12.4	25.7	緑灰岩		
189	5		6137	IV-557	II-a-1層	5-232	石製品	40.3	42.3	28.4	82.0	緑色凝灰岩		
189	6	124	3	887	IV-557	II-a-1層	5-213	石製品	51.2	44.4	11.3	32.6	緑灰岩	
189	7		898	IV-560	II-a-1層	5-232	石製品	62.2	52.0	15.8	79.1	木燧岩		
189	8		867	IV-562	II-a-1層	5-212	石製品	60.5	55.9	18.1	117.1	緑色凝灰岩		
189	9		8252	IV-558	II-a-1層	5-232	石製品	60.8	56.0	20.4	106.6	木燧岩		
189	10		846	IV-556	II-a-1層	5-3	石製品	83.7	66.9	21.2	116.7	浅灰岩		
189	11		8173	IV-562	II-a-1層	5-1	石製品	41.0	41.0	13.4	13.4	花崗岩		
189	12		8162	IV-562	II-a-1層	5-256	石製品	41.9	40.1	17.3	48.6	緑灰岩	磨削	
189	13		814	IV-558	II-a-1層	5-3	石製品	42.1	41.0	6.8	19.0	木燧岩		
189	14		8128	IV-558	II-a-1層	5-239	石製品	52.6	48.0	12.7	30.7	アズライト		
189	15		8138	IV-558	II-a-1層	5-231	石製品	54.1	41.0	18.2	68.2	輝石玄武岩		
189	16		8243	IV-560	II層	5-236	石製品-20	62.2	58.4	26.3	70.0	緑灰岩		
189	17	123	14	831	IV-560	II-a-2層	5-3	石鏃	25.0	21.0	3.0	2.6	緑灰岩	
189	18		874	IV-558	II-a-2層	5-235	石製品	35.1	39.0	38.0	402.9	緑色凝灰岩	不明円錐、正面磨研痕 縦線-一部点状結核質	
189	19		5360	IV-560	II-a-2層	5-3	石製品	25.4	23.5	8.1	8.8	花崗岩		
189	20		8141	IV-561	5-286	石製品	30.7	29.5	13.3	17.8	木燧岩	アスファルト		
189	21		8171	IV-560	II-a-2層	5-3	石製品	49.6	31.3	9.3	19.9	輝石玄武岩	表面若干の石質凝灰岩	
189	22		8179	IV-560	II-a-2層	5-3	石製品	44.1	44.1	11.1	13.8	木燧岩		
189	23		8213	IV-559	II-a-2層	5-239	石製品-23	59.8	72.0	22.3	202.2	緑灰岩	表面磨削	
189	24		855	IV-559	II-a-2上層	5-3	石製品	56.8	54.9	14.6	92.9	木燧岩		
189	25		8281	IV-562	II-a-2層	5-3	石製品	95.6	71.5	21.0	123.4	緑灰岩		
189	26	124	2	7713	IV-561	II-a-2上層	5-3	石製品	69.0	58.0	16.9	70.8	輝石玄武岩	磨削
189	27	124	10	893	IV-558	II-a-2上層	5-3	石製品	68.7	65.1	19.0	92.5	輝石玄武岩	背面若干 背面のみ磨削で自然磨
189	28	123	11	8278	IV-562	II-a-2上層	5-282	石製品	27.0	27.0	10.0	11.9	緑灰岩	アスファルト
189	29		8028	IV-558	II-a-2上層	5-282	石製品	44.1	44.1	11.1	23.6	木燧岩	アスファルト	
189	30	123	6	9673	IV-561	II-a-2上層	5-3	石製品	153.73	158.53	22.0	126.0	緑灰岩	アズライト
189	31		8156	IV-558	II-a-2上層	5-282	石製品	42.4	38.6	13.9	39.9	木燧岩		
189	32		8183	IV-558	II-a-2上層	5-3	石製品	47.6	41.5	10.9	26.0	木燧岩		
189	33		827	IV-561	II-a-2上層	5-282	石製品	-	-	-	22.1	木燧岩		

表22 東捨場延長地区 石器・石製品観察表(4)

観察 順番号	番号	図録 番号	整理番号	グランド	層位	出土 部分	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考	
189	31		538	IV301	II-a-2上層	S-209	石製刀頭	67.3	63.0	21.9	136.9	緑色凝灰岩		
189	33		679	IV308	II-a-2上層	S-212	石製刀頭	65.3	53.1	23.2	136.7	アイサイト		
189	36		6610	IV360	II-a-2上層	S-3	鏃石	29.9	33.6	20.1	313.8	凝灰岩	石製刀頭?	
190	1	123	4	833	IV305	I層	磨石	98.0	34.0	13.9	28.0	凝灰岩	磨石	
190	2	124	11	3696	IV337	II層	石製品-III	30.0	13.0	10.0	16.2	凝灰岩	磨石	
190	3		3649	V439	II層	S-3	石製品	96.1	115.2	17.1	115.5	凝灰岩	磨石	
190	4	124	12	7028	IV360	II-a-1層	S-3	石製品	30.2	12.0	10.0	7.2	凝灰岩	
190	5	123	13	5500	IV337	II-a-1層	S-3	石製品	46.0	46.0	23.0	60.0	凝灰岩	
190	6	123	7	838	IV337	II-a-1層	S-3	磨石	95.1	71.6	19.4	85.5	凝灰岩	磨石
190	7	124	5	4771	IV308	II-a-1層	S-3	自然磨	19.0	13.0	10.0	3.6	緑色凝灰岩	生薬材小
190	8	124	4	2126	IV308	II-a-2上層	石製品-204	生薬材	9.0	9.0	8.0	0.3	緑色凝灰岩	生薬材
190	9	123	10	833	IV305	II-a-1層	S-3	磨石	73.8	36.3	19.3	99.6	凝灰岩	磨石
190	10	124	9	3636	IV308	II-a-1層	S-3	石製品	91.0	83.0	16.0	170.3	凝灰岩	表面に磨痕
190	11	124	8	833	IV362	II-a-2層	S-3	石製品	35.0	29.0	8.0	7.1	凝灰岩	
190	12	124	6	7099	IV369	II-a-2層	石製品-217	磨石	28.0	28.0	20.0	11.2	凝灰岩	
190	13	123	9	779	IV360	II-a-2層	石製品-202	磨石	66.0	43.1	13.2	50.6	緑色凝灰岩	磨石、刃磨痕
190	14		4772	IV337	II-a-1層	S-3	磨石	113.3	79.2	14.8	153.3	凝灰岩		
190	15		963	IV309	II-a-1下層	石製品-215	石製品	105.9	92.1	40.0	322.4	凝灰岩		
—	—	123	14	1960	V10-III	S-40	磨石	130.7	47.0	22.0	163.7	緑色凝灰岩		
—	—	123	1	3156	IV361	II-a-1層	S (石製品) -184	石棒	423.0	28.0	22.0	429.5	粘板岩	磨石の種別が、磨石(磨石)と55と1160は報告できたため接合石棒として3155に番号振り替えた。





表26 北東拾場延長地区 石器・石製品観察表(1)

発掘 調査 年度	番号	図面 番号	整理番号	出土位置	層位	取上 名称	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考	
193	1		9631	VP19	1層	S-3	石鏃	27.9	17.0	5.3	1.1	作置面岩		
193	2		9633	VP19	1層	S-3	石鏃	37.9	15.2	3.7	1.1	作置面岩		
193	3		9631	VP31	1層	S-3	石鏃	22.8	6.4	2.0	0.5	作置面岩	高尾層位	
193	4		9632	VP19	1層	S-3	石鏃	26.0	28.6	6.3	2.3	作置面岩	高尾層位	
193	5		9633	VP18	2層	S-3	石鏃	14.8	19.1	9.3	7.2	作置面岩		
193	6	127	1	1799	VQ18	2層	S-3	子鏃	41.6	22.0	8.1	3.3	作置面岩	
193	7		9638	VQ19	1層	S-3	石鏃	25.1	14.1	4.4	1.4	作置面岩		
193	8		9640	VP51	1層	S-3	石鏃	67.0	34.2	10.3	23.7	作置面岩		
193	9		5552	V155	1層	S-3	石鏃	45.6	17.4	7.8	15.2	作置面岩		
193	10		5556	V019	1層	S-3	石鏃	50.9	32.0	13.1	23.7	作置面岩	アスファルト	
193	11		5558	V018	1層	S-3	石鏃	62.1	46.4	4.6	12.9	作置面岩	高尾層位	
193	12		5555	V019	1層	S-3	石鏃	47.1	59.9	16.9	16.5	作置面岩	アスファルト下層体表面 磨痕	
193	13		5551	V019	1層	S-3	石鏃	52.9	57.1	13.9	21.4	作置面岩		
193	14		5527	V018	1層	S-3	石鏃	45.6	46.1	9.5	21.9	作置面岩		
193	15		1903	VP19	1層	S-3	石鏃	52.4	59.5	12.3	36.1	作置面岩	アスファルト	
193	16		5553	VP17	1層	S-3	石鏃	51.8	49.7	13.0	37.0	作置面岩		
193	17		9639	V050	1層	S-3	石鏃	106.0	14.0	11.2	56.0	作置面岩	作置面一掃り石鏃	
193	18		5551	VP18	2層	S-3	石鏃	60.2	21.1	8.0	7.9	作置面岩		
193	19		5550	VP18	2層	S-3	石鏃	40.7	40.3	8.7	16.7	作置面岩		
193	20		1804	VP18	2層	S-3	石鏃	63.3	57.1	11.1	30.1	作置面岩	アスファルト、刃部光沢	
193	21	127	2	1802	V018	2層	S-3	石鏃	73.0	20.0	6.0	6.7	作置面岩	
193	22		1708	V019	2層	S-3	石鏃	54.9	31.0	9.9	5.2	作置面岩		
193	23		9636	VP19	1層	S-3	石鏃	44.2	24.9	9.3	9.1	作置面岩		
193	24		9637	V019	1層	S-3	石鏃	132.5	65.7	11.1	23.5	作置面岩	つまみ形磨痕欠損	
193	25		9642	V019	1層	S-3	磨石片	56.0	58.3	10.5	26.4	作置面岩		
193	26	127	3	1801	V019	2層	S-3	磨石片	72.3	65.6	11.2	29.4	作置面岩	
193	27		9621	V018	2層	S-3	石鏃	20.9	61.0	43.4	123.0	作置面岩		
193	28		9623	V018	2層	S-3	石鏃	32.1	47.3	33.0	71.6	作置面岩	石鏃片欠損	
193	29		9625	V018	1層	S-3	石鏃	53.9	45.0	52.0	112.6	作置面岩		
193	30		9627	V018	1層	S-3	石鏃	128.6	60.7	63.7	281.6	作置面岩		
193	31		9626	V019	1層	S-3	石鏃	40.8	49.7	56.6	266.9	作置面岩		
193	32		9630	VP19	1層	S-3	石鏃	162.1	121.4	63.5	1294.6	作置面岩		
194	1		9622	VQ19	2層	S-3	石鏃	55.2	50.6	31.3	112.9	作置面岩		
194	2		1805	V019	2層	S-3	磨石片	64.4	46.7	32.1	93.9	作置面岩		
194	3		1800	V018	2層	S-3	子鏃	90.7	29.3	22.1	50.7	作置面岩		
194	4	127	4	2238	VP18	2層	S-3	磨石片	73.7	33.9	14.0	46.7	磨石片	刃部欠損、磨石片不揃
194	5	127	6	2229	VP18 + 49	2層	S-3	磨石片	93.9	60.5	31.0	289.3	磨石片	刃部欠損、磨石片不揃
194	6	127	5	2237	VQ19	2層	S-3	磨石片	128.0	58.0	35.2	459.7	磨石片	刃部欠損、磨石片不揃
194	7		1029	VP16	1層	S-3	磨石	72.7	55.3	46.3	234.6	磨石片		
194	8		10002	V019	1層	S-3	磨石	92.6	89.9	49.2	830.1	磨石片		
194	9		10110	VQ18	1層	S-3	磨石	94.2	83.9	73.4	794.4	磨石片		
194	10		10108	VP19	1層	S-3	磨石	125.6	91.0	80.2	1321.6	磨石片		
194	11		10008	V018	1層	S-3	磨石	152.1	65.5	40.7	462.8	磨石片		
194	12		10103	VP19	1層	S-3	磨石	83.3	79.4	52.5	481.9	磨石片		
194	13		10109	VP19	1層	S-3	磨石	83.2	74.3	26.6	506.1	磨石片	磨石片欠損	
194	14		10107	VP19	2層	S-3	磨石	102.0	78.6	49.6	720.8	磨石片		
194	15		10101	VP18	2層	S-3	磨石	110.2	85.0	60.5	639.5	木鏃		
194	16		10006	VP18	2層	S-3	磨石	119.5	105.6	83.0	1875.9	磨石片		
194	17		10003	VP19	2層	S-3	磨石	90.6	94.1	61.1	811.6	磨石片	磨石片欠損	
194	18		10104	VP18	2層	S-3	磨石	106.6	80.9	63.0	733.6	磨石片	磨石片欠損	
194	19		10116	VP18	2層	S-3	磨石	116.0	92.0	57.2	829.4	磨石片		
194	20		10070	VP18	2層	S-3	磨石	117.7	111.6	23.0	493.9	磨石片	磨石片欠損	
194	21		10099	VP18	2層	S-3	磨石	141.2	91.4	48.4	1343.8	磨石片	石鏃	
194	22		10004	VP18	2層	S-3	磨石	118.5	78.8	33.4	317.4	磨石片	磨石片欠損	
194	23		10105	VP19	2層	S-3	磨石	126.3	85.2	63.1	1010.7	磨石片		
195	1		10107	VP18	2層	S-3	磨石	20.6	53.6	49.5	261.0	磨石片		
195	2		10112	VP18 + 49	2層	S-3	磨石	92.9	83.0	59.8	993.4	磨石片		
195	3		10102	VP19	2層	S-3	磨石	118.5	82.0	56.9	812.4	磨石片		
195	4		10000	V019	2層	S-3	磨石	137.5	76.6	51.2	666.5	磨石片		
195	5		10106	VP19	2層	S-3	磨石	124.4	87.0	56.6	811.8	磨石片		
195	6		10001	V018	2層	S-3	磨石	171.9	76.9	52.1	1118.4	磨石片	磨石片欠損	
195	7		10099	V018	2層	S-3	磨石	126.1	89.7	48.2	1332.1	磨石片		
195	8		10011	V018	2層	S-3	磨石	149.8	101.9	83.6	2207.8	磨石片		
195	9		10051	VP18 + 49	2層	S-3	磨石	111.2	67.4	31.4	211.2	磨石片	磨石片欠損	
195	10		10010	VP18	2層	S-3	磨石	101.6	68.1	30.1	122.1	磨石片	磨石片欠損	
195	11		9950	V019	1層	S-3	磨石	148.2	104.5	40.1	701.4	磨石片		
195	12		10111	VP18	2 + 3層	S-3	磨石	113.0	71.0	40.0	583.9	磨石片		
195	13		10079	VP18	2 + 3層	S-3	磨石	133.1	93.5	26.4	413.9	磨石片		
195	14		9919	VP18	2 + 3層	S-3	磨石	70.9	76.1	36.1	196.9	磨石片		
195	15		9900	VP18	2 + 3層	S-3	磨石	109.8	78.4	31.6	464.8	磨石片		
195	16		10014	VP18	2 + 3層	S-3	磨石	133.7	78.3	23.3	356.9	磨石片		
195	17		10090	VP18	2 + 3層	S-3	磨石	131.5	67.7	31.2	466.5	磨石片		
195	18		10068	V018	2層	S-3	磨石	141.9	91.3	71.6	176.4	磨石片		
196	1		10081	VP17	2層~欠層	S-3	磨石	108.2	96.6	39.1	457.5	磨石片		
196	2		9929	VP19	2層	S-3	磨石	61.0	47.0	47.1	108.8	磨石片		
196	3		9932	V019	2層	S-3	磨石	64.9	74.6	23.4	178.8	磨石片		
196	4		10076	V019	2層	S-3	磨石	94.0	78.9	29.1	223.1	磨石片		
196	5		10071	V018	2層	S-3	磨石	94.8	85.1	21.4	207.6	磨石片	磨石片欠損	
196	6		10077	VP19	2層	S-3	磨石	100.7	64.2	39.8	601.8	磨石片	磨石片欠損	
196	7		9921	VP19	2層	S-3	磨石	106.9	60.0	40.1	266.3	磨石片		
196	8		10114	V018	2層	S-3	磨石	142.3	98.3	38.1	483.7	磨石片		
196	9		10070	VP51	1層	S-3	磨石	148.3	75.4	35.6	474.7	アサギ		
196	10		10072	VP50	1層	S-3	磨石	135.4	72.0	40.4	508.7	磨石片	磨石片欠損	
196	11		9911	VP19	1層	S-3	磨石	126.7	72.0	40.1	613.6	磨石片		
196	12		10008	VP50	1層	S-3	磨石	96.3	60.1	36.2	327.1	磨石片		
196	13		10012	V019	1層	S-3	磨石	85.6	73.6	48.8	317.8	磨石片	磨石片欠損	
196	14		10074	V018	1層	S-3	磨石	162.4	94.7	39.0	451.4	磨石片	磨石片欠損	
196	15		10067	東原長・VP13	II層	S-3	磨石	153.6	104.3	95.4	2108.4	磨石片	報告書第1編第2章第1節 目録参照	
196	16		10048	V019	1層	S-3	磨石	66.6	46.6	23.2	133.1	磨石片		
196	17		10045	V019	1層	S-3	磨石	71.0	53.0	25.1	130.0	磨石片	磨石片欠損	
196	18		9923	V017	1層	S-3	磨石	118.4	69.0	36.9	327.1	磨石片		
196	19		9961	V019	1層	S-3	磨石	126.1	64.0	39.5	226.6	磨石片		

表26 北東捨場延長地区 石器・石製品観察表(2)

発掘調査年度	番号	図録番号	番号	整理番号	出土位置	層位	出土姿勢	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	備考
196	20			10050	VF19	1層	S-3	磨石	152.9	96.2	43.7	673.1	緑色凝灰岩	
196	21			5062	VO19	1層	S-3	磨石	151.7	70.0	54.4	593.9	凝灰岩	
197	1			10053	VF18	2a層	S-3	磨石	104.1	60.0	20.0	248.5	凝灰岩	
197	2			10055	VO18	2a層	S-3	磨石	127.1	58.7	29.2	271.4	凝灰岩	
197	3			10055	VF17	2a層	S-3	磨石	116.2	101.9	28.8	361.4	凝灰岩	
197	4			10047	VF18	2a層	S-3	磨石	131.0	14.1	27.8	221.8	緑色凝灰岩	
197	5			10048	VF18	2a層	S-3	磨石	148.9	46.0	20.7	365.4	緑色凝灰岩	
197	6			10072	VF18	2a層	S-3	磨石	155.2	80.1	49.1	751.1	緑色凝灰岩	
197	7			5056	VF18	2層	S-3	磨石	71.6	17.0	37.2	1696.0	凝灰岩	
197	8			5057	VF18	2層	S-3	磨石	128.3	68.0	37.8	393.0	凝灰岩	
197	9			5058	VQ18	2a層	S-3	磨石	71.4	98.3	27.0	258.7	凝灰岩	
197	10			10075	VQ19	2a層	S-3	磨石	161.3	87.9	45.2	691.3	緑松石武蔵	
197	11			10062	VF17	3層	S-3	磨石	124.7	55.6	19.1	208.0	凝灰岩	
197	12	127	7	2761	VF18	2a層	S-3	不詳	87.0	78.0	19.0	126.3	凝灰岩	石鏃?
197	13			4130	VF18	2 + 3層	S-3	不詳	222.9	218.9	68.9	4728.9	緑色凝灰岩	
197	14	128	1	3597	VO19	1層	S-5	石製品	75.5	81.0	32.0	400.9	凝灰岩	西面磨面。長軸方位在
198	1	128	4	857	VF18 + 19	1層	S-3	石製品	27.0	27.0	6.5	4.4	凝灰岩	
198	2	128	2	2701	VQ18	1層	S-3	石製品	60.0	51.0	28.0	47.0	凝灰岩	
198	3			4449	VO18	1層	S-3	石製品	47.7	14.0	18.4	33.0	凝灰岩	
198	4			5253	VX55	1層	S-3	石製品	159.53	159.03	11.2	121.0	凝灰岩	
198	5			5241	VO18	1層	S-3	石製品	50.6	49.7	18.5	109.0	木曜室	プラスチック
198	6			4189	VF19	1層	S-3	石製品	80.0	68.4	13.6	93.7	花崗岩	
198	7			4134	VO18	1層	S-3	石製品	83.0	78.6	31.6	307.9	アイウイト	
198	8			41363	VO18	1層	S-3	石製品	81.4	74.2	17.8	121.7	アイウイト	
198	9			41140	VJ17	1層	S-3	石製品	85.1	82.3	18.4	151.1	緑色凝灰岩	
198	10			41249	VO17	1層	S-3	石製品	83.3	73.0	23.0	176.1	アイウイト	
198	11			41486	VO18	1層	S-3	石製品	86.9	68.1	15.0	88.2	凝灰岩	
198	12			41471	VF19	1層	S-3	石製品	48.9	38.5	14.5	28.6	アイウイト	
198	13			41440	VF18 + 19	1層	S-3	石製品	36.2	36.0	22.9	87.3	アイウイト	
198	14			41267	VF18 + 19	1層	S-3	石製品	80.1	77.0	24.2	284.9	凝灰岩	
198	15			41415	VO18	2層	S-3	石製品	54.9	53.1	11.5	49.1	アイウイト	
198	16			41384	VF18	2層	S-3	石製品	29.7	71.3	20.6	157.0	アイウイト	
198	17			41350	VF18	2a層	S-3	石製品	63.6	63.1	25.2	176.2	凝灰岩	
198	18			41252	VF18	2a層	S-3	石製品	63.4	55.5	11.2	66.2	アイウイト	
198	19			41483	VF18	2a層	S-3	石製品	53.4	14.1	12.4	36.6	緑松石武蔵	
198	20			41354	VR19	3層	S-304	石製品	90.8	76.4	15.1	137.3	アイウイト	
198	21	128	3	10005	VF19	不明	S-3	石製品	52.0	47.0	29.0	100.0	火山岩	磨面?
198	22			41425	VQ18	2 + 3層	S-3	石製品	118.9	112.0	40.6	812.4	粗長石山岳	
198	23			41383	VO19	2 + 3層	S-3	石製品	107.7	104.9	23.6	368.3	花崗岩	
198	24			41484	VF18	4層	S-3	石製品	55.1	50.3	23.1	78.6	凝灰岩	
198	25			41388	VF19	不明	S-3	石製品	57.5	53.4	30.2	133.8	花崗岩	プラスチック
198	26			41432	VF19	不明	S-3	石製品				23.2	アイウイト	
198	27			41394	VF18	不明	S-3	石製品	48.3	38.1	16.3	95.0	アイウイト	
198	28			41393	VF19	不明	S-3	石製品	65.9	56.7	31.0	99.9	粗松石武蔵	
198	29			41355	VO18	不明	S-3	石製品	77.9	36.0	32.8	163.7	火山岩	
198	30			41358	VO18	不明	S-3	石製品	74.0	71.0	19.8	147.5	アイウイト	